

羽生市市民意識調査報告書

平成 28 年 1 月実施

羽 生 市

《目 次》

I.	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査の方法	1
3	集計・分析のための地区区分	1
4	回収結果	1
5	調査項目	2
6	報告書をみる際の注意	2
II.	対象者の基本属性	3
1	性別	3
2	年齢	3
3	職業	3
4	居住年数	4
5	居住地	4
III.	調査結果の分析	5
1	住み心地について	5
1 - 1	住み心地／理由	5
1 - 2	定住意向	8
1 - 3	住み続けるために必要なもの	10
2	市役所の取り組みなどについて	12
2 - 1	広報はにゅうの閲読	12
2 - 2	ぎかいだよりの閲読	13
2 - 3	自治基本条例の認知度	14
2 - 4	計画づくりへの参加意向	15
2 - 5	市政・市役所に対する印象	16
3	コミュニティについて	19
3 - 1	近所付き合い	19
3 - 2	行事への参加	21
3 - 3	市民モラル	23
3 - 4	ボランティア活動／理由	26
4	羽生市の将来像について	29
4 - 1	羽生市の将来像	29
4 - 2	将来の人口	31
4 - 3	市町村合併	33
5	市の特徴について	35
5 - 1	ムジナモの認知度	35
5 - 2	好きな場所・景色	37
5 - 3	全国PRに有効なもの	42
5 - 4	観光交流人口を増やすために	45

6	福祉・リサイクル・交通について	48
6 - 1	生きがいのある老後	48
6 - 2	子育て支援に期待すること	51
6 - 3	ごみのリサイクル	53
6 - 4	交通	54
6 - 5	最終電車時刻	55
7	通信環境などについて	57
7 - 1	市のホームページ利用状況	57
7 - 2	電子申請・届出サービス	58
8	医療・防災・防犯について	59
8 - 1	かかりつけ医	59
8 - 2	医療費	60
8 - 3	健康診断	61
8 - 4	地震と家屋	63
8 - 4	火災警報器	65
8 - 5	避難場所	66
8 - 6	災害時の備え	68
8 - 7	防犯対策	70
8 - 8	犯罪防止	72
9	選挙について	73
9 - 1	投票率の低い理由	73
9 - 2	投票率を上げる方法	75
10	教育・スポーツについて	77
10 - 1	学校教育について	77
10 - 2	市内の学校への希望	79
10 - 3	スポーツをする頻度／理由	80
11	人権・男女平等観について	82
11 - 1	基本的人権	82
11 - 2	身の回りの男女平等観	83
11 - 3	『男は仕事、女は家庭』の考え方	86
12	産業・商業について	88
12 - 1	購買調査	88
12 - 2	農産物の購入目安	91
12 - 3	商業・産業の振興	93
13	全般的なまちづくりについて	94
13 - 1	施策の満足度	94
13 - 2	力をいれるべき施策	98
IV.	調査結果のまとめ	101
V.	自由記入のまとめ	107
	資料・調査票	117

I . 調査の概要

1 調査目的

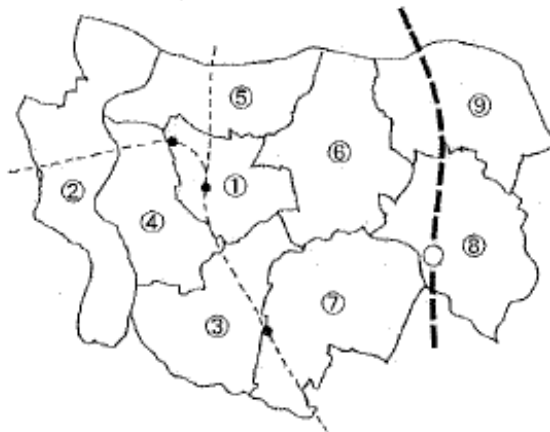
本調査は、市政に対する市民の意見や要望などを幅広く把握し、市民の声を市政に反映するとともに、過去の市民意識調査との比較により、市民ニーズや市民の考え方の動向などを把握し、まちづくりを行ううえでの基礎資料とするために実施しました。また、第5次羽生市総合振興計画・後期基本計画が平成29年度で期間満了となるため、計画の検証及び新たな第6次羽生市総合振興計画・前期基本計画を策定する際の資料としても活用します。

2 調査の方法

- 調査対象：市内に在住する20歳以上の市民
- 標本数：2,500人
- 抽出方法：住民基本台帳より地区別、無作為抽出
- 調査方法：郵送法（郵送による配布・回収）
- 調査期間：平成28年1月7日～22日

3 集計・分析のための地区区分

- ①羽生地区
- ②新郷地区
- ③須影地区
- ④岩瀬地区
- ⑤川俣地区
- ⑥井泉地区
- ⑦手子林地区
- ⑧三田ヶ谷地区
- ⑨村君地区



4 回収結果

- 標本数 : 2,500人
- 有効回収票数 : 1,441人
- 有効回収率 : 57.6%

5 調査項目

①住み心地について	問1：住み心地／理由 問2：定住意向 問3：住み続けるために必要なもの
②市役所の取り組みなどについて	問4：広報はにゅうの閲読 問5：ぎかいだよりの閲読 問6：自治基本条例の認知度 問7：計画づくりへの参加意向 問8：市政・市役所に対する印象
③コミュニティについて	問9：近所付き合い 問10：行事への参加 問11：市民モラル 問12：ボランティア活動／理由
④羽生市の将来像について	問13：羽生市の将来像 問14：将来の人口 問15：市町村合併
⑤市の特徴について	問16：ムジナモの認知度 問17：好きな場所・景色 問18：全国PRに有効なもの 問19：観光交流人口を増やすために
⑥福祉・リサイクル・交通について	問20：生きがいのある老後 問21：子育て支援に期待すること 問22：ごみのリサイクル 問23：交通 問24：最終電車時刻
⑦通信環境などについて	問25：市のホームページ利用状況 問26：電子申請・届出サービス
⑧医療・防災・防犯について	問27：かかりつけ医 問28：医療費 問29：健康診断 問30：地震と家屋 問31：火災警報器 問32：避難場所 問33：災害時の備え 問34：防犯対策 問35：犯罪防止
⑨選挙について	問36：投票率の低い理由 問37：投票率を上げる方法
⑩教育・スポーツについて	問38：学校教育について 問39：市内の学校への希望 問40：スポーツをする頻度／理由
⑪人権・男女平等観について	問41：基本的人権 問42：身の回りの男女平等観 問43：『男は仕事 女は家庭』の考え方
⑫産業・商業について	問44：購買調査 問45：農産物の購入目安 問46：商業・産業の振興
⑬全般的なまちづくりについて	問47：施策の満足度 問48：力を入れるべき施策
⑭属性（フェイスシート）	・性別 ・年齢 ・職業 ・居住年数 ・居住地
⑮市政意見	・自由記入

6 報告書をみる際の注意

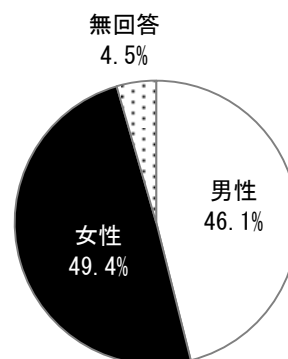
- ・各設問の集計は、すべて単純集計、属性別（フェイスシート）クロス集計を行いました。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出します。したがって、合計が100.0%を上下する場合があります。
- ・図表中の「n」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示し、比率は「n」を100.0%として算出しました。
- ・グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- ・問の中には「～を選んだ方にお伺いします。」などいろいろな制限があり、また、回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

Ⅱ. 対象者の基本属性

1 性別

○回答者の性別は、「女性」が49.4%と、「男性」の46.1%をやや上回ります。

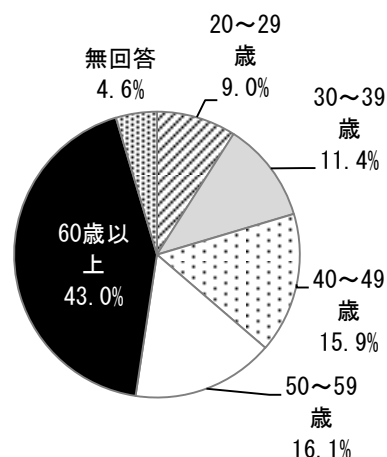
属性 - 1 性別	n	%
男性	664	46.1
女性	712	49.4
無回答	65	4.5
全体	1441	100.0



2 年齢

○回答者の年齢は、「60歳以上」の方が43.0%で最も多く、「50～59歳」と合わせると、回答者数の59.1%を占め、比較的年齢の高い人の回答が多い結果となりました。

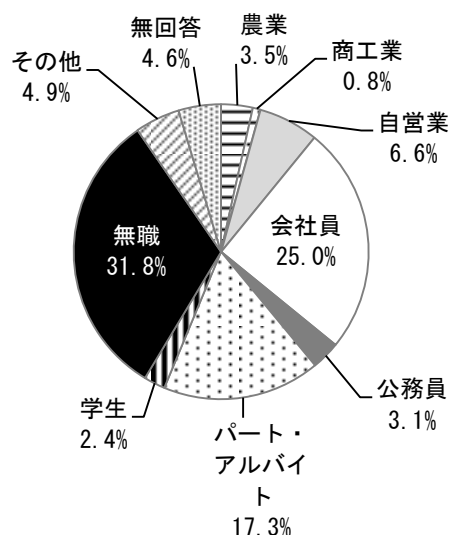
属性 - 2 年齢	n	%
20～29歳	130	9.0
30～39歳	164	11.4
40～49歳	229	15.9
50～59歳	232	16.1
60歳以上	619	43.0
無回答	67	4.6
全体	1441	100.0



3 職業

○回答者の職業は、「無職」が31.8%で最も多く、次いで「会社員」が25.0%という結果となりました。また、「学生」は2.4%、「商工業」は0.8%と少なくなっています。

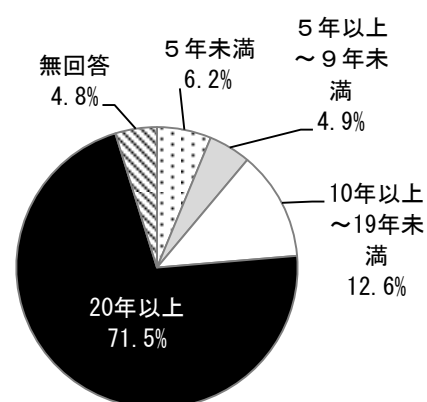
属性 - 3 職業	n	%
農業	50	3.5
商工業	12	0.8
自営業	95	6.6
会社員	360	25.0
公務員	45	3.1
パート・アルバイト	249	17.3
学生	34	2.4
無職	458	31.8
その他	71	4.9
無回答	67	4.6
全体	1441	100.0



4 居住年数

○回答者の居住年数は、「20年以上」が71.5%と約7割を占めて最も多く、次いで「10年以上～19年未満」が12.6%となっており、居住年数の長い人からの回答が多い結果となりました。

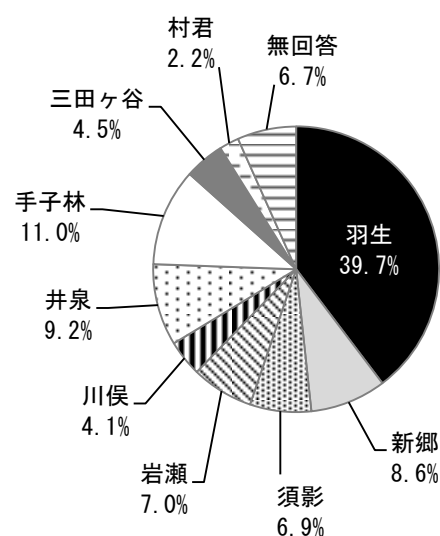
属性 - 4 居住年数	n	%
5年未満	90	6.2
5年以上～9年未満	70	4.9
10年以上～19年未満	181	12.6
20年以上	1031	71.5
無回答	69	4.8
全体	1441	100.0



5 居住地

○居住人口に比例して「羽生地区」が39.7%で最も多く、次いで「手子林地区」が11.0%という結果となりました。

属性 - 5 居住地	n	%
羽生	572	39.7
新郷	124	8.6
須影	100	6.9
岩瀬	101	7.0
川俣	59	4.1
井泉	133	9.2
手子林	159	11.0
三田ヶ谷	65	4.5
村君	32	2.2
無回答	96	6.7
全体	1441	100.0



Ⅲ. 調査結果の分析

1 住み心地について

1 - 1 住み心地／理由

【問1】 あなたにとって、現在の羽生市の住み心地はいかがですか。

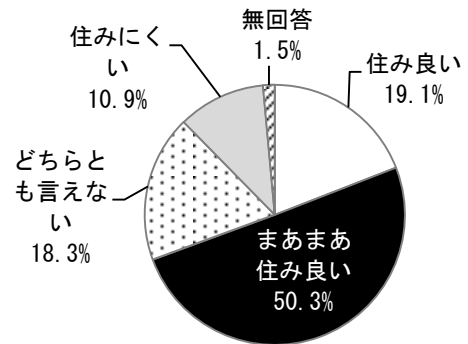
○現在の羽生市の住み心地については、「まあまあ住み良い」が 50.3%で最も多く、これに「住み良い」(19.1%)を合わせた“住み良い”が 69.4%と約7割を占めています。

問1 住み心地

	n	%
住み良い	275	19.1
まあまあ住み良い	725	50.3
どちらとも言えない	263	18.3
住みにくい	157	10.9
無回答	21	1.5
全体	1441	100.0

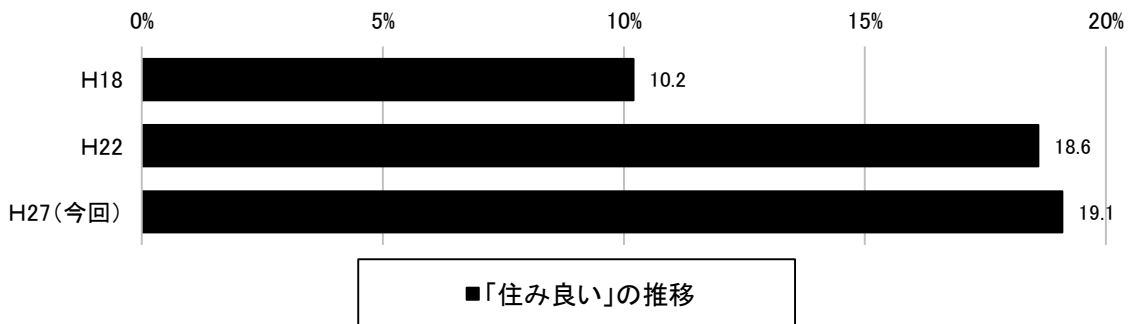
※ “住み良い”は「住み良い」及び「まあまあ住み良い」の合計としています。(以下同様)

【問1 住み心地】



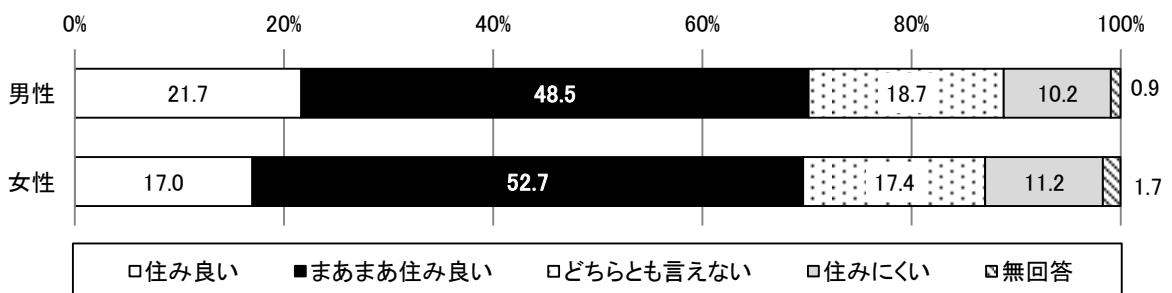
○過去の調査との時系列で「住み良い」の推移をみると、増加傾向となっています。

【住み心地 時系列集計】



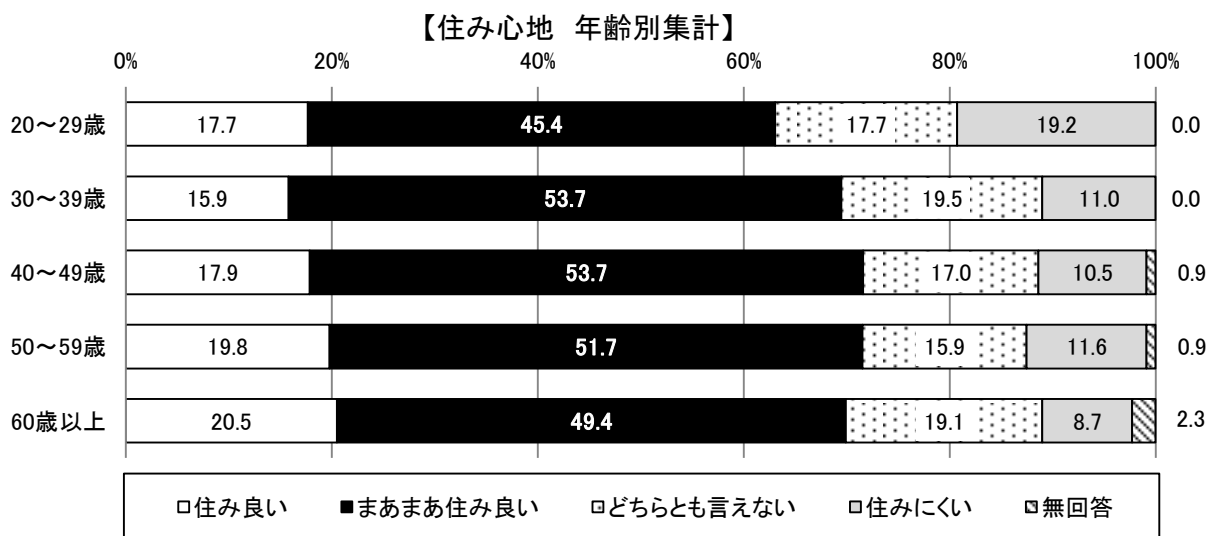
○性別でみると、男女ともほぼ同様の結果となっています。

【住み心地 性別集計】

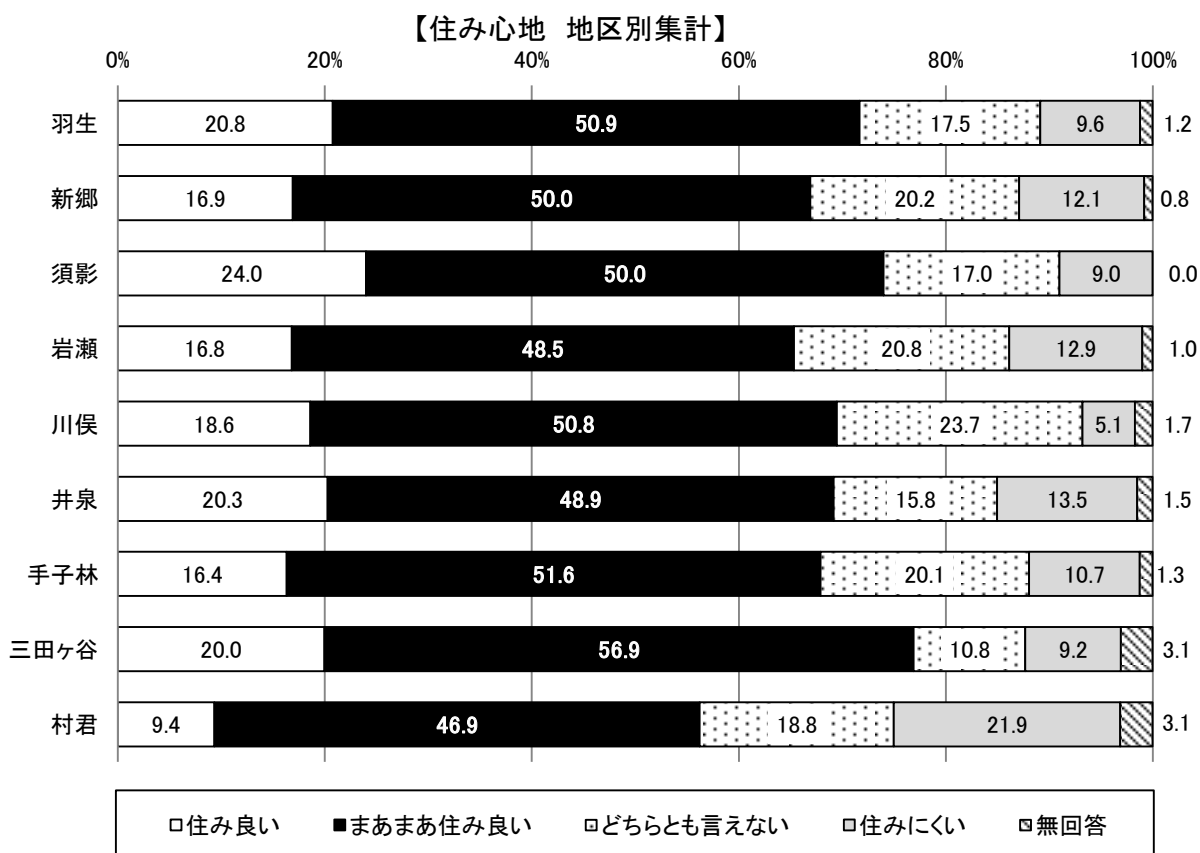


○年齢別でみると、“住み良い”と回答した人はいずれの年代でも過半数となっており、30歳以上の年代では7割前後となっています。

○20～29歳で「住みにくい」とする人が19.2%と最も多くなっています。



○地区別でみると、すべての地区で“住み良い”が過半数となっています。一方、「住みにくい」とする人が村君地区（21.9%）、井泉地区（13.5%）、岩瀬地区（12.9%）で他の地区より多くなっています。



【問1 - a】 問1で「住み良い」あるいは「まあまあ住み良い」を選んだ方にお伺いします。住み良いと思われる理由は何ですか。【複数回答】

○「住み良い」と思われる理由は、「永年住みなれ、愛着がある」が54.7%で最も多く、次いで「自然環境が良い」(40.0%)が続きます。この傾向は、過去の調査でも同様の結果となっています。

問1 - a 住み良いと思う理由

	n	%	前回%
永年住みなれ、愛着がある	547	54.7	71.4
自然環境が良い	400	40.0	39.6
買い物の便が良い	249	24.9	20.9
人間関係が良い	109	10.9	13.8
交通の便が良い	108	10.8	7.8
都市施設が整っている	66	6.6	6.9
公共施設が充実している	48	4.8	5.9
子どもの教育環境が良い	32	3.2	1.8
学校の関係	11	1.1	0.8
商売や事業に便利である	4	0.4	0.4
その他	43	4.3	3.7
全体	1000		

【問1 - b】 問1で「住みにくい」を選んだ方にお伺いします。住みにくいと思われる理由は何ですか。【複数回答】

○「住みにくい」と思われる理由は、「交通の便が悪い」が50.3%で最も多く、次いで「都市施設が整っていない」(31.2%)、「買い物が不便である」(30.6%)などが続きます。上位3項目は、前回調査でも同様ですが、「都市施設が整っていない」は15.0ポイント減少し、「交通の便が悪い」は10.7ポイント増加しています。

問1 - b 住みにくいと思う理由

	n	%	前回%
交通の便が悪い	79	50.3	39.6
都市施設が整っていない	49	31.2	46.2
買い物が不便である	48	30.6	35.2
公共施設が不十分である	19	12.1	11.0
公害などがある	19	12.1	6.6
人間関係が良くない	13	8.3	8.8
子どもの教育環境が良くない	10	6.4	2.2
商売や事業に不利である	10	6.4	15.4
自然環境が良くない	4	2.5	5.5
その他	27	17.2	8.8
全体	157		

1 - 2 定住意向

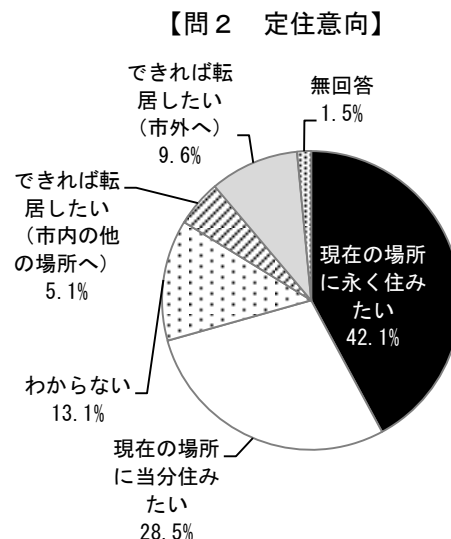
【問2】 あなたは、現在の場所に住み続けたいとお考えですか。

- 定住意向については、「現在の場所に永く住みたい」が42.1%と4割強を占めています。これに「現在の場所に当分住みたい」(28.5%)を合わせた“住み続けたい”が70.6%となっており、定住意向は高い傾向となっています。
- 「できれば転居したい(市外へ)」は9.6%となっています。

問2 定住意向

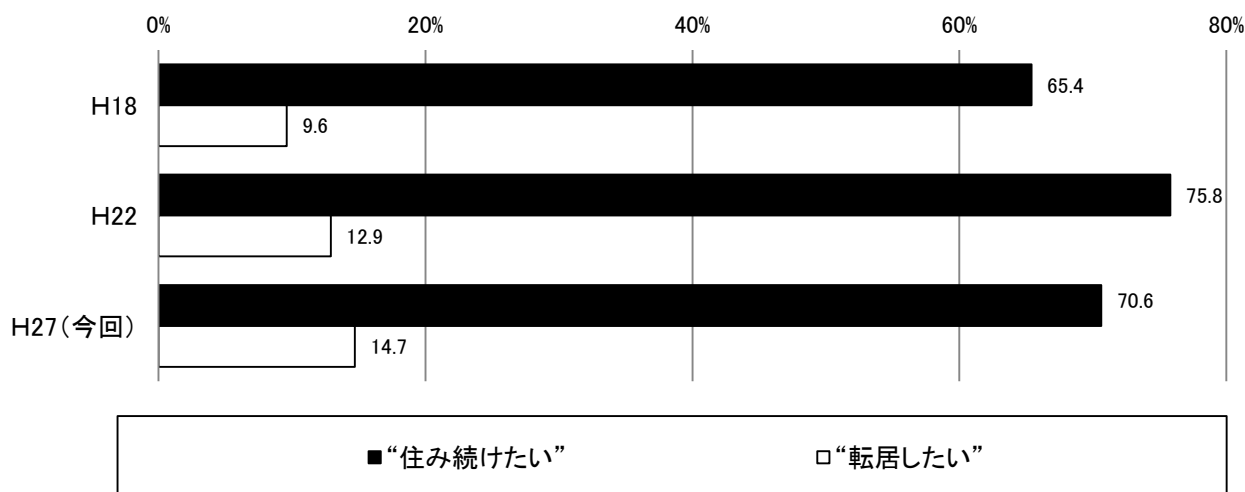
	n	%
現在の場所に永く住みたい	607	42.1
現在の場所に当分住みたい	411	28.5
わからない	189	13.1
できれば転居したい(市内の他の場所へ)	73	5.1
できれば転居したい(市外へ)	139	9.6
無回答	22	1.5
全体	1441	100.0

※“住み続けたい”は「現在の場所に永く住みたい」及び「現在の場所に当分住みたい」の合計としています。(以下同様)



- 過去の調査との時系列で“住み続けたい”の推移をみると、平成22年度より減少していますが、平成18年度と比較すると、増加しています。
- 一方、今回調査の“転居したい”(市内、市外の合計)とこれまでの調査(平成18年度は「なるべく住みたくない」)を比較すると、増加傾向にあります。
- “住み続けたい”及び“転居したい”がいずれも増加していることから、判断を保留していた人(「よくわからない」「無回答」)の割合が減少していることがうかがえます。

【定住意向 時系列集計】

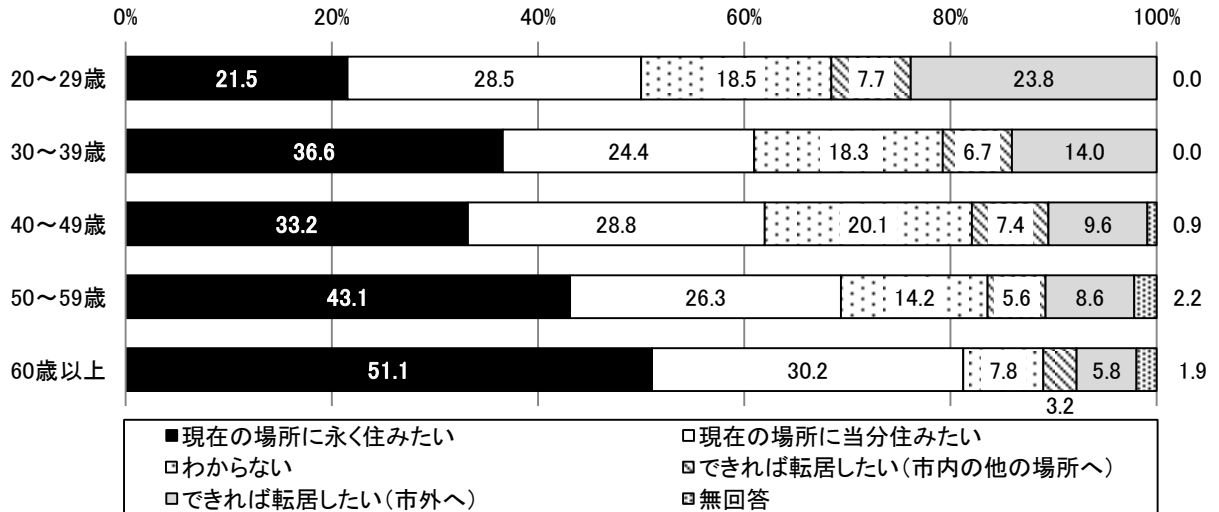


○年齢別でみると、ほとんどすべての年代で“住み続けたい”が過半数を占めており、高齢になるにつれて増加する傾向がみられます。

○「現在の場所に永く住みたい」はおおむね高齢になるにつれて増加する傾向がみられます。

○「できれば転居したい（市外へ）」は20～29歳で23.8%と最も多くなっています。

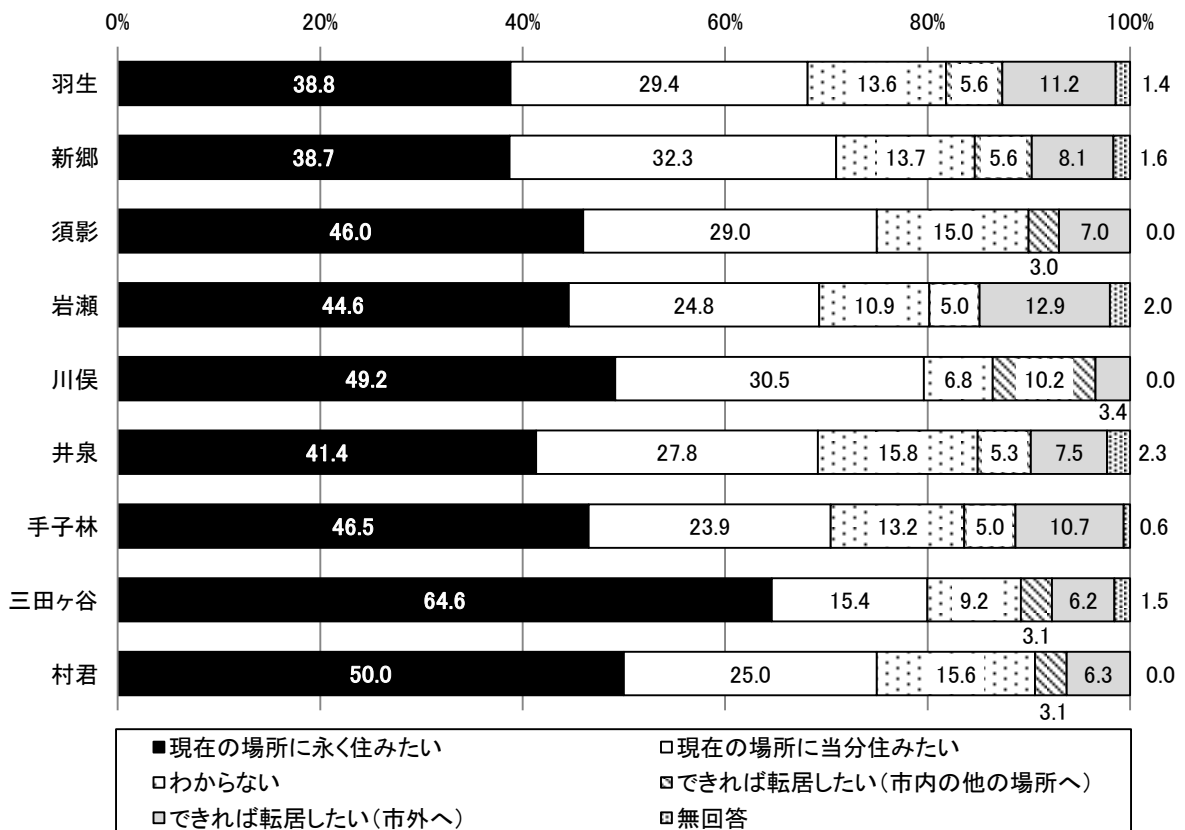
【定住意向 年齢別集計】



○地区別でみると、すべての地区で「現在の場所に永く住みたい」が最も多く、“住み続けたい”が過半数を占めています。また、三田ヶ谷地区と村君地区では「現在の場所に永く住みたい」が半数以上を占めています。

○「できれば転居したい（市内の他の場所へ）」は川俣地区で10.2%となっており、他地区に比べて多くなっています。

【定住意向 年齢別集計】

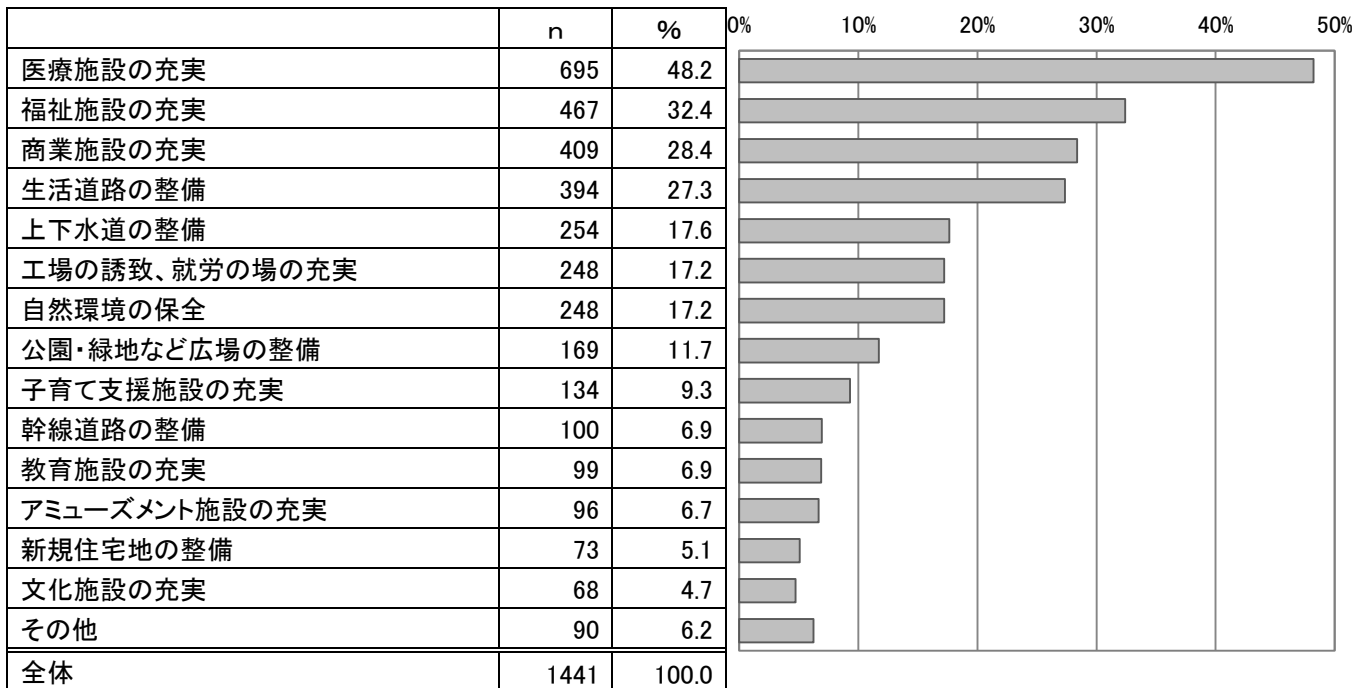


1 - 3 住み続けるために必要なもの

【問3】 今後、住み続けるにあたって必要なものは何ですか。【複数回答】

○住み続けるにあたって必要なものについては、「医療施設の充実」が48.2%と半数弱を占めて最も多く、次いで「福祉施設の充実」(32.4%)、「商業施設の充実」(28.4%)、「生活道路の整備」(27.3%)などが続きます。

問3 今後、住み続けるために必要なもの



○年齢別でみると、すべての年代で「医療施設の充実」「商業施設の充実」「生活道路の整備」が上位項目となっています。

○「福祉施設の充実」については40歳以上で上位項目となっていますが、40歳未満では少なくなっています。一方、40歳未満では「子育て支援の施設の充実」が多くなっています。

【住み続けるために必要なもの 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
医療施設の充実	② 24.6	① 36.6	① 48.0	① 54.3	① 55.4
福祉施設の充実	8.5	17.7	22.3	② 35.8	② 42.8
商業施設の充実	① 31.5	② 35.4	② 31.4	③ 34.9	22.1
生活道路の整備	③ 23.8	③ 26.2	② 31.4	23.3	③ 27.6
上下水道の整備	9.2	18.9	17.9	21.1	18.1
工場の誘致、就労の場の充実	19.2	15.2	16.6	22.4	15.2
自然環境の保全	16.2	9.1	16.2	15.9	20.8
公園・緑地など広場の整備	19.2	18.3	10.0	6.0	10.7
子育て支援施設の充実	21.5	21.3	8.3	6.5	5.7
幹線道路の整備	13.1	7.3	4.8	4.7	6.6
教育施設の充実	8.5	15.9	7.0	5.6	4.7
アミューズメント施設の充実	18.5	16.5	6.1	5.2	2.6
新規住宅地の整備	6.9	4.9	5.7	5.6	4.4
文化施設の充実	6.9	4.9	5.2	6.5	3.9
その他	7.7	9.1	9.6	6.9	3.7

※第1位～第3位を①～③で記しています。

- 地区別でみると、川俣地区では「生活道路の整備」、村君地区では「商業施設の充実」が最も多く、それ以外の地区では「医療施設の充実」が最も多くなっています。
- 羽生地区と手子林地区を除くすべての地区で「生活道路の整備」が上位項目となっています。
- 岩瀬地区と川俣地区では「上下水道の整備」が上位項目となっています。

【住み続けるために必要なもの 地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
医療施設の充実	①51.9	①43.5	①49.0	①35.6	②37.3	①54.1	①50.9	①44.6	②43.8
福祉施設の充実	②33.0	②34.7	②38.0	23.8	25.4	27.8	②31.4	②33.8	25.0
商業施設の充実	③30.2	③29.0	16.0	22.8	23.7	③30.1	③30.2	26.2	①46.9
生活道路の整備	19.9	③29.0	③37.0	②29.7	①47.5	②33.1	27.7	③29.2	③34.4
上下水道の整備	11.0	23.4	24.0	③27.7	③27.1	18.8	28.3	12.3	6.3
工場の誘致、就労の場の充実	18.2	15.3	18.0	16.8	20.3	14.3	11.3	21.5	21.9
自然環境の保全	15.7	20.2	20.0	15.8	16.9	15.8	20.8	18.5	25.0
公園・緑地など広場の整備	11.7	14.5	9.0	17.8	22.0	9.0	6.9	4.6	9.4
子育て支援施設の充実	9.3	13.7	7.0	11.9	8.5	8.3	9.4	13.8	6.3
幹線道路の整備	6.5	7.3	4.0	6.9	6.8	9.8	5.7	7.7	6.3
教育施設の充実	7.3	8.9	5.0	9.9	6.8	5.3	5.7	9.2	0.0
アミューズメント施設の充実	7.3	7.3	6.0	7.9	3.4	6.8	5.7	9.2	0.0
新規住宅地の整備	3.8	6.5	11.0	4.0	8.5	3.0	1.9	10.8	15.6
文化施設の充実	6.1	5.6	4.0	2.0	6.8	2.3	4.4	6.2	3.1
その他	6.1	4.0	5.0	8.9	0.0	6.8	9.4	3.1	9.4

※第1位～第3位を①～③で記しています。

2 市役所の取り組みなどについて

2 - 1 広報はにゅうの閲読

【問4】 あなたは、市の広報紙『広報はにゅう』を読んでいますか。

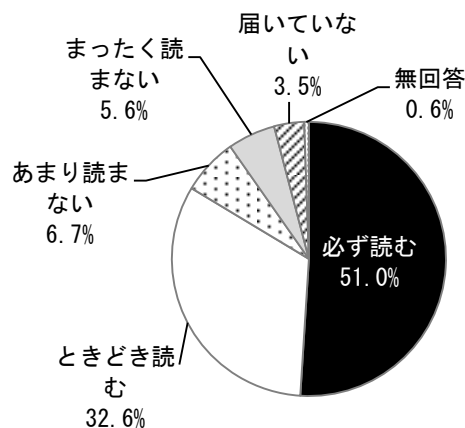
○『広報はにゅう』の閲読については、「必ず読む」が51.0%で約半数を占めて最も多く、これに「ときどき読む」(32.6%)を合わせた“読む”が83.6%と8割強を占めています。

問4 広報はにゅうの閲読

	n	%
必ず読む	735	51.0
ときどき読む	470	32.6
あまり読まない	96	6.7
まったく読まない	81	5.6
届いていない	51	3.5
無回答	8	0.6
全体	1441	100.0

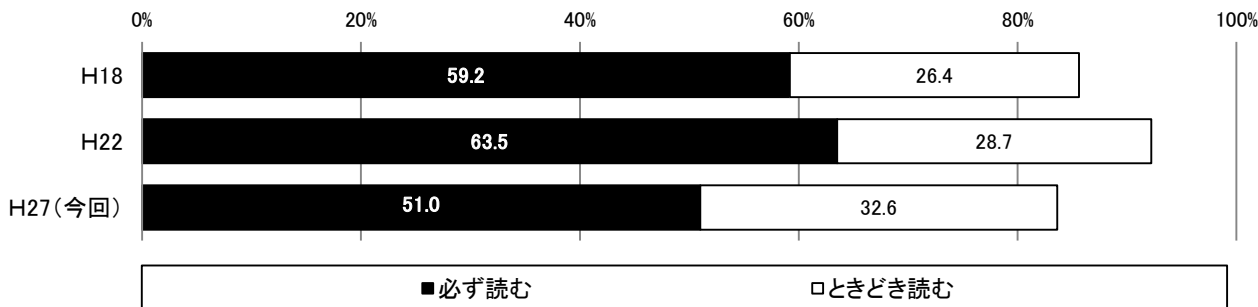
※“読む”は「必ず読む」及び「ときどき読む」の合計ととしています。
(以下同様)

【問4 広報はにゅうの閲読】



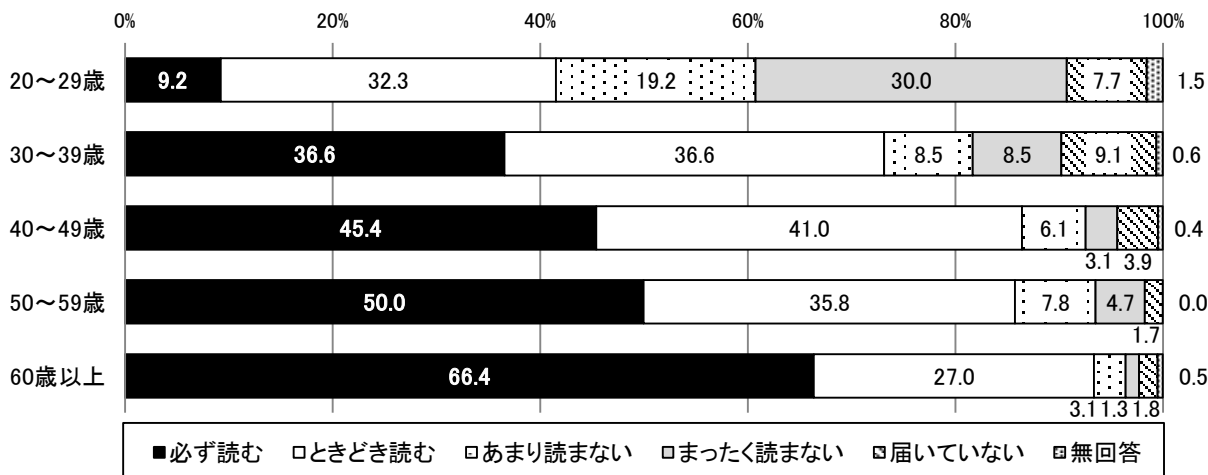
○過去の調査との時系列で“読む”の推移をみると、平成22年度より減少しています。

【広報はにゅうの閲読 時系列集計】



○年齢別でみると、60歳以上では93.4%が“読む”としているのに対し、20～29歳では41.5%になっています。また、20～29歳は「まったく読まない」が30.0%を占め、他の年代に比べて高くなっています。

【広報はにゅうの閲読 年齢別集計】



2 - 2 ぎかいだよりの閲読

【問5】 あなたは、市議会の広報紙『ぎかいだより』を読んでいますか。

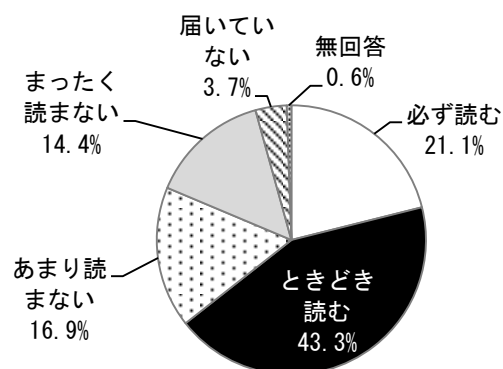
○『ぎかいだより』の閲読については、「ときどき読む」が43.3%で最も多く、これに「必ず読む」(21.1%)を合わせた“読む”が64.4%と6割以上を占めています。

問5 ぎかいだよりの閲読

	n	%
必ず読む	304	21.1
ときどき読む	624	43.3
あまり読まない	244	16.9
まったく読まない	207	14.4
届いていない	54	3.7
無回答	8	0.6
全体	1441	100.0

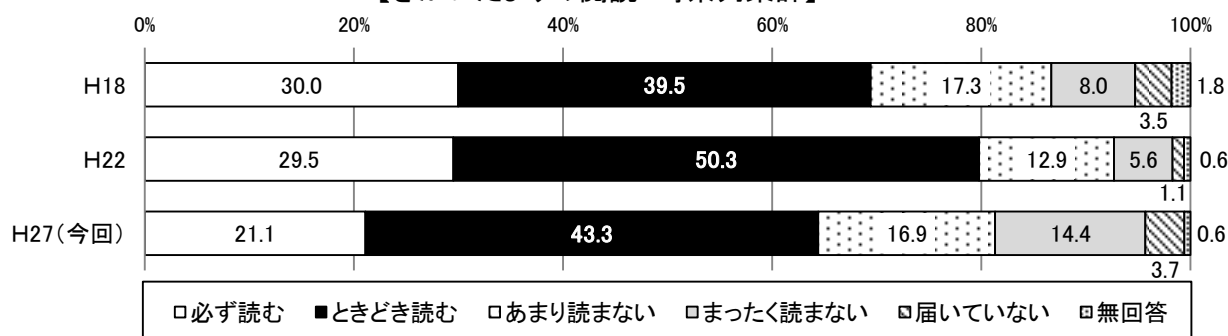
※“読む”は「必ず読む」及び「ときどき読む」の合計としています。(以下同様)

【問5 ぎかいだよりの閲読】



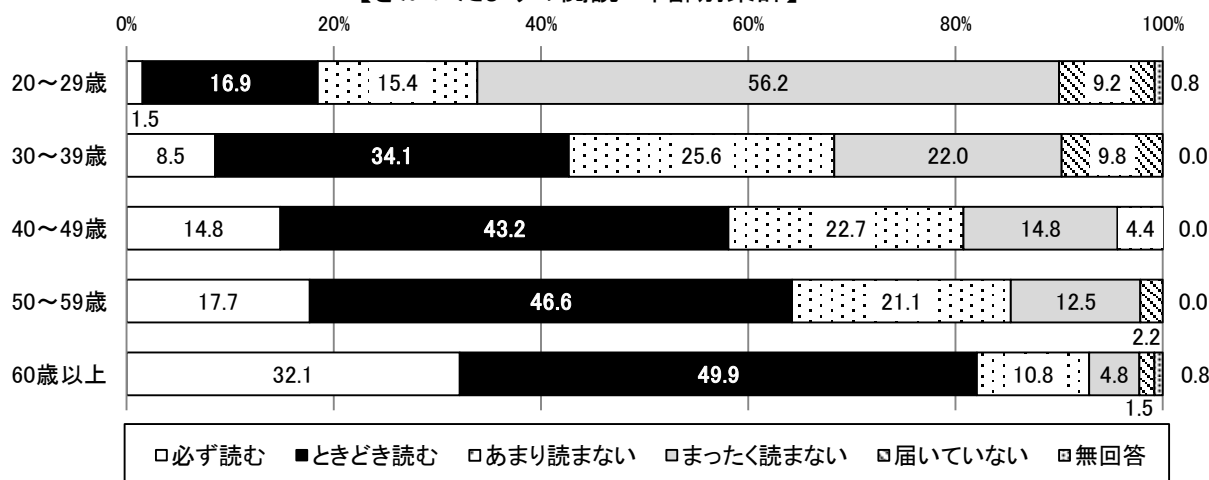
○過去の調査との時系列でみると、平成22年と比べ「必ず読む」及び「ときどき読む」が減少し、「あまり読まない」及び「まったく読まない」が増加しています。

【ぎかいだよりの閲読 時系列集計】



○年齢別でみると、60歳以上では82.0%が“読む”としているのに対し、20～29歳では18.4%にとどまります。また、20～29歳は「まったく読まない」が56.2%を占め、他の年代に比べて高くなっています。

【ぎかいだよりの閲読 年齢別集計】



2 - 3 自治基本条例の認知度

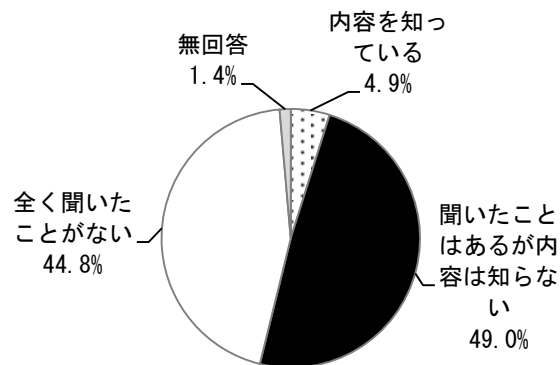
【問6】 羽生市まちづくり自治基本条例についてご存知ですか。

- 自治基本条例の認知度については、「聞いたことはあるが内容は知らない」が49.0%で最も多く、次いで「全く聞いたことがない」が44.8%となっています。
- 「内容を知っている」は4.9%にとどまり、認知度は低い結果となっています。

【問6 自治基本条例の認知度】

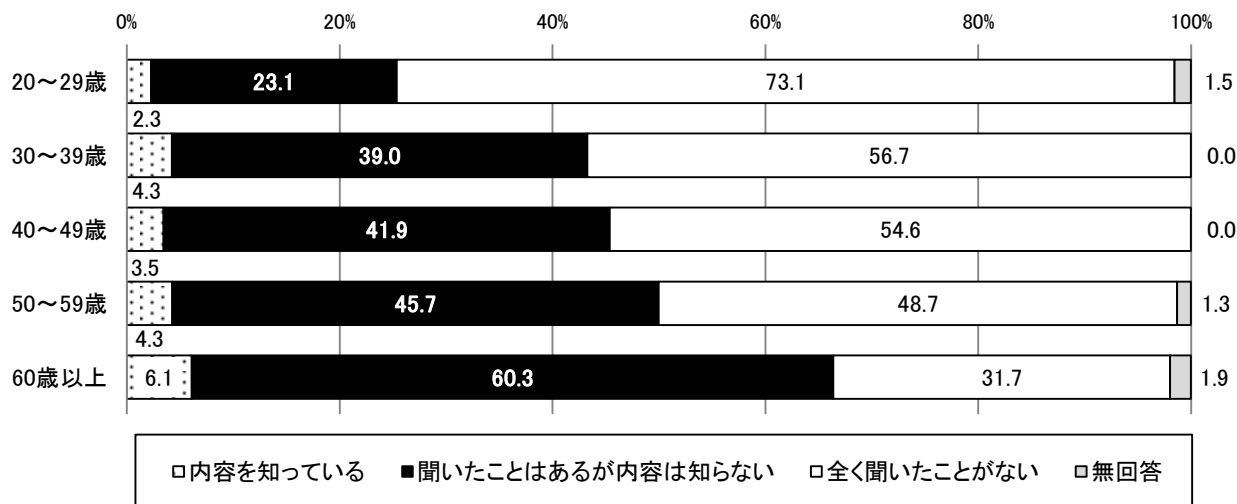
問6 自治基本条例の認知度

	n	%
内容を知っている	70	4.9
聞いたことはあるが内容は知らない	706	49.0
全く聞いたことがない	645	44.8
無回答	20	1.4
全体	1441	100.0



- 年齢別で見ると、「内容を知っている」はおおむね高齢になるにつれて増加する傾向がみられます。
- 「聞いたことはあるが内容は知らない」は高齢になるにつれて多くなり、「全く聞いたことがない」は高齢になるにつれて少なくなっています。

【自治基本条例の認知度 年齢別集計】



2 - 4 計画づくりへの参加意向

【問7】 あなたは、市の計画づくりに市民参加の機会がある場合、参加してみたいですか。

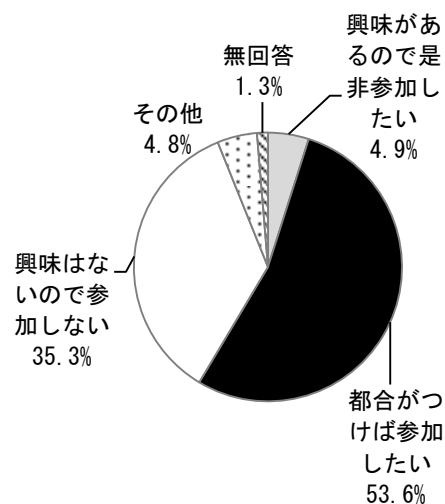
- 計画づくりへの参加意向については、「都合がつけば参加したい」が53.6%と半数以上を占めて最も多く、これに「興味があるので是非参加したい」(4.9%)を合わせた“参加したい”が58.5%となっています。
- 「興味はないので参加しない」が35.3%となっています。

【問7 計画づくりへの参加意向】

問7 計画づくりへの参加意向

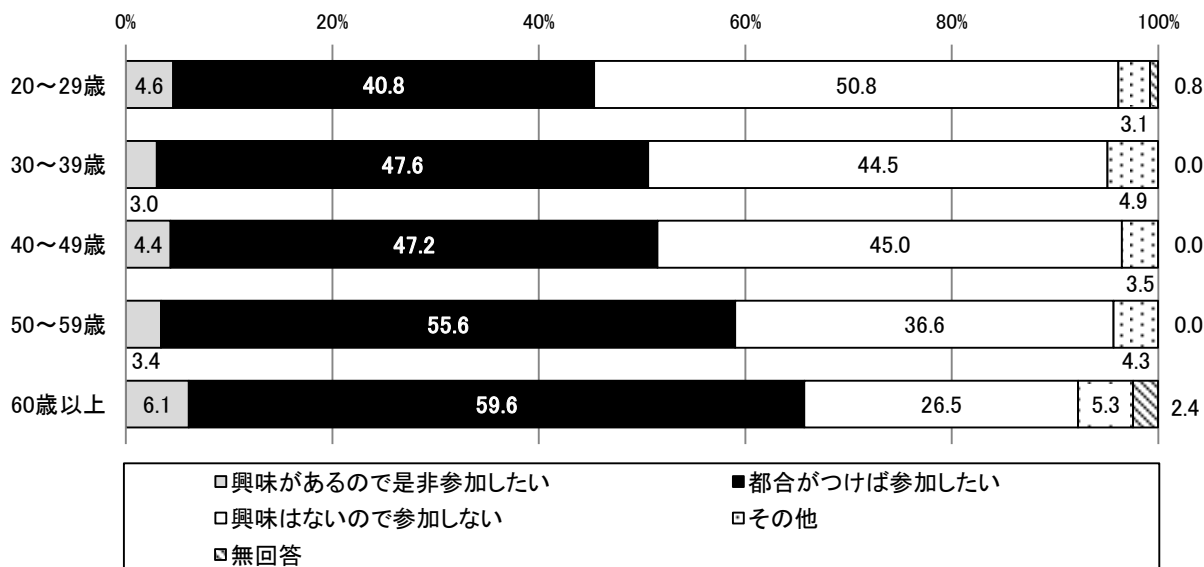
	n	%
興味があるので是非参加したい	71	4.9
都合がつけば参加したい	773	53.6
興味はないので参加しない	509	35.3
その他	69	4.8
無回答	19	1.3
全体	1441	100.0

※“参加したい”は「興味があるので是非参加したい」及び「都合がつけば参加したい」の合計としています。(以下同様)



- 年齢別でみると、“参加したい”は高齢になるにつれて増加する傾向がみられます。
- 「興味はないので参加しない」は若年になるにつれて増加する傾向がみられます。
- すべての年代で「都合がつけば参加したい」が4割以上を占めています。

【計画づくりへの参加意向 年齢別集計】



2 - 5 市政・市役所に対する印象

【問8】 あなたは、市政や市役所の職員について、どのような印象をお持ちですか。

- 市政や市役所の職員に対する印象について尋ねたところ、“窓口対応の親切さ”を除き「どちらとも言えない」が最も多くなっています。これは、市民が市政や市役所に対し、「良い」とも「悪い」とも判断がつかない、あいまいな印象を持っていることの裏づけとなります。
- さらに、市政や市役所に対する印象（イメージ）を一様に評価するため、各項目の5段階評価を加重平均によって点数化して、プラスとマイナスのイメージで表すことにしました。

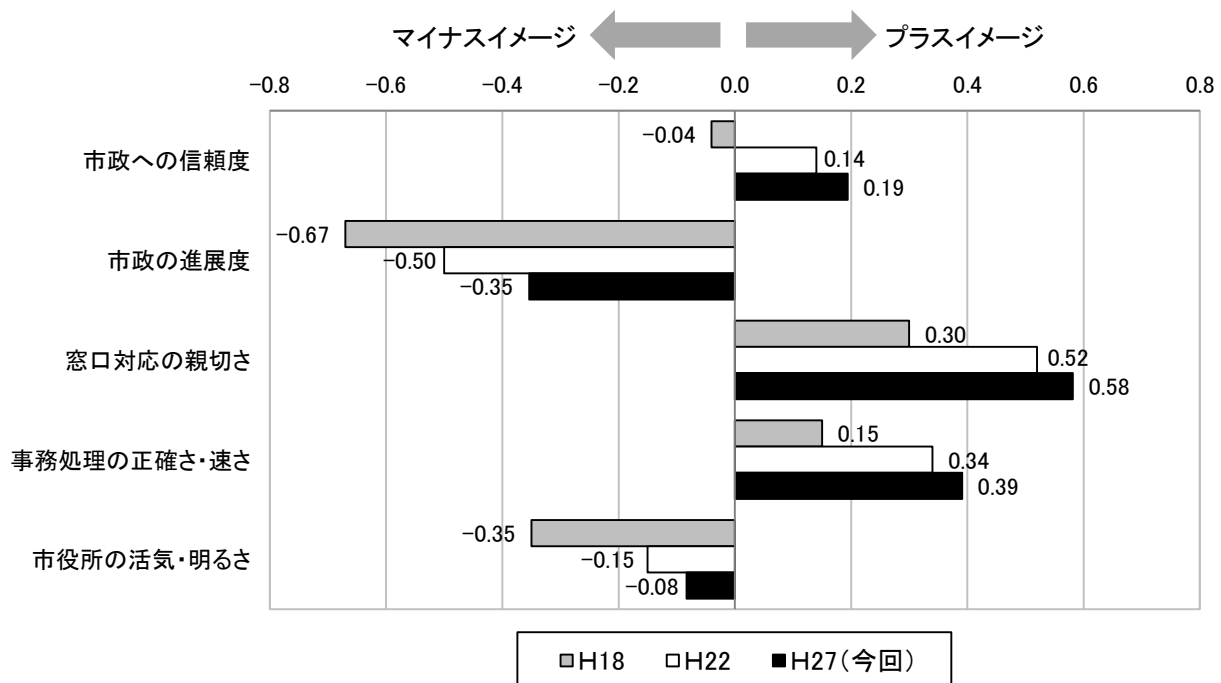
※市政・市役所に対する印象（イメージ）の評価点の算出方法

例) (1) 市政への信頼度

$$\left[\begin{array}{l} (\text{「非常に信頼できる」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「信頼できる」} \\ \text{の回答者数} \times 1 \text{点}) + (\text{「どちらとも言えない」の回答者数} \times \\ 0 \text{点}) + (\text{「やや信頼できない」の回答者数} \times -1 \text{点}) + (\text{「信頼} \\ \text{できない」の回答者数} \times -2 \text{点}) \end{array} \right] \div \left[\begin{array}{l} \text{「非常に信頼できる」「信頼できる」「どち} \\ \text{らとも言えない」「やや信頼できない」「信} \\ \text{頼できない」の回答者数} \end{array} \right] = \text{評価点}$$

- プラスイメージを最も多く持たれているのは「窓口対応の親切さ」で、次いで「事務処理の正確さ・速さ」が続きます。
- マイナスイメージを最も多く持たれているのは「市政の進展度」となっています。
- 過去の調査との時系列でみると、すべての項目でイメージが上がっています。

【市役所に対する印象度 時系列別加重平均値】

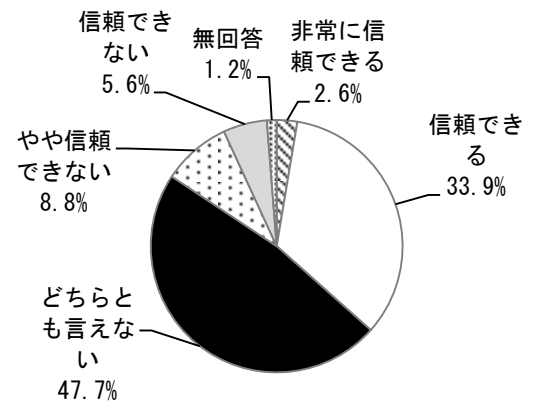


(1) 市政への信頼度

問 8 - 1 市政への信頼度

	n	%
非常に信頼できる	38	2.6
信頼できる	489	33.9
どちらとも言えない	688	47.7
やや信頼できない	127	8.8
信頼できない	81	5.6
無回答	18	1.2
全体	1441	100.0

【問 8 - 1 市政への信頼度】

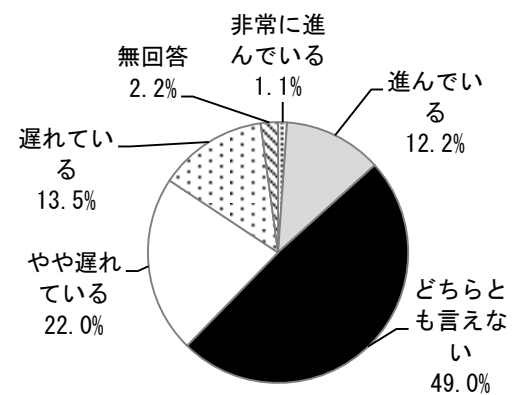


(2) 市政の進展度

問 8 - 2 市政の進展度

	n	%
非常に進んでいる	16	1.1
進んでいる	176	12.2
どちらとも言えない	706	49.0
やや遅れている	317	22.0
遅れている	195	13.5
無回答	31	2.2
全体	1441	100.0

【問 8 - 2 市政の進展度】

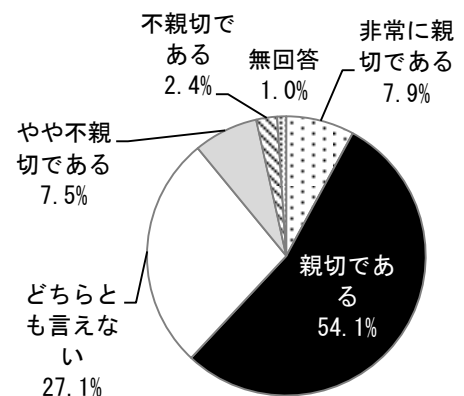


(3) 窓口対応の親切さ

問 8 - 3 窓口対応の親切さ

	n	%
非常に親切である	114	7.9
親切である	779	54.1
どちらとも言えない	390	27.1
やや不親切である	108	7.5
不親切である	35	2.4
無回答	15	1.0
全体	1441	100.0

【問 8 - 3 窓口対応の親切さ】

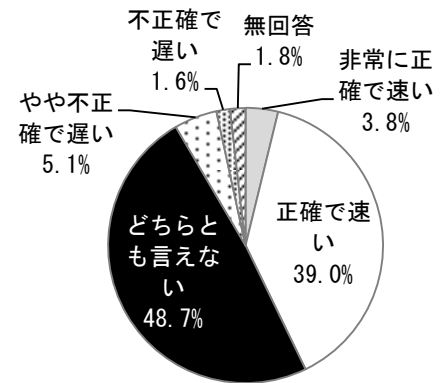


(4) 事後処理の正確さ・速さ

問8 - 4 事後処理の正確さ・速さ

	n	%
非常に正確で速い	55	3.8
正確で速い	562	39.0
どちらとも言えない	702	48.7
やや不正確で遅い	73	5.1
不正確で遅い	23	1.6
無回答	26	1.8
全体	1441	100.0

【問8 - 4 事務処理の正確さ・速さ】

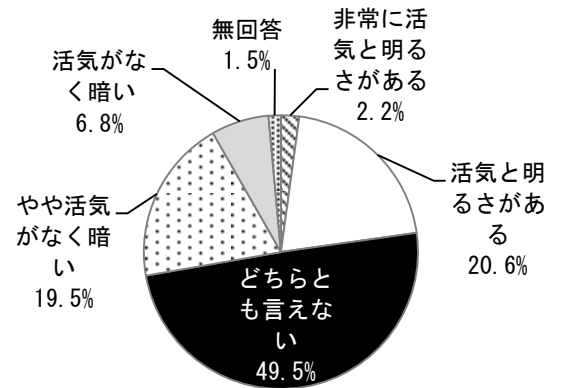


(5) 市役所の活気・明るさ

問8 - 5 市役所の活気・明るさ

	n	%
非常に活気と明るさがある	31	2.2
活気と明るさがある	297	20.6
どちらとも言えない	713	49.5
やや活気がなく暗い	281	19.5
活気がなく暗い	98	6.8
無回答	21	1.5
全体	1441	100.0

【問8 - 5 市役所の活気・明るさ】



3 コミュニティについて

3 - 1 近所付き合い

【問9】 あなたとご近所の方との付き合いはどうか

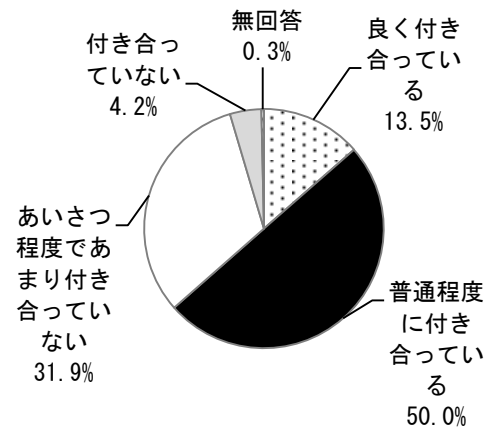
- 近所付き合いについては、「普通程度に付き合っている」が50.0%で最も多く、これと「良く付き合っている」(13.5%)を合わせた“近所付き合いがある”が63.5%となっています。
- 「あいさつ程度であまり付き合っていない」(31.9%)と「付き合っていない」(4.2%)を合わせた“近所付き合いがない”は36.1%となっています。

【問9 近所付き合い】

問9 近所付き合い

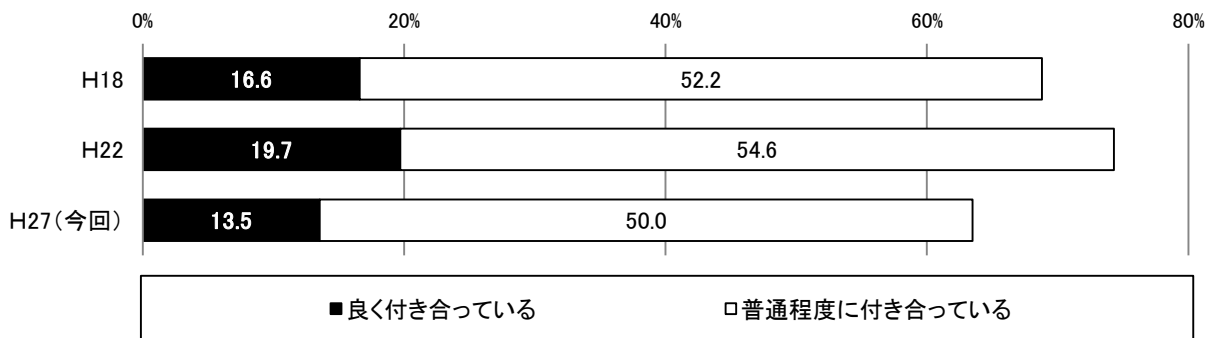
	n	%
良く付き合っている	195	13.5
普通程度に付き合っている	720	50.0
あいさつ程度であまり付き合っていない	460	31.9
付き合っていない	61	4.2
全体	1441	100.0

※“近所付き合いがある”は「良く付き合っている」及び「普通程度に付き合っている」の合計、“近所付き合いがない”は「あいさつ程度であまり付き合っていない」及び「付き合っていない」の合計としています。(以下同様)

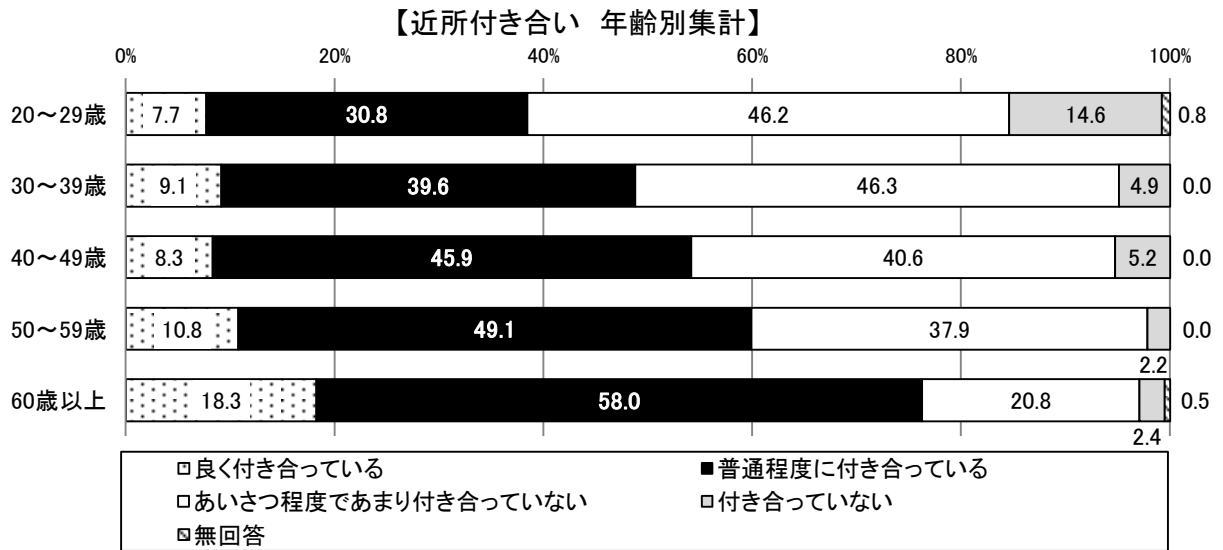


- 過去の調査との時系列で“近所付き合いがある”の推移をみると、平成22年度より大きく減少しています。

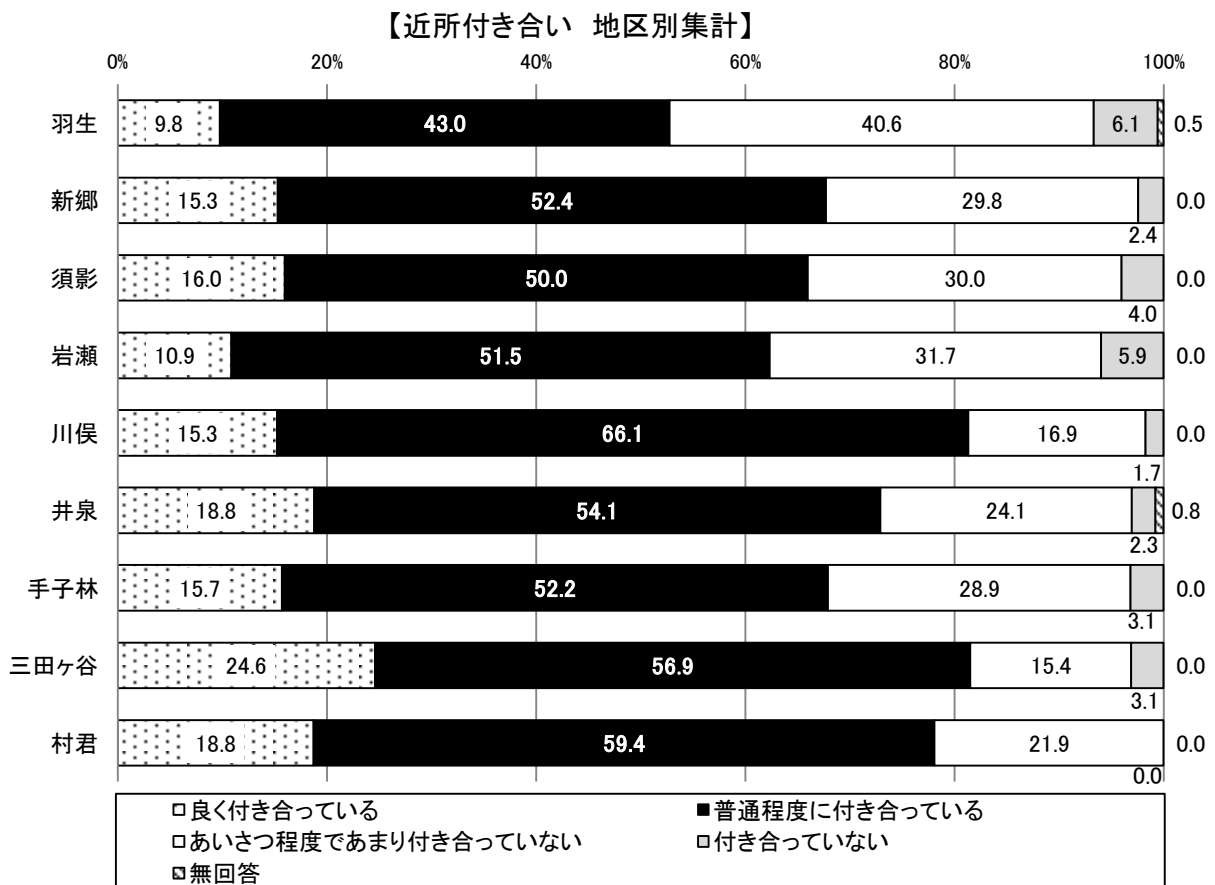
【近所付き合い 時系列集計】



○年齢別でみると、“近所付き合いがある”は高齢になるほど増加し、一方、“近所付き合いがない”は減少しています。



○地区別でみると、すべての地区で「普通程度に付き合っている」が最も多くなっています。次いで三田ヶ谷地区では「良く付き合っている」が続き、それ以外の地区では「あいさつ程度であまり付き合っていない」が続きます。



3 - 2 行事への参加

【問10】 自治会などの行う会合や行事に参加していますか。

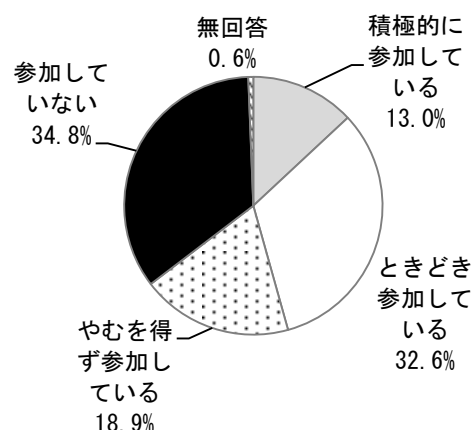
- 行事への参加については、「参加していない」が 34.8%で最も多く、次いで「ときどき参加している」(32.6%)が続きます。
- 「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」を合わせた“参加している”は 64.5%となっています。

【問10 行事への参加】

問 10 行事への参加

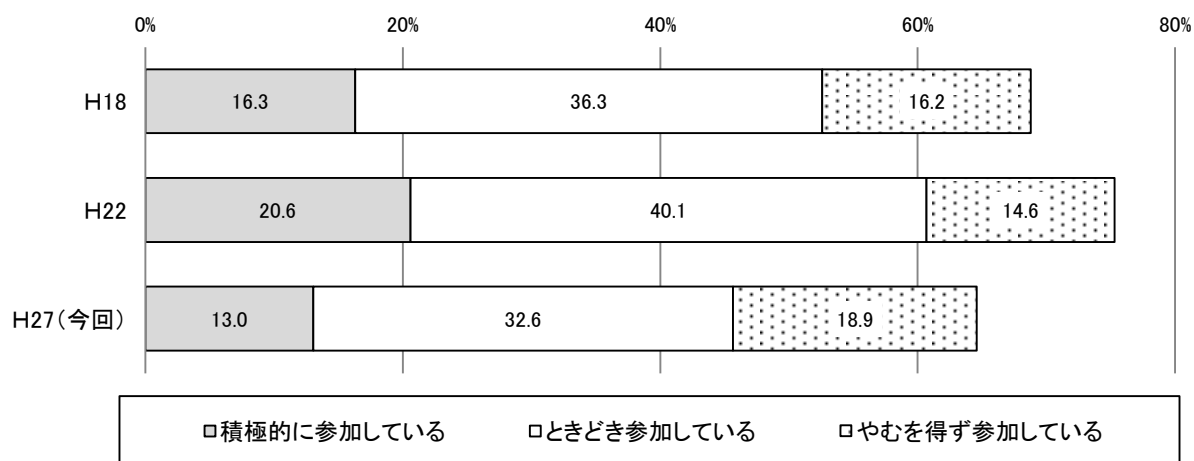
	n	%
積極的に参加している	188	13.0
ときどき参加している	470	32.6
やむを得ず参加している	273	18.9
参加していない	501	34.8
無回答	9	0.6
全体	1441	100.0

※“参加している”は「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」の合計としています。(以下同様)



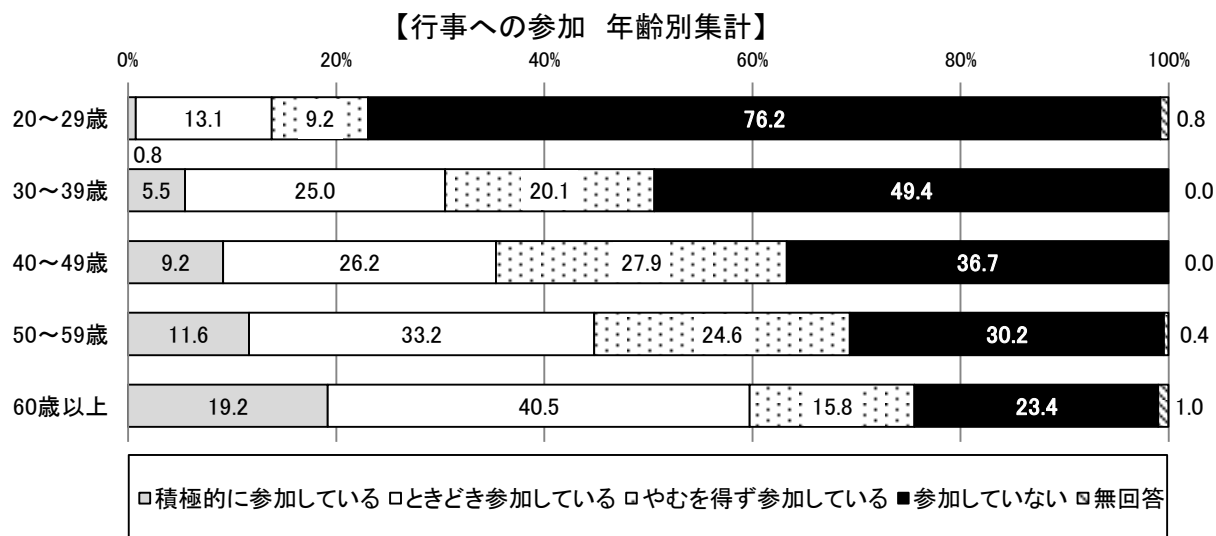
- 過去の調査との時系列で“参加している”の推移をみると、平成 22 年度では平成 18 年度より増加しましたが、今回の調査では減少し、平成 18 年度を下回ります。
- 平成 22 年度で増加した「ときどき参加している」「積極的に参加している」についても、今回の調査では減少しています。

【行事への参加 時系列集計】



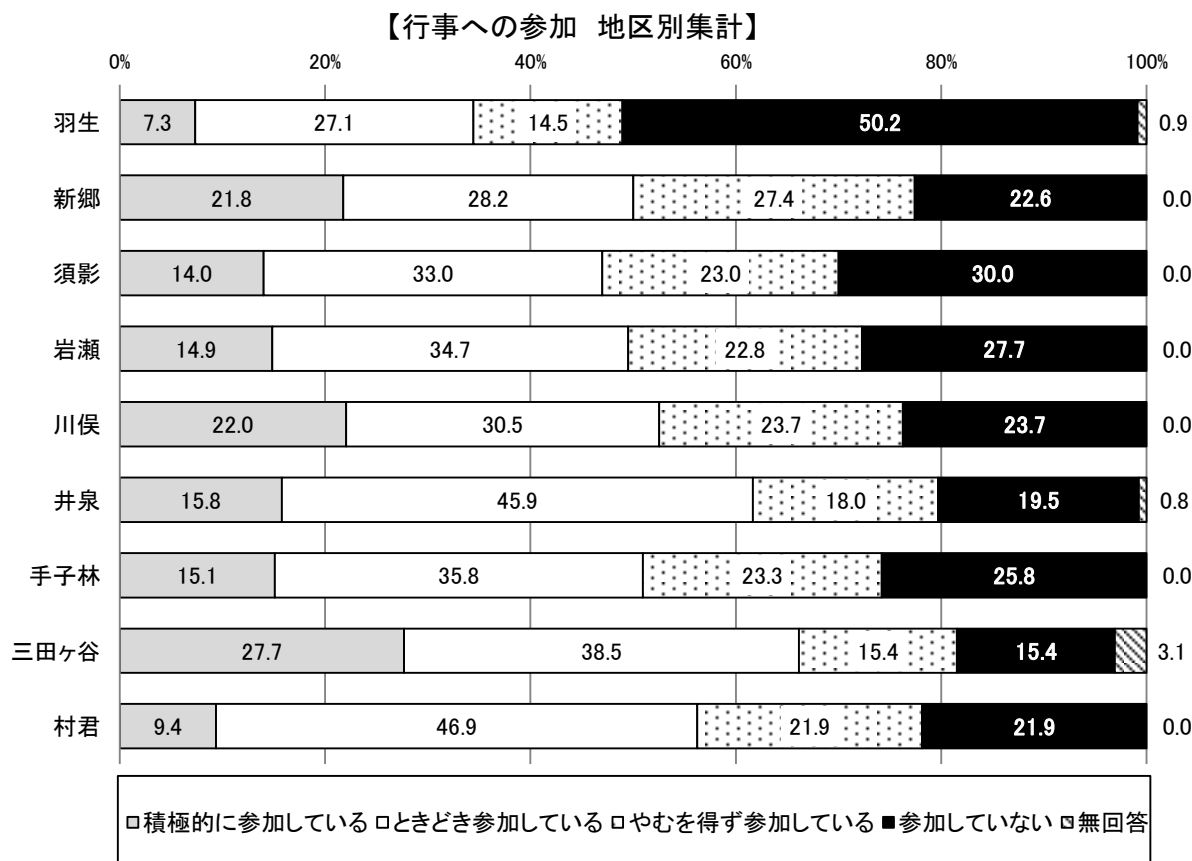
○年齢別でみると、50歳未満では「参加していない」が最も多く、50歳以上では「ときどき参加している」が最も多くなっています。

○“参加している”は高齢になるにつれて多くなり、一方、「参加していない」は高齢になるにつれて少なくなっています。



○地区別でみると、羽生地区では「参加していない」が最も多く、それ以外の地区では「ときどき参加している」が最も多くなっています。

○「積極的に参加している」は三田ヶ地区が27.7%で、それ以外の地区に比べて最も多くなっています。



3 - 3 市民モラル

【問11】 あなたは、市民モラルについてどのように感じていますか。

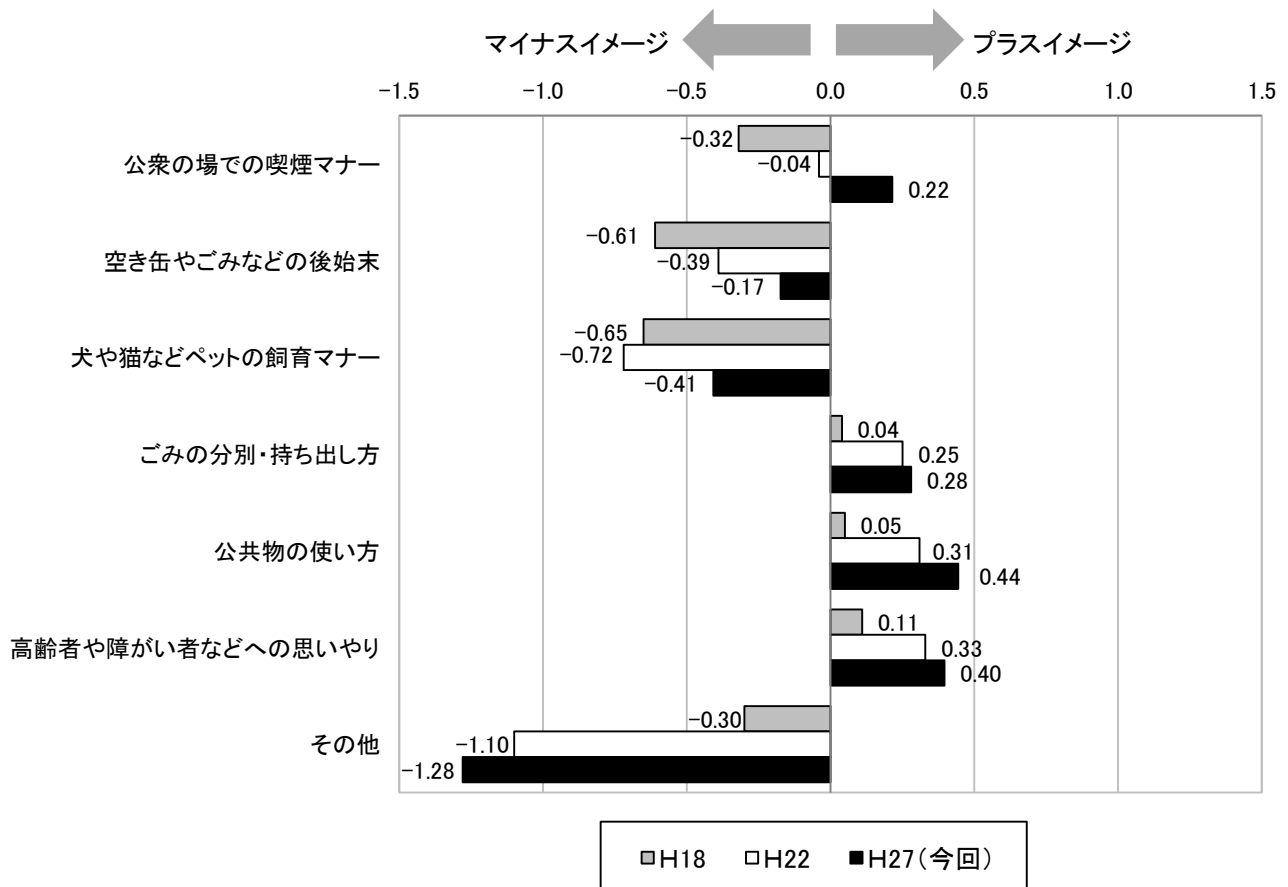
- 市民モラルについてどのように感じているかを尋ねたところ、「公共物の使い方」で“良い”（「良い」及び「どちらかといえば良い」の合計）とする人が66.2%で最も多くなっています。
- さらに、市民モラルについてどのように感じているかを一様に評価するため、各項目の4段階評価を加重平均によって点数化して、プラスとマイナスのイメージで表すこととしました。

※市民モラルに対する印象(イメージ)の評価点の算出方法

$$\left[\begin{array}{l} (\text{「良い」} \times 2 \text{点}) + (\text{「どちらかといえば良い」の回答者数} \times 1 \\ \text{点}) + (\text{「どちらかといえば悪い」の回答者数} \times -1 \text{点}) + (\text{「悪い」} \\ \text{点}) \times -2 \text{点} \end{array} \right] \div \left[\begin{array}{l} \text{「良い」「どちらかといえば良い」「どちらか} \\ \text{といえば悪い」「悪い」の回答者数} \end{array} \right] = \text{評価点}$$

- プラスイメージを最も多く持たれているのは「公共物の使い方」で、次いで「高齢者や障がい者などへの思いやり」「ごみの分別・持ち出し方」となっています。
- マイナスイメージを最も多く持たれているのは「犬や猫などペットの飼育マナー」で、次いで「空き缶やごみなどの後始末」となっています。
- 過去の調査との時系列でみると、「その他」を除くすべての項目でイメージが上がっています。

【モラルに対する印象度 時系列別加重平均値】

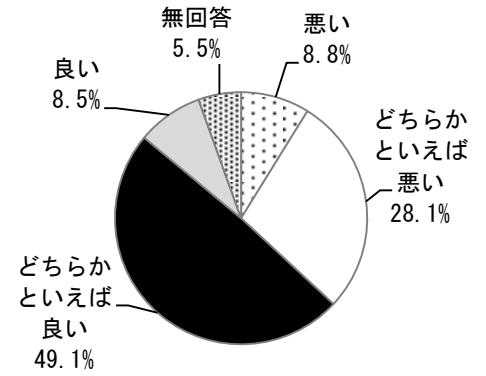


(1) 公衆の場での喫煙マナー

問 11 - 1 公衆の場での喫煙マナー

	n	%
悪い	127	8.8
どちらかといえば悪い	405	28.1
どちらかといえば良い	708	49.1
良い	122	8.5
無回答	79	5.5
全体	1441	100.0

【問11-1 公衆の場での喫煙マナー】

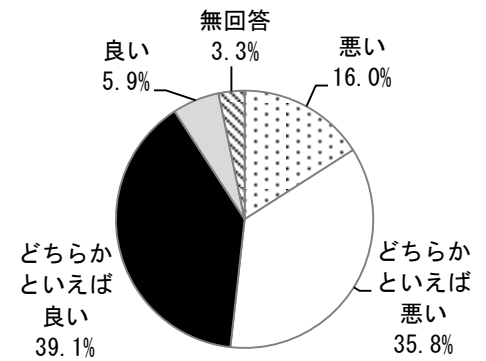


(2) 空き缶やごみなどの後始末

問 11 - 2 空き缶やごみなどの後始末

	n	%
悪い	230	16.0
どちらかといえば悪い	516	35.8
どちらかといえば良い	563	39.1
良い	85	5.9
無回答	47	3.3
全体	1441	100.0

【問11-2 空き缶やごみなどの後始末】

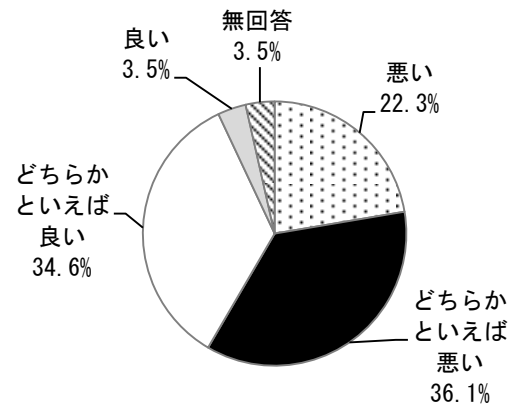


(3) 犬や猫などペットの飼育マナー

問 11 - 3 犬や猫などペットの飼育マナー

	n	%
悪い	322	22.3
どちらかといえば悪い	520	36.1
どちらかといえば良い	498	34.6
良い	50	3.5
無回答	51	3.5
全体	1441	100.0

【問11-3 犬や猫などペットの飼育マナー】

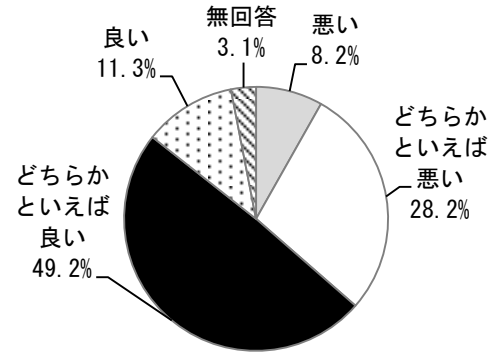


(4) ごみの分別・持ち出し方

問 11 - 4 ごみの分別・持ち出し方

	n	%
悪い	118	8.2
どちらかといえば悪い	407	28.2
どちらかといえば良い	709	49.2
良い	163	11.3
無回答	44	3.1
全体	1441	100.0

【問11-4 ごみの分別・持ち出し方】

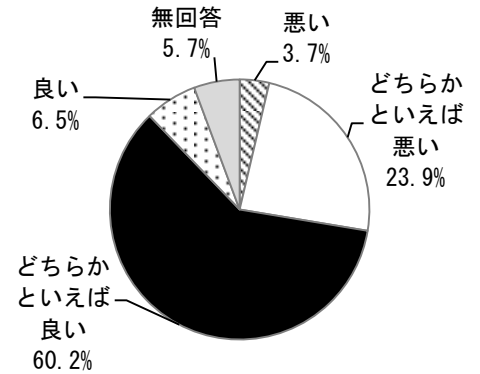


(5) 公共物の使い方

問 11 - 5 公共物の使い方

	n	%
悪い	53	3.7
どちらかといえば悪い	345	23.9
どちらかといえば良い	867	60.2
良い	94	6.5
無回答	82	5.7
全体	1441	100.0

【問11-5 公共物の使い方】

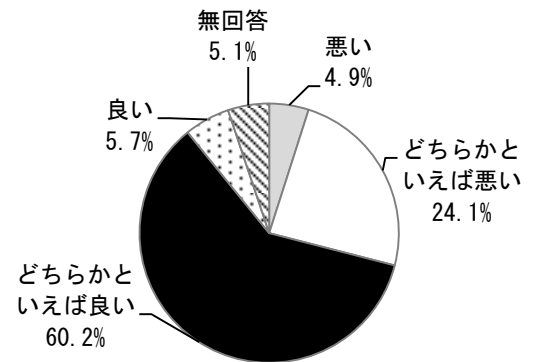


(6) 高齢者や障がい者などへの思いやり

問 11 - 6 高齢者や障がい者などへの思いやり

	n	%
悪い	71	4.9
どちらかといえば悪い	347	24.1
どちらかといえば良い	867	60.2
良い	82	5.7
無回答	74	5.1
全体	1441	100.0

【問11-6 高齢者や障がい者等への思いやり】

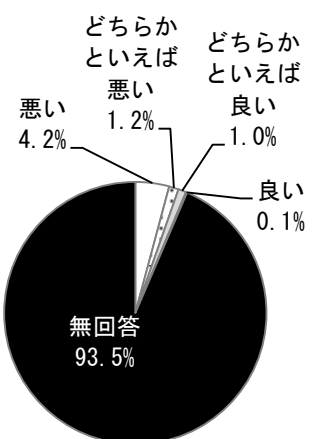


(7) その他

問 11 - 7 その他

	n	%
悪い	60	4.2
どちらかといえば悪い	17	1.2
どちらかといえば良い	14	1.0
良い	2	0.1
無回答	1348	93.5
全体	1441	100.0

【問11-7 その他】

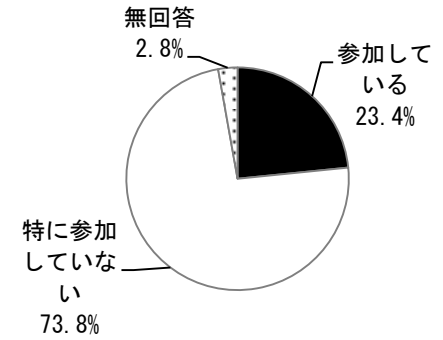


3 - 4 ボランティア活動／理由

【問12】 あなたは、現在どのようなボランティア活動に参加していますか。【複数回答】

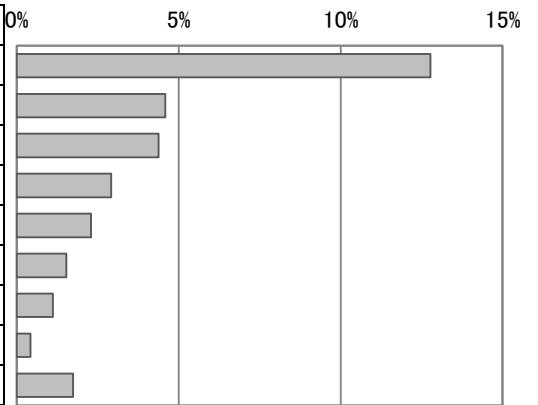
- ボランティア活動については、「特に参加していない」が73.8%で最も多く、7割強を占めます。
- ボランティア活動の内容については、「地域社会（自治会活動、交通安全、非行防止・犯罪防止）」が12.8%で最も多く、次いで「環境保全（公害、エネルギー、リサイクルなど）」(4.6%)、「福祉活動（高齢者・障がい者支援、子育ての支援など）」(4.4%)などが続きます。

【問12 ボランティア活動の参加状況】



問12 ボランティア活動

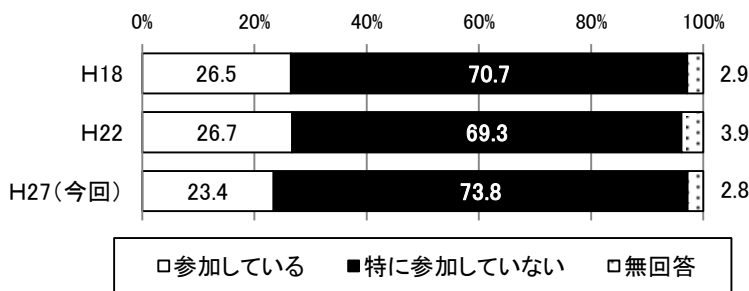
	n	%
地域社会(自治会活動、交通安全、非行・犯罪防止)	184	12.8
環境保全(公害、エネルギー、リサイクルなど)	66	4.6
福祉活動(高齢者・障がい者支援、子育ての支援など)	63	4.4
スポーツ(各種スポーツの指導など)	42	2.9
文化活動(書道・絵画・音楽・手芸の指導など)	33	2.3
災害時の支援(被災者支援、救援物資の供給など)	22	1.5
保健・医療(食生活、健康増進、病院ボランティアなど)	16	1.1
国際交流(留学生との交流・支援、通訳など)	6	0.4
その他	25	1.7
特に参加していない	1063	73.8
全体	1441	100.0



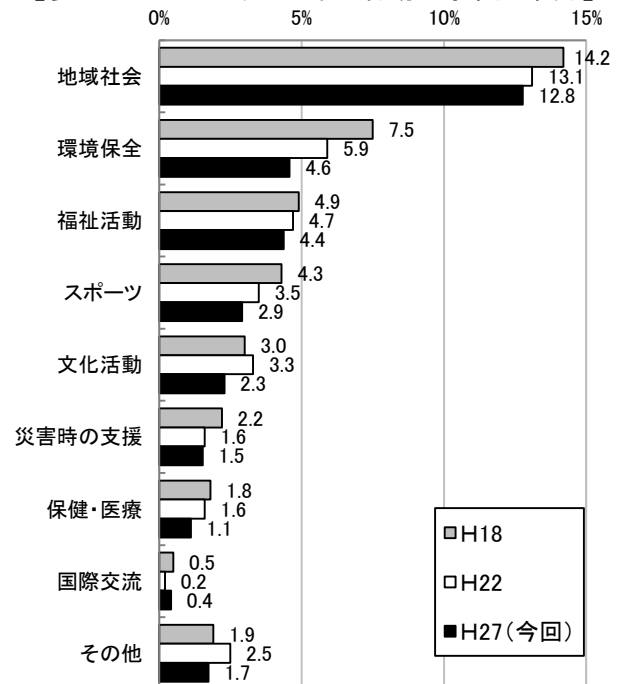
○過去の調査との時系列でみると、平成22年度と比べて「参加している」が若干減少し、「特に参加していない」の割合が増加しています。

○活動の内容については「地域社会」が最も多く、すべての項目で前回と比べてやや減少しています。

【ボランティア活動への参加の有無 時系列集計】



【参加しているボランティア活動 時系列集計】



○年齢別でみると、いずれの年代も「特に参加していない」が最も多くなっています。年齢が高くなるほど参加割合が増加する傾向がみられますが、30～39歳は前後の年代と比較して参加割合が高い結果となっています。

○参加内容では、20～29歳では「スポーツ」及び「地域活動」で、その他の年代では「地域社会」が最も多くなっています。

【ボランティア活動 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
地域社会	0.8	① 7.9	① 11.4	① 14.2	① 16.6
環境保全	① 1.5	1.8	3.5	4.7	6.0
福祉活動	0.8	1.2	3.1	5.2	6.0
スポーツ	① 1.5	3.0	3.1	3.4	2.9
文化活動	0.8	0.6	1.7	2.6	2.9
災害時の支援	0.0	1.8	1.3	1.7	1.8
保健・医療	0.8	1.8	0.9	0.4	1.3
国際交流	0.8	0.6	0.4	0.9	0.2
その他	0.0	2.4	1.3	1.7	2.3
特に参加していない	93.1	84.1	80.3	73.3	66.2

※参加内容についての第1位を①で記しています。

○地区別でみると、すべての地区で「特に参加していない」が最も多くなっています。三田ヶ谷地区では全体平均の72.1%に比べ「特に参加していない」の割合が低くなっています。

○参加しているボランティア活動内容は、すべての地区で「地域社会」が最も多くなっています。

○次いで羽生地区・須影地区・村君地区では「福祉活動」、川俣地区では「スポーツ」、それ以外の地区では「環境保全」が続きます。

【ボランティア活動 地区別集計】

(単位：%)

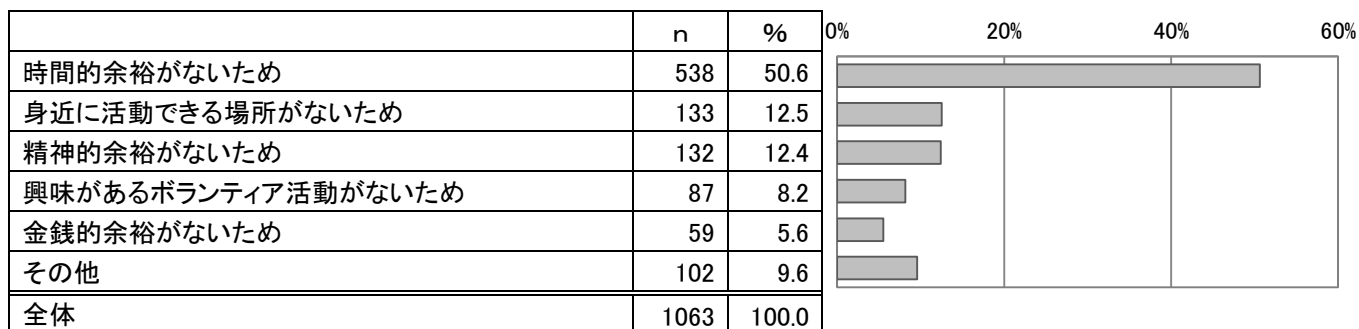
	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
地域社会	① 8.0	① 17.7	① 14.0	① 8.9	① 20.3	① 17.3	① 17.6	① 20.0	① 15.6
環境保全	3.7	② 7.3	② 3.0	② 5.0	0.0	② 4.5	② 4.4	② 12.3	0.0
福祉活動	② 5.2	4.8	② 3.0	3.0	3.4	3.0	3.8	4.6	② 9.4
スポーツ	2.3	5.6	2.0	3.0	② 5.1	3.8	0.6	7.7	3.1
文化活動	2.4	5.6	1.0	0.0	1.7	0.8	2.5	1.5	0.0
災害時の支援	1.6	3.2	1.0	1.0	0.0	2.3	1.9	1.5	0.0
保健・医療	1.2	1.6	1.0	0.0	0.0	1.5	0.6	3.1	0.0
国際交流	0.7	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.9	1.6	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9	6.2	0.0
特に参加していない	77.3	66.9	82.0	86.1	67.8	65.4	73.0	58.5	71.9

※参加内容についての第1位～第2位を①～②で記しています。

【問12 - a】 問12で「特に参加していない」を選んだ方にお伺いします。ボランティア活動に参加していない理由は何ですか。

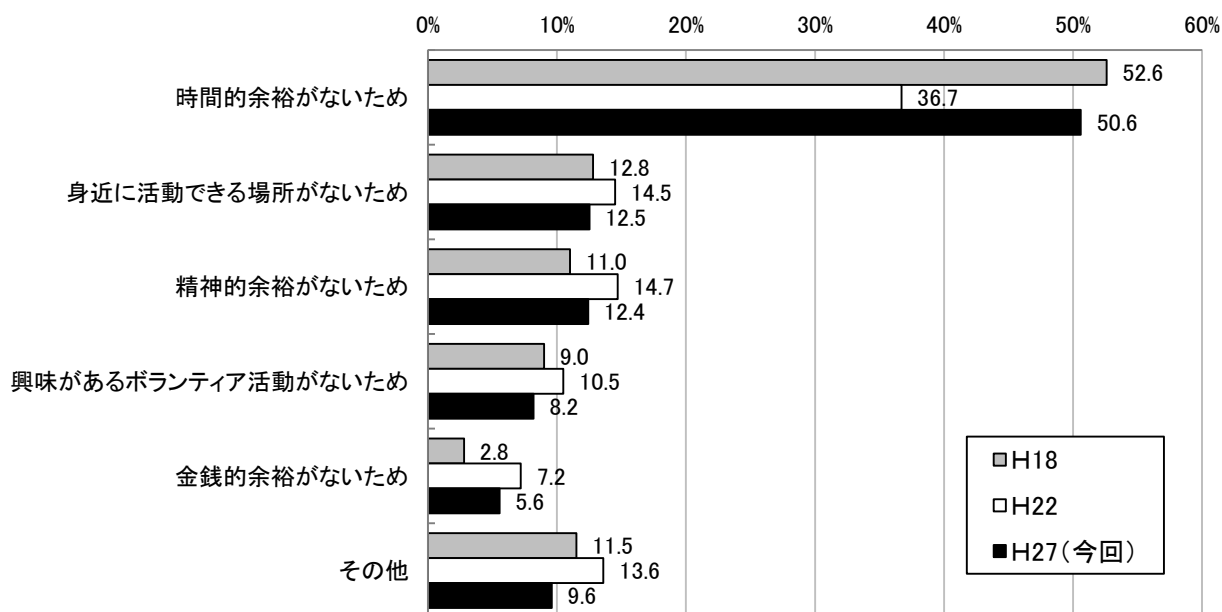
○ボランティア活動に参加していない理由については、「時間的余裕がないため」が50.6%で最も多く、次いで「身近に活動できる場所がないため」(12.5%)、「精神的余裕がないため」(12.4%)などが続きます。

問12 - a ボランティア活動に参加していない理由



○過去の調査との時系列でみると、おおむね同様の順位となっていますが、「時間的余裕がないため」が今回の調査では50.6%と約半数を占めており、平成22年度の36.7%を大きく上回ります。

【ボランティア活動に参加していない理由 時系列集計】



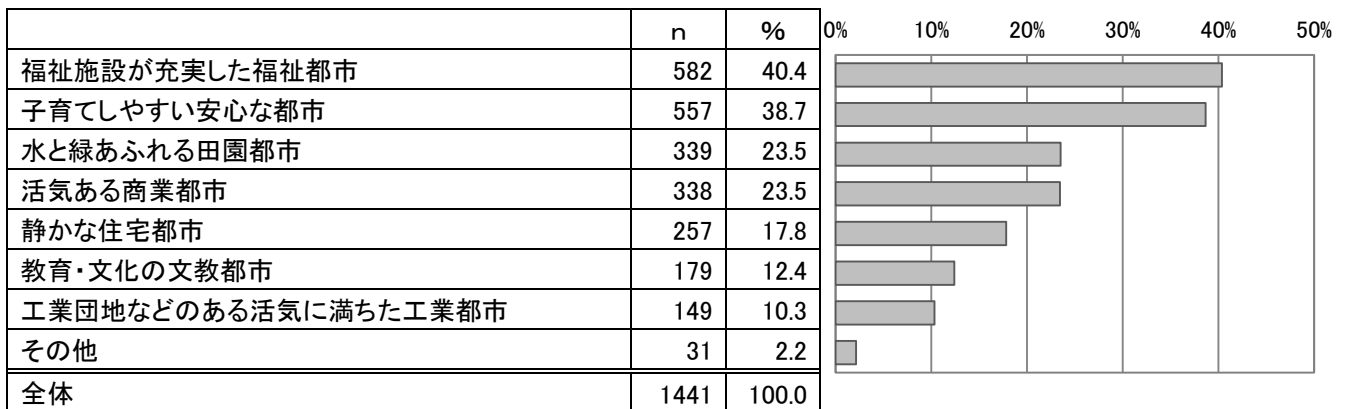
4 羽生市の将来像について

4 - 1 羽生市の将来像

【問13】 あなたは、将来羽生市がどのような都市になったら良いとお考えですか。【複数回答】

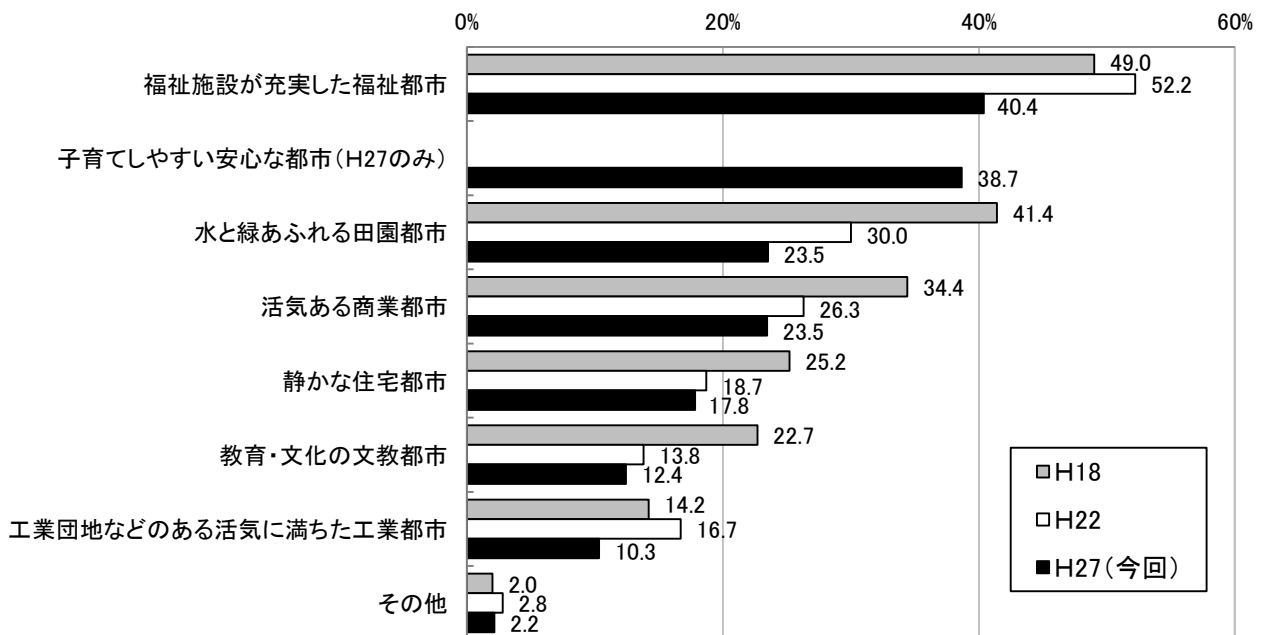
○羽生市の将来像については、「福祉施設が充実した福祉都市」が40.4%で最も多く、次いで「子育てしやすい安心な都市」(38.7%)、「水と緑あふれる田園都市」及び「活気あふれる商業都市」(同率23.5%)などが続きます。

問13 羽生市の将来像



○過去の調査との時系列でみると、「福祉施設が充実した福祉都市」が引き続き第1位に挙げられています。

【羽生市の将来像 時系列集計】



○年齢別でみると、50歳未満では「子育てしやすい安心な都市」が最も多く、50歳以上では「福祉施設が充実した福祉都市」が最も多くなっています。

○次いで20～29歳では「水と緑あふれる田園都市」、30～39歳では「活気ある商業都市」、40～49歳では「福祉施設が充実した福祉都市」、50歳以上では「子育てしやすい安心な都市」が続きます。

【羽生市の将来像 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
福祉施設が充実した福祉都市	19.2	22.0	② 27.9	① 43.5	① 53.2
子育てしやすい安心な都市	① 53.1	① 68.9	① 41.0	② 39.7	② 27.3
水と緑あふれる田園都市	② 30.8	17.1	24.0	22.0	24.2
活気ある商業都市	24.6	② 27.4	27.5	23.3	21.2
静かな住宅都市	16.9	18.3	20.1	18.5	16.8
教育・文化の文教都市	8.5	15.9	18.8	14.2	10.0
工業団地などのある活気に満ちた工業都市	3.8	4.3	7.4	10.8	13.6
その他	3.8	1.2	0.9	2.6	2.1

※第1位～第2位を①～②で記しています。

○地区別でみると、すべての地区で「福祉施設が充実した福祉都市」及び「子育てしやすい安全な都市」が上位を占めています。

○羽生地区・新郷地区・井泉地区では「福祉施設が充実した福祉都市」が最も多く、その他の地区では「子育てしやすい安全な都市」が最も多くなっています。

【羽生市の将来像 地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
福祉施設が充実した福祉都市	① 43.4	① 40.3	② 41.0	② 34.7	② 33.9	① 39.1	② 39.0	② 33.8	② 37.5
子育てしやすい安心な都市	② 36.9	② 37.9	① 42.0	① 40.6	① 42.4	② 33.8	① 40.3	① 36.9	① 65.6
水と緑あふれる田園都市	20.6	26.6	24.0	21.8	23.7	26.3	29.6	30.8	21.9
活気ある商業都市	25.7	31.5	18.0	23.8	23.7	24.8	13.2	20.0	25.0
静かな住宅都市	19.2	11.3	22.0	21.8	10.2	18.8	22.6	9.2	9.4
教育・文化の文教都市	11.4	8.9	13.0	13.9	16.9	15.0	16.4	10.8	12.5
工業団地などのある活気に満ちた工業都市	8.4	16.1	7.0	7.9	11.9	11.3	6.3	23.1	6.3
その他	0.9	1.6	3.0	3.0	1.7	3.8	3.8	4.6	3.1

※第1位～第2位を①～②で記しています。

4 - 2 将来の人口

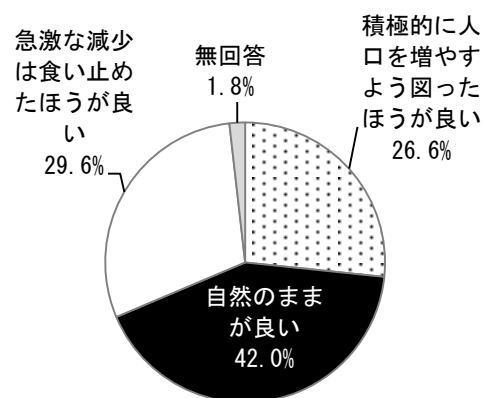
【問14】 現在、羽生市の人口は55,746人（平成27年10月1日現在）ですが、あなたは羽生市の将来の人口について、どうなったら良いとお考えですか。

○羽生市の将来の人口については、「自然のままが良い」が42.0%と4割強を占めて最も多く、「急激な減少は食い止めたほうが良い」が29.6%、「積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い」が26.6%となっています。

問14 将来の人口

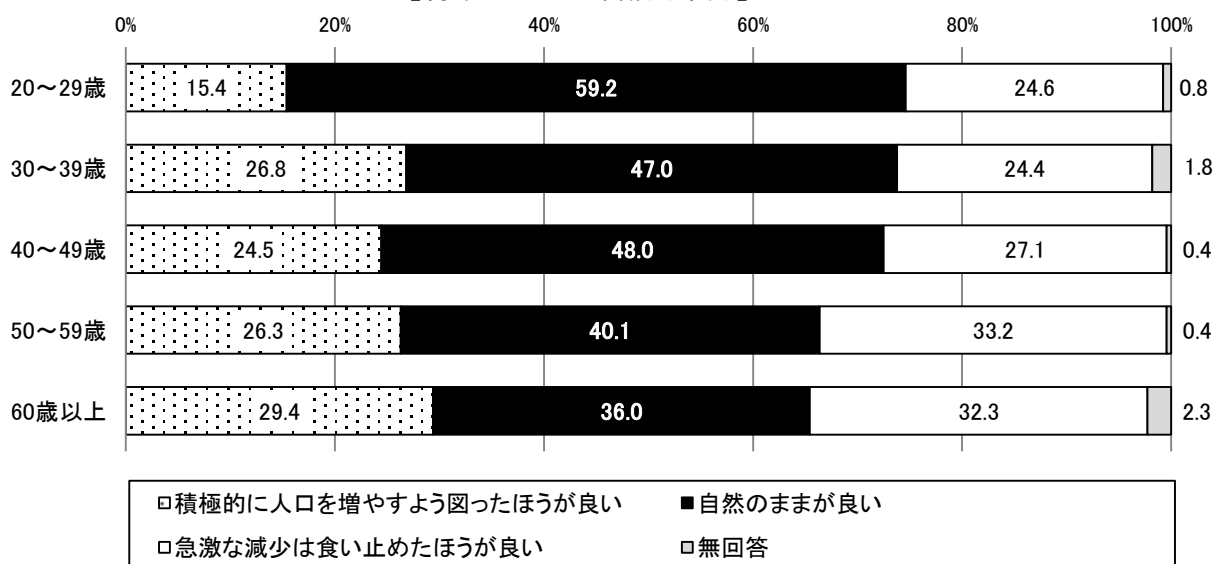
	n	%
積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い	384	26.6
自然のままが良い	605	42.0
急激な減少は食い止めたほうが良い	426	29.6
無回答	26	1.8
全体	1441	100.0

【問14 将来の人口】



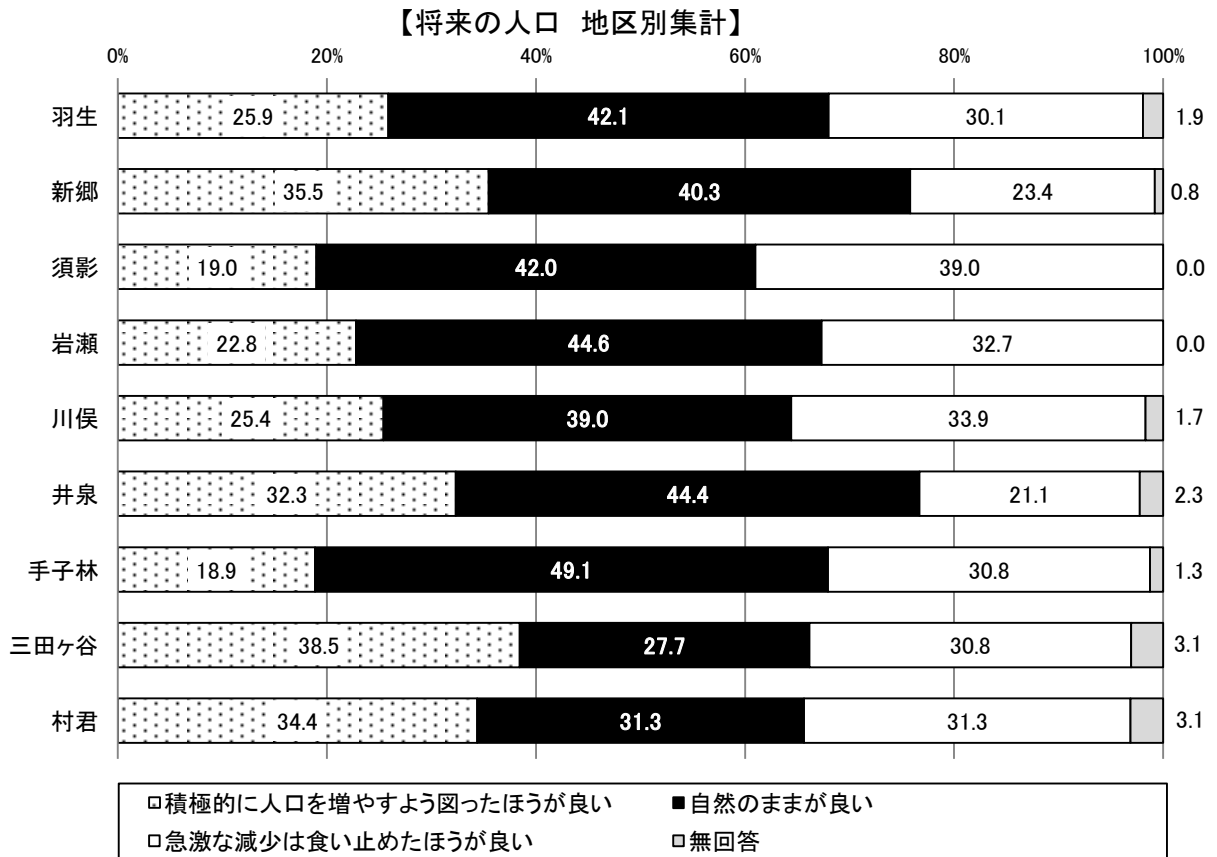
○年齢別でみると、すべての年代で「自然のままが良い」が最も多く、次いで30～39歳では「積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い」、それ以外の年代では「急激な減少は食い止めたほうが良い」が続きます。

【将来の人口 年齢別集計】



○地区別でみると、三田ヶ谷地区と村君地区では「積極的に人口を増やすよう図った方が良い」が最も多く、それ以外の地区では「自然のままが良い」が最も多くなっています。

○須影地区では他の地区に比べて「急激な減少は食い止めたほうが良い」の割合が高くなっています。



4 - 3 市町村合併

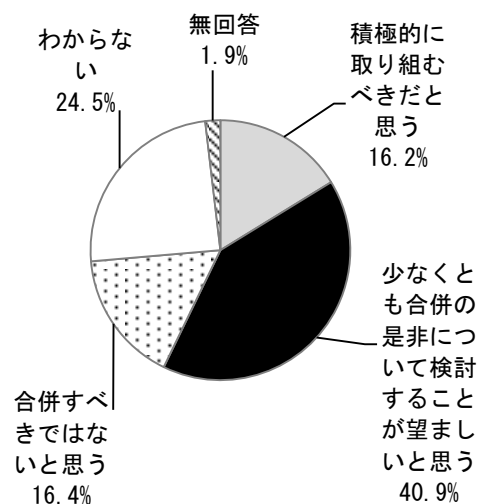
【問15】 あなたは市町村合併についてどのように思いますか。

○市町村合併については、「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が40.9%で最も多く、次いで「わからない」(24.5%)、「合併すべきではないと思う」(16.4%)、「積極的に取り組むべきだと思う」(16.2%)が続きます。

問 15 市町村合併

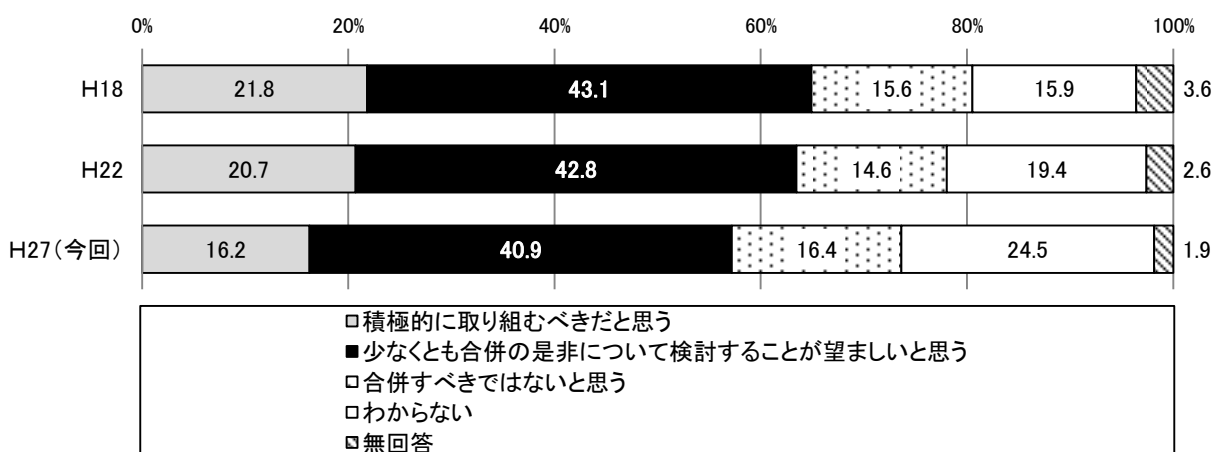
	n	%
積極的に取り組むべきだと思う	234	16.2
少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う	590	40.9
合併すべきではないと思う	237	16.4
わからない	353	24.5
無回答	27	1.9
全体	1441	100.0

【問15 市町村合併】

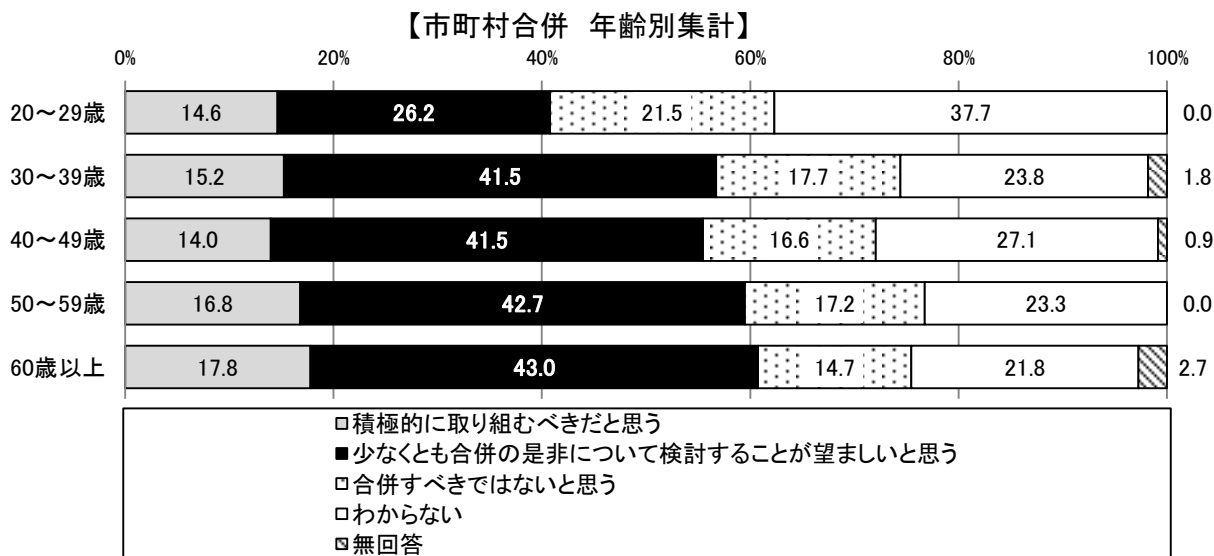


○過去の調査との時系列でみると、前回調査と比べて「積極的に取り組むべきだと思う」及び「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」はともに減少し、「合併するべきではないと思う」及び「わからない」とする割合が増加しています。

【市町村合併 時系列集計】

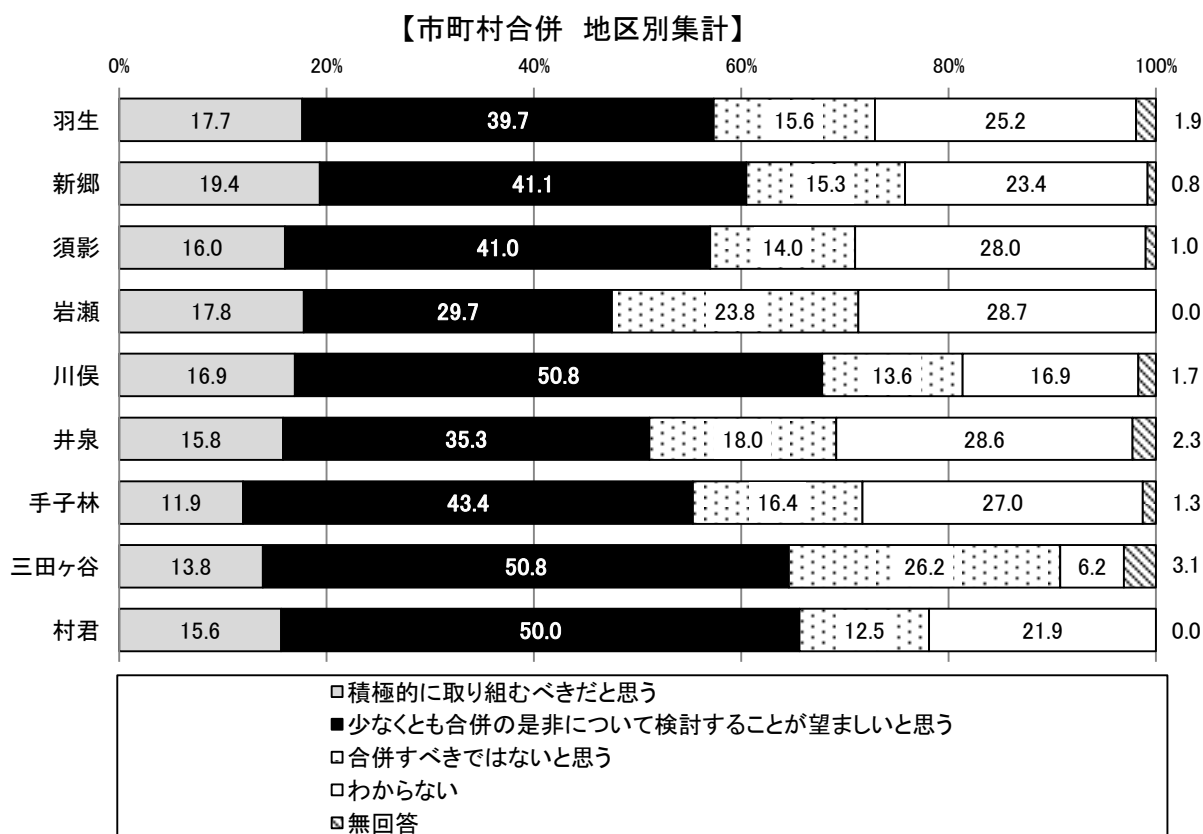


○年齢別でみると、20～29歳では「わからない」が最も多く、それ以外の年代では「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が最も多くなっています。



○地区別でみると、すべての地区で「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が最も多くなっています。

○次いで三田ヶ谷地区では「合併すべきではないと思う」が続き、それ以外の地区では「わからない」が続きます。



5 市の特徴について

5 - 1 ムジナモの認知度

【問16】 あなたは、食虫植物『ムジナモ』を知っていますか、また見たことはありますか。

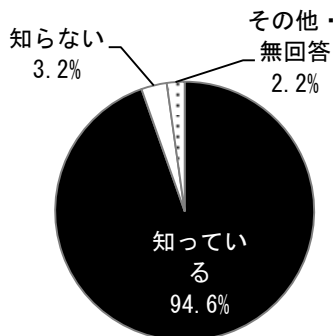
- 『ムジナモ』については、何らかの情報を“知っている”人が94.6%を占めており、非常に高い認知度となっています。
- 詳細の内訳については、「知っていて、実物を見たことがある」が49.0%と約半数を占め、次いで「知っていて、写真などで見たことがある」(35.3%)が続きます。

問16 ムジナモの認知度

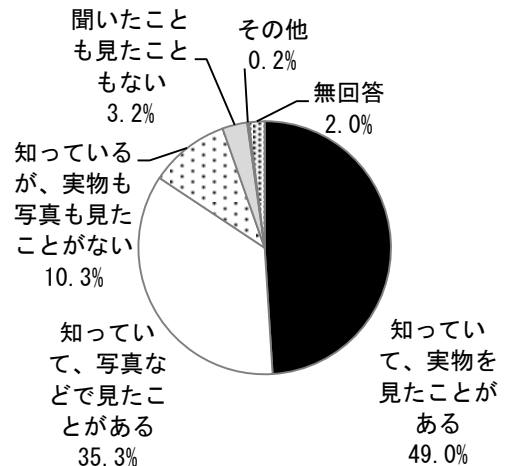
	n	%
知っていて、実物を見たことがある	706	49.0
知っていて、写真などで見たことがある	509	35.3
知っているが、実物も写真も見たことがない	148	10.3
聞いたことも見たこともない	46	3.2
その他	3	0.2
無回答	29	2.0
全体	1441	100.0

※“知っている”は「知っていて、実物を見たことがある」「知っていて、写真などで見たことがある」「知っているが、実物も写真も見たことがない」の合計としています。(以下同様)

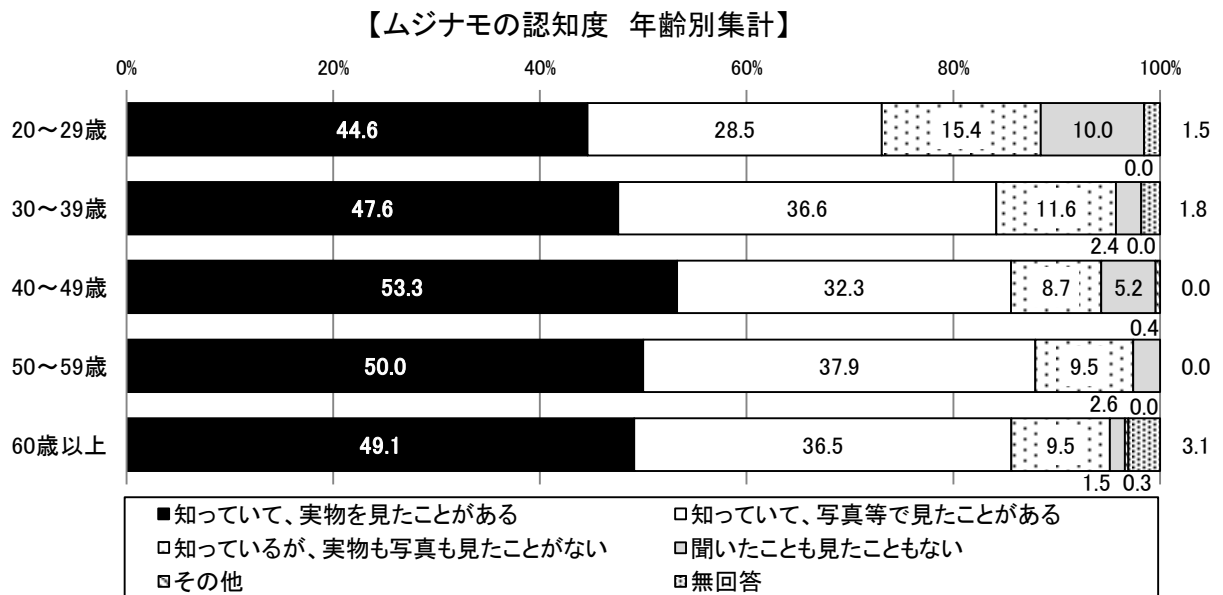
【問16 ムジナモの認知度】



【問16 ムジナモの認知度／詳細内訳】



○年代別でみると、すべての年代で“知っている”が8割以上を占め、非常に高い認知度となっています。
 また、すべての年代で「知っていて、実物を見たことがある」が4割以上となっています。
 ○20～29歳では、「聞いたことも見たこともない」が他の年代に比べて高くなっています。



5 - 2 好きな場所・景色

【問17】 羽生市の中で好きな場所や景色について記入してください。

○701人（48.6%）の方から771件の意見が記入されました。

○大きく分類すると「自然系」が422件、「都市・にぎわい系」が169件、「眺望系」が101件、「歴史・文化系」が43件、「特にない・好きな場所はない」が36件となっています。

○最も多く挙げられた場所は「利根川」で、次いで「羽生水郷公園」「イオンモール羽生」となっています。

【好きな場所・景色 自然系の景観（422件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
利根川	179	—	自然が豊か・のんびりできる・樹木が多く空気が良い・米づくりの四季を感じられる・昔から培われている営みを感じることができる・子どもの時から見なれた場所・水の流れ、魚の種類の豊富さ・冬は山が見えてきれいだから・360度見渡せるところ・朝日、夕日がきれい・人も少なく超音波などの機械音が聞こえないので落ち着く
		堤防	富士山が良く見える・川の流れや山が見られて落ち着くため・思い出深いから・散歩、ジョギングに適している・景色がきれいだから・太陽の動きによって変わる明～薄暗の時・広い川と遠くの山々が目の前に広がり、そこで電車が好きなので電車を眺めるのがとても好きです
		夕暮れ	遠方の人、他市の人に自慢できる・長谷川平蔵が好きだから・夕焼けの景色などを見ると心が落ち着く・夕焼けがきれい
		用水	自然で水遊びができること（魚つりができれば最高です）
		サイクリングロード	サイクリングが楽しめる・健康のためサイクリングをする・サイクリングコースの開放感
		河川敷	高校の行事で訪れたり、友人と遊びに行ったりした思い出がある・景色が良い
		橋の上から見える風景	車で橋を渡っていると、いつもきれいだなと思うから・朝日も夕日もそれぞれに味わい深く気持ちが安らぐ・昭和橋付近は景色も良く、気持ちが良い
		土手	夕日がきれい・落ち着く・市内が見渡せて、富士山が見えるから・群馬などの山々を見る時・自然環境が豊富・広々としている・子どもの頃から慣れ親しんだ環境だから・菜の花、サイクリングロード、ライダーなどある・道路が整備されているので自転車で走りやすい・菜の花をつんだり、ごろ寝したり自由に過ごせる・遠くの山などが見え、リラックスできる・ウォーキングの際、利根川の景色を眺めるとほっとする・特に冬場の風景は最高（早朝の山々）・360度見渡せて、自然がいっぱいだから
羽生水郷公園	140	自然	自然がいっぱいゆったりして歩いて散歩するのに良い・落ちつくから・思い出がたくさんあるから・昔よく遊んだ場所だから・森に囲まれているので癒される・公園の散策が気持ち良い・自然が多く広々とした敷地で遊んだり、バーベキューができる
		施設	遊具が充実している。駐車場もきれい・子育てをしているので、近くで子どもも楽しく遊べるため・景色と整備された庭園、広々としてとても良い・1日中遊んでいられる
		中にある芝生の広場	芝がきれいに手入れされていて、ところどころに木があり木陰が気持ち良いから・沼の中を歩いていると心が落ち着く
スカイスポーツ公園	26	周辺	散歩できる・夜空がきれいに見えるから・造形物の線形美・いろいろな方と交流できる・空と緑がきれい・子どもと良く遊ぶ
		施設	広くて緑があり、すべり台もあるため子どもが喜ぶから・ライダーが飛行している・遊具があるから
		景色	家族が平和に遊んでいてやさしい気持ちになれる・自然が多くて空気も良く、まわりも自然なので癒される・都会では見られない景色だから
		堤防駐車場	車に乗って利根川が見渡せる・登った上の方の駐車場から見える夜景・利根川堤防でのウォーキングは安全で景色が良い

主な場所	件数	内容	好きな理由など
葛西用水路	22	土手	藤の花がきれいだから、桜の花がきれい・散歩・川の流れ、土手の下に四季に咲く花があり、歩いていて楽しい土手にしてほしい
		旭町桜堤、利根川から見る富士山と四方の山々	桜の時期の水に写り込みが良い・山々を見るとホッとする・ウォーキングロードから見える山の景色
		桜並木	花の季節は見事。観光に役立ててほしい・春を感じる桜堤だから・大きな木がありきれいだから・春を感じる・ピンクの並木がずっと続くところに感動する・開花期だけでなく年間通して季節の移り変わりを楽しめる・四季を感じる風景だから
羽生中央公園	19	—	散歩コースで空気が良くて気持ちが良いです・広くて静か・スポーツできるところがあるから・西側の木間から見える山々
		中央公園横（新井整形外科の通り）	定期的に緑の手入れをされているのを見るので、続けてほしいと思います・通勤道路なのできれいだと嬉しいです
三田ヶ谷	11	—	運動、水族館・田園地帯があつてのどこかで好きです・広くて自然がいっぱいで落ち着くから・散歩するのに大好きな場所です（特に秋）・地元だから
		田んぼ	樹木が多く空気が良い・米づくりの四季を感じられる・昔から培われている営みを感じることができる
		神戸	沼地・温泉が良い
		コスモス畑	花が好きだから・癒される
平和公園	3	—	見慣れた風景・たくさんの心の思いが美しく彫刻に込められている・自分にとって落ち着く場所だから
井泉地区	2	—	田園風景と歴史ロマンを感じる
その他の自然	20	—	常木のスカイパーク：周囲の山々を見ることができる・夏の青々とした田んぼそこに沈む夕日が絶景です。癒されます・公園：広く子ども達に良い環境だと思う・誠和福祉高校の校庭：春、桜が美しいなど

【好きな場所・景色 都市・にぎわいの系（169件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
イオンモール羽生	59	—	買い物便利・店がたくさんあり楽しめる・暇な時にいくことができる・映画、買い物、食事ができる・活気があって元気になれる・インフォメーションが豊富・お友達と1日中過ごせる・1か所で何でも揃っているため・カフェでお茶するのが好きです・家から近く広いので運動にもなり、店舗も充実・ショッピングや映画でよく使うし、フードコート外から見える羽生の景色は美しいです・羽生で唯一、ショッピングを楽しんだり遊んだりできる場所だから・緑が多く散歩するのにとても良い広さである・営業時間が長く買い物に便利だから
		屋上	富士山やスカイツリーが見える
さいたま水族館	39	水族館エリア	「世界キャラクターサミット in 羽生」で有名になった・自然があり四季を楽しめること・魚が好きだから・子どもを連れて行ける場所・駐車場が広く散歩できる・鯉にエサをやること・魚がたくさんいて、生き物好きにはうれしい・子どもの頃家族でよく行ったから・水族館にはカメやザリガニが飼育されているので孫が楽しそうに見学している・のんびり見て回れる
		水族館付近	景色や駐車場・水族館まわりの遊歩道は気持ちが安らぎます・学生時アルバイトしていた時、夕日にあたる時きれいだっただから・自然に囲まれた環境だから
キヤッセ羽生	22	—	近い、安く遊べる・広場が活かされているのでは・広くて空気も良く遊べるから・自然が多く、ゆったりした気分になれる・いつもきれいに整備してある・イベントもたくさんあるし、公園内も広く遊びやすいです。子ども達も公園に行こうといつもキヤッセの名前を出します・バーベキューもできるし近くに水族館もある
		キヤッセ羽生の高台	写真で撮るとかっこ良い
		キヤッセ内公園	広々として安全である

主な場所	件数	内容	好きな理由など
道の駅はにゅう	20	—	市の象徴である。もっと農産物などを販売してもらいたい・まわりの景色がとても良い・道の駅から見える山々が好き・散歩などの立ち寄り、休憩に利用・朝日夕日がすばらしい・利根川の流れが見られる・他県ナンバーの車の出入りの観察と外のベンチに座っていると何もかも忘れる・「ああ上野駅」作詩者の関口義明の碑があって歌も聴ける
		駅からの羽生市の景色	
		栃木・群馬の山々	広い関東平野を流れる利根川と、日光連山、赤城山、榛名山 秩父連山の眺め・大きさや広さを感じられ、前向きに考え、進む気持ちになる
		道の駅からの周囲の展望	南フジ、西アサマミヨギ、東ツクバ、北ニッコウアカギ
羽生駅	4	—	電車に関心があるから・新しくでき、清潔感がある・鉄道が好き・唯一活気がある
羽生市役所	3	—	きれいだから・江戸時代を感じます
		市役所の公園	子どもがボール投げなどしてないから
湯ったり苑	2	—	普段のストレスを忘れられる・のんびりできるため・羽生市に天然温泉があるのはすばらしいことだし、周辺も静かで良い
桜まつり	2	—	桜がきれいなので
羽生PA	2	—	長谷川平蔵が好きだから・心が休まる場所
羽生IC	1	羽生IC付近から見える富士山	自宅からは見えないから
その他の場所	15	—	ごみ処理場前：秋桜がきれいなので・羽生市営球場：広くてきれいでグラウンドも良い・駅を通過してベルクへいくところ：買い物のやる気が出る（何を買おうかな）・駅前通り：最近、いろいろなお店がオープンしているため・岩瀬地区：住宅や商業施設が増えてきて、活気が出てきた。一方で田園風景も広がり落ち着きがある・健康ランド華のゆ：サウナへ入り日頃の疲れをいやす・玄蕃ファーム：静かで清潔、落ち着く空間・手子林小学校：母校であり建物のデザインがすてきだと感じる など

【好きな場所・景色 眺望系の景観（101件）】

主な場所	件数	内容	好きな理由など
昭和橋	31	—	小川、富士山と、自然が埼玉側から見ても群馬側から見ても、美しいところ・正月の初日の出がきれいだから・雄大に流れる利根川がすごいと思う・市内が一望できる・遠くの山々が良く見える・昭和橋から利根川に沈む夕日が美しい・羽生の玄関口のような印象
		昭和橋から見える羽生	夜、遠くに見えるイオンのネオンがきれい・昭和橋をバックにした日の入は心が和む・昭和橋付近から見る夕暮れの利根川は自然の流れと夕焼けが美しく見えるので
		昭和橋から降りてきた122号線	どこまでもまっすぐ続く道（朝一の車が少ない時の光景が最高）・夜明けが良い
		スーパー堤防	利根川の景色がすばらしいので見て歩いていろいろ楽しむことができる・健康に良い
		昭和橋の上で車で信号待ちしている時に見た夕日	羽生に帰る時、信号待ちで疲れている時、ピンク色の夕日がきれいだった
		土手	自然な感じ
		上流の利根川の風景	夕日と冬景色がきれい・心が安らぎます
田園風景	19	景色	田植え期になると水面に光があたってきれいだから・夜の星がきれいに見えて、子ども達も星を見るのが好きなので・落ちつくから・四季を感じるから・山にせず夕陽がきれい・和む・心が癒される・夕暮れ時の風景、心が安らぎます・田園風景の先に富士山～日光連山の山並みが見える

主な場所	件数	内容	好きな理由など
自宅	13	—	緑豊かで富士山もくっきりと毎日良く見えるから・自宅だから・なんとなく
		庭	空と緑がきれい・まわりに何もなくて好き・星空が最高
		用水路沿いの道と線路沿い	産まれたばかりの息子と2歳になるまでずっと二人で散歩していたから
		上手子林	日の出と富士山が見える・晴れていると男体山も見える・日の出の見られる瞬間はなんとも言えずきれい
		風景	自然と羽生市の発展を感じるから
		田んぼ	大きな建物もなく静かであるから・田んぼから自然を感じるから・田んぼの中のあぜ道が小さいころの懐かしい気持ちになれるから・田園風景が好きなため
羽生高校	7	羽生高校の前の陸橋	晴れている時は富士山やイオンも見えるし、好きな景色です・富士山が正面に見える
陸橋	5	—	富士山が見える
		南中学校の陸橋から見た富士山	本町から見た冬の男体山
		上から見える市内の風景	羽生らしさが最も感じられるから
		122号線に向かう陸橋の上を通過した時	富士山がきれいに見える
上新郷	3	—	田んぼから見える富士山・富士山が群馬県の山々がきれいにみえて心が落ち着く
		工場と倉庫にはさまれた田畑とまわりに咲く花	季節を通して癒される
新郷	3	—	新郷から見える富士山と赤城山
		田園風景	田植え前の水をはった田がなんとも言えない。この風景を失いたくない
		駅の西側田園地帯	ここから晴れていれば富士山を含む山並みが270度以上の角度で見れる。冬の雪を冠った山はきれいです
南羽生	2	—	田園と電車が走る風景
		あぜ道	夕日が沈む風景が美しいから
桜橋	1	—	(好きな理由記入なし)
旭橋	1	—	西側の木間から見える山々、公園で遊ぶ人々の声、旭橋から見る遠くの山々
下新郷	1	—	田園地帯で緑が豊か
その他の場所	15	—	羽生市常木：朝夕の景色が良い・村君地区の利根川の土手：冬、秋空の澄んだ時、赤城日光連山が良く見える時、この市内では近くに山がないので・道路から見える富士山：とてもきれい・産業文化ホールのところのオーバブリッジ：夜がきれい・シラサギが舞う緑の水田地帯：国道を曲がりその風景の中に入るとほっとします・市民プラザの屋上や羽生病院最上階：高いところから見る景色が好き など

【好きな場所・景色 歴史・文化系の景観（43件）】

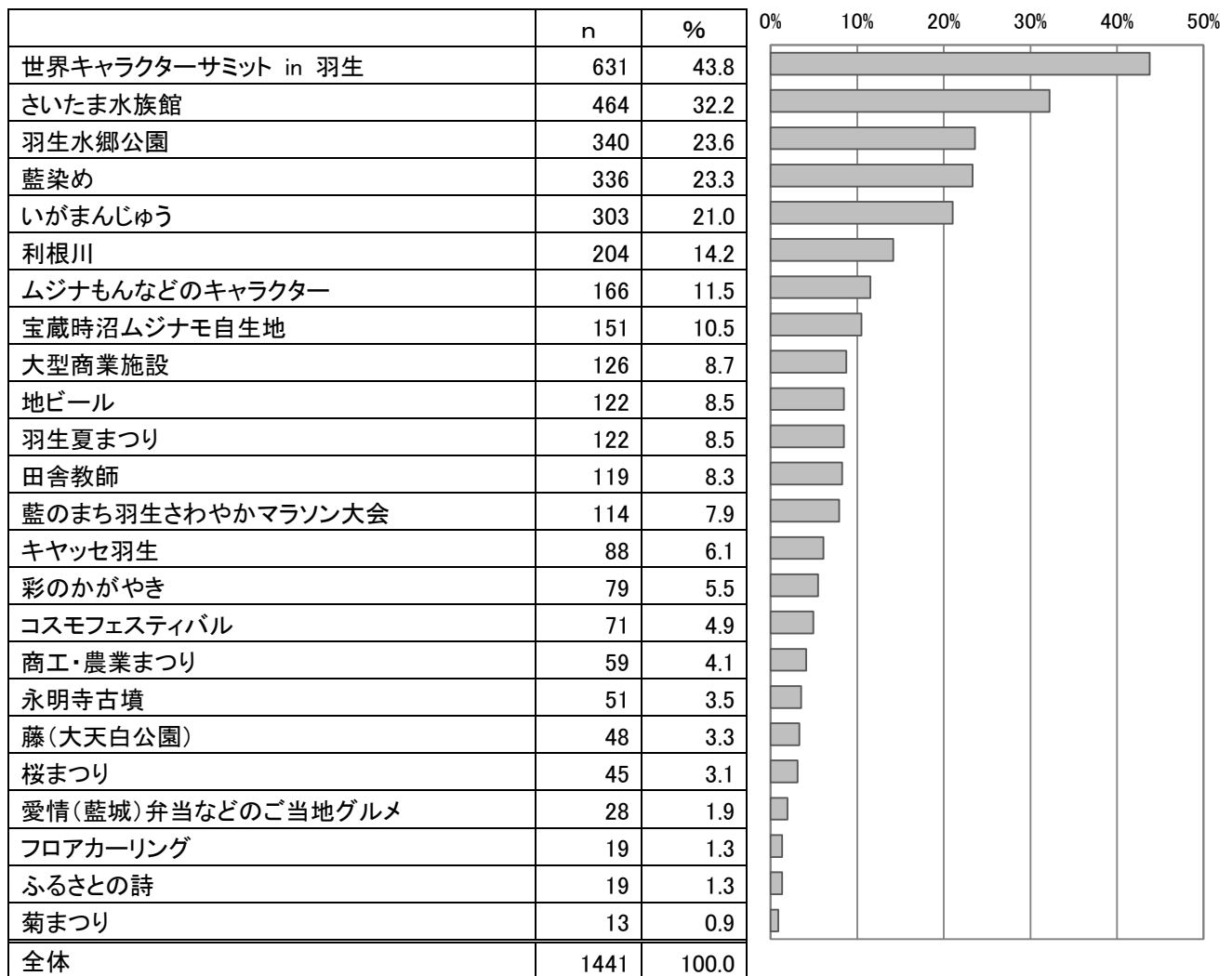
主な場所	件数	内容	好きな理由など
羽生市立図書館	10	—	静かで良い・建物が良い・本が好きだから・読書できる・赤れんがづくりが良い・庭の手入れが良い・いろいろな本の読書ができるから・静かで清潔、落ち着く空間・本を選びやすい環境づくりをしている・幼い頃と同じで変わっていないから懐かしく思う・蔵書数が多くゆったりと落ち着くから
大天白公園	7	—	藤の花がきれいだから・藤の花を見にいくから
運動公園	5	—	散歩、散策に最適・野球場、陸上競技場、テニスコートがある・利用しやすい
毘沙門神社	4	—	高台のところにあり、東武線もあり、大好きな風景です・子どものころよく遊んだ思い出の場所・昔の思い出が多い
文化ホール	3	—	景色が良い・幼い頃と同じで変わっていないから、懐かしく思う
文化会館	2	—	他の市町村の文化会館よりも見たり聞いたりが良い・文化会館の歩道橋の上から富士山が見える
体育館	1	—	運動している人が、いきいきと運動をして輝いている
その他神社など	11	—	須影神社：趣がある・小松神社：市内最古の神社（神仏混合であったところ）羽生城にも関係・古城天満宮：春になると桜が咲くのでとてもきれいです・天満宮は塗りがえなど終わりとてもきれいになりました。素敵だと思いますが、近くにごみ集積所、神聖なる場所の隣でといった思いです・宝蔵寺沼：沼の中を歩いていると心が落ち着く・東武鉄道利根川鉄橋：小学生の頃からよく絵を描きに行ったため・古墳など：そのもの

5 - 3 全国PRに有効なもの

【問18】 下表に記す地場産品、施設、イベントについて、羽生市を全国にPRするために有効だと思うものはどれですか。【複数回答】

- 全国PRに有効なものについては、「世界キャラクターサミット in 羽生」が43.8%で最も多く、次いで「さいたま水族館」(32.2%)、「羽生水郷公園」(23.6%)、「藍染め」(23.3%)、「いがまんじゅう」(21.0%)、「利根川」(14.2%)などが続きます。
- 上位項目をみると、イベント、施設、名所、名物、キャラクターなど、多様な分野のものが選ばれています。

問 18 全国PRに有効なもの



○年齢別でみると、60歳以上では「さいたま水族館」が最も多く、それ以外の年代では「世界キャラクターサミット in 羽生」が最も多くなっています。

○年代別の上位5項目についてみると、全体平均での上位6項目に含まれるものが多くなっていますが、20～29歳と40～49歳では「ムジナもんなどのキャラクター」が上位に入っています。

【全国PRに有効なもの 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
世界キャラクターサミット in 羽生	① 60.0	① 57.3	① 47.6	① 47.8	② 33.9
さいたま水族館	④ 23.8	② 34.1	④ 24.9	② 37.1	① 34.6
羽生水郷公園	14.6	⑤ 18.9	14.8	⑤ 19.0	③ 30.9
藍染め	② 33.1	④ 19.5	② 31.0	③ 24.1	④ 20.2
いがまんじゅう	③ 26.2	③ 26.2	③ 26.2	④ 21.6	17.1
利根川	10.0	9.1	12.7	13.8	⑤ 17.4
ムジナもんなどのキャラクター	⑤ 18.5	14.6	⑤ 16.6	13.4	6.6
宝蔵時沼ムジナモ自生地	6.9	5.5	12.7	12.1	11.0
大型商業施設	10.0	18.3	10.0	6.0	6.8
地ビール	8.5	12.2	9.2	10.3	6.0
羽生夏まつり	8.5	6.1	7.9	9.1	9.2
田舎教師	6.9	6.1	3.1	12.1	10.2
藍のまち羽生さわやかマラソン大会	2.3	4.9	3.1	6.0	11.5
キャッセ羽生	3.8	6.7	4.4	7.3	7.1
彩のかがやき	1.5	1.8	5.2	3.4	8.2
コスモフェスティバル	8.5	6.7	4.4	3.0	4.5
商工・農業まつり	0.0	3.7	2.6	2.2	6.5
永明寺古墳	3.1	1.8	3.5	3.4	4.4
藤(大天白公園)	3.8	0.6	2.6	0.9	5.0
桜まつり	4.6	1.8	1.7	2.2	3.9
愛情(藍城)弁当などのご当地グルメ	4.6	1.2	3.5	2.2	1.0
フロアカーリング	1.5	1.2	0.9	1.3	1.5
ふるさとの詩	0.0	0.6	1.3	0.0	2.3
菊まつり	0.8	0.0	0.9	0.0	1.6

※第1位～第5位を①～⑤で記しています。

- 地区別でみると、すべての地区で「世界キャラクターサミット in 羽生」が上位に挙げられています。
 ○それ以外の項目については、各地域で上位項目にばらつきがみられます。

【全国PRに有効なもの 地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
世界キャラクターサミット in 羽生	① 44.9	① 39.5	① 36.0	① 40.6	① 47.5	① 42.1	① 44.7	① 53.8	① 53.1
さいたま水族館	31.3	33.1	26.0	25.7	① 47.5	31.6	35.2	32.3	37.5
羽生水郷公園	18.9	17.7	17.0	19.8	22.0	30.1	30.2	① 53.8	18.8
藍染め	23.6	25.8	31.0	21.8	13.6	24.8	27.0	18.5	21.9
いがまんじゅう	22.7	25.0	24.0	18.8	23.7	21.1	19.5	13.8	18.8
利根川	15.2	13.7	20.0	17.8	13.6	13.5	11.9	3.1	12.5
ムジナもんなどのキャラクター	10.8	8.9	17.0	6.9	10.2	17.3	11.3	7.7	12.5
宝蔵時沼ムジナモ自生地	8.6	13.7	10.0	10.9	5.1	14.3	10.7	15.4	12.5
大型商業施設	8.2	11.3	8.0	13.9	6.8	9.0	8.2	6.2	9.4
地ビール	9.6	6.5	12.0	2.0	5.1	9.0	8.8	6.2	3.1
羽生夏まつり	12.4	8.9	8.0	7.9	8.5	3.8	1.9	3.1	9.4
田舎教師	9.3	5.6	10.0	8.9	8.5	7.5	8.2	9.2	9.4
藍のまち羽生さわやかマラソン大会	8.4	4.0	7.0	9.9	5.1	6.0	7.5	9.2	6.3
キャッセ羽生	6.3	4.8	7.0	5.9	10.2	4.5	6.9	9.2	6.3
彩のかがやき	2.6	8.1	12.0	4.0	15.3	5.3	5.7	9.2	3.1
コスモフェスティバル	4.0	7.3	7.0	3.0	0.0	4.5	6.3	4.6	9.4
商工・農業まつり	4.5	7.3	3.0	7.9	8.5	0.0	2.5	4.6	0.0
永明寺古墳	3.0	4.0	2.0	5.9	6.8	2.3	4.4	1.5	12.5
藤(大天白公園)	4.7	2.4	5.0	2.0	1.7	2.3	1.9	0.0	0.0
桜まつり	3.5	4.0	5.0	2.0	1.7	3.8	1.3	1.5	3.1
愛情(藍城)弁当などのご当地グルメ	1.9	2.4	2.0	5.9	1.7	0.0	1.3	0.0	3.1
フロアカーリング	1.0	1.6	2.0	1.0	5.1	0.0	1.3	1.5	3.1
ふるさとの詩	1.2	1.6	1.0	1.0	0.0	1.5	2.5	1.5	0.0
菊まつり	0.9	1.6	2.0	1.0	1.7	0.8	0.0	0.0	3.1

※第1位を①で記しています。

5 - 4 観光交流人口を増やすために

【問19】 市では、観光交流人口100万人を目指して施策を実施していますが、上記（問18）に記載されている他に、羽生市の観光交流人口を増やすために有効だと思うイベント、場所、施設などがあれば下欄にご記入ください。

○283人(19.6%)の方から490件の意見が記入されました。

○大きく分類すると「施設」が153件、「イベント」が133件、「交通」が33件などとなっています。

【観光交流人口を増やすために 意見概要一覧】

分類	全件数	内容	件数	補足・提案
施設	153	イオンモール羽生	19	(補足・提案なし)
		水郷公園	18	親子キャンプ体験・水郷公園は「世界キャラクターサミット in 羽生」でとても広く整備されているので、そこを活用したらどうかと思う・アミューズメント化・子どもが長くいられる遊具など取り入れるなど・公園内に水路をつくり、船で遊ぶ
		羽生IC・PA	16	羽生PA直結娯楽施設・商業施設(首都圏からの観光客を)・羽生PAから水郷公園へと移動でき、観光農園などの施設を充実
		レジャー施設	16	ラウンドワン・バーベキュー施設・四季たくさんの草花フラワーパーク・アミューズメントパークの設置・羽生クイックの活用・スケート場設置・子ども用大型室内施設をつくる(飲食店も入っている)・遊園地・ドッグランをつくってほしい
		キャッセ羽生	11	有効利用・施設拡大及び土日休日だけでもコーヒーコーナーの増設を要望・魅力的な楽しめる施設とすれば冬季でも市街地の客が増えるのではと思います・地ビールによるビアガーデン
		スカイスポーツ公園	10	ドッグランや貸菜園をつくる
		さいたま水族館	10	水族館の拡張
		文化ホール	9	文化ホールの前の広場を使う
		市民プラザ	7	もっと明るく活気ある場所にしてほしい・市民プラザの活用
		商業施設	7	ニトリ・ショッピングモール設置
		公園	4	中央公園・大天白公園・南京錠公園など珍しいデートスポットをつくる・一年中遊べる公園にする
		病院	3	羽生総合病院・羽生病院を埼玉一にする
		宿泊施設	3	外国人観光客の宿泊施設・ルートイン・湯ったり庵に宿泊施設
		運動施設	2	市民球場の整備
その他	18	くだもの狩り施設をつくる・空港をつくる・駅周辺の有効活用・児童館の新設		
イベント	133	施設利用イベント	26	中央公園内イベント増やす・秩父鉄道を利用したイベント・大規模イルミネーション・イオンモール羽生でイベントを開催する・水郷公園での大規模なフェスタ・市とイオンの合同イベント企画・運動公園を利用して動物の競技大会・コスモスフェスティバル・若者に表現の自由を感じさせてあげたい
		コンサート・フェスティバル	21	アイドルのコンサート・イオンモール羽生で無料で芸人やアーティストのLIVEイベント・日光脇住環大名行列や千人同心行列など・定期的なファッションショー・産業文化ホールでコンサート・スカイスポーツ公園で音楽の野外フェス・ブラスバンド演奏会・バルーンフェスティバル
		スポーツイベント	19	野球大会・泥んこビーチバレー・全国フロアカーリング大会・サイクリング大会・市マラソン大会で幼児や小学生の部のようなものをつくらみんな楽しめそう・市体育館での競技・周辺市町村と合同のスタンプラリー・BCリーグ招待試合・トライアスロン・ウォーキングラリー
		世界キャラクターサミット in 羽生	12	充実及び拡充・同時に子どもかぶきの上演・花火大会を同時開催し、地ビールなどを売り込む・利根川堤で行う

分類	全件数	内容	件数	補足・提案
イベント	33	まつり	11	菊まつりを大天白神社会場で・ビールまつり・羽生夏祭り・気球まつりや他にないまつりの企画・発戸のホテルまつり・藤まつりで木々を植え・桜まつりのイベントをその場所で誰でも参加しやすいよう大々的にアピールする・川俣関所祭り・商工農業まつり・市村の夏祭りを大規模に・合羽橋のようなお皿の市場祭り
		利根川	9	河川敷での花火大会・利根川を利用したイベントの開催・ドローン大会・スカイフェスティバル・サイクリング道路整備活用（マラソン、サイクリング大会開催）・熱気球を飛ばす
		まち巡り	7	羽生遺跡めぐりツアー・羽生駅～市内巡り・羽生の名所を巡るスタンプリアー・古利根川を歩こう会・自転車での羽生めぐりツアー
		食のイベント	5	肉フェス、めんフェス、デザートフェスなど食べ物のフェスティバル・南陽醸造新酒祭り・全国カレーライスフェス・ブルーベリー狩・羽生市グルメ王決定戦・B級グルメ大会主催
		農業体験	2	農地施設（日帰り体験など）
		その他イベント	21	子育てイベント・若者向きのイベント・婚活パーティー（まちコン）・旧車のイベント・季節と花のイベント・羽生道の駅近くでの気球大会・羽生市民が参加するイベントを企画する・フリーマーケット・ゲーム大会・アニメキャラのイベント・カラオケ大会・ジーンズコンテスト・ペットに関連したイベント開催・中国人に向けたインバウンド・俳句大会・プロジェクションマッピング
交通	33	道の駅はにゅう	18	道の駅の有効活用・道の駅の拡大・もう少し店を増やす・道の駅を他の観光地のように力を入れる
		市内交通手段	7	鉄道が不便・東武線地下鉄乗り入れ・電気自動車でのミッレミア羽生・インターに通じる道路・ムジナモ自生地に行く交通
		高速道路	4	東北道利根川はしの土手を桜並木にして羽生PAから出られるようにする・東北道のサービスエリア・東北道など交通の便が良いので途中で遊べるもの
		羽生駅	4	羽生駅周辺・羽生駅から新郷歴史散歩を東武鉄道、秩父鉄道と連携して常時行う・駅前を使いやすくして人が羽生に来たくなるようにする
場所	31	観光地	6	存在を知られていない八雲神社・永明寺古墳・正光寺（清水卯三郎墓碑）・羽生城跡の整備・パワースポット的な場所・レジャースポット
		施設	5	展望台・映画のセット・122号線沿い・葛西用水・音楽施設の利用範囲をもっと広げる
		温泉	5	温泉を掘ってプールをつくる・温泉をつくる・天然温泉
		プール	4	焼却炉を利用した温水プール・夏はプール使用併設
		公園	4	子ども達が遊ぶ公園・子ども達のためのアスレチックや遊具がたくさん施設・青空ヨガのできる場所をつくる・年に1回くらい5～8kmの歩くコースをつくると良いと思う・桜土手を利用して
		まち並み	3	三田ヶ谷の良さを利用・市民プールの跡地にマンションなど・まち歩き観光
		休耕田	3	休耕田を利用して四季の花のある羽生市にする・未耕作地の区分け・家庭菜園への転用
		観光農園	2	観光農園の充実（いちご・ブルーベリー・すももなど）
自然	25	利根川	18	土手・河川敷・一部釣り公園として開放・ライン下り・サイクルロード、オフロード・堤防河川敷の整備・河川の観光地など
		自然鑑賞など	4	サケの放流・バードウォッチング・ムジナモ自生地・花の名所
		ホテル	2	夏のホテル（発戸）
		昭和橋	1	日の出
文化	21	藍染	7	藍染体験・藍染めや剣道をアピール（外国人向け）・公民館などで藍染めの講習などして市民に広げる・藍の木を育てる
		芸術	7	美術展・吹奏楽コンクール・若者芸術家への場所提供・芸術家によるパフォーマンス・音楽に投資して市の大人楽団や子ども楽団があったらいろいろな成長があると思う・アートのまちにする
		施設	7	将棋対決・獅子舞い（尾崎）・郷土芸能・寺社めぐり・プラネタリウム・キャンプ場

分類	全件数	内容	件数	補足・提案
産業	15	商業施設	10	大型商業施設の誘致・コストコやイケアは全国的に有名になれる商業施設です・イオンの他にアウトレットモールなどの大型商業施設
		宿泊施設	3	宿泊施設の充実（温泉とセットで）
		飲食関係	2	南陽の地酒・地ビール工場見学
食	15	市内飲食店	3	飲食店を増やしてほしい・みやび亭・ソルデシレのお菓子
		農業	1	ハウスキュウリ
		うなぎまつり	1	安くうなぎが食べられる
		いがまんじゅう	1	いがまんじゅう体験
まちづくり	15	活用	7	民泊検討・農園（小規模）の貸出・空き屋利活用・羽生市しかないもの（観光）をつくる・古民家の賃貸・休業店の活用
		整備	5	橋などにムジナもんやいがまんちゃんの石像をつくる・駅前通りの整備（市の玄関がさびれている印象）・駅前開発（飲食で人を呼び込む）・羽生結弦君にちなんでスケートリンクがあってほしい・市内名所サイクリングロードを整備する
		イメージ	3	水路が多いので、それを活用し「水のまち」という新たなまちのイメージ・市内のほとんどが平地なので「高齢者にやさしいまち」をキャッチフレーズに・羽生市を舞台にした小説、マンガなどを公募する
人	14	著名人	10	清水卯三郎・自由民権運動の志士（堀越寛介）・宮澤章二・羽生善治（棋士）・羽生結弦君にのっかる
		コミュニティ	4	福祉施設の交流会・総合的な障がい者、高齢者コミュニティ・交流の場・海外との交流
もの	5	ムジナもんなどのキャラクター	3	キャラクターグッズを市役所の一角だけでなく、もっといろんなところで販売してPRしてほしい
		田舎教師	2	田舎教師に関するもの
発信	5	PR	5	羽生ではこんなことをやっているというPRという面でイオンに年中行事（祭りなど）のコーナーをつくる・マスメディアを使ったPR・映画ロケ誘致・全国の特産品が買えるアンテナショップ・羽生水郷公園、さいたま水族館のPRに力を入れる
その他	25	市への要望・提案	23	税金をもう少し安くする・子どもの給食費を無料にする・子どもの医療費を18才まで無料にする・観光交流人口100万人を目指さなくて良いと思う・現実的な目標を・目標設定値を下げて最良の方策を取れば良い・市内に観客を呼び込む
		必要ない	2	全く必要ないと思う

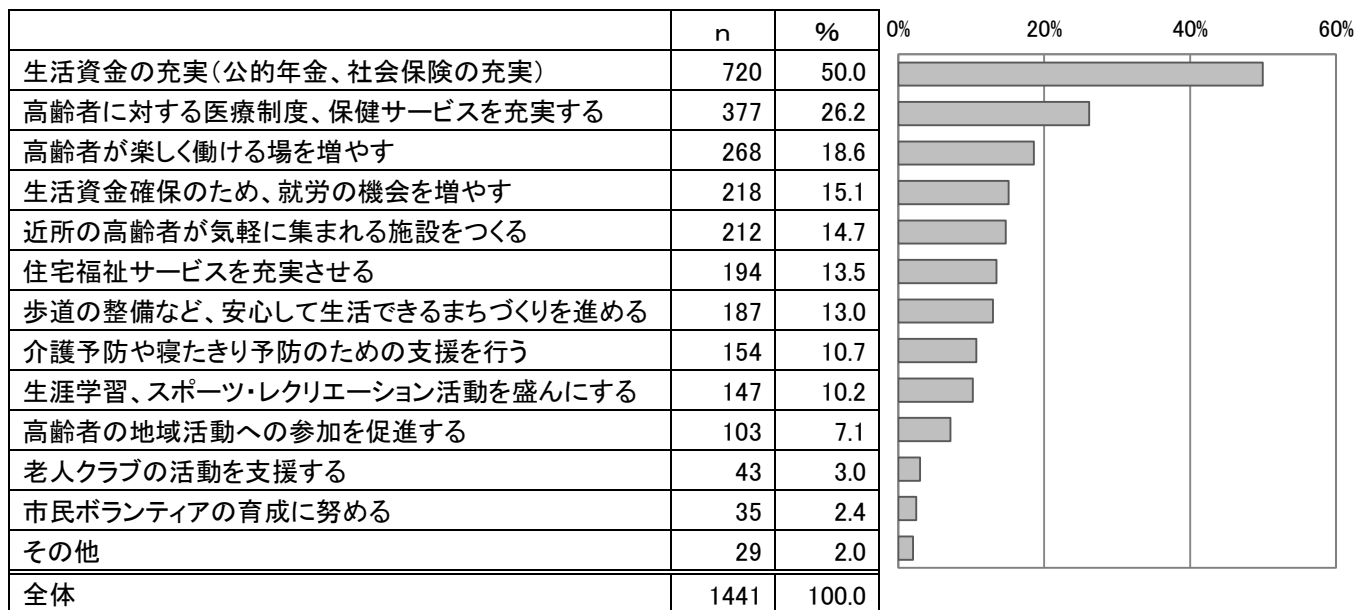
6 福祉・リサイクル・交通について

6 - 1 生きがいのある老後

【問20】 今後、高齢化がますます進むことが予想されますが、幸せで生きがいのある老後を送るために、あなたは何が大切だとお考えですか。【複数回答】

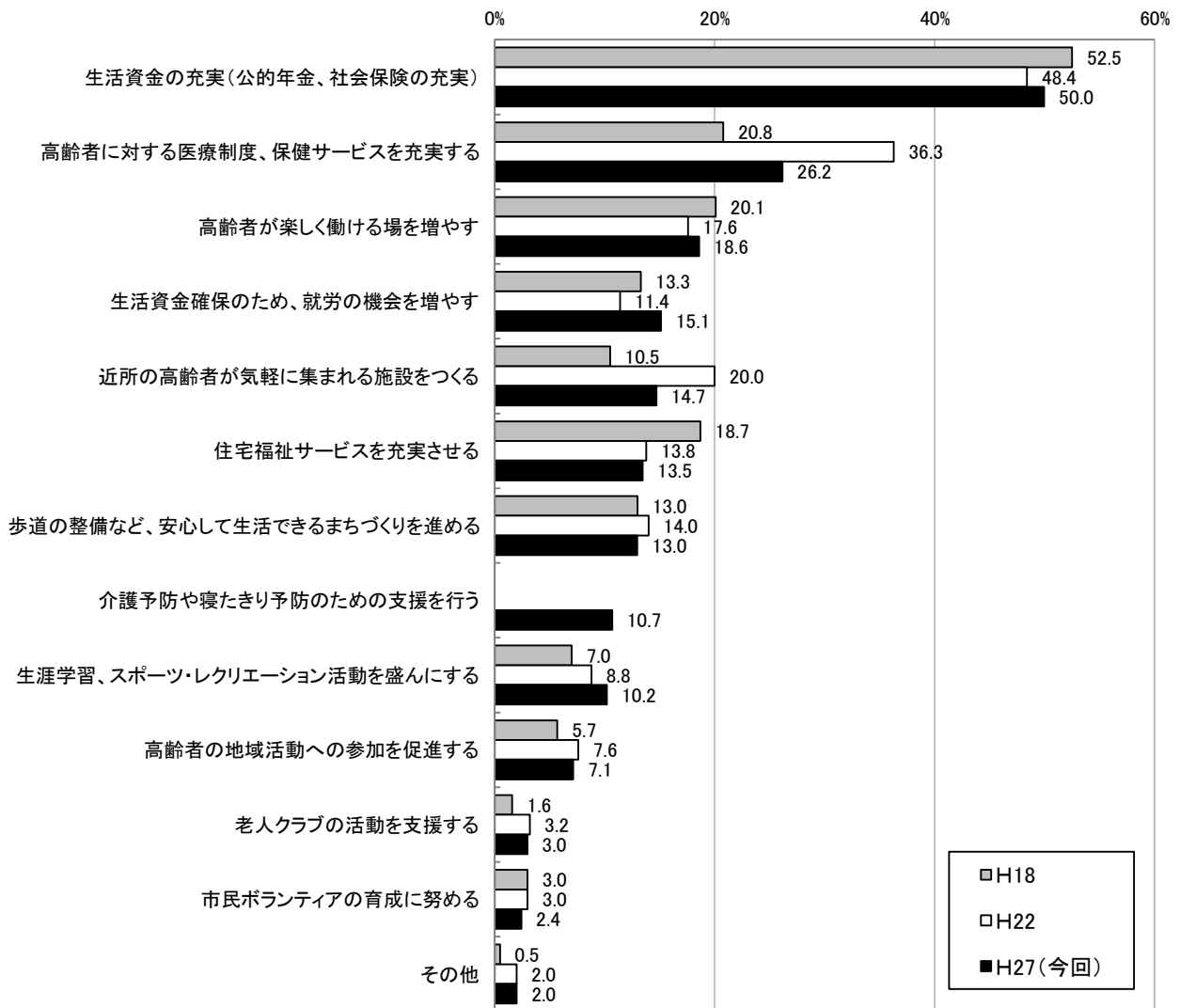
○生きがいのある老後のために大切なものについては、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が50.0%で最も多く、次いで「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」（26.2%）、「高齢者が楽しく働ける場を増やす」（18.6%）などが続きます。

問 20 生きがいのある老後



○過去の調査との時系列でみると、おおむね同様の順位となっており、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が引き続き第1位となっています。

【生きがいのある老後 時系列集計】



○年齢別でみると、すべての年代で「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が最も多く、次いで30～39歳では「高齢者が楽しく働ける場を増やす」が続き、それ以外の年代では「高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する」が続きます。

【生きがいのある老後 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
生活資金の充実(公的年金、社会保険の充実)	① 60.0	① 50.6	① 54.1	① 49.6	① 48.0
高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する	② 20.0	22.0	② 24.9	② 22.0	② 31.3
高齢者が楽しく働ける場を増やす	19.2	② 27.4	19.2	18.5	15.7
生活資金確保のため、就労の機会を増やす	16.9	20.1	22.7	17.2	10.3
近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる	13.8	11.6	10.9	14.2	17.0
住宅福祉サービスを充実させる	10.0	8.5	11.8	14.7	15.7
歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める	16.9	16.5	10.9	13.8	12.1
介護予防や寝たきり予防のための支援を行う	4.6	8.5	10.9	12.1	12.3
生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	10.8	10.4	8.7	11.2	10.2
高齢者の地域活動への参加を促進する	3.8	4.3	6.6	7.3	7.6
老人クラブの活動を支援する	3.8	2.4	1.7	3.0	3.1
市民ボランティアの育成に努める	3.8	2.4	3.1	2.2	1.9
その他	2.3	4.3	1.7	1.7	1.5

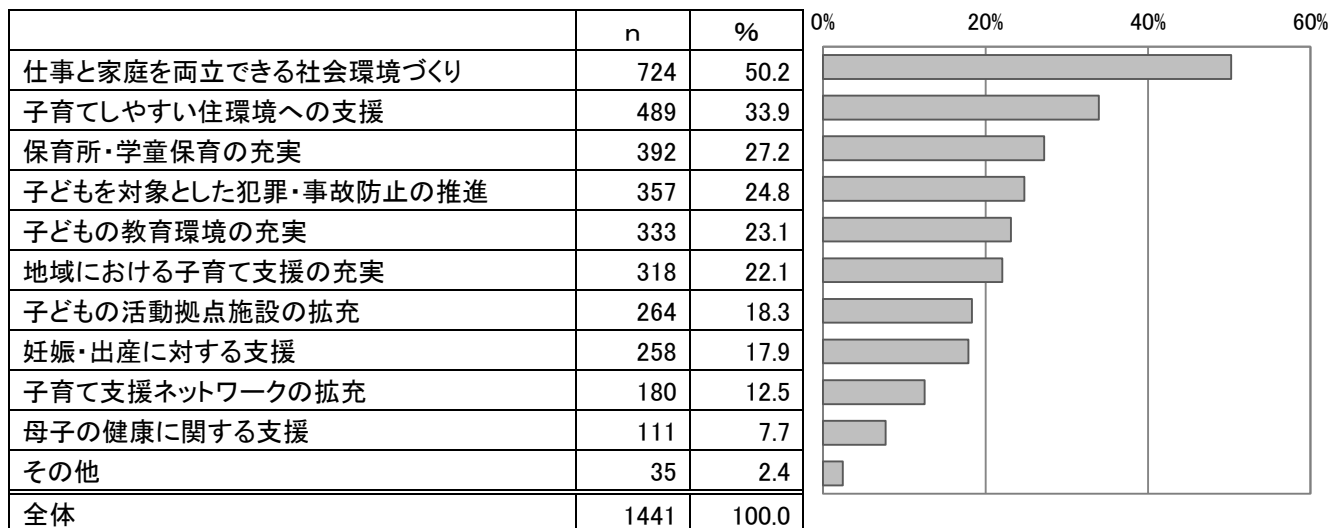
※第1位～第2位を①～②で記しています。

6 - 2 子育て支援に期待すること

【問21】 あなたが、市の子育て支援に期待することは何ですか。【複数回答】

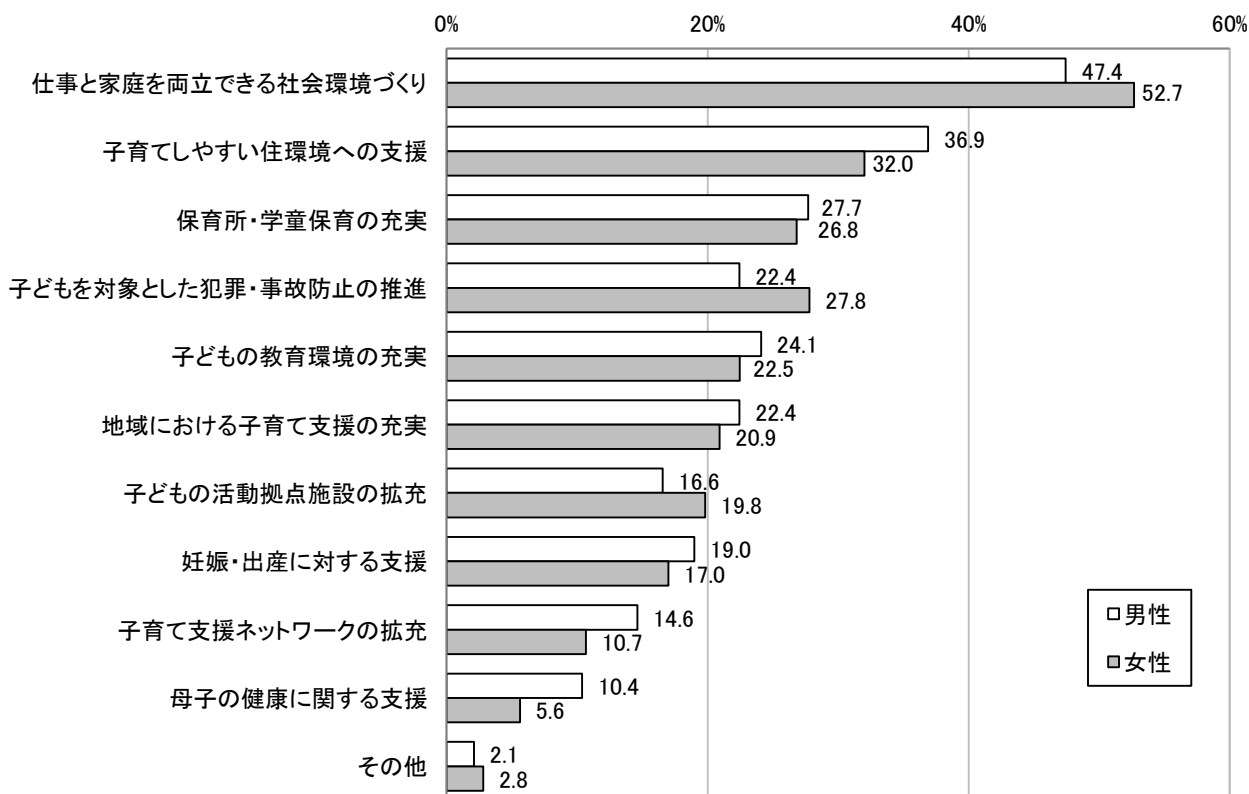
○市の子育て支援に期待することは、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が50.2%で最も多く、次いで「子育てしやすい住環境への支援」(33.9%)、「保育所・学童保育の充実」(27.2%)などが続きます。

問 21 子育て支援に期待すること



○性別でみると、おおむね同様の結果となっていますが、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」「子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進」「子どもの活動拠点施設の拡充」では女性が男性をやや上回ります。

【子育て支援に期待すること 性別集計】



○年齢別でみると、すべての年代で「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が最も多く、次いで20～29歳では「妊娠・出産に対する支援」が続き、それ以外の年代では「子育てしやすい住環境への支援」が続きます。

【子育て支援に期待すること 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
仕事と家庭を両立できる社会環境づくり	① 52.3	① 49.4	① 49.3	① 45.7	① 51.5
子育てしやすい住環境への支援	36.9	② 30.5	② 32.8	② 36.2	② 34.6
保育所・学童保育の充実	28.5	29.3	21.8	31.0	26.8
子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進	14.6	23.8	31.4	22.0	26.5
子どもの教育環境の充実	20.0	26.2	31.0	24.1	20.2
地域における子育て支援の充実	28.5	25.0	14.8	22.8	21.3
子どもの活動拠点施設の拡充	14.6	26.8	21.8	22.0	14.1
妊娠・出産に対する支援	② 43.8	17.7	17.9	16.8	13.2
子育て支援ネットワークの拡充	6.9	10.4	10.5	16.4	13.7
母子の健康に関する支援	10.0	9.8	6.1	6.0	8.6
その他	3.8	6.7	2.6	1.7	1.3

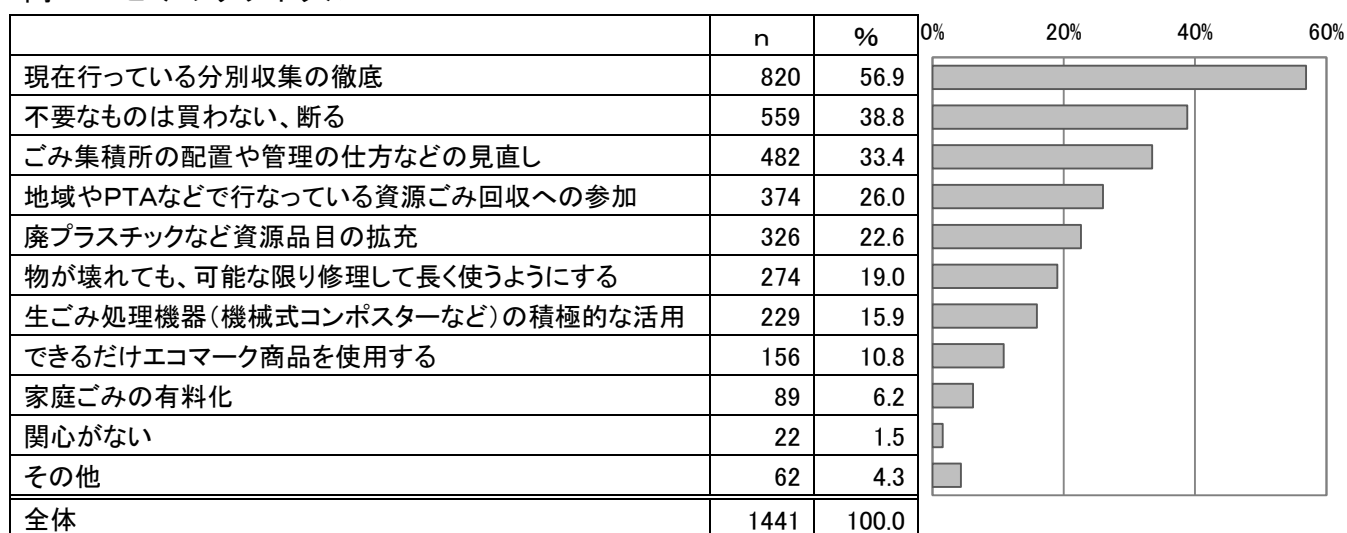
※第1位～第2位を①～②で記しています。

6 - 3 ごみのリサイクル

【問22】 最近、ごみ問題への関心が高まってきていますが、その課題の一つとして家庭ごみの減量が挙げられます。家庭のごみを減らしたり、リサイクル（再利用・再資源）をすすめていくうえで、どのようなことが必要だとお考えですか。【複数回答】

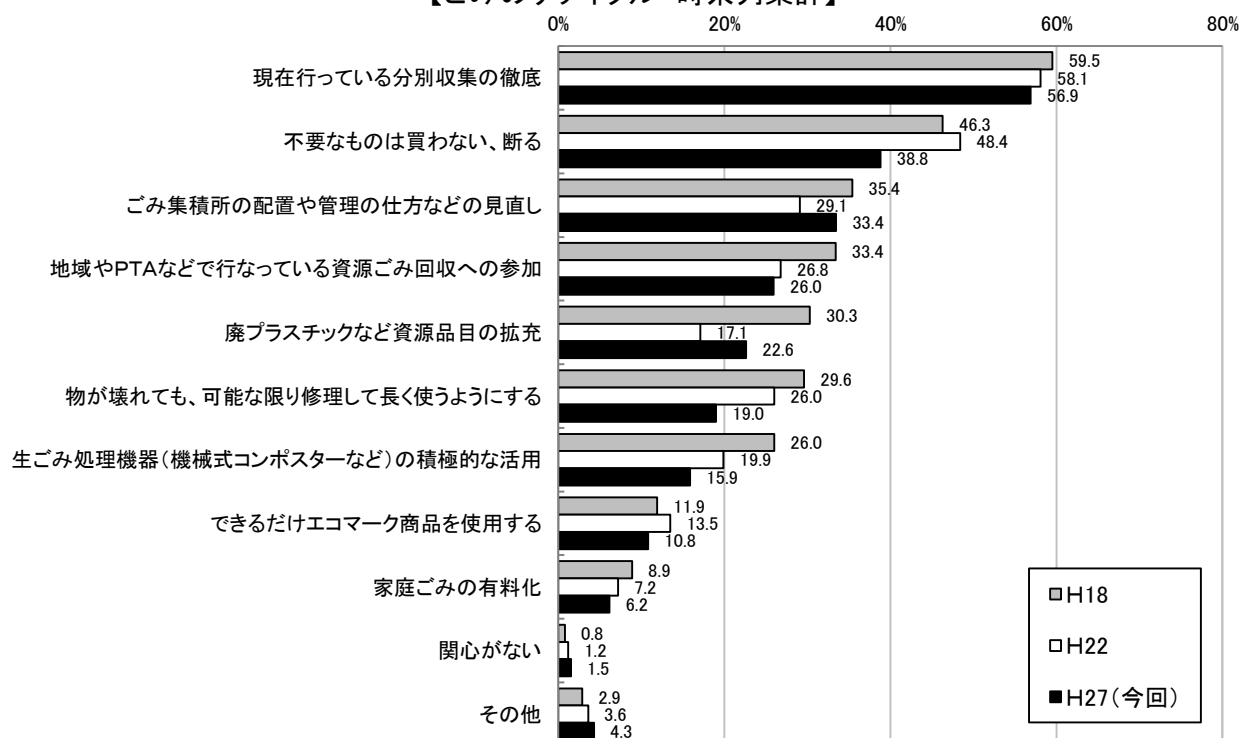
- ごみ問題の対策として家庭ごみを減量するうえで何が必要であるかについては、「現在行っている分別収集の徹底」が 56.9%と半数以上を占めて最も多く、次いで「不要なものを買わない、断る」（38.8%）、「ごみ集積所の配置や管理の仕方などの見直し」（33.4%）などが続きます。
- 「関心がない」は 1.5%にとどまります。

問 22 ごみのリサイクル



- 過去の調査との時系列でみると、おおむね同様の順位となっていますが、「ごみ集積所の配置や管理の仕方などの見直し」及び「廃プラスチックなど資源品目の拡充」の割合が増え、その他の項目については減少しています。

【ごみのリサイクル 時系列集計】

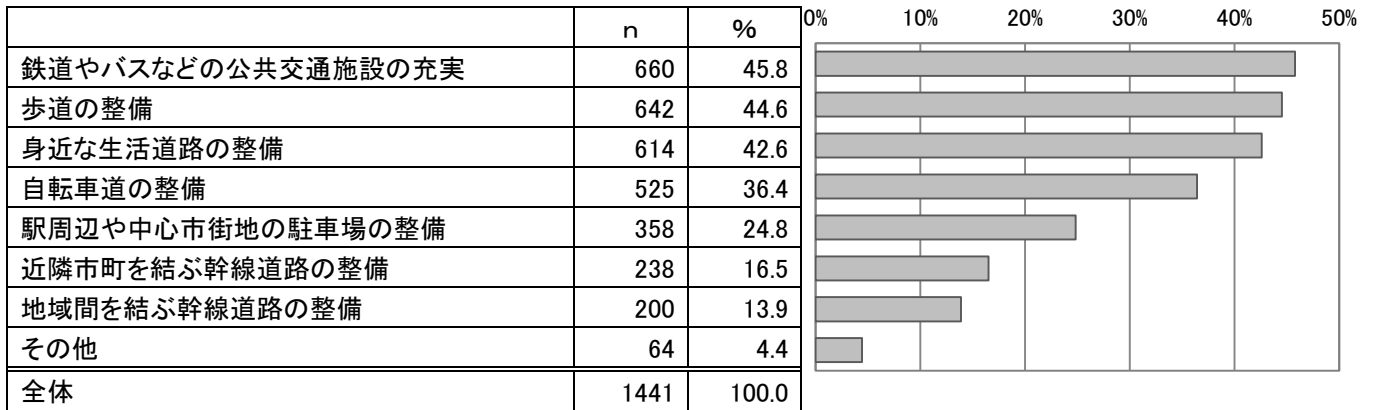


6 - 4 交通

【問23】 羽生市の交通についてこれから必要だと思うものは何ですか。【複数回答】

○交通について必要なものについては、「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」が45.8%で最も多く、次いで「歩道の整備」(44.6%)、「身近な生活道路の整備」などが続きます。

問 23 交通



○年齢別でみると、60歳以上では「歩道の整備」が最も多く、それ以外の年代では「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」が最も多くなっています。

【交通 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	① 63.1	① 55.5	① 52.0	① 50.9	36.0
歩道の整備	36.2	43.3	38.4	46.6	① 49.6
身近な生活道路の整備	36.2	38.4	44.5	36.2	46.8
自転車道の整備	34.6	28.0	36.2	36.2	39.1
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	26.9	25.6	23.6	24.6	24.4
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	13.8	19.5	14.8	15.5	16.8
地域間を結ぶ幹線道路の整備	11.5	14.6	11.8	15.1	14.1
その他	6.2	4.9	4.8	3.9	4.0

※第1位を①で記しています。

○地区別でみると、羽生地区では「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」、須影地区では「自転車道の整備」、手子林地区では「歩道の整備」及び「身近な生活道路の整備」、それ以外の地区では「身近な生活道路の整備」が最も多くなっています。

【交通 地区別集計】

(単位：%)

	羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
鉄道やバスなどの公共交通施設の充実	① 52.6	43.5	42.0	28.7	42.4	42.9	42.8	40.0	40.6
歩道の整備	47.6	44.4	43.0	51.5	54.2	39.1	① 44.0	35.4	34.4
身近な生活道路の整備	34.1	① 46.8	46.0	① 53.5	① 57.6	① 51.1	① 44.0	① 55.4	① 43.8
自転車道の整備	36.2	36.3	① 47.0	47.5	44.1	29.3	31.4	29.2	31.3
駅周辺や中心市街地の駐車場の整備	24.7	21.8	22.0	25.7	25.4	21.1	29.6	23.1	21.9
近隣市町を結ぶ幹線道路の整備	15.9	9.7	23.0	8.9	22.0	16.5	15.7	16.9	31.3
地域間を結ぶ幹線道路の整備	10.8	18.5	12.0	10.9	6.8	22.6	13.8	13.8	31.3
その他	4.9	4.0	4.0	3.0	1.7	3.0	6.3	4.6	3.1

※第1位を①で記しています。

6 - 5 最終電車時刻

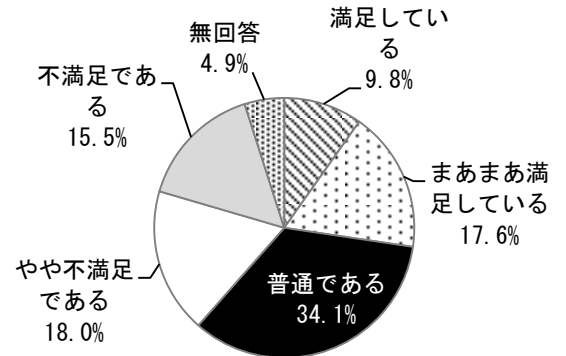
【問24】 最終電車時刻の満足度についてお伺いします。

- 最終電車時刻の満足度については、「普通である」が34.1%で最も多くなっています。
- “満足”は27.4%、“不満足”は33.5%で、“不満足”が上回ります。

問 24 最終電車時刻

	n	%
満足している	141	9.8
まあまあ満足している	253	17.6
普通である	492	34.1
やや不満足である	260	18.0
不満足である	224	15.5
無回答	71	4.9
全体	1441	100.0

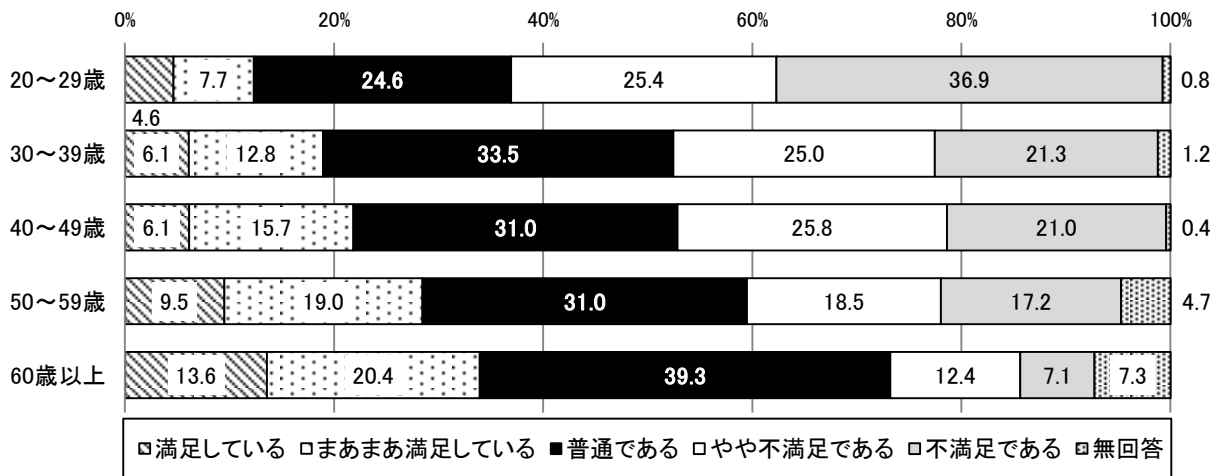
【問24 最終電車時刻】



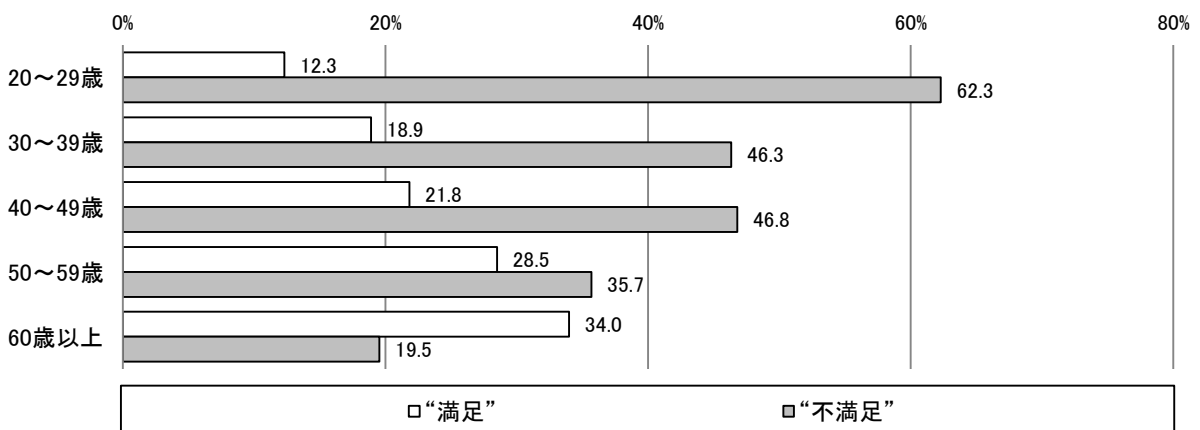
※“満足”は「満足している」及び「まあまあ満足している」の合計、“不満足”は「やや不満足である」及び「不満足である」の合計としています。
(以下同様)

- 年齢別でみると、高齢になるにつれて“満足”、若年になるにつれて“不満足”が多くなっています。

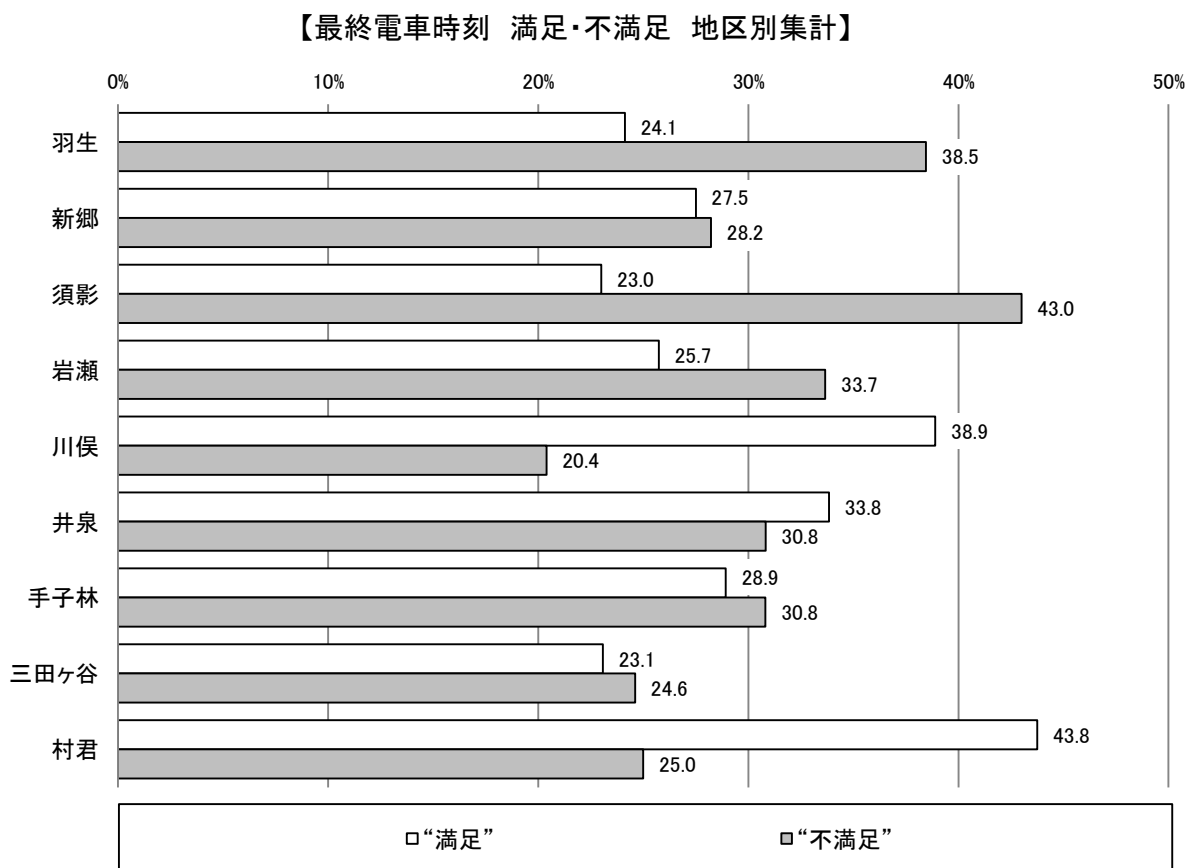
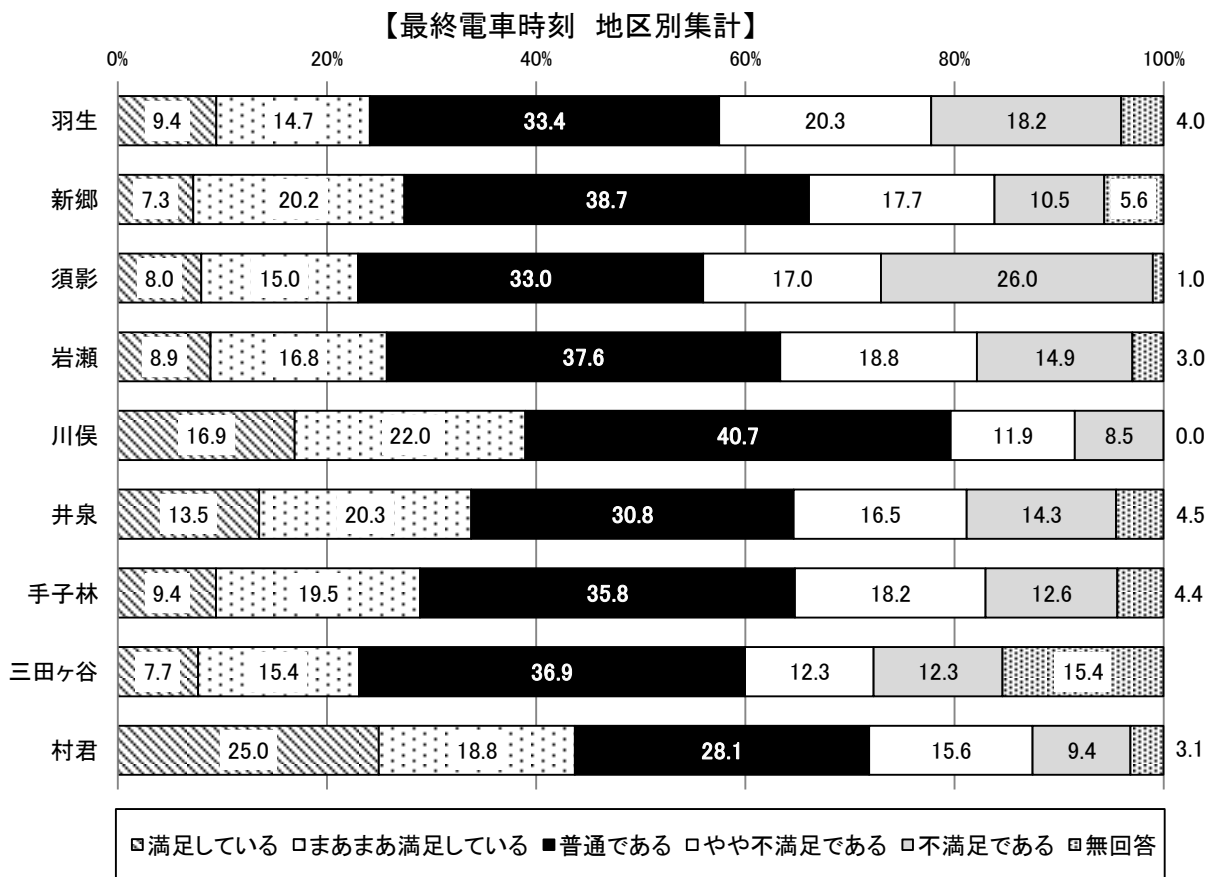
【最終電車時刻 年齢別集計】



【最終電車時刻 満足・不満足 年齢別集計】



○地区別でみると、川俣地区・井泉地区・村君地区では“満足”が多く、それ以外の地区では“不満足”が多くなっています。特に須影地区では“不満足”が“満足”を20.0%上回ります。



7 通信環境などについて

7 - 1 市のホームページ利用状況

【問25】 あなたは、羽生市のホームページをご覧になりますか。

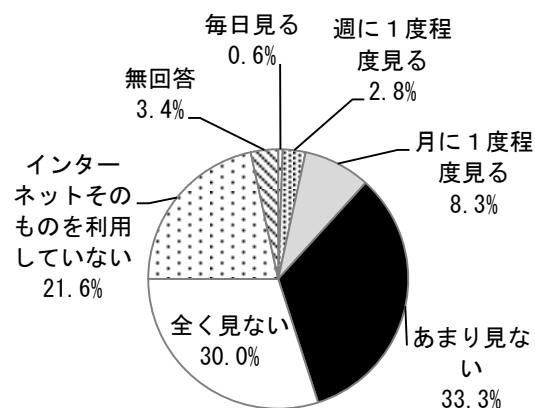
- 市のホームページの利用状況については、「あまり見ない」が33.3%で最も多く、次いで「全く見ない」(30.0%)、「インターネットそのものを利用していない」(21.6%)などが続きます。
- 「毎日見る」「週に1度程度見る」「月に1度程度見る」を合わせた“見る”は11.7%となっています。

問 25 市のホームページ利用状況

	n	%
毎日見る	8	0.6
週に1度程度見る	41	2.8
月に1度程度見る	120	8.3
あまり見ない	480	33.3
全く見ない	432	30.0
インターネットそのものを利用していない	311	21.6
無回答	49	3.4
全体	1441	100.0

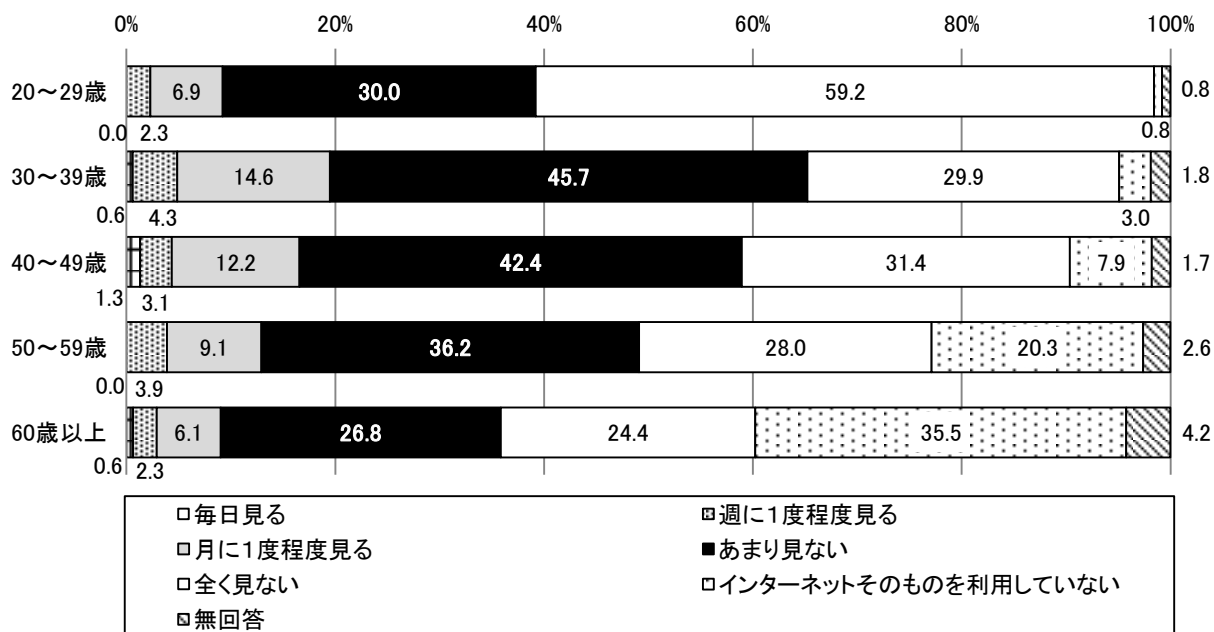
※“見る”は「毎日見る」「週に1度程度見る」「月に1度程度見る」の合計としています。(以下同様)

【問25 市のホームページ利用状況】



- 年齢別でみると、30～39歳で“見る”が最も多く、19.5%となっています。また、20～29歳を除けばおおよそ高齢になるにつれて“見る”が減少する傾向がみられます。
- 高齢になるにつれて「インターネットそのものを利用していない」が増加する傾向がみられます。

【市のホームページ利用状況 年齢別集計】



7 - 2 電子申請・届出サービス

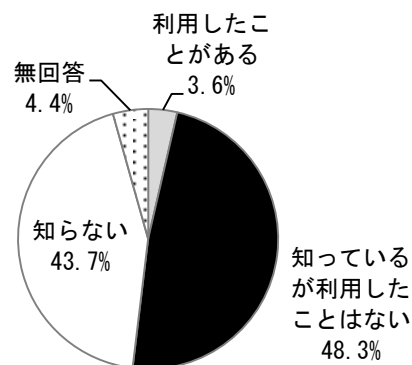
【問26】 羽生市の電子申請・届出サービスについてご存知ですか。

- 電子申請・届出サービスについては、「知っているが利用したことはない」が48.3%で最も多く、次いで「知らない」(43.7%)が続きます。
- 「利用したことがある」は3.6%にとどまります。

問 26 電子申請・届出サービス

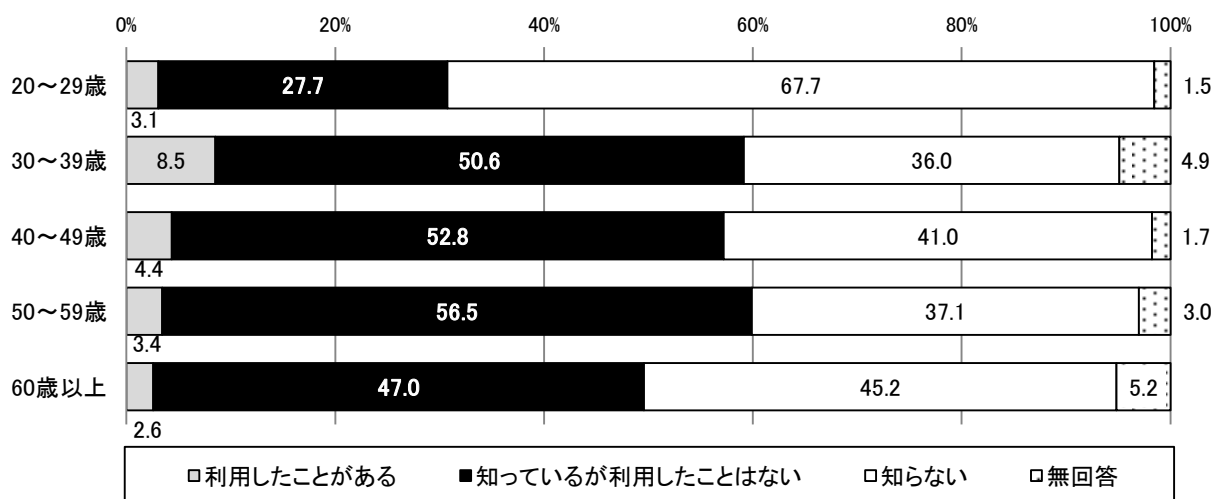
	n	%
利用したことがある	52	3.6
知っているが利用したことはない	696	48.3
知らない	630	43.7
無回答	63	4.4
全体	1441	100.0

【問26 電子申請・届出サービス】



- 年齢別にみると、20～29歳では「知らない」が67.7%と7割弱を占めます。
- 30歳以上60歳未満では「知っているが利用したことはない」が半数以上を占め、「利用したことがある」と回答した割合が最も多い30～39歳(8.5%)でも1割以下にとどまり、認知度は高いものの利用者が少ない傾向がうかがえます。

【電子申請・届出サービス 年齢別集計】



8 医療・防災・防犯について

8 - 1 かかりつけ医

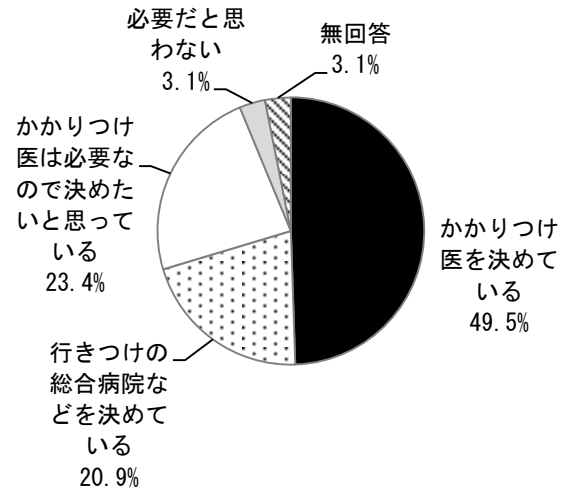
【問27】 あなたは、かかりつけ医または診療所（医院）・病院を決めていますか。

○かかりつけ医や診療所・病院については、「かかりつけ医を決めている」が49.5%と約半数を占めて最も多く、次いで「行きつけの総合病院などを決めている」（20.9%）を合わせた、何らかの行きつけを決めている人が70.4%となっています。

問 27 かかりつけ医

	n	%
かかりつけ医を決めている	713	49.5
行きつけの総合病院などを決めている	301	20.9
かかりつけ医は必要なので決めたいと思っている	337	23.4
必要だと思わない	45	3.1
無回答	45	3.1
全体	1441	100.0

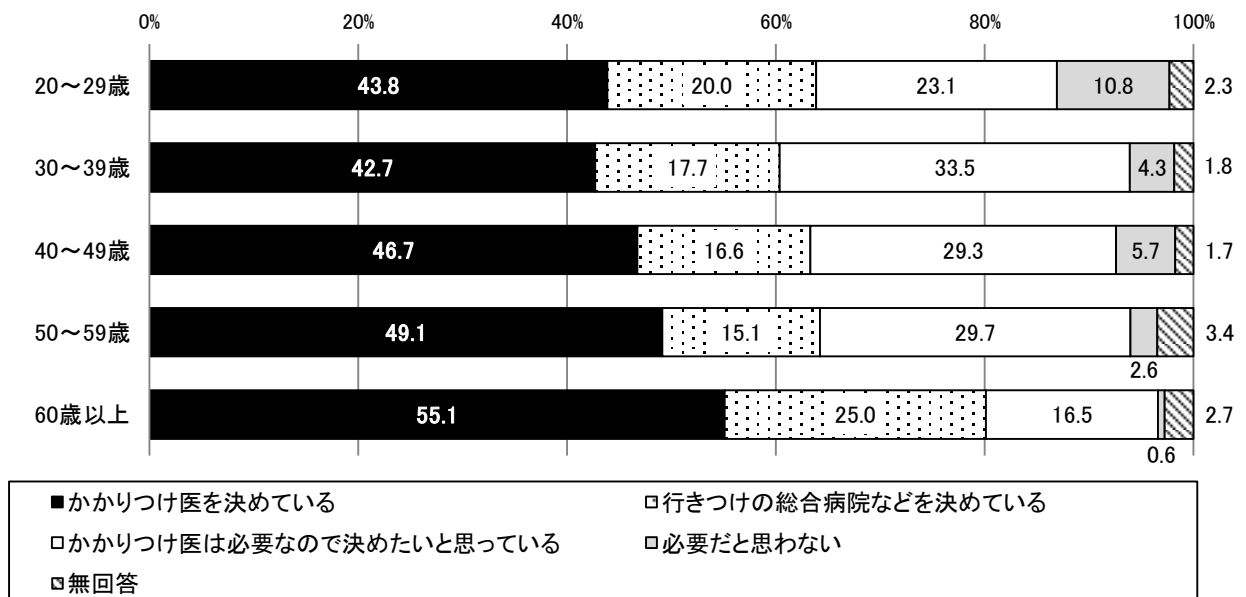
【問27 かかりつけ医】



○年齢別でみると、おおむね高齢になるにつれて「かかりつけ医を決めている」が増加する傾向がみられます。「行きつけの総合病院などを決めている」は60歳以上が最も多くなっています。

○「必要だと思わない」は20～29歳で最も多くなっています。

【かかりつけ医 年齢別集計】



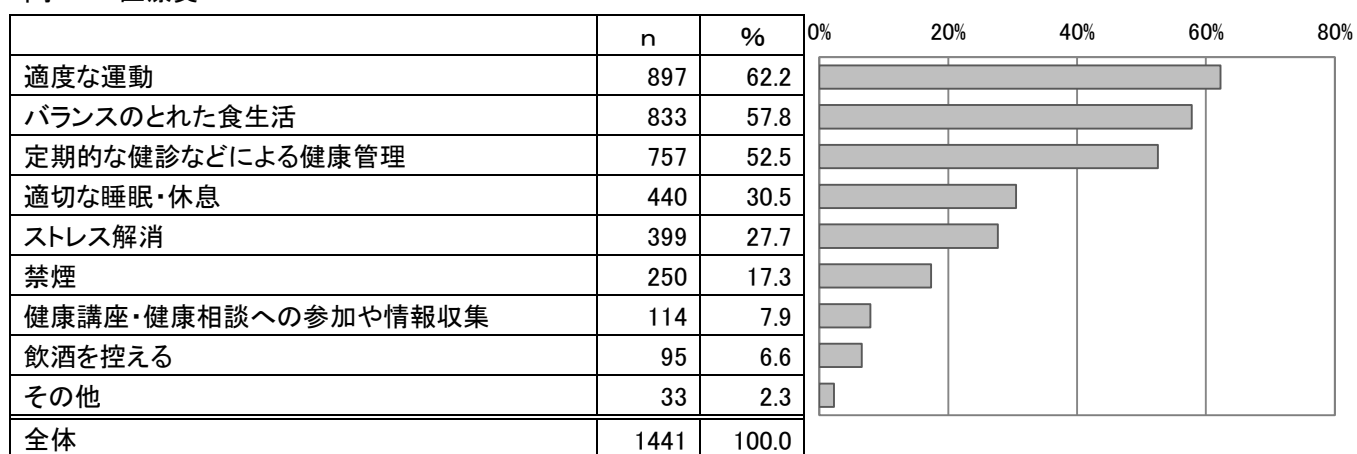
8 - 2 医療費

【問28】 市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、年々増加しています。そこで、医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすためには、何が大切だと思いますか。

【複数回答】

○医療費の増加を抑え健康に暮らすためには、「適度な運動」が62.2%で最も多く、次いで「バランスのとれた食生活」(57.8%)、「定期的な健診などによる健康管理」(52.5%)が続き、いずれも半数以上を占めます。

問 28 医療費



○年齢別でみると、すべての年代で「適度な運動」及び「バランスのとれた食生活」が上位項目となっています。

【医療費 年齢別集計】

(単位: %)

	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
適度な運動	① 56.2	① 58.5	① 59.0	① 59.5	① 67.5
バランスのとれた食生活	② 44.6	② 53.7	② 55.0	② 55.6	② 63.2
定期的な健診などによる健康管理	36.9	48.8	52.8	53.9	56.7
適切な睡眠・休息	43.8	36.0	31.4	28.4	27.3
ストレス解消	36.2	37.8	30.6	31.5	21.2
禁煙	32.3	19.5	21.8	15.5	13.7
健康講座・健康相談への参加や情報収集	2.3	4.9	7.0	9.1	9.7
飲酒を控える	8.5	4.9	8.3	5.6	6.5
その他	1.5	3.0	2.6	3.9	1.5

※第1位～第2位を①～②で記しています。

8 - 3 健康診断

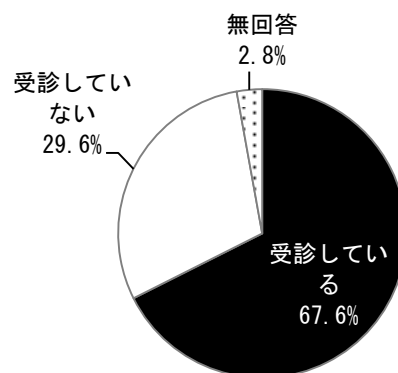
【問29】 あなたは、毎年、健康診断などを受診していますか。

- 健康診断などの受診については、「受診している」が67.6%で7割弱を占めます。
- 「受診していない」は29.6%となっています。

問 29 健康診断の受診

	n	%
受診している	974	67.6
受診していない	426	29.6
無回答	41	2.8
全体	1441	100.0

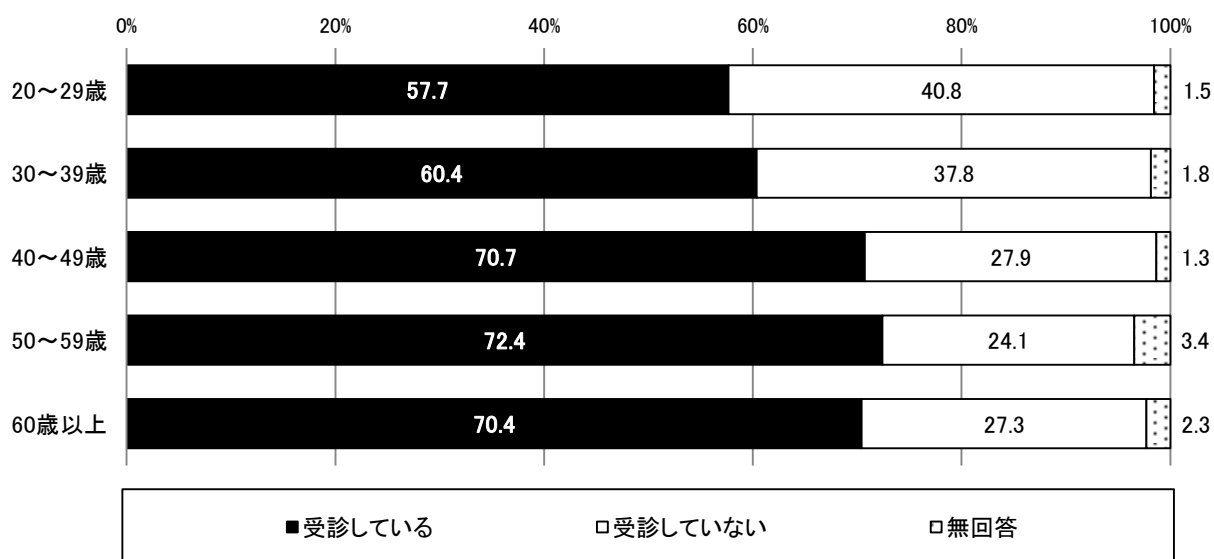
【問29 健康診断の受診】



○年齢別でみると、「受診している」割合は40歳未満では6割前後、40歳以上では7割前後となっています。

○40歳以上の年代では「受診している」が7割以上を占めます。

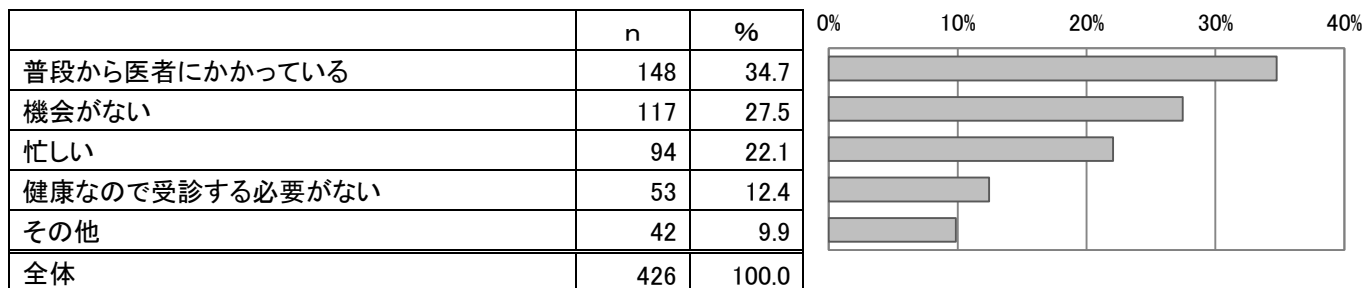
【健康診断の受診 年齢別集計】



【問29 - a】 問29で「受診していない」を選んだ方にお伺いします。健康診断などを受診していない理由は何ですか。【複数回答】

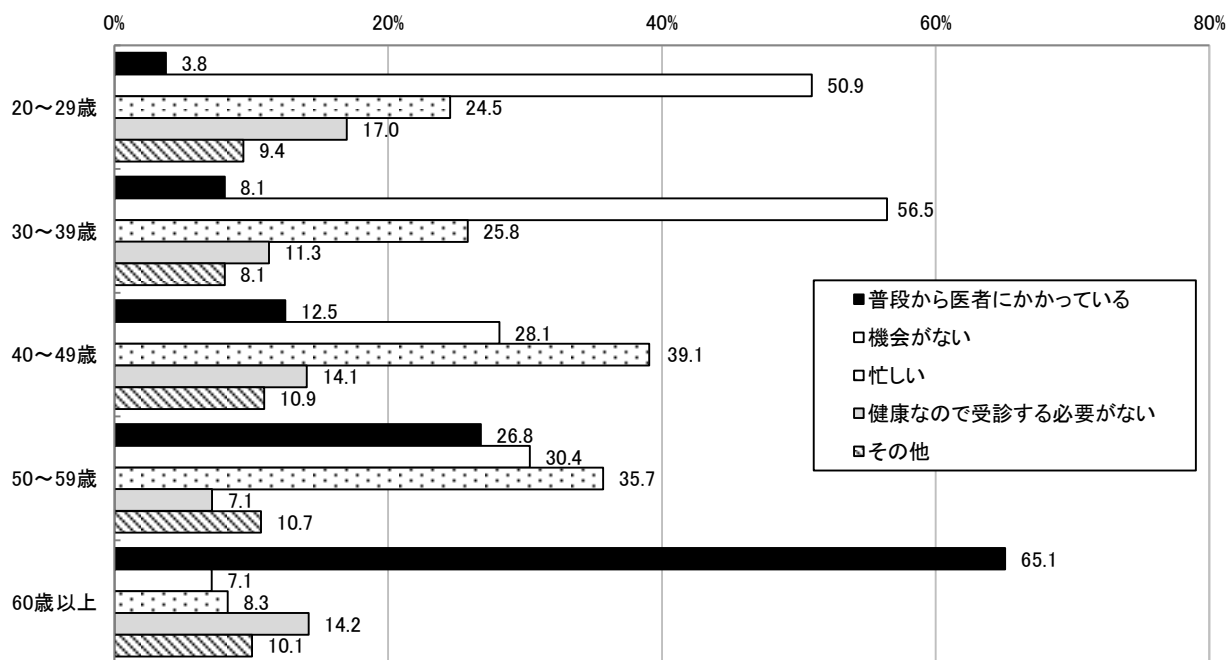
○健康診断などを受診していない理由については、「普段から医者にかかっている」が34.7%で最も多く、次いで「機会がない」(27.5%)、「忙しい」(22.1%)などが続きます。

問29 - a 受診していない理由



○年齢別でみると、高齢になるにつれて「普段から医者にかかっている」が増加する傾向がみられます。
○20～29歳及び30～39歳では「機会がない」、40～49歳及び50～59歳では「忙しい」、60歳以上では「普段から医者にかかっている」がそれぞれ第1位の項目となっています。

【受診していない理由 年齢別集計】



8 - 4 地震と家屋

【問30】 近年、日本各地で大規模な地震が発生し、大きな被害が出ています。被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要とされています。そこで、あなたのお住まいの住宅についてお伺いします。

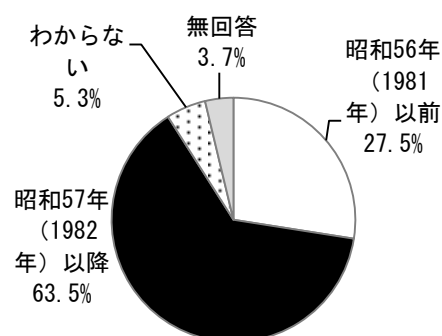
(1) お住まいの家が建てられた時期はいつですか。

- 建築基準法新耐震基準の施行後[昭和57年(1982年)以降]に建てられた住宅が63.5%と6割強を占めます。
- 旧耐震基準[昭和56年(1981年)以前]の住宅は27.5%となっています。

問30-1 家が建てられた時期

	n	%
昭和56年(1981年)以前	396	27.5
昭和57年(1982年)以降	915	63.5
わからない	76	5.3
無回答	54	3.7
全体	1441	100.0

【問30-1 家が建てられた時期】



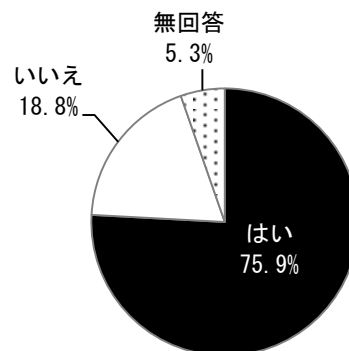
(2) お住まいの家が地震に対してどの程度安全か知りたいですか。

- 地震に対して安全かを知りたい人は、75.9%と7割以上を占めており、住宅の安全度に対する関心は高くなっています。

問30-2 安全度を知りたいか

	n	%
はい	1093	75.9
いいえ	271	18.8
無回答	77	5.3
全体	1441	100.0

【問30-2 安全度を知りたいか】



(3) お住まいの家が、大地震の際に安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。

- 大規模地震に対する安全性の問題が分かった場合、“持ち家”では「耐震補強工事をする」が66.8%と6割以上を占めます。また、「建て替える」は7.6%にとどまります。
- “借家”では「住み替える」が39.3%、「所有者に耐震補強工事を求める」が38.5%となっています。

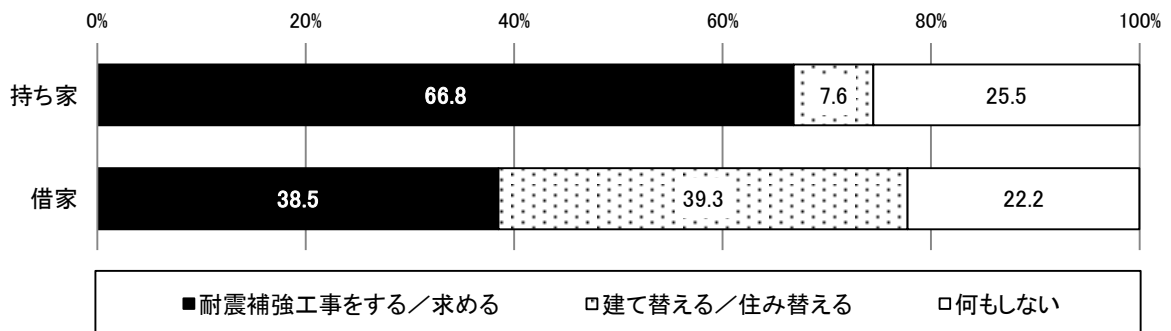
問 30 - 3 - 1 問題がある場合（持ち家）

	n	%
耐震補強工事をする	814	66.8
建て替える	93	7.6
何もしない	311	25.5
全体	1218	100.0

問 30 - 3 - 2 問題がある場合（借家）

	n	%
所有者に耐震補強工事を求める	52	38.5
住み替える	53	39.3
何もしない	30	22.2
全体	135	100.0

【住宅に問題がある場合 持ち家と借家の比較】



8 - 4 火災警報器

【問31】 あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。【複数回答】

- 住宅用火災警報器については、「設置されていない」が42.1%で最も多くなっています。
- 設置されている場所については、「台所に設置されている」が40.9%で最も多く、次いで「寝室に設置されている」(28.0%)、「階段に設置されている」(19.0%)、「寝室・階段・台所以外の場所に設置されている」(10.5%)となっています。

問 31 火災警報器

	n	%	0%	10%	20%	30%	40%	50%
台所に設置されている	589	40.9						
寝室に設置されている	404	28.0						
階段に設置されている	274	19.0						
寝室・階段・台所以外の場所に設置されている	151	10.5						
設置されていない	606	42.1						
無回答	64	4.4						
全体	1441	100.0						

- 「寝室」「階段」「台所」「その他の場所」いずれの場所にも設置している人は2.6%にとどまっています。
- 1か所のみを設置している人は「台所」が最も多くなっています。

【火災警報器 設置場所別集計】

	設置場所					合計			
	寝室	階段	台所	その他	n	%	n	%	
4か所以上	○	○	○	○	37	2.6	37	2.6	
3か所	○	○	○		97	6.7	156	10.8	
	○		○	○	9	0.6			
	○	○	○	○	42	2.9			
2か所		○	○	○	8	0.6	221	15.3	
	○	○			34	2.4			
	○		○		115	8.0			
	○			○	8	0.6			
		○	○		50	3.5			
		○		○	2	0.1			
1か所			○	○	12	0.8	357	24.8	
	○				61	4.2			
		○			36	2.5			
			○		227	15.8			
			○	33	2.3				
設置なし					606	42.1	606	42.1	
無回答					64	4.4	64	4.4	
					合計	1441	100.0	1441	100.0

8 - 5 避難場所

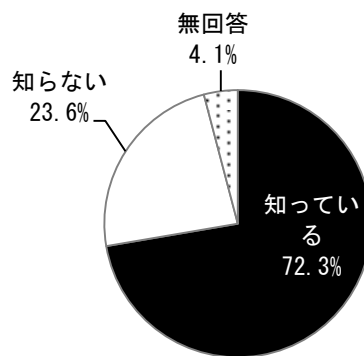
【問32】 あなたは、震災・水害時の避難所をご存じですか。

○震災・水害時の避難場所については、「知っている」が72.3%と7割強を占めます。一方で「知らない」が23.6%となっています。

問 32 避難場所

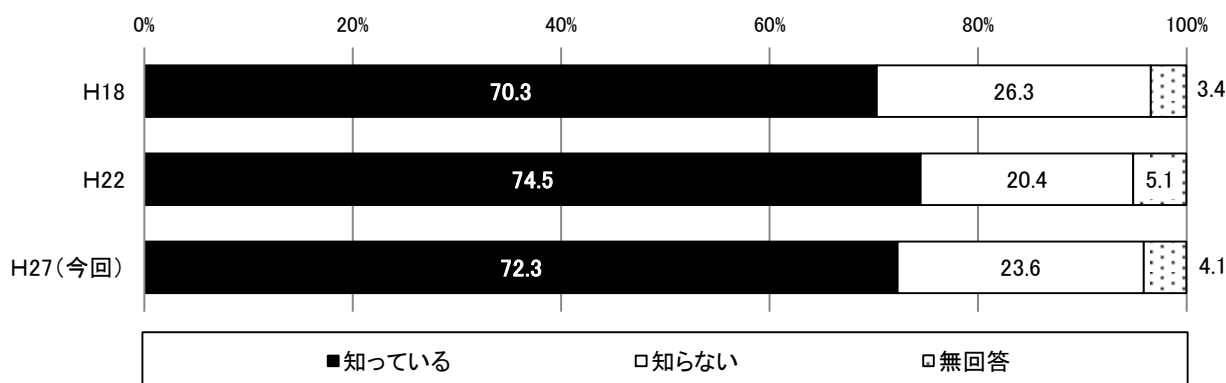
	n	%
知っている	1042	72.3
知らない	340	23.6
無回答	59	4.1
全体	1441	100.0

【問32 避難場所】



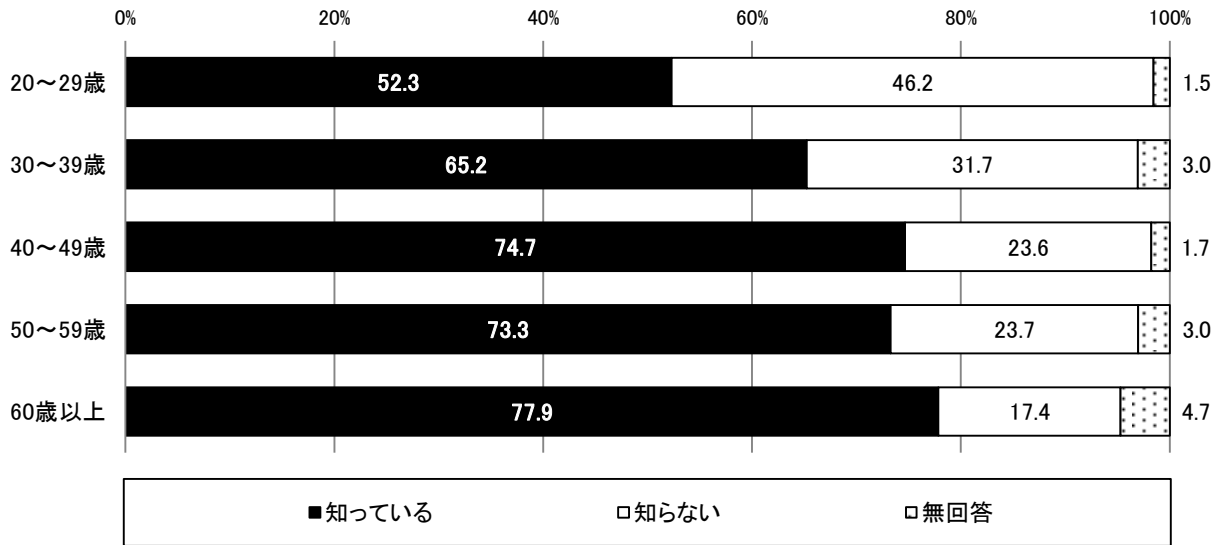
○過去の調査との時系列でみると、平成22年度と比べて「知っている」が減少し、「知らない」が増加しています。

【避難場所 時系列集計】



○年齢別でみると、おおむね高齢になるにつれて「知っている」が増加する傾向がみられます。

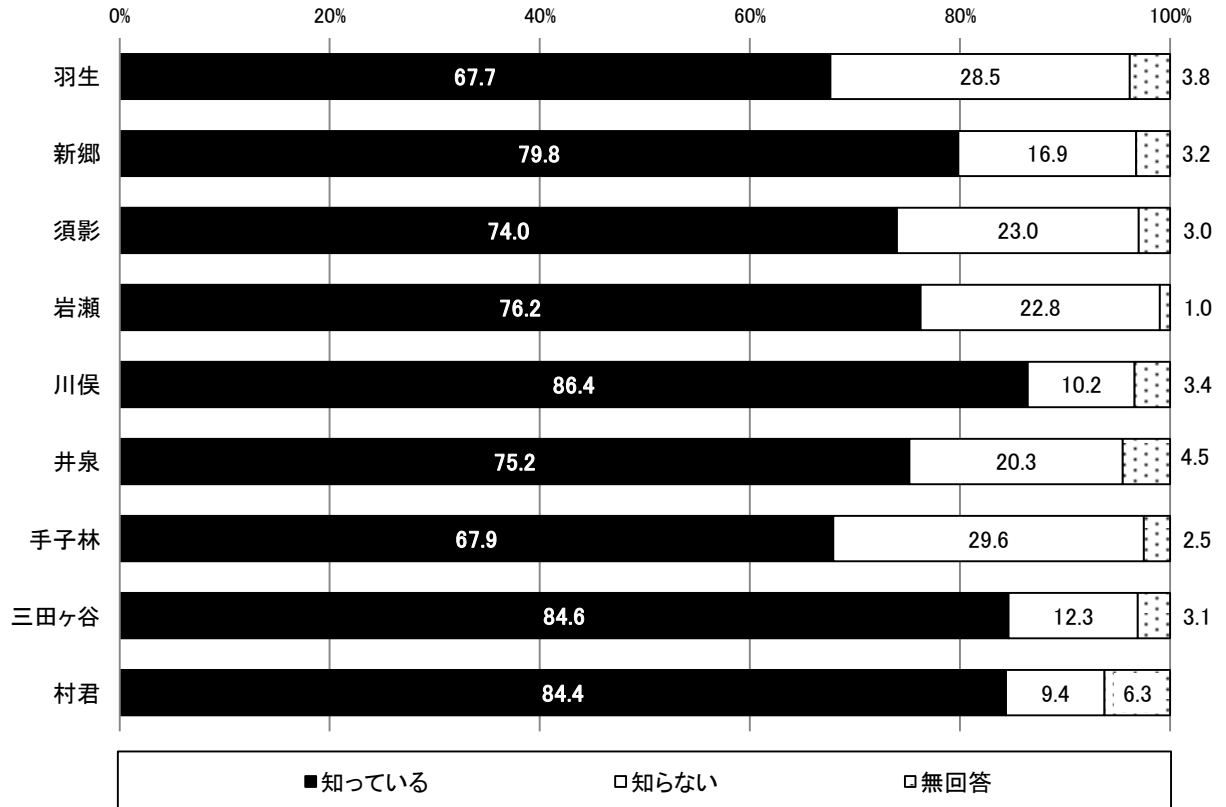
【避難場所 年齢別集計】



○地区別でみると、すべての地区で「知っている」が6割を超え、特に川俣地区・三田ヶ谷地区・村君地区では8割を超えています。

○手子林地区と羽生地区で「知らない」の割合が比較的高くなっています。

【避難場所 地区別集計】

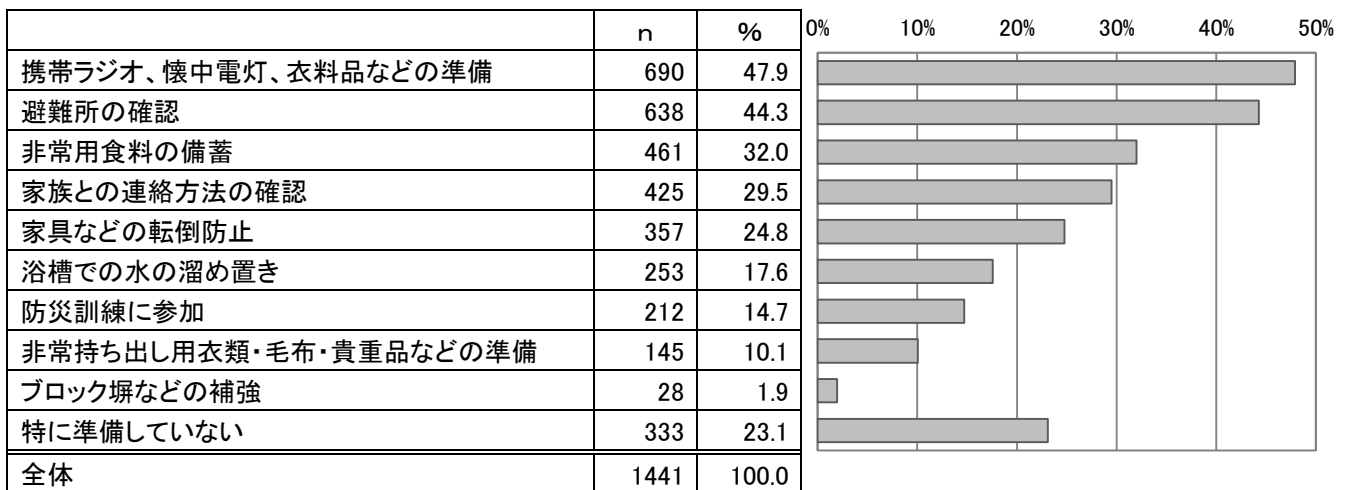


8 - 6 災害時の備え

【問33】 あなたの家では、震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。
【複数回答】

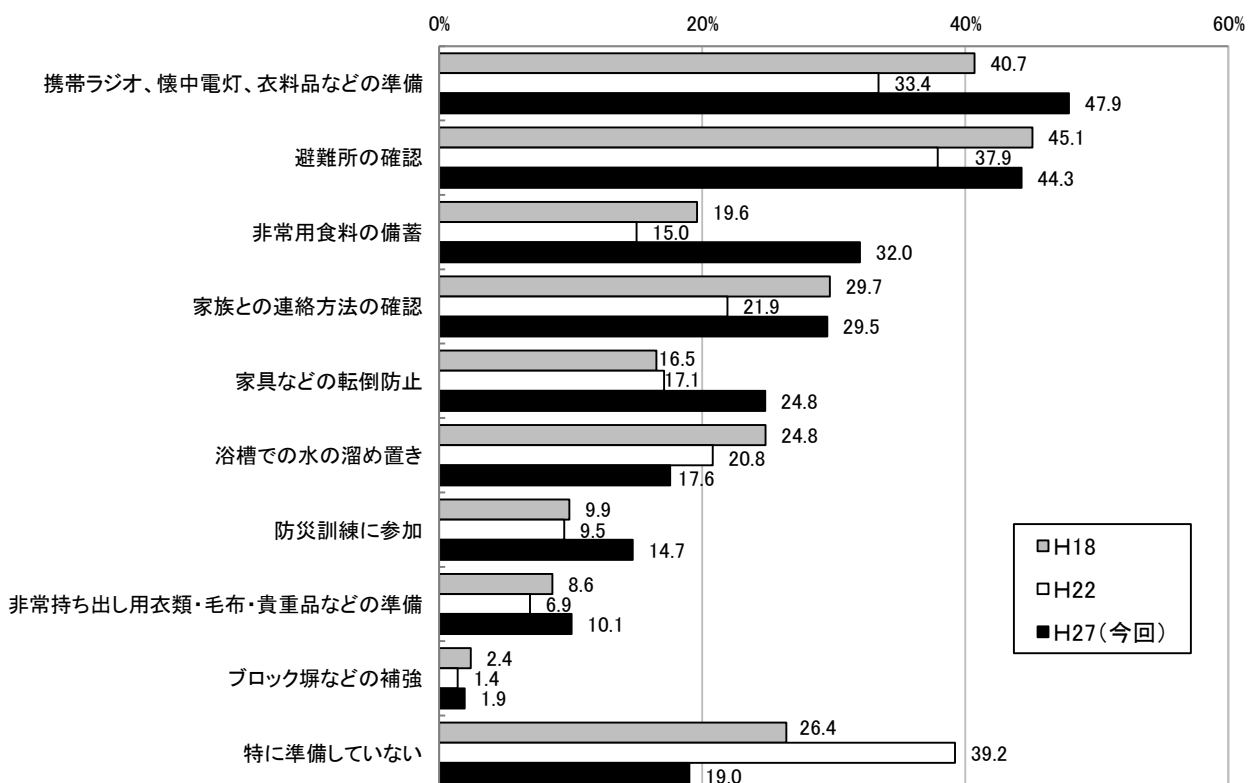
- 災害時の備えについては、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」が47.9%で最も多く、次いで「避難場所の確認」(44.3%)、「非常用食料の備蓄」(32.0%)、「家族との連絡方法の確認」(29.5%)などが続きます。
- 「特に準備していない」は23.1%となっています。

問33 災害時の備え



- 過去の調査との時系列でみると、「特に準備していない」が減少し、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」「非常用食料の備蓄」「家具などの転倒防止」の順位が上がっています。
- 「非常用食料の備蓄」は、平成22年度と比べて約2倍に増加しています。

【災害時の備え 時系列集計】



- 年齢別でみると、20～29歳では「非常用食料の備蓄」、30歳以上50歳未満では「避難所の確認」、50歳以上では「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」が最も多くなっています。
- 「特に準備していない」は、高齢になるにつれておおむね減少する傾向がみられます。

【災害時の備え 年齢別集計】

(単位:%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備	30.0	40.9	40.2	① 47.8	① 56.4
避難所の確認	27.7	① 43.9	① 40.6	44.8	48.9
非常用食料の備蓄	① 33.1	36.0	28.4	32.8	31.5
家族との連絡方法の確認	22.3	29.9	31.4	35.8	28.1
家具などの転倒防止	23.8	28.0	26.6	25.9	24.9
浴槽での水の溜め置き	6.9	11.0	7.4	15.1	26.0
防災訓練に参加	3.1	11.6	7.9	11.6	22.3
非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品などの準備	9.2	10.4	8.7	8.2	11.0
ブロック塀などの補強	0.8	1.8	1.7	3.0	1.9
特に準備していない	26.2	22.6	23.1	19.0	15.7

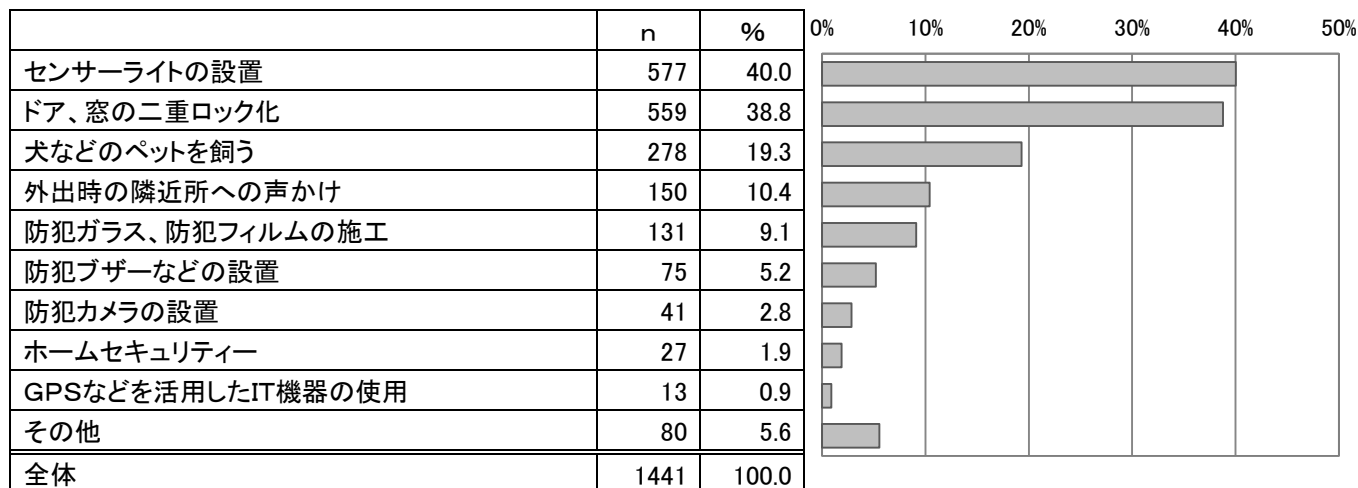
※第1位を①で記しています。

8 - 7 防犯対策

【問34】 あなたが現在行っている防犯対策は何ですか。【複数回答】

○防犯対策については、「センサーライトの設置」が40.0%で最も多く、次いで「ドア、窓の二重ロック化」(38.8%)、「犬などのペットを飼う」(19.3%)などが続きます。

問 34 防犯対策

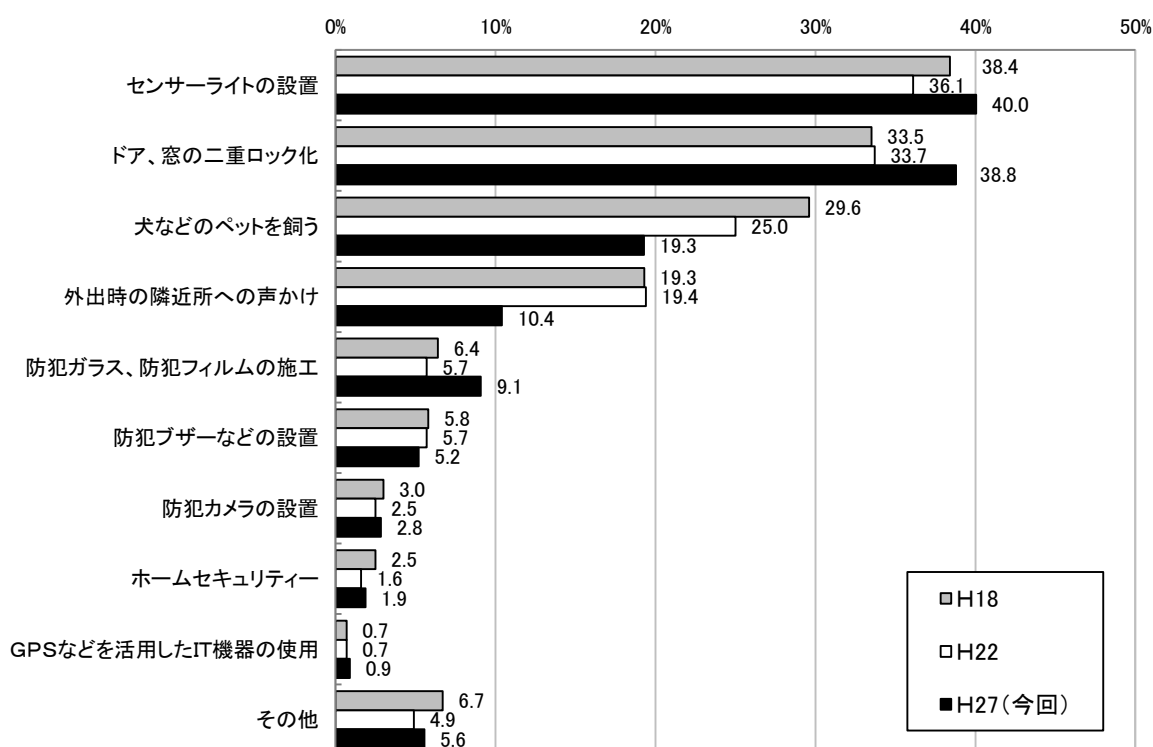


○過去の調査との時系列でみると、順位は同様の結果となっています。

○平成 22 年度と比べて、「センサーライトの設置」「ドア、窓の二重ロック化」「防犯ガラス、防犯フィルムの施工」などが増加しています。

○「犬などのペットを飼う」「外出時の隣近所への声かけ」などは、平成 22 年度と比べて減少しています。

【防犯対策 時系列集計】



○年齢別でみると、上位項目は同様の結果となっています。

○高齢になるにつれて「外出時の隣近所への声かけ」がおおむね増加する傾向がみられます。

【防犯対策 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
センサーライトの設置	② 31.5	② 42.7	① 44.5	② 38.4	① 40.7
ドア、窓の二重ロック化	① 34.6	① 45.7	② 42.4	① 41.4	② 37.0
犬などのペットを飼う	③ 21.5	③ 19.5	③ 21.4	③ 23.7	③ 16.6
外出時の隣近所への声かけ	3.1	6.7	6.6	9.5	12.8
防犯ガラス、防犯フィルムの施工	7.7	11.0	10.9	11.6	7.9
防犯ブザーなどの設置	5.4	6.7	6.1	4.3	5.3
防犯カメラの設置	0.8	2.4	1.3	7.3	2.3
ホームセキュリティー	4.6	0.0	1.7	3.0	1.1
GPSなどを活用したIT機器の使用	0.8	2.4	2.6	0.0	0.3
その他	6.2	6.7	4.8	5.2	6.0

※第1位～第3位を①～③で記しています。

8 - 8 犯罪防止

【問35】 あなたの身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

○犯罪を防止するために必要なことは、「防犯灯や街路灯を増設する」が70.0%と7割を占めて最も多く、次いで「市街地などに防犯カメラを取り付ける」(41.1%)、「警察のパトロールを多くする」(39.6%)、「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」(32.2%)などが続きます。

問 35 犯罪防止

	n	%	0%	20%	40%	60%	80%
防犯灯や街路灯を増設する	1008	70.0					
市街地などに防犯カメラを取り付ける	592	41.1					
警察のパトロールを多くする	571	39.6					
近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる	464	32.2					
道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する	297	20.6					
犯罪情報を提供する	266	18.5					
市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む	212	14.7					
地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする	144	10.0					
その他	18	1.2					
全体	1441	100.0					

○年齢別でみると、いずれの年代も「防犯灯や街路灯を増設する」が最も多く、次いで20～29歳では「警察のパトロールを多くする」が続き、それ以外の年代では「市街地などに防犯カメラを取り付ける」が続きます。

【犯罪防止 年齢別集計】

(単位: %)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
防犯灯や街路灯を増設する	① 72.3	① 79.3	① 70.3	① 71.6	① 66.1
市街地などに防犯カメラを取り付ける	30.0	② 40.2	② 41.5	② 44.4	② 42.6
警察のパトロールを多くする	② 44.6	36.6	40.6	43.5	37.3
近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる	18.5	31.7	24.9	35.8	37.2
道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する	23.1	18.9	19.2	24.1	19.7
犯罪情報を提供する	25.4	17.7	27.9	16.4	15.0
市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む	10.0	14.0	10.5	10.8	19.1
地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする	12.3	11.6	9.2	9.9	10.0
その他	2.3	1.8	0.9	0.4	1.3

※第1位～第2位を①～②で記しています。

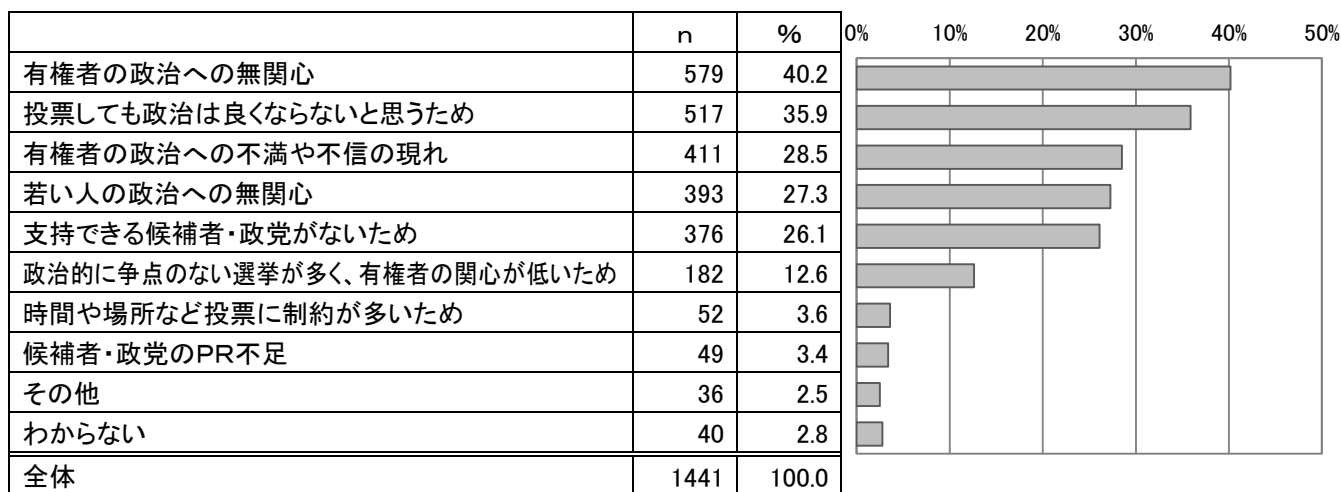
9 選挙について

9 - 1 投票率の低い理由

【問36】 最近、選挙の投票率の低い状態が続いています。あなたは、その理由は何だと思えますか。【複数回答】

○投票率が低い理由については、「有権者の政治への無関心」が40.2%で最も多く、次いで「投票しても政治は良くなれないと思うため」(35.9%)、「有権者の政治への不満や不信の現れ」(28.5%)などが続きます。

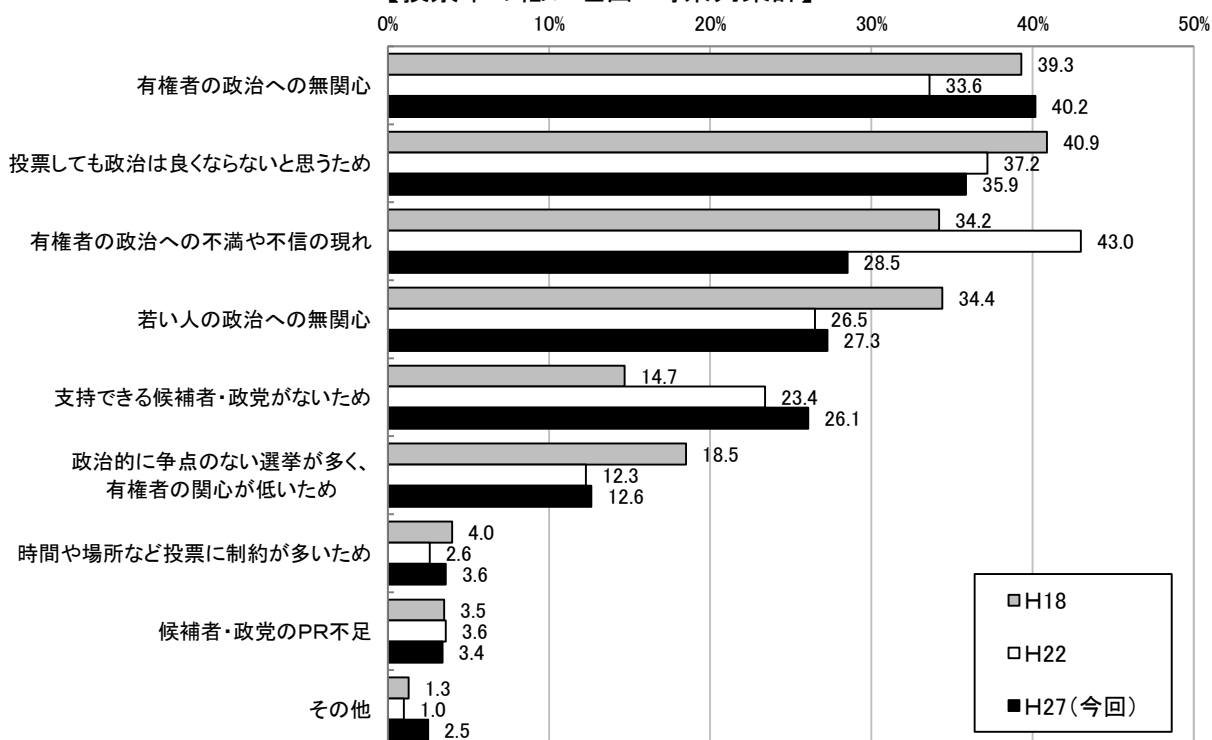
問 36 投票率の低い理由



○過去の調査との時系列でみると、「有権者の政治への無関心」及び「投票しても政治は良くなれないと思うため」の順位が上がっています。

○「指示できる候補者・政党がないため」が増加しており、政治不信が強くなっている傾向がうかがえます。

【投票率の低い理由 時系列集計】



- 年齢別でみると、20～29 歳では「若い人の政治への無関心」、30～39 歳では「投票しても政治は良くな
らないと思うため」、40 歳以上では「有権者の政治への無関心」が最も多くなっています。
- すべての年代で「投票しても政治は良くならないと思うため」が上位項目となっています。

【投票率の低い理由 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
有権者の政治への無関心	27.7	② 33.5	① 42.8	① 38.4	① 45.9
投票しても政治は良くな らないと思うため	② 33.8	① 46.3	② 41.5	② 36.6	② 32.3
有権者の政治への不満や不信の現れ	18.5	29.9	29.3	32.8	28.6
若い人の政治への無関心	① 40.8	23.8	20.1	22.4	28.8
支持できる候補者・政党がないため	25.4	22.6	30.6	33.6	22.1
政治的に争点のない選挙が多く、有権者の関心 が低い ため	5.4	9.1	10.9	11.6	16.5
時間や場所など投票に制約が多いため	10.0	7.3	4.8	2.6	1.1
候補者・政党のPR不足	3.1	4.9	3.1	2.6	3.9
その他	3.1	4.9	0.9	2.2	2.4
わからない	6.9	0.6	3.1	2.6	2.3

※第1位～第2位を①～②で記しています。

9 - 2 投票率を上げる方法

【問37】 選挙の投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。【複数回答】

○投票率を上げる方法については、「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」が34.5%で最も多く、次いで「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」(32.0%)が続きます。

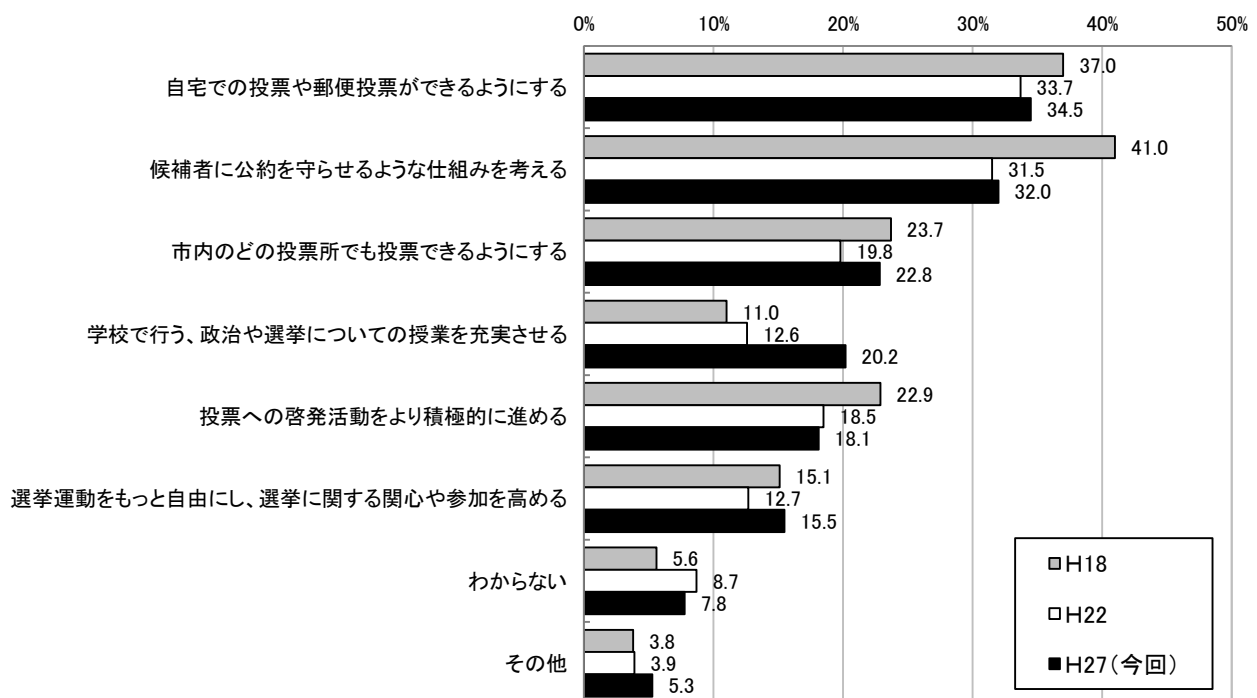
問37 投票率を上げる方法



○過去の調査との時系列でみると、「学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる」の順位が上がっています。

○「学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる」が平成22年度と比べて増加しており、政治への関心を持てるような環境づくりが子どもの頃から必要であるという意見が強くなっています。

【投票率を上げる方法 時系列集計】



○年齢別でみると、60歳以上では「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が最も多く、それ以外の年代では「自宅での投票や郵便投票ができるようにする」が最も多くなっています。

○次いで20～29歳では「学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる」、60歳以上では「投票への啓発活動をより積極的に進める」、それ以外の年代では「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が続きます。

【投票率を上げる方法 年齢別集計】

(単位：%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
自宅での投票や郵便投票ができるようにする	① 44.6	① 42.7	① 41.9	① 40.1	24.4
候補者に公約を守らせるような仕組みを考える	24.6	② 35.4	② 30.6	② 31.9	① 33.1
市内のどの投票所でも投票できるようにする	16.9	24.4	26.2	26.3	21.3
学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる	② 26.2	20.7	18.8	17.7	21.2
投票への啓発活動をより積極的に進める	6.2	8.5	11.4	18.1	② 25.5
選挙運動をもっと自由にし、選挙に関する関心や参加を高める	16.2	9.8	11.8	13.8	18.9
わからない	11.5	6.1	7.9	6.5	7.9
その他	10.8	6.7	5.7	7.3	3.4

※第1位～第2位を①～②で記しています。

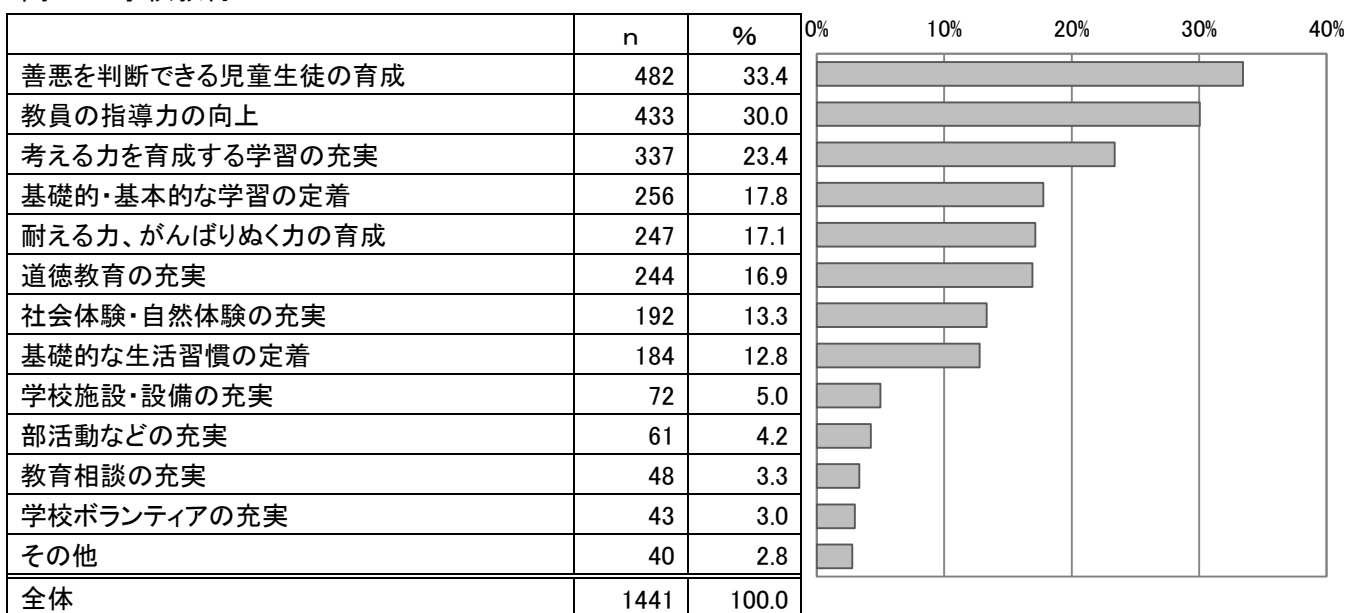
10 教育・スポーツについて

10 - 1 学校教育について

【問38】 あなたは、羽生市の学校教育をさらに行き届いたものにするためには、特に何に力を注ぐべきだと思われますか。【複数回答】

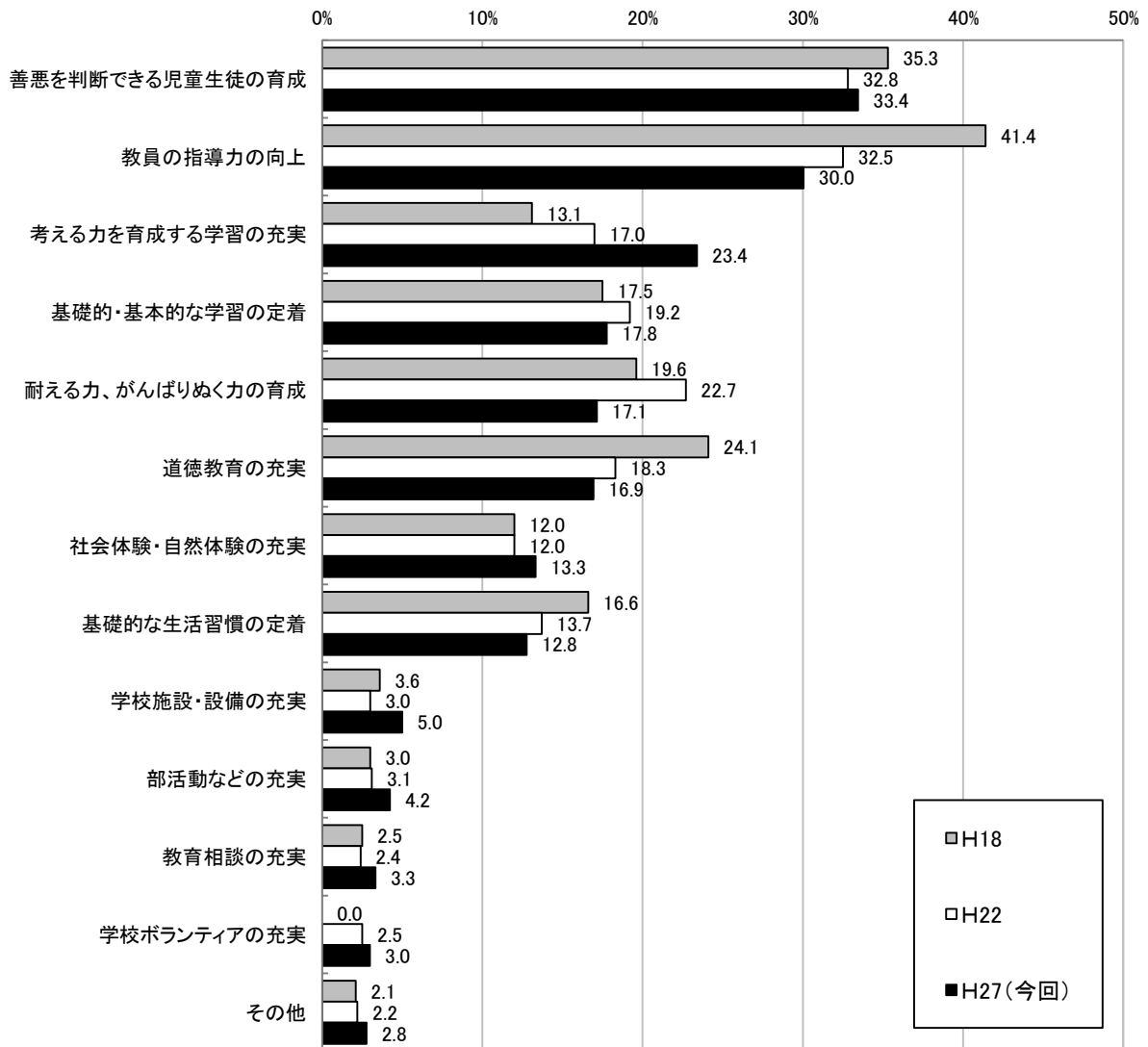
- 学校教育で特に力を注ぐべき項目については、「善悪を判断できる児童生徒の育成」が 33.4%で最も多く、次いで「教員の指導力の向上」(30.0%)、「考える力を育成する学習の充実」(23.4%)などが続きます。
- 上位項目では児童生徒の育成や教員の資質についての意見が多く、「学校施設・設備の充実」は 5.0%にとどまります。

問 38 学校教育について



○過去の調査との時系列でみると、「耐える力、がんばりぬく力の育成」が減少し、「考える力を育成する学習の充実」が増加しています。思考力などの育成を望む人が増加している結果となっています。

【学校教育について 時系列集計】

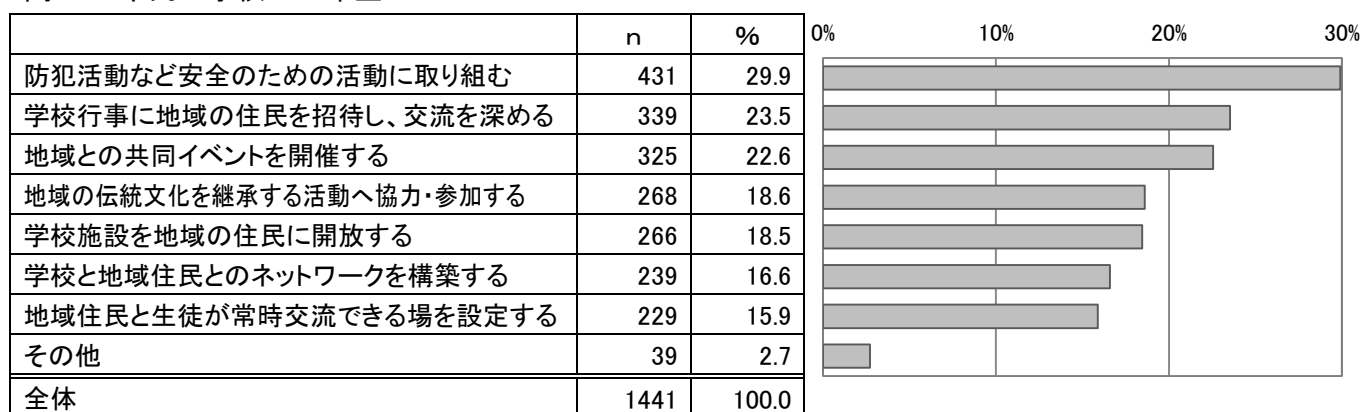


10 - 2 市内の学校への希望

【問39】 あなたは、市内の学校との連携についてどのようなことを望みますか。【複数回答】

○学校との連携で望むことについては、「防犯活動など安全のための活動に取り組む」が29.9%で最も多く、次いで「学校行事に地域の住民を招待し、交流を深める」(23.5%)、「地域との共同イベントを開催する」(22.6%)などが続きます。

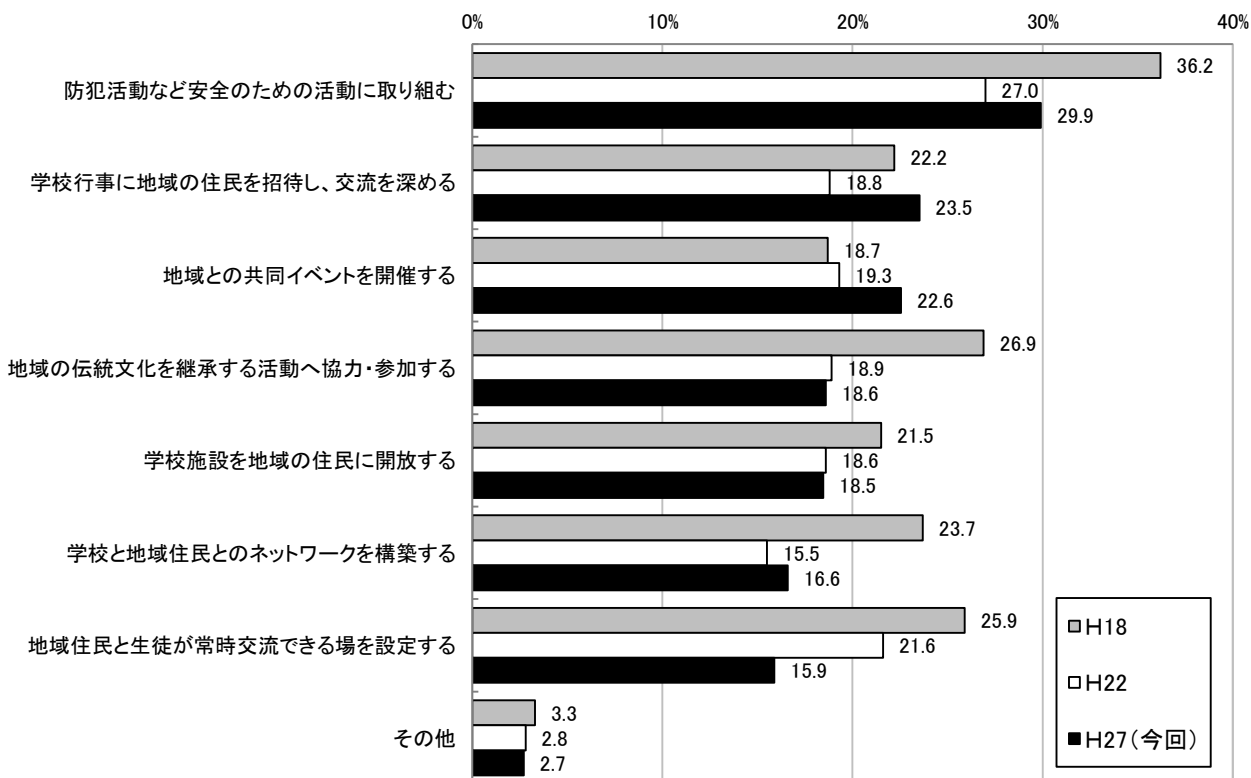
問 39 市内の学校への希望



○過去の調査との時系列でみると、いずれの年度でも「防犯活動など安全のための活動に取り組む」が最も多くなっています。

○「学校行事に地域の住民を招待し、交流を深める」「地域との共同イベントを開催する」など地域交流に関する項目は平成22年度に比べ、増加傾向にあります。

【市内の学校への希望 時系列集計】



10 - 3 スポーツをする頻度／理由

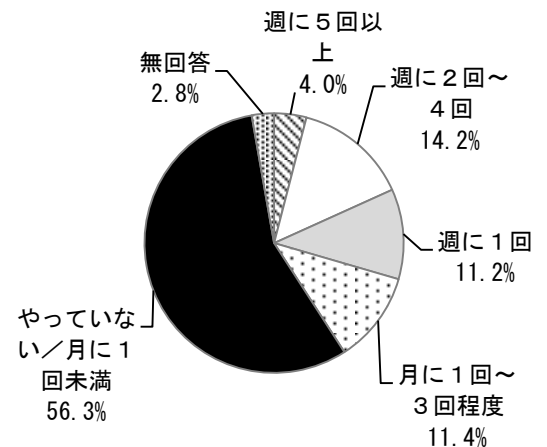
【問40】 あなたは、どれ位の頻度でスポーツを行っていますか。

- スポーツをする頻度については、「やっていない／月に1回未満」が56.3%で最も多く、半数以上を占めています。
- 定期的にスポーツを行っている人の中では「週に2回～4回」が14.2%で最も多く、次いで「月に1回～3回程度」(11.4%)が続きます。

問 40 スポーツをする頻度

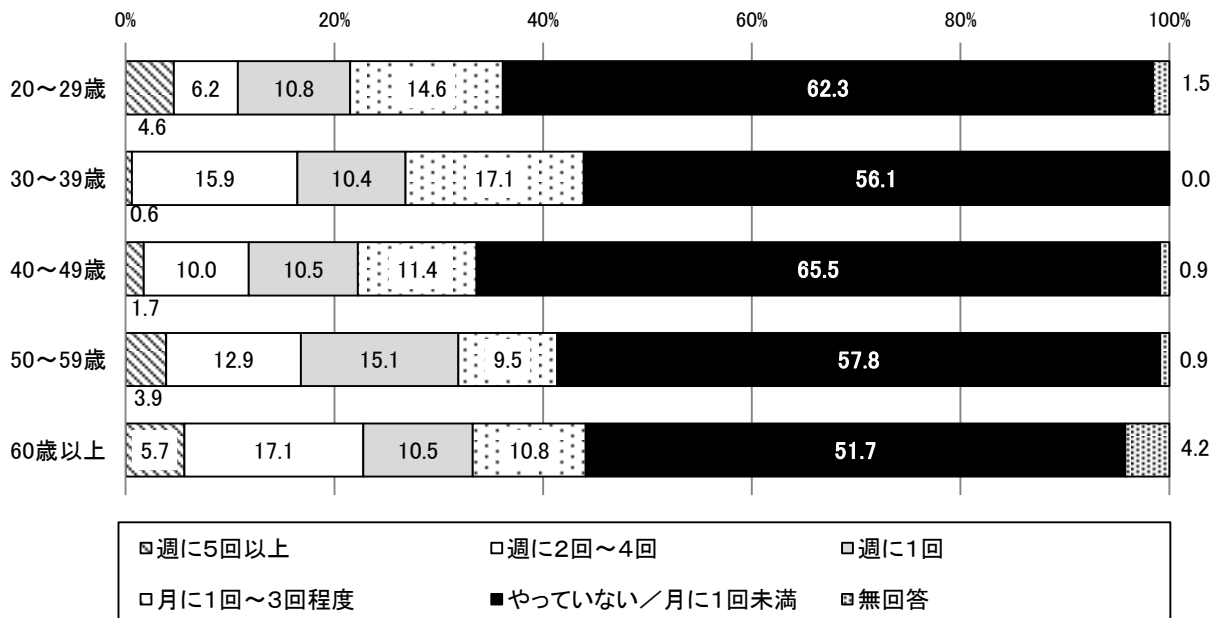
	n	%
週に5回以上	58	4.0
週に2回～4回	205	14.2
週に1回	162	11.2
月に1回～3回程度	164	11.4
やっていない／月に1回未満	812	56.3
無回答	40	2.8
全体	1441	100.0

【問40 スポーツをする頻度】



- 年齢別でみると、「やっていない／月に1回未満」は60歳以上が最も少なく、一方で20～29歳及び40～49歳では6割以上となっています。

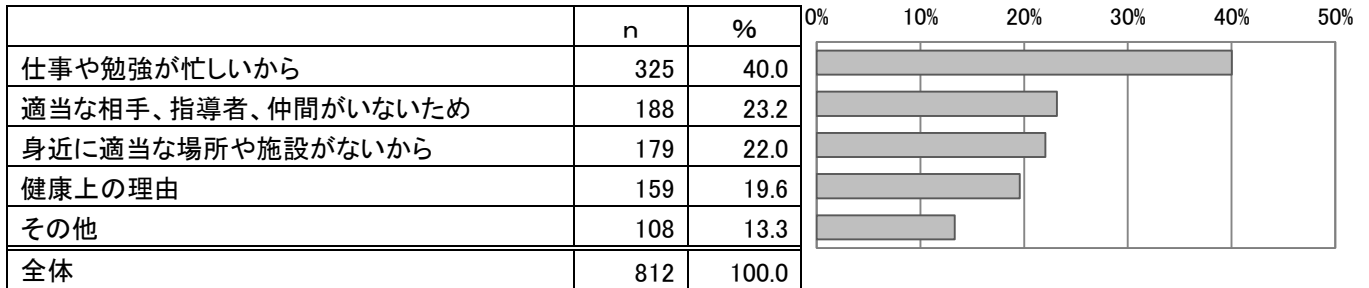
【スポーツをする頻度 年齢別集計】



【問40 - a】問40で「やっていない／月に1回未満」を選んだ方にお伺いします。スポーツをやっていない理由は何ですか。【複数回答】

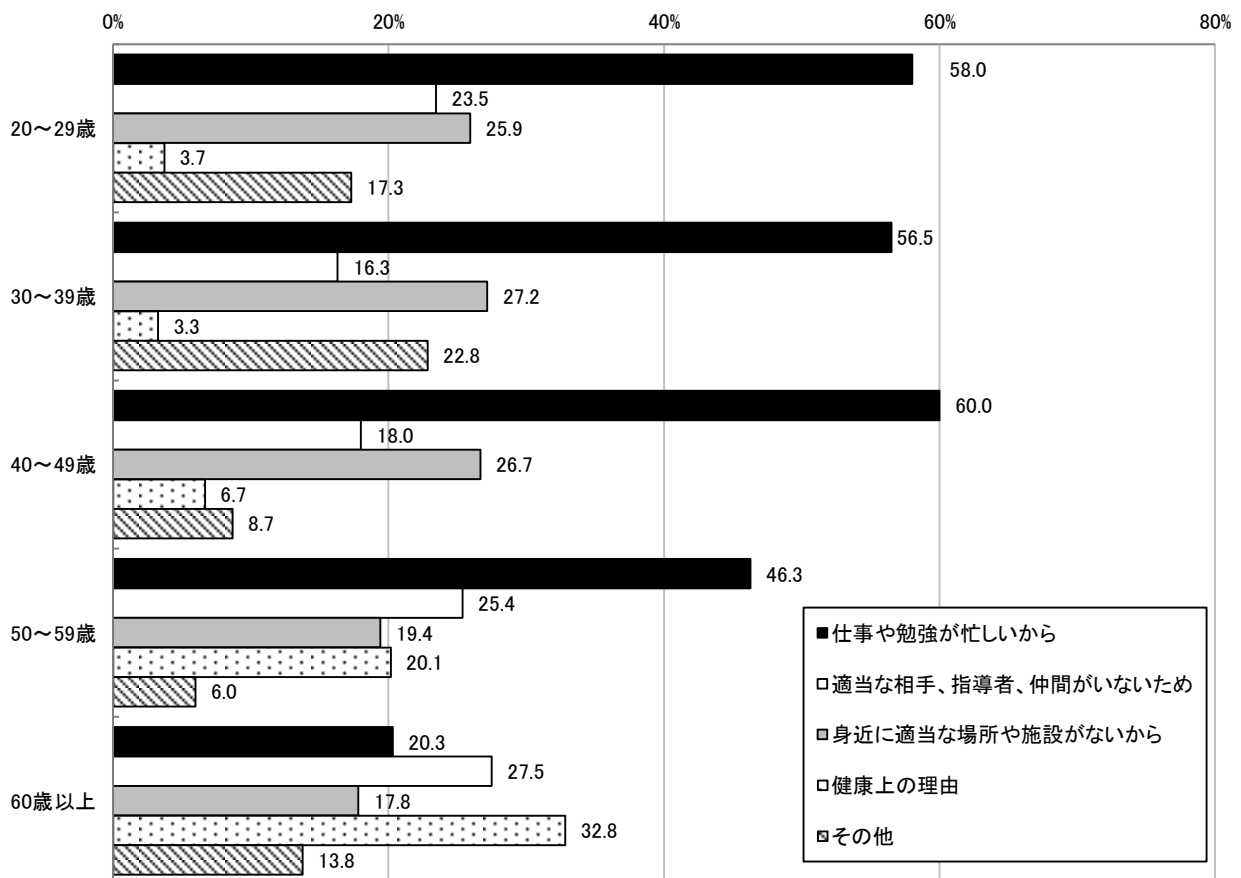
○スポーツをしない理由については「仕事や勉強が忙しいから」が40.0%で最も多くなっています。

問40 - a スポーツをしない理由



○年齢別でみると、スポーツをしない理由として60歳未満では「仕事や勉強が忙しいから」、60歳以上では「健康上の理由」が最も多くなっています。

【スポーツをしない理由 年齢別集計】



11 人権・男女平等観について

11 - 1 基本的人権

【問41】 「人権」とは、誰もが生まれながらにして持っている権利であり、幸せに生きるためになくしてはならないものです。あなたは、今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。

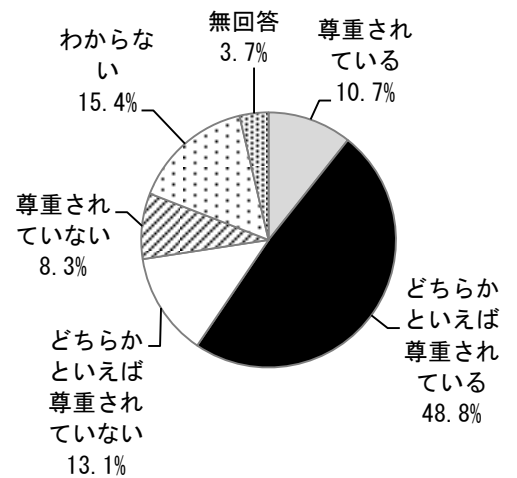
- 基本的人権の尊重については、「どちらかといえば尊重されている」が48.8%で最も多く、これに「尊重されている」(10.7%)を合わせた“尊重されている”は59.5%と約6割を占めます。
- “尊重されていない”は21.4%となっています。

問 41 基本的人権

	n	%
尊重されている	154	10.7
どちらかといえば尊重されている	703	48.8
どちらかといえば尊重されていない	189	13.1
尊重されていない	120	8.3
わからない	222	15.4
無回答	53	3.7
全体	1441	100.0

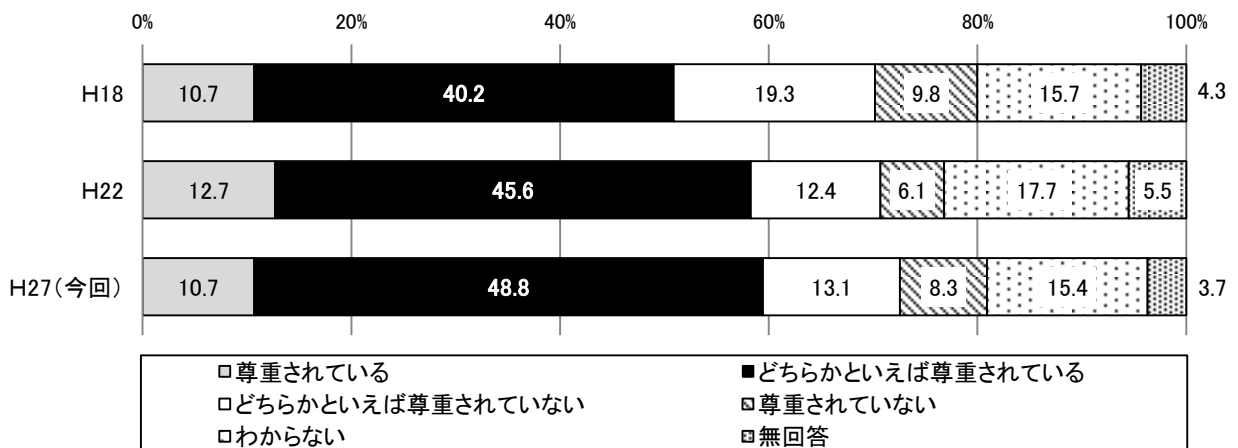
※“尊重されている”は「尊重されている」及び「どちらかといえば尊重されている」の合計、“尊重されていない”は「どちらかといえば尊重されていない」及び「尊重されていない」の合計としています。(以下同様)

【問41 基本的人権】



- 過去の調査との時系列でみると、平成22年度と比べて“尊重されている”及び“尊重されていない”はともに増加しています。

【基本的人権 時系列集計】



11 - 2 身の回りの男女平等観

【問42】 あなたのまわりの各場面において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

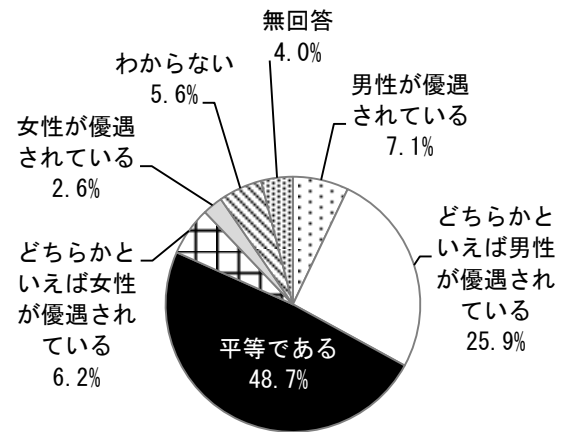
○男女平等観について、「平等である」とした人が最も多かったのは“教育の中”で、63.9%と6割以上を占めます。一方、「平等である」と回答をした人が最も少なかったのは“習慣・しきたり・社会通念”で23.9%となっており、次いで少ないのが“職場の中”で28.4%でした。

(1) 家庭の中

問 42 - 1 家庭の中

	n	%
男性が優遇されている	102	7.1
どちらかといえば男性が優遇されている	373	25.9
平等である	702	48.7
どちらかといえば女性が優遇されている	89	6.2
女性が優遇されている	37	2.6
わからない	80	5.6
無回答	58	4.0
全体	1441	100.0

【問42-1 家庭の中】

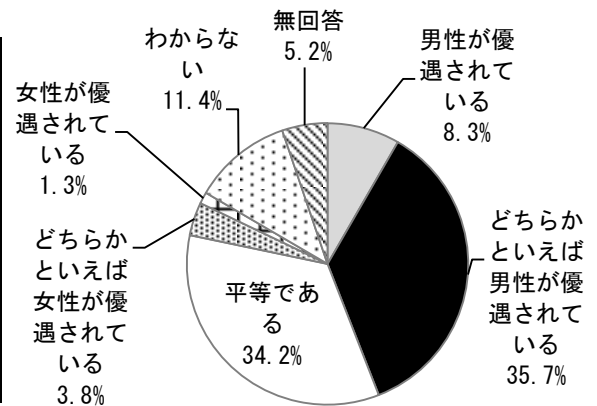


(2) 地域の中

問 42 - 2 地域の中

	n	%
男性が優遇されている	120	8.3
どちらかといえば男性が優遇されている	515	35.7
平等である	493	34.2
どちらかといえば女性が優遇されている	55	3.8
女性が優遇されている	19	1.3
わからない	164	11.4
無回答	75	5.2
全体	1441	100.0

【問42-2 地域の中】

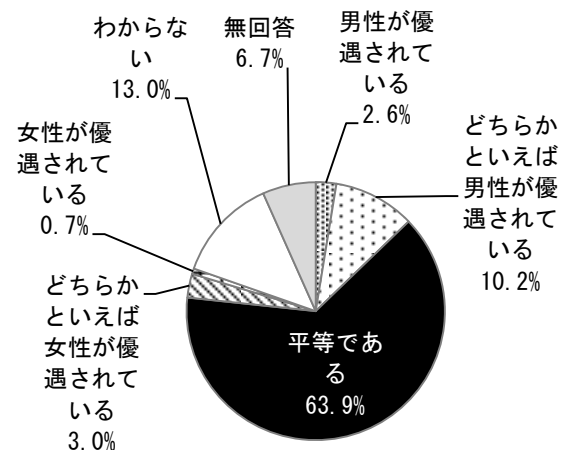


(3) 教育の中

問 42 - 3 教育の中

	n	%
男性が優遇されている	37	2.6
どちらかといえば男性が優遇されている	147	10.2
平等である	921	63.9
どちらかといえば女性が優遇されている	43	3.0
女性が優遇されている	10	0.7
わからない	187	13.0
無回答	96	6.7
全体	1441	100.0

【問42-3 教育の中】

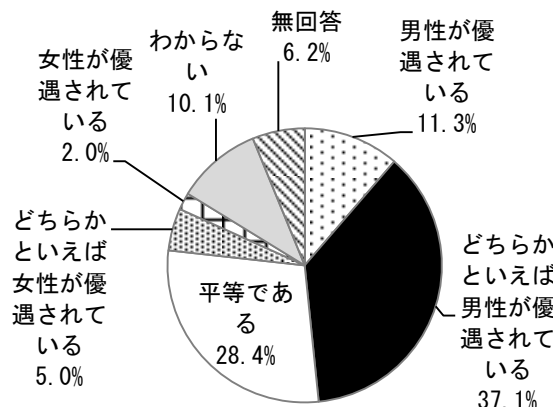


(4) 職場の中

問 42 - 4 職場の中

	n	%
男性が優遇されている	163	11.3
どちらかといえば男性が優遇されている	534	37.1
平等である	409	28.4
どちらかといえば女性が優遇されている	72	5.0
女性が優遇されている	29	2.0
わからない	145	10.1
無回答	89	6.2
全体	1441	100.0

【問42-4 職場の中】

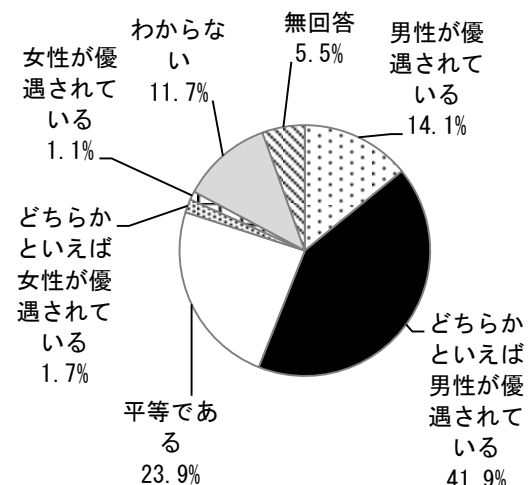


(5) 慣習・しきたり・社会通念

問 42 - 5 慣習・しきたり・社会通念

	n	%
男性が優遇されている	203	14.1
どちらかといえば男性が優遇されている	604	41.9
平等である	345	23.9
どちらかといえば女性が優遇されている	25	1.7
女性が優遇されている	16	1.1
わからない	169	11.7
無回答	79	5.5
全体	1441	100.0

【問42-5 慣習・しきたり・社会通念】



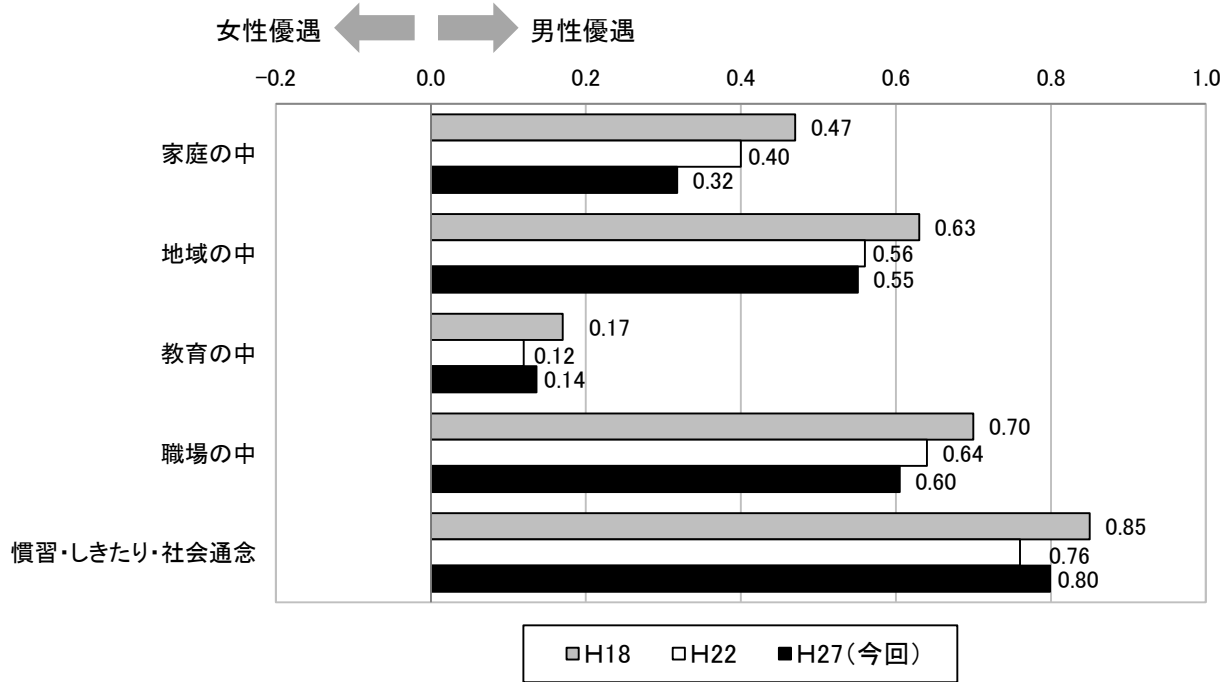
○さらに、男女平等観に対する印象（イメージ）を一様に評価するため、各項目の5段階評価を加重平均によって点数化しました。数値がプラスになるほど「男性が優遇されている」、数値がマイナスになるほど「女性が優遇されている」、また、数値が0に近くなるほど「男女平等観」ということになります。

※男女平等観に対する印象(イメージ)の評価点の算出方法

$$\left[\begin{aligned} & (\text{「男性が優遇されている」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「どちらか} \\ & \text{といえば男性が優遇されている」の回答者数} \times 1 \text{点}) + (\text{「平} \\ & \text{等である」の回答者数} \times 0 \text{点}) + (\text{「どちらかといえば女性が} \\ & \text{優遇されている」の回答者数} \times -1 \text{点}) + (\text{「女性が優遇され} \\ & \text{ている」の回答者数} \times -2 \text{点}) \end{aligned} \right] \div \left[\begin{aligned} & (\text{「男性が優遇されている」} + \text{「どちらかとい} \\ & \text{えば男性が優遇されている」} + \text{「平等である」} + \text{「どちらかとい} \\ & \text{えば女性が優遇されている」} + \text{「女性が優遇されている」の回} \\ & \text{答者数} \end{aligned} \right] = \text{評価点}$$

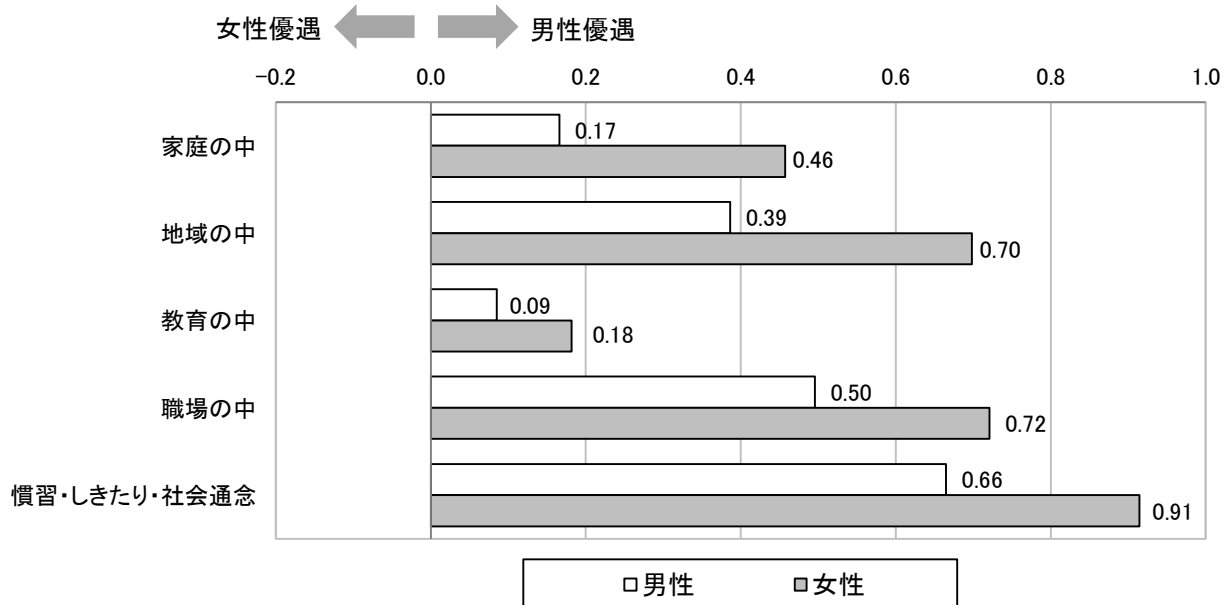
- 最も男女平等であるというイメージを持たれているのは“教育の中”という結果となっています。
- また、男性が優遇されているイメージが最も多く持たれているのは“慣習・しきたり・社会通念など”で、次いで“職場の中”でした。
- 女性が優遇されていると感じている人が多い項目はありませんでした。
- 過去の調査との時系列でみると、“家庭の中”などで男女平等観が強くなっている傾向がみられます。

【男女平等観 時系列別加重平均値】



○性別でみると、すべての項目で女性の方が「男性が優遇されている」と強く感じています。

【男女平等観 性別加重平均値】



11 - 3 『男は仕事、女は家庭』の考え方

【問43】 あなたは、『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。

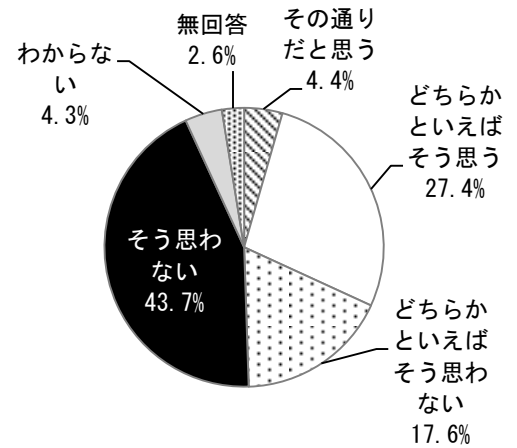
- 『男は仕事、女は家庭』という考え方については、「そう思わない」が43.7%で最も多く、「どちらかといえばそう思わない」(17.6%)と合わせた“思わない”が61.3%と約6割を占めています。
- 「どちらかといえばそう思う」は27.4%で、「その通りだと思う」(4.4%)と合わせた“思う”が31.8%となっています。

問 43 『男は仕事、女は家庭』の考え方

	n	%
その通りだと思う	64	4.4
どちらかといえばそう思う	395	27.4
どちらかといえばそう思わない	254	17.6
そう思わない	629	43.7
わからない	62	4.3
無回答	37	2.6
全体	1441	100.0

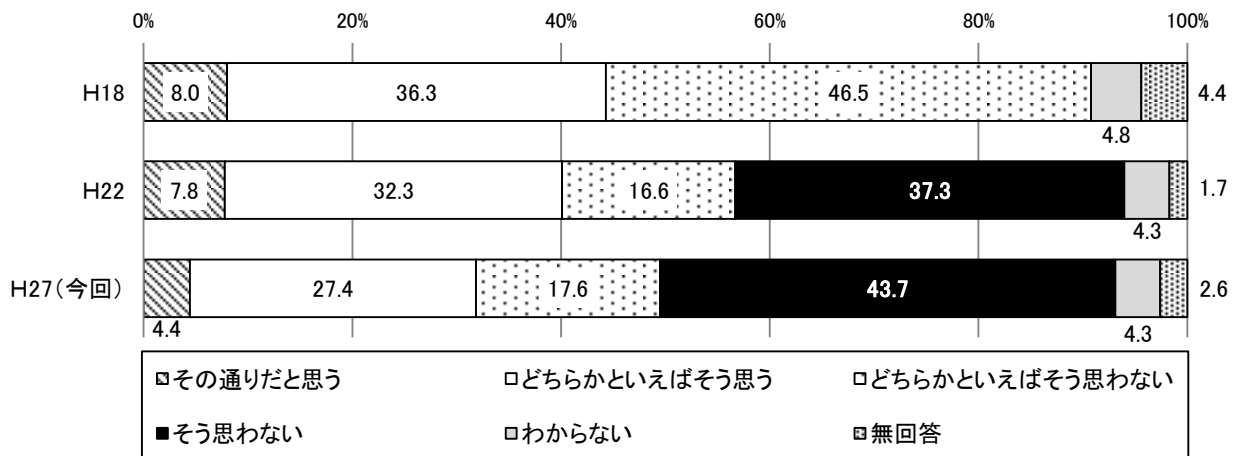
※“思う”は「その通りだと思う」及び「どちらかといえばそう思う」の合計、“思わない”は「どちらかといえばそう思わない」及び「思わない」の合計としています。(以下同様)

【問43 『男は仕事、女は家庭』の考え方】



○過去の調査との時系列でみると、“思う”が減少し、“思わない”が増加しています。

【『男は仕事、女は家庭』の考え方 時系列集計】

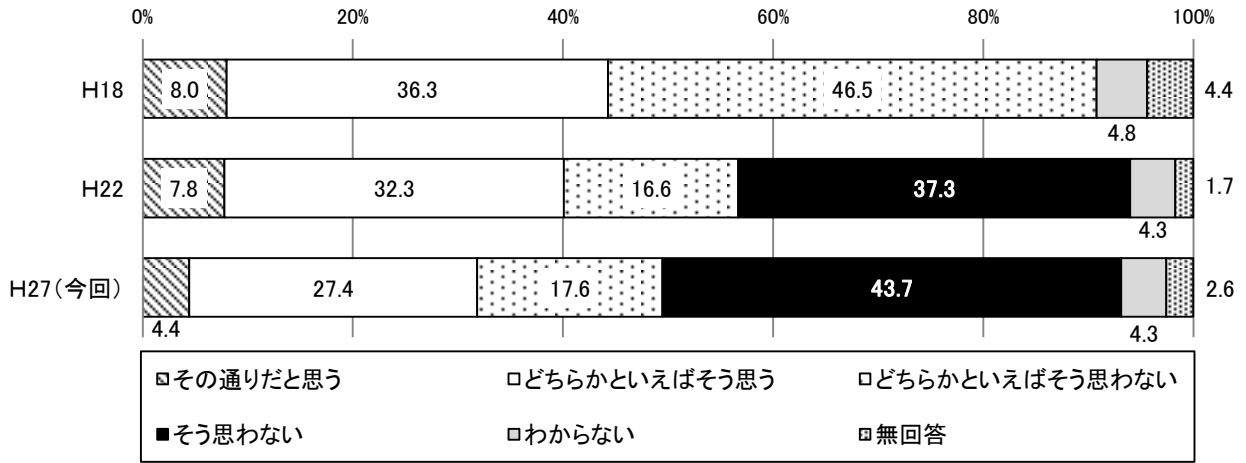


※H18調査では「そう思わない」の選択肢なし

○性別でみると、男女ともに「そう思わない」が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が続きます。

○男性と比べて女性の方が“思わない”の割合が多くなっています。

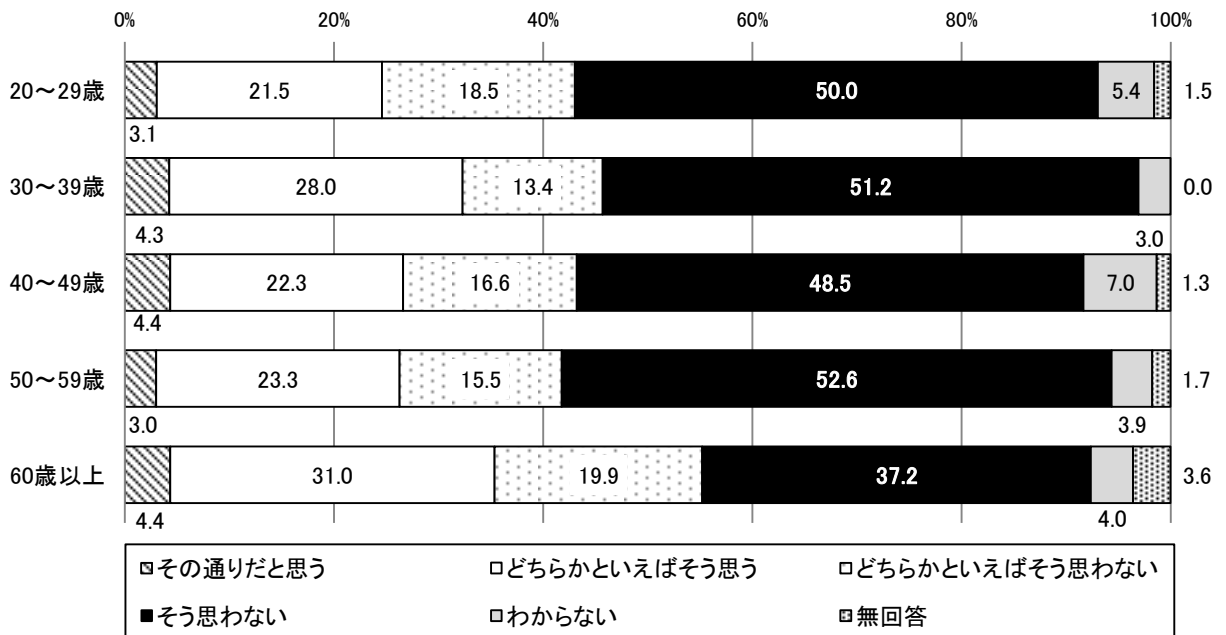
【『男は仕事、女は家庭』の考え方 時系列集計】



○年齢別でみると、すべての年代で「そう思わない」が最も多くなっています。

○30～39歳と60歳以上で“思う”が他の年代より多くなっています。

【『男は仕事、女は家庭』の考え方 年齢別集計】



12 産業・商業について

12 - 1 購買調査

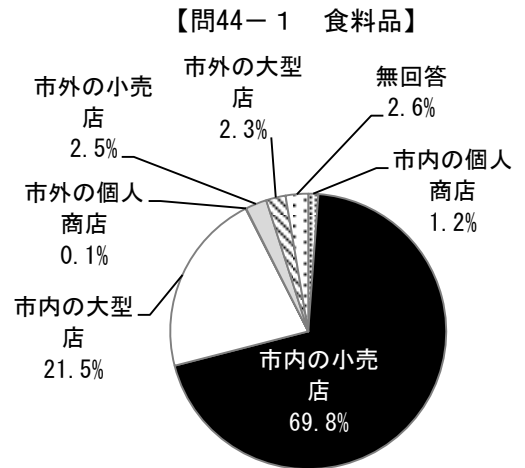
【問44】 あなたが、次の商品を主にどこの商店で購入していますか。

○商品の購入については、“食料品”は「市内の小売店」が最も多く、“衣料品”“家具・家電”“趣味の用品”“その他”では「市内の大型店」が最も多くなっています。

(1) 食料品

問 44 - 1 食料品

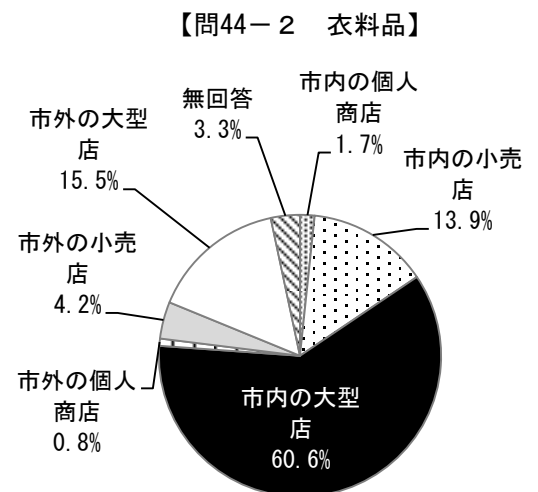
	n	%
市内の個人商店	17	1.2
市内の小売店	1006	69.8
市内の大型店	310	21.5
市外の個人商店	1	0.1
市外の小売店	36	2.5
市外の大型店	33	2.3
無回答	38	2.6
全体	1441	100.0



(2) 衣料品

問 44 - 2 衣料品

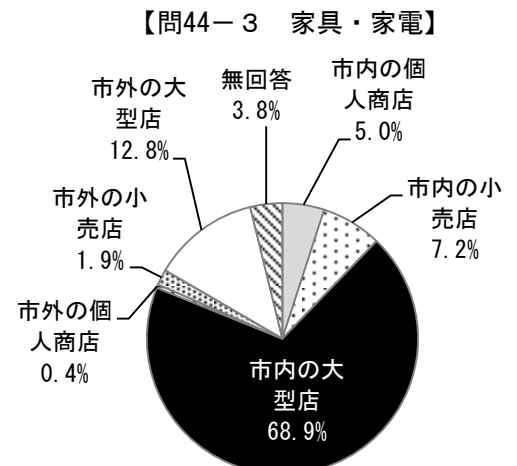
	n	%
市内の個人商店	24	1.7
市内の小売店	200	13.9
市内の大型店	873	60.6
市外の個人商店	12	0.8
市外の小売店	61	4.2
市外の大型店	223	15.5
無回答	48	3.3
全体	1441	100.0



(3) 家具・家電

問 44 - 3 家具・家電

	n	%
市内の個人商店	72	5.0
市内の小売店	104	7.2
市内の大型店	993	68.9
市外の個人商店	6	0.4
市外の小売店	27	1.9
市外の大型店	184	12.8
無回答	55	3.8
全体	1441	100.0

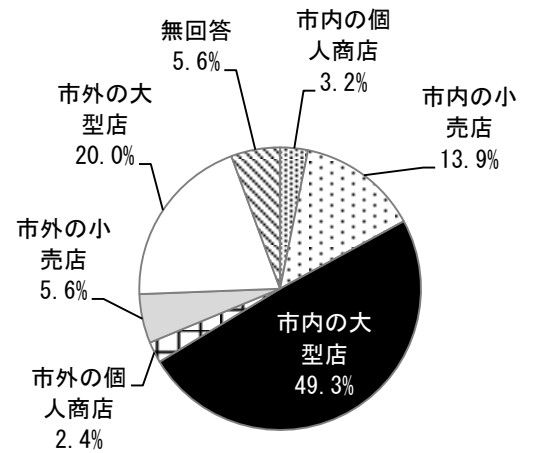


(4) 趣味の用品

問 44 - 4 趣味の用品

	n	%
市内の個人商店	46	3.2
市内の小売店	200	13.9
市内の大型店	710	49.3
市外の個人商店	35	2.4
市外の小売店	81	5.6
市外の大型店	288	20.0
無回答	81	5.6
全体	1441	100.0

【問44-4 趣味の用品】

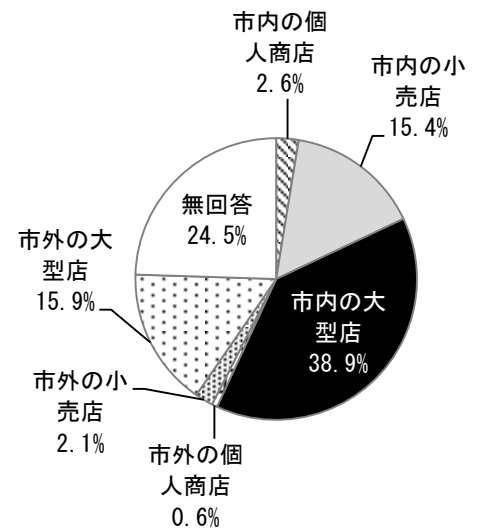


(5) その他

問 44 - 5 その他

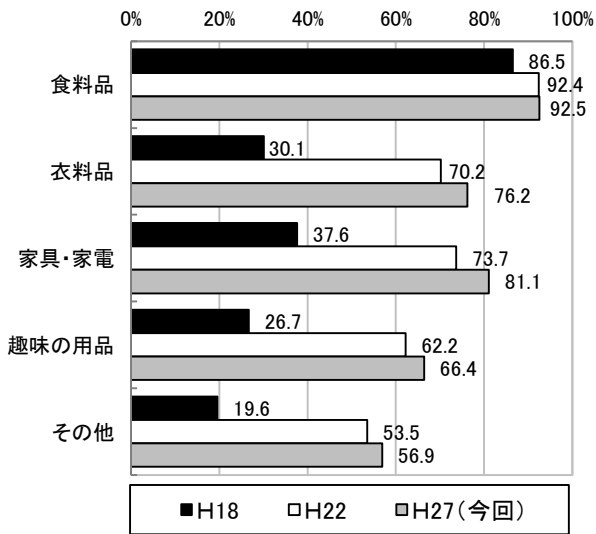
	n	%
市内の個人商店	37	2.6
市内の小売店	222	15.4
市内の大型店	561	38.9
市外の個人商店	9	0.6
市外の小売店	30	2.1
市外の大型店	229	15.9
無回答	353	24.5
全体	1441	100.0

【問44-5 その他】

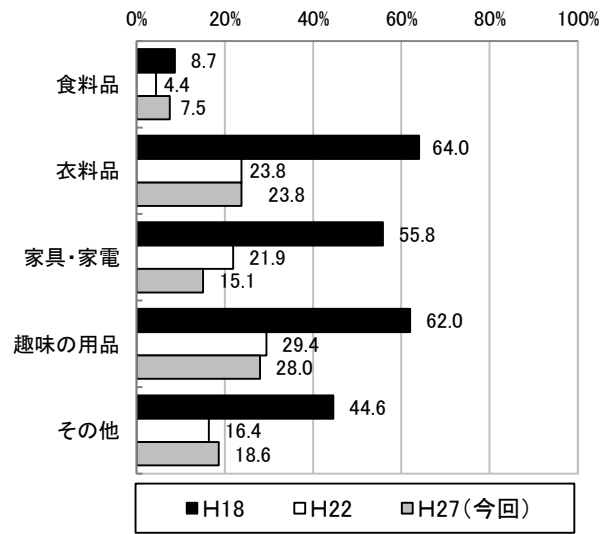


○過去の調査との時系列で市内・市外の買い物をみると、ほとんどの項目で市内での買い物が増加し、市外での買い物が減少しています。

【市内での買い物 時系列集計】

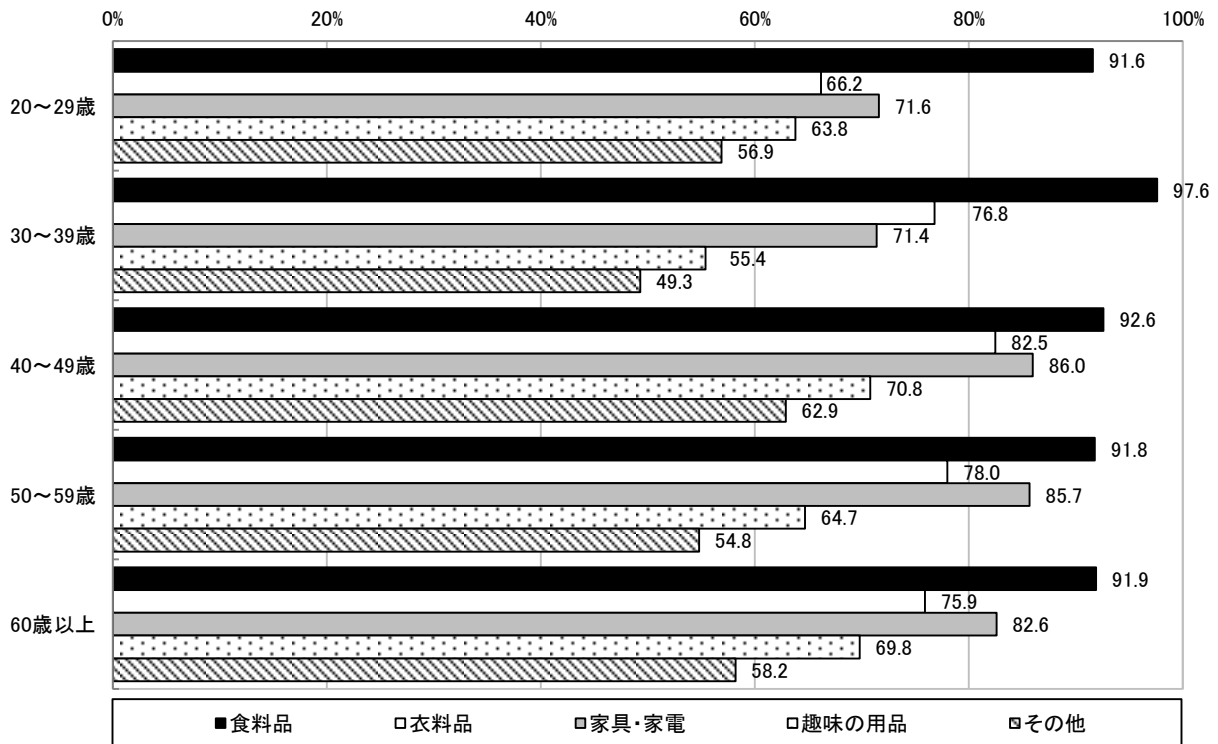


【市外での買い物 時系列集計】



○年齢別で市内での買い物をみると、すべての年代で“食料品”が9割以上となっていますが、それ以外の項目では40歳未満の割合が低くなっています。

【市内での買い物 年齢別集計】

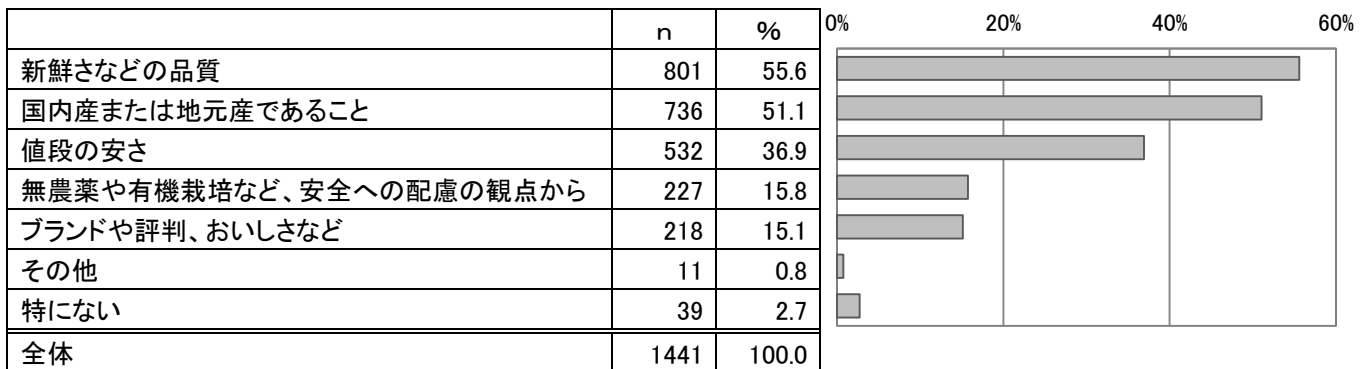


12 - 2 農産物の購入目安

【問45】 あなたが、米や野菜などの農産物を購入するに当たって、目安にしていることはどのようなことですか。【複数回答】

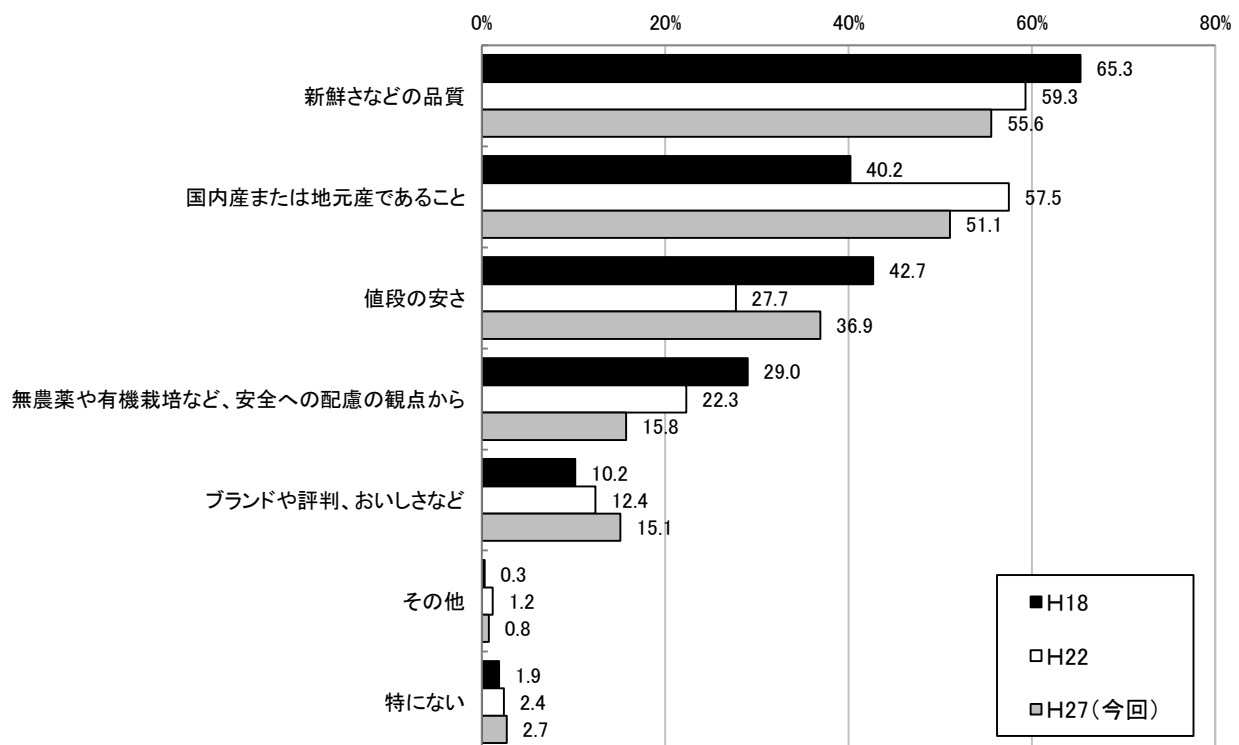
○農産物を購入する際の目安については、「新鮮さなどの品質」が55.6%で最も多く、次いで「国内産または地元産であること」が51.1%を占め、どちらも半数以上となっています。

問 45 農産物の購入目安



○過去の調査との時系列でみると、平成 22 年度に比べて「値段の安さ」が増加し、「国内産または地元産であること」が減少しており、品質や産地よりも安さを意識する傾向がみられました。

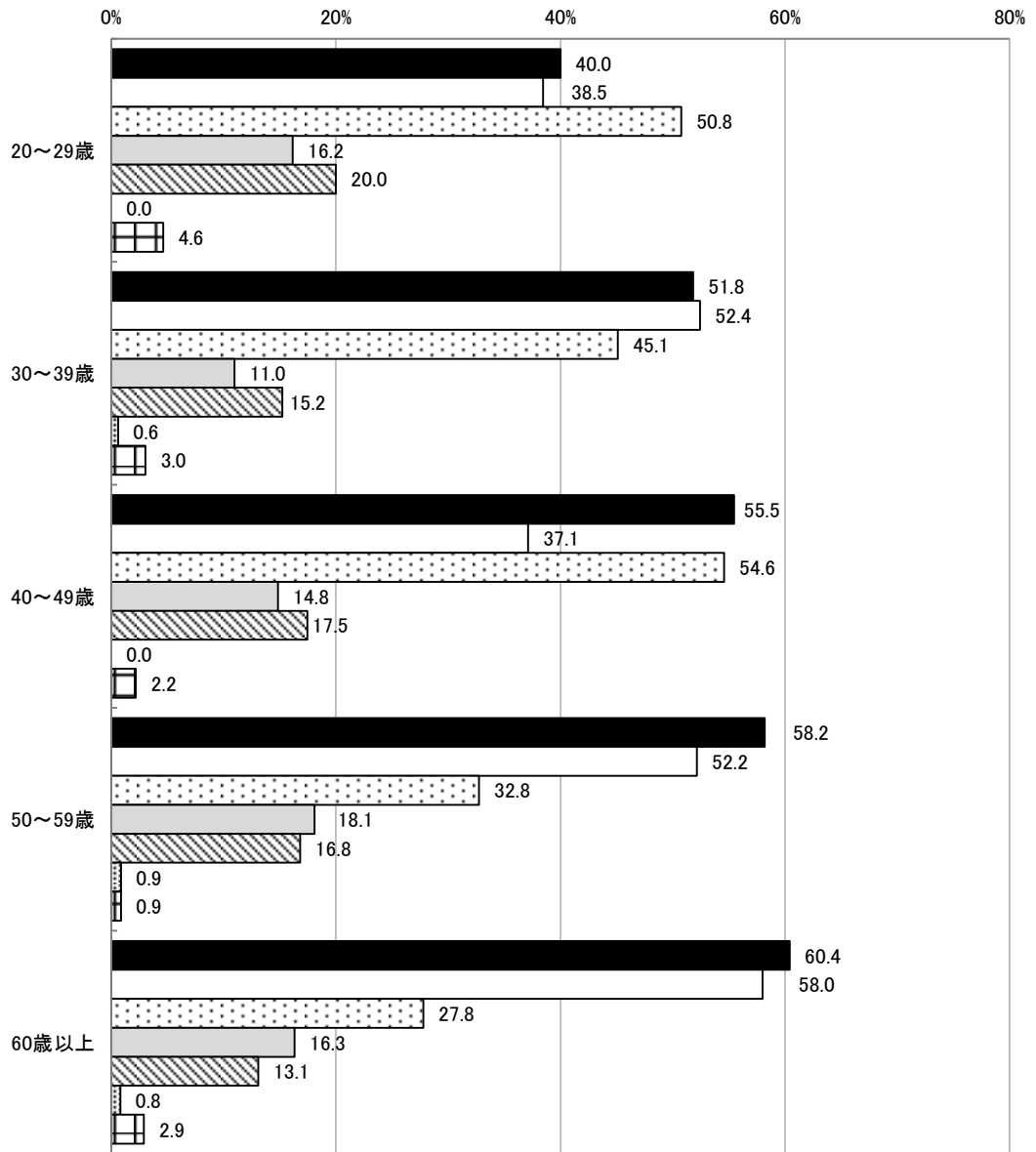
【農産物の購入目安 時系列集計】



○年齢別でみると、40歳以上では「新鮮さなどの品質」が最も多く、20～29歳では「値段の安さ」、30～39歳では「国内産または地元産であること」が最も多くなっています。

○高齢になるにつれて「新鮮さなどの品質」が増加しており、品質に対する意識が高くなっています。

【農産物の購入目安 年齢別集計】



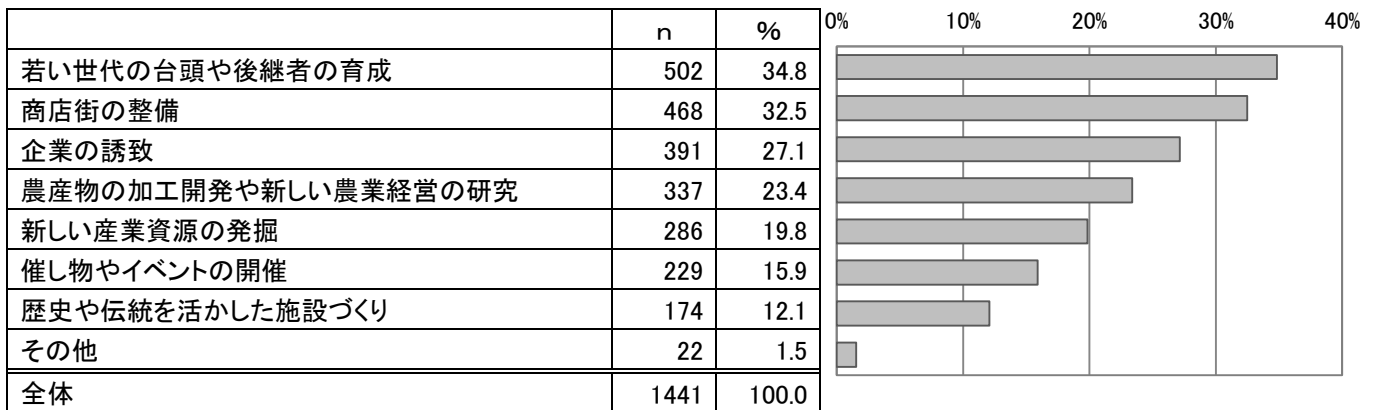
- 新鮮さなどの品質
- 国内産または地元産であること
- 値段の安さ
- 無農薬や有機栽培など安全への配慮の観点から
- ブランドや評判、おいしさなど
- その他
- 特にない

12 - 3 商業・産業の振興

【問46】 あなたは市の商業や産業の振興について何が重要だとお考えですか。【複数回答】

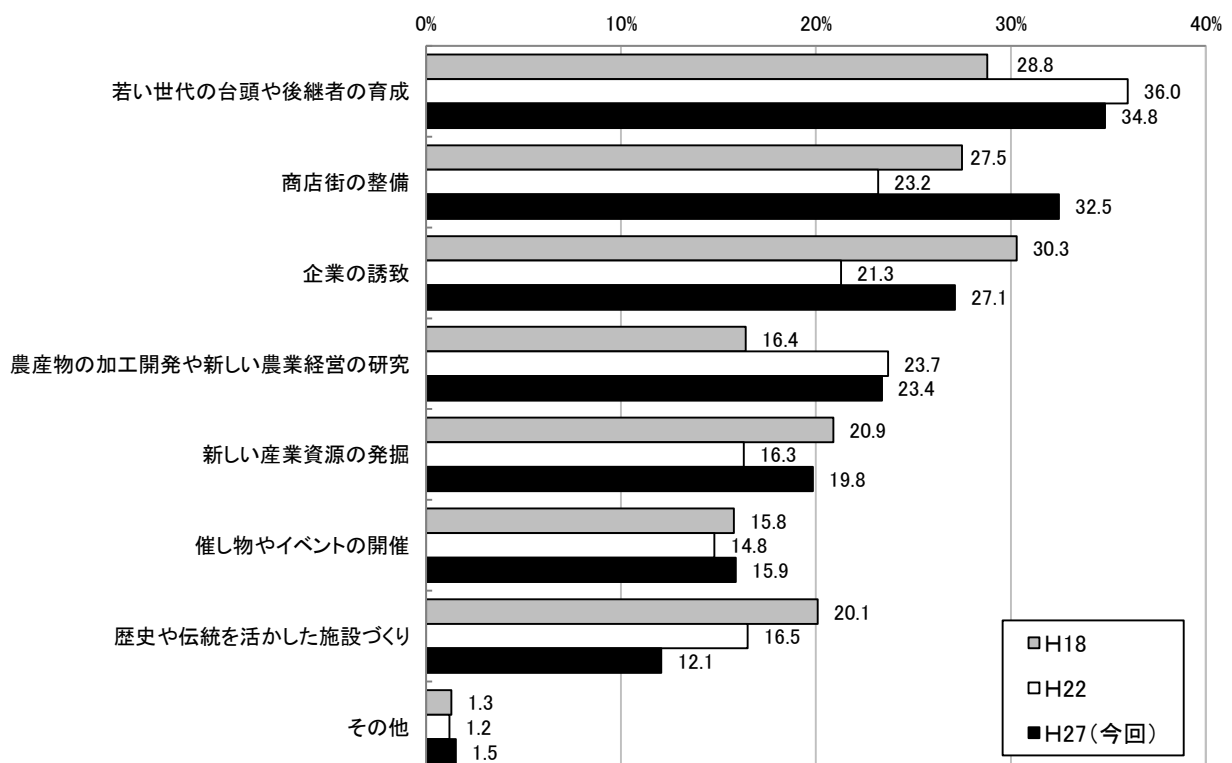
○商業や産業の振興において重要なことについては、「若い世代の台頭や後継者の育成」が34.8%で最も多く、次いで「商店街の整備」(32.5%)、「企業の誘致」(27.1%)、「農産物の加工開発や新しい農業経営の研究」(23.4%)などが続きます。

問 46 商業・産業の振興



○過去の調査との時系列でみると、平成 22 年度と比べて「商店街の整備」「企業の誘致」などが増加しています。

【商業・産業の振興 時系列集計】



13 全般的なまちづくりについて

13 - 1 施策の満足度

【問47】 市政に対し、以下の項目についてどう感じていますか。

- 各施策にどの程度満足しているかを尋ねたところ、「満足」及び「まあまあ満足」を合わせた“満足”が最も多いのは「消防・救急の充実」で、一方「やや不満足」及び「不満足」を合わせた“不満足”が多いのは「公共交通の利便性の向上」「道路の整備」「下水道の整備」などとなっています。
- さらに、施策の満足度を一様に評価するため、各項目の5段階評価を加重平均によって点数化して、満足度を表すこととしました。値がプラスになるほど満足感が強く、マイナスになるほど不満足感が強いということになります。

※施策満足度の評価点の算出方法

$$\left[\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \text{「やや満足」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \text{「やや不満足」の回答者数} \times -1 \text{点} \\ + \text{「不満足」の回答者数} \times -2 \text{点} \end{array} \right] \div \left[\begin{array}{l} \text{「満足」「やや満足」「普通」「やや不満足」} \\ \text{「不満足」の回答者数} \end{array} \right] = \text{評価点}$$

- 満足度の評価が最も低いのは「公共交通の利便性の向上」(-0.56点)、次いで「勤労者支援・雇用の促進」(-0.53点)、「道路の整備」(-0.45点)などとなっています。
- 分野別にみると、“市民との協働のまちづくり”分野及び“安全で安心なまちづくり”分野では、ほぼすべての項目でマイナスではありますが、他の分野と比べると比較的評価の高い項目が多くなっています。一方、“活力に満ちたまちづくり”分野及び“快適で住みやすいまちづくり”分野では、評価の低い項目が多くなっています。
- 地区別にみると、いずれの地区も満足度の評価が最も高いのは「消防・救急の充実」で、次いで「広報・広聴の充実」となっています。

【施策の満足度の割合と評価点】

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	評価点
市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	n %	14 1.0	98 6.8	731 50.7	78 5.4	35 2.4	407 28.2	78 5.4	-0.02
	人権施策の推進	n %	20 1.4	103 7.1	722 50.1	75 5.2	20 1.4	424 29.4	77 5.3	③ 0.03
	男女共同参画の推進	n %	13 0.9	85 5.9	730 50.7	91 6.3	25 1.7	417 28.9	80 5.6	-0.03
	都市交流・国際交流の推進	n %	15 1.0	113 7.8	612 42.5	132 9.2	48 3.3	441 30.6	80 5.6	-0.09
安全で安心なまちづくり	危機管理の充実	n %	10 0.7	117 8.1	681 47.3	228 15.8	75 5.2	245 17.0	85 5.9	-0.22
	防災対策の推進	n %	15 1.0	152 10.5	694 48.2	230 16.0	80 5.6	190 13.2	80 5.6	-0.18
	消防・救急の充実	n %	45 ② 3.1	276 19.2	709 49.2	140 9.7	48 3.3	146 10.1	77 5.3	① 0.11
	防犯対策の推進	n %	14 1.0	147 10.2	714 49.5	218 15.1	84 5.8	185 12.8	79 5.5	-0.18
	交通安全対策の推進	n %	24 1.7	164 11.4	748 51.9	187 13.0	71 4.9	172 11.9	75 5.2	-0.10
	消費者行政の推進	n %	11 0.8	81 5.6	701 48.6	177 12.3	50 3.5	336 23.3	85 5.9	-0.17
健康で希望に満ちたまちづくり	地域福祉の推進	n %	18 1.2	137 9.5	743 51.6	182 12.6	45 3.1	224 15.5	92 6.4	-0.09
	健康づくりの推進	n %	22 1.5	207 14.4	746 51.8	155 10.8	28 1.9	195 13.5	88 6.1	③ 0.03
	地域医療の充実	n %	27 1.9	172 11.9	671 46.6	221 15.3	105 7.3	152 10.5	93 6.5	-0.17
	子育て支援の推進	n %	16 1.1	133 9.2	677 47.0	207 14.4	68 4.7	250 17.3	90 6.2	-0.16
	障がい者支援の推進	n %	16 1.1	96 6.7	661 45.9	177 12.3	64 4.4	338 23.5	89 6.2	-0.17
	高齢者支援の推進	n %	20 1.4	110 7.6	647 44.9	211 14.6	81 5.6	285 19.8	87 6.0	-0.21
	社会保障の充実	n %	9 0.6	77 5.3	668 46.4	227 15.8	110 7.6	259 18.0	91 6.3	-0.32
次代を担う個性豊かなまちづくり	幼児・家庭教育の充実	n %	11 0.8	104 7.2	724 50.2	168 11.7	45 3.1	291 20.2	98 6.8	-0.13
	義務教育の充実	n %	25 1.7	154 10.7	793 55.0	112 7.8	35 2.4	231 16.0	91 6.3	0.02
	高等教育機関などとの連携	n %	8 0.6	92 6.4	707 49.1	145 10.1	50 3.5	342 23.7	97 6.7	-0.14
	生涯学習の推進	n %	13 0.9	119 8.3	736 51.1	137 9.5	35 2.4	305 21.2	96 6.7	-0.06
	文化の継承・振興	n %	15 1.0	96 6.7	731 50.7	171 11.9	44 3.1	290 20.1	94 6.5	-0.13
	生涯スポーツの振興	n %	16 1.1	110 7.6	730 50.7	145 10.1	51 3.5	292 20.3	97 6.7	-0.10

※第1位～第3位を①～③で記しています。

			満足	まあまあ満足	普通	やや不満足	不満足	わからない	無回答	評価点
活気に満ちたまちづくり	農業の振興	n	13	93	620	213	97	316	89	-0.28
		%	0.9	6.5	43.0	14.8	6.7	21.9	6.2	
	商業の振興	n	8	67	575	289	129	283	90	-0.43
		%	0.6	4.6	39.9	20.1	9.0	19.6	6.2	
	工業の振興	n	6	62	637	230	99	314	93	-0.34
	%	0.4	4.3	44.2	16.0	6.9	21.8	6.5		
観光の振興	n	9	98	538	292	141	274	89	-0.42	
	%	0.6	6.8	37.3	20.3	9.8	19.0	6.2		
勤労者支援・雇用の促進	n	5	38	545	288	151	325	89	-0.53	
	%	0.3	2.6	37.8	20.0	10.5	22.6	6.2		
快適で住みやすいまちづくり	市街地の整備	n	19	137	646	325	146	85	83	-0.35
		%	1.3	9.5	44.8	③ 22.6	10.1	5.9	5.8	
	道路の整備	n	18	143	567	371	199	65	78	-0.45
		%	1.2	9.9	39.3	① 25.7	② 13.8	4.5	5.4	
	上水道の整備	n	47	184	735	164	122	109	80	-0.10
		%	① 3.3	12.8	51.0	11.4	8.5	7.6	5.6	
	下水道の整備	n	33	126	605	284	198	118	77	-0.39
		%	2.3	8.7	42.0	19.7	③ 13.7	8.2	5.3	
公園・緑地の整備	n	24	174	681	272	122	85	83	-0.23	
	%	1.7	12.1	47.3	18.9	8.5	5.9	5.8		
公共交通の利便性の向上	n	15	87	563	354	231	102	89	-0.56	
	%	1.0	6.0	39.1	② 24.6	① 16.0	7.1	6.2		
ごみ処理の適正化	n	27	160	742	234	94	101	83	-0.17	
	%	1.9	11.1	51.5	16.2	6.5	7.0	5.8		
環境保全の推進	n	11	109	847	136	55	187	96	-0.10	
	%	0.8	7.6	① 58.8	9.4	3.8	13.0	6.7		
行政経営の改革	広報・広聴の充実	n	41	201	781	94	52	185	87	② 0.07
		%	③ 2.8	③ 13.9	54.2	6.5	3.6	12.8	6.0	
	情報化の推進	n	18	116	783	131	53	251	89	-0.08
		%	1.2	8.0	③ 54.3	9.1	3.7	17.4	6.2	
	情報の公開と適正な運用	n	13	104	739	134	64	292	95	-0.13
		%	0.9	7.2	51.3	9.3	4.4	20.3	6.6	
行政改革の推進	n	9	69	678	167	69	356	93	-0.22	
	%	0.6	4.8	47.1	11.6	4.8	24.7	6.5		
人事管理	n	6	55	649	131	75	431	94	-0.23	
	%	0.4	3.8	45.0	9.1	5.2	29.9	6.5		
健全な財政運営	n	13	86	600	172	111	367	92	-0.29	
	%	0.9	6.0	41.6	11.9	7.7	25.5	6.4		

※第1位～第3位を①～③で記しています。

【施策の満足度 地区別評価点】

		羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
まちづくり 市民との協働 による	市民協働の推進	-0.06	-0.03	0.02	③-0.05	②0.18	0.00	-0.02	0.37	-0.13
	人権施策の推進	-0.01	0.00	②0.11	-0.08	①0.26	0.06	③0.05	0.64	-0.05
	男女共同参画の推進	-0.06	-0.06	-0.10	-0.11	0.12	0.05	0.01	0.11	-0.08
	都市交流・国際交流の推進	-0.14	-0.12	-0.06	-0.16	0.07	0.09	-0.12	③0.60	0.04
まちづくり 安全で安心な	危機管理の充実	-0.26	-0.09	-0.27	-0.27	-0.15	-0.17	-0.23	①0.83	-0.13
	防災対策の推進	-0.25	-0.07	-0.19	-0.30	-0.06	-0.08	-0.13	②0.77	-0.10
	消防・救急の充実	①0.06	①0.11	③0.09	①0.06	0.15	①0.29	②0.06	0.04	①0.33
	防犯対策の推進	-0.20	-0.13	-0.23	-0.30	0.02	-0.15	-0.21	0.02	0.07
	交通安全対策の推進	-0.11	-0.15	-0.14	-0.20	-0.02	0.00	-0.11	-0.02	-0.10
	消費者行政の推進	-0.20	-0.22	-0.14	-0.22	-0.02	-0.09	-0.20	0.31	-0.07
	地域福祉の推進	-0.10	-0.15	-0.13	-0.07	-0.06	-0.11	-0.07	0.10	②0.11
まちづくり 健康で希望に満ちた	健康づくりの推進	0.05	-0.01	0.05	-0.09	0.06	0.05	-0.02	0.22	③0.10
	地域医療の充実	-0.18	-0.17	-0.12	-0.20	-0.19	-0.16	-0.21	0.14	-0.10
	子育て支援の推進	-0.18	-0.26	-0.15	-0.20	-0.11	-0.17	-0.07	0.00	-0.24
	障がい者支援の推進	-0.16	-0.29	-0.12	-0.24	-0.17	-0.25	-0.19	-0.07	-0.07
	高齢者支援の推進	-0.22	-0.35	-0.10	-0.23	-0.13	-0.23	-0.20	-0.05	-0.14
	社会保障の充実	-0.31	-0.39	-0.28	-0.37	-0.27	-0.31	-0.33	0.20	-0.28
	まちづくり 時代を担う個性豊かな	幼児・家庭教育の充実	-0.17	-0.05	-0.10	-0.24	-0.10	-0.05	-0.07	-0.08
義務教育の充実		-0.02	③0.05	0.06	-0.16	0.04	②0.20	③0.05	0.02	-0.04
高等教育機関などとの連携		-0.16	-0.10	-0.11	-0.24	-0.13	-0.06	-0.12	-0.08	-0.23
生涯学習の推進		-0.10	-0.09	0.04	-0.17	-0.07	-0.02	0.02	-0.02	-0.06
文化の継承・振興		-0.17	-0.13	-0.04	-0.14	-0.14	-0.18	-0.08	0.13	-0.10
生涯スポーツの振興		-0.16	-0.05	0.01	-0.24	-0.04	-0.06	-0.04	-0.06	-0.13
まちづくり 活力に満ちた	農業の振興	-0.25	-0.33	-0.18	-0.37	-0.30	-0.30	-0.28	-0.05	-0.23
	商業の振興	-0.47	-0.43	-0.37	-0.42	-0.49	-0.41	-0.38	0.08	-0.35
	工業の振興	-0.34	-0.36	-0.38	-0.29	-0.42	-0.31	-0.32	0.05	-0.37
	観光の振興	-0.47	-0.51	-0.39	-0.45	-0.29	-0.42	-0.37	-0.13	-0.37
	勤労者支援・雇用の促進	-0.61	-0.52	-0.39	-0.54	-0.49	-0.47	-0.47	0.02	-0.42
まちづくり 快適で住みやすい	市街地の整備	-0.31	-0.29	-0.26	-0.71	-0.46	-0.34	-0.29	0.20	-0.52
	道路の整備	-0.33	-0.49	-0.57	-0.74	-0.64	-0.50	-0.42	0.00	-0.94
	上水道の整備	③0.01	-0.21	-0.05	-0.46	-0.33	-0.18	-0.12	0.11	-0.17
	下水道の整備	-0.13	-0.71	-0.56	-0.80	-0.69	-0.48	-0.60	0.13	-0.50
	公園・緑地の整備	-0.20	-0.45	-0.17	-0.64	-0.39	-0.21	-0.17	0.13	0.00
	公共交通の利便性の向上	-0.56	-0.46	-0.56	-0.67	-0.57	-0.56	-0.57	-0.25	-0.60
	ごみ処理の適正化	-0.16	-0.20	-0.24	-0.26	-0.06	-0.02	-0.24	-0.30	0.03
	環境保全の推進	-0.09	-0.13	-0.15	-0.25	-0.06	-0.05	-0.10	-0.28	-0.03
行政経営の改革	広報・広聴の充実	②0.03	①0.11	①0.14	③0.00	②0.18	③0.18	①0.07	-0.07	0.07
	情報化の推進	-0.14	-0.01	0.01	-0.12	-0.12	0.00	-0.03	-0.39	-0.11
	情報の公開と適正な運用	-0.21	-0.09	0.05	-0.14	-0.15	-0.03	-0.12	-0.22	-0.30
	行政改革の推進	-0.25	-0.21	-0.11	-0.24	-0.24	-0.06	-0.28	-0.42	-0.38
	人事管理	-0.25	-0.29	-0.16	-0.12	-0.20	-0.12	-0.30	0.00	-0.30
	健全な財政運営	-0.34	-0.36	-0.24	-0.16	-0.26	-0.13	-0.40	-0.23	-0.30

※第1位～第3位を①～③で記しています。

13 - 2 力をいれるべき施策

【問48】 あなたは、これからの市政に対して、特に力をいれるべきだと思うものは何ですか。

【複数回答】

- 市政に対して特に力を入れてほしいものについては、「高齢者支援の推進」が31.8%で最も多く、次いで「地域医療の充実」(25.1%)、「防災対策の推進」(21.8%)、「社会保障の充実」(21.1%)、「子育て支援の推進」(20.7%)となっており、“健康で希望に満ちたまちづくり”分野の項目が多く挙げられています。
- 年齢別でみると、40歳未満では「子育て支援の充実」、40～49歳では「地域医療の充実」、50歳以上では「高齢者支援の推進」が最も多くなっています。
- すべての年代で“健康で希望に満ちたまちづくり”分野の項目が上位に挙げられており、地域医療や子育て支援、高齢者福祉など、身近な問題への対応が強く望まれています。
- 地区別でみると、岩瀬地区と村君地区では「子育て支援の推進」、井泉地区では「地域医療の充実」、三田ヶ谷地区では「道路の整備」、それ以外の地区では「高齢者支援の推進」が最も多くなっています。
- 須影地区と川俣地区では「防犯対策の推進」が上位に挙げられています。

【力を入れるべき施策／全体及び年齢別集計】

		全体		年齢別				
				20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
		n	%	%	%	%	%	%
まちづくり 市民との協働	市民協働の推進	57	4.0	3.1	1.8	3.9	2.6	4.8
	人権施策の推進	17	1.2	1.5	2.4	1.3	0.9	1.0
	男女共同参画の推進	39	2.7	3.8	1.8	0.9	2.6	3.4
	都市交流・国際交流の推進	51	3.5	6.9	5.5	2.2	2.6	3.1
まちづくり 安全で安心な	危機管理の充実	171	11.9	6.9	7.3	8.3	15.1	14.7
	防災対策の推進	314	③ 21.8	20.0	16.5	② 22.7	② 25.9	22.5
	消防・救急の充実	219	15.2	10.0	11.6	12.2	12.5	18.6
	防犯対策の推進	236	16.4	17.7	20.1	19.2	17.7	14.4
	交通安全対策の推進	125	8.7	10.0	7.9	8.7	7.8	8.9
	消費者行政の推進	33	2.3	4.6	1.2	1.7	2.2	2.3
まちづくり 健康で希望に満ちた	地域福祉の推進	128	8.9	7.7	6.7	11.4	6.9	8.9
	健康づくりの推進	193	13.4	10.8	5.5	8.7	10.3	18.9
	地域医療の充実	361	② 25.1	16.2	② 25.0	① 24.9	22.4	② 28.1
	子育て支援の推進	298	20.7	① 33.8	① 47.0	20.5	21.6	12.4
	障がい者支援の推進	113	7.8	7.7	5.5	7.9	9.5	7.8
	高齢者支援の推進	458	① 31.8	19.2	③ 22.6	18.8	① 28.0	① 43.0
	社会保障の充実	304	21.1	③ 21.5	15.2	20.1	22.4	23.4
かなまちづくり 時代を担う個性豊	幼児・家庭教育の充実	119	8.3	15.4	15.2	10.9	5.2	5.3
	義務教育の充実	110	7.6	10.8	16.5	14.8	4.7	3.6
	高等教育機関などとの連携	31	2.2	3.1	2.4	3.5	0.9	1.8
	生涯学習の推進	68	4.7	4.6	3.0	1.3	7.8	5.5
	文化の継承・振興	51	3.5	8.5	2.4	3.1	3.4	3.1
	生涯スポーツの振興	83	5.8	9.2	6.1	3.1	6.5	5.3
まちづくり 活力に満ちた	農業の振興	147	10.2	6.9	7.3	7.9	10.8	11.5
	商業の振興	196	13.6	17.7	20.7	16.2	15.9	9.4
	工業の振興	72	5.0	3.1	4.3	6.1	3.9	5.5
	観光の振興	103	7.1	11.5	9.1	4.8	8.2	5.7
	勤労者支援・雇用の促進	191	13.3	15.4	14.6	15.3	16.8	10.8
まちづくり 快適で住みやすい	市街地の整備	121	8.4	8.5	9.1	9.6	9.1	7.8
	道路の整備	256	17.8	17.7	③ 22.6	20.5	14.7	17.1
	上水道の整備	54	3.7	1.5	7.3	3.1	4.7	3.4
	下水道の整備	233	16.2	7.7	12.2	16.6	20.7	17.1
	公園・緑地の整備	179	12.4	18.5	20.1	14.4	8.6	10.0
	公共交通の利便性の向上	241	16.7	② 25.4	18.3	③ 21.4	18.1	12.4
	ごみ処理の適正化	208	14.4	10.8	14.0	13.5	16.4	14.9
	環境保全の推進	69	4.8	3.8	1.2	7.0	5.2	5.3
行政経営の改革	広報・広聴の充実	23	1.6	0.8	1.8	0.9	0.9	2.1
	情報化の推進	21	1.5	2.3	2.4	1.3	1.3	1.0
	情報の公開と適正な運用	62	4.3	3.1	4.3	2.2	5.6	4.7
	行政改革の推進	52	3.6	1.5	2.4	3.9	3.0	4.7
	人事管理	38	2.6	3.8	2.4	3.1	2.2	2.6
	健全な財政運営	293	20.3	11.5	13.4	17.5	③ 23.3	③ 23.9

※第1位～第3位を①～③で記しています。

【力を入れるべき施策／全体及び地区別集計】

		全体		地区別								
				羽生	新郷	須影	岩瀬	川俣	井泉	手子林	三田ヶ谷	村君
		n	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
まちづくり 市民との協働	市民協働の推進	57	4.0	4.9	3.2	1.0	4.0	5.1	3.8	3.1	4.6	0.0
	人権施策の推進	17	1.2	1.0	0.8	2.0	2.0	1.7	1.5	1.3	0.0	3.1
	男女共同参画の推進	39	2.7	2.8	3.2	1.0	4.0	1.7	2.3	3.8	3.1	0.0
	都市交流・国際交流の推進	51	3.5	4.9	3.2	2.0	3.0	1.7	2.3	3.1	1.5	0.0
まちづくり 安全で安心な	危機管理の充実	171	11.9	14.5	5.6	9.0	10.9	13.6	14.3	9.4	7.7	18.8
	防災対策の推進	314	③21.8	③24.1	15.3	③26.0	③21.8	18.6	③23.3	20.8	21.5	18.8
	消防・救急の充実	219	15.2	14.3	13.7	14.0	13.9	13.6	18.0	14.5	15.4	25.0
	防犯対策の推進	236	16.4	15.7	15.3	22.0	16.8	②23.7	17.3	17.6	7.7	18.8
	交通安全対策の推進	125	8.7	8.4	8.1	11.0	6.9	16.9	10.5	7.5	6.2	6.3
	消費者行政の推進	33	2.3	3.3	2.4	1.0	2.0	3.4	0.8	0.6	3.1	0.0
まちづくり 健康で希望に満ちた	地域福祉の推進	128	8.9	7.5	18.5	8.0	6.9	6.8	7.5	8.8	7.7	6.3
	健康づくりの推進	193	13.4	14.9	16.1	12.0	5.0	13.6	9.8	12.6	21.5	6.3
	地域医療の充実	361	②25.1	②25.3	21.8	②29.0	19.8	15.3	①27.1	②27.7	②27.7	②31.3
	子育て支援の推進	298	20.7	19.9	②25.0	22.0	①27.7	20.3	19.5	20.1	18.5	①34.4
	障がい者支援の推進	113	7.8	6.8	12.1	6.0	6.9	6.8	7.5	10.1	12.3	3.1
	高齢者支援の推進	458	①31.8	①33.6	①41.1	①39.0	③21.8	①33.9	②26.3	①30.2	23.1	18.8
	社会保障の充実	304	21.1	20.5	③22.6	22.0	20.8	22.0	20.3	23.3	23.1	18.8
かなまちづくり 時代を担う個性豊	幼児・家庭教育の充実	119	8.3	8.0	6.5	10.0	6.9	11.9	11.3	7.5	4.6	15.6
	義務教育の充実	110	7.6	8.7	6.5	7.0	4.0	10.2	7.5	9.4	6.2	9.4
	高等教育機関などとの連携	31	2.2	2.4	1.6	1.0	3.0	1.7	3.8	0.6	1.5	3.1
	生涯学習の推進	68	4.7	6.1	6.5	5.0	2.0	3.4	3.8	3.8	4.6	0.0
	文化の継承・振興	51	3.5	4.2	1.6	4.0	3.0	3.4	3.0	3.8	4.6	0.0
	生涯スポーツの振興	83	5.8	6.1	4.8	5.0	5.9	3.4	5.3	3.1	9.2	3.1
まちづくり 活力に満ちた	農業の振興	147	10.2	4.9	13.7	14.0	7.9	16.9	8.3	12.6	②27.7	21.9
	商業の振興	196	13.6	15.2	12.9	13.0	12.9	10.2	15.0	10.1	7.7	21.9
	工業の振興	72	5.0	4.7	4.8	2.0	1.0	5.1	6.0	5.0	10.8	9.4
	観光の振興	103	7.1	8.2	4.8	7.0	5.9	10.2	9.0	3.8	3.1	6.3
	勤労者支援・雇用の促進	191	13.3	12.2	15.3	15.0	13.9	15.3	7.5	14.5	18.5	18.8
まちづくり 快適で住みやすい	市街地の整備	121	8.4	10.0	4.0	4.0	9.9	15.3	8.3	5.0	13.8	6.3
	道路の整備	256	17.8	13.6	19.4	18.0	③21.8	20.3	③23.3	18.2	①29.2	②31.3
	上水道の整備	54	3.7	4.4	2.4	3.0	5.0	5.1	3.0	5.0	3.1	0.0
	下水道の整備	233	16.2	10.1	③22.6	19.0	②25.7	②23.7	14.3	③27.0	12.3	3.1
	公園・緑地の整備	179	12.4	13.3	10.5	4.0	③21.8	15.3	15.0	11.3	6.2	9.4
	公共交通の利便性の向上	241	16.7	17.7	13.7	17.0	14.9	8.5	20.3	17.0	10.8	25.0
	ごみ処理の適正化	208	14.4	16.6	11.3	15.0	12.9	13.6	11.3	11.3	16.9	15.6
	環境保全の推進	69	4.8	4.5	5.6	7.0	5.9	5.1	5.3	3.8	6.2	6.3
行政経営の改革	広報・広聴の充実	23	1.6	2.1	2.4	2.0	1.0	0.0	2.3	0.6	0.0	0.0
	情報化の推進	21	1.5	1.6	0.8	1.0	0.0	1.7	0.8	2.5	1.5	3.1
	情報の公開と適正な運用	62	4.3	5.2	1.6	2.0	3.0	5.1	5.3	3.1	6.2	6.3
	行政改革の推進	52	3.6	3.5	3.2	3.0	3.0	3.4	2.3	5.0	6.2	6.3
	人事管理	38	2.6	3.1	1.6	3.0	5.9	1.7	1.5	2.5	0.0	0.0
	健全な財政運営	293	20.3	18.9	③22.6	21.0	③21.8	15.3	15.0	③27.0	21.5	21.9

※第1位～第3位を①～③で記しています。

IV. 調査結果のまとめ

1 住み心地について

住み心地については、「まあまあ住み良い」が50.3%で最も多く、これに「住み良い」(19.1%)を合わせた“住み良い”とする人は約7割になります。「住み良い」割合を時系列でみると、調査回数を重ねるごとに増加しています。“住み良い”理由としては、「永年住みなれ、愛着がある」(54.7%)が最も多く、次いで「自然環境が良い」(40.0%)となっています。一方、住みにくい理由として、前回調査に引き続き「交通の便が悪い」「都市施設が整っていない」「買い物が不便である」などが多く挙げられており、今後もこれらの条件、整備状況などを積極的に改善していくことが求められています。さらに、定住意向については、「現在の場所に永く住みたい」(42.1%)と「現在の場所に当分住みたい」(28.5%)を合わせた“住み続けたい”とする人は70.6%となっています。“住み続けたい”を時系列でみると、前々回調査の6割半ばを、前回調査が7割半ばで上回りましたが、今回調査で約7割に減少しています。“転居したい”とする人は増加傾向にあります。年齢別にみると、20～29歳では「できれば転居したい(市外へ)」の割合が他の世代よりも高く、主に若年層の定住を支える施策が求められています。住み続けるために必要なものについて、全体では「医療施設や福祉施設の充実」が求められており、福祉への関心が高くなっているとうかがえます。40歳未満では、「商業施設の充実」「医療施設の充実」「生活道路の整備」に加えて「子育て支援施設の充実」が多く挙げられており、生活基盤の充実とともに子育て環境の充実が求められています。

2. 市役所の取り組みなどについて

「広報はにゅう」の閲読状況については、「必ず読む」(51.0%)と「ときどき読む」(32.6%)を合わせた“読む”とする人は83.6%と8割強を占めます。しかしながら、時系列で“読む”の推移をみると、前回調査(92.2%)では増加しましたが今回調査で減少し、前々回調査(85.6%)を下回ります。一方、「ぎかいだより」については、「必ず読む」(21.1%)と「ときどき読む」(43.3%)を合わせた“読む”が64.4%と6割以上を占めますが、「広報はにゅう」に比べて低い閲読状況となっています。また、時系列で“読む”の推移をみると、「広報はにゅう」と同様の傾向がみられ、市民に親しまれる紙面づくりのさらなる工夫が必要であるといえます。市民参加・市民参画・市民協働による市民が主役のまちづくりを推進するために定めた「羽生市まちづくり自治基本条例」については、「内容を知っている」が4.9%にとどまっています。また、20～29歳では「全く聞いたことがない」が7割強を占めており、今後、条例の目的を果たすよう、さらなる情報発信・意識啓発が求められます。協働によるまちづくりの一つである市の計画づくりへの参加意向については、“参加したい”が半数以上を占めますが、年齢別でみると、20～29歳では「興味がないので参加しない」が“参加したい”を上回り、若年層が興味を持てるよう計画づくりのPR活動が必要とされます。市政・市役所に対する住民のイメージは、「市政への信頼度」「市政の進展度」「窓口対応の親切さ」「事務処理の正確さ・速さ」「市役所の活気・明るさ」、すべての項目で前回調査を上回る評価を受けており、増加傾向にあります。しかしながら、「どちらとも言えない」がすべての項目で高い割合を占めており、市民が市政や市役所に対し、良い・悪いともつかない曖昧な印象を持っていることの裏付けとなっています。今後、より良いまちづくりを進めていくうえで、市民の行政への関心を高め、行政に対する意見や要望などを広く反映していくためにも、市民の多様な声に耳を傾け、市民と行政が一体となって施策を展開していくことが重要となっています。

3. コミュニティについて

近所付き合いについては、「良く付き合っている」及び「普通程度に付き合っている」を合わせた“近所付き合いがある”とする人は63.5%となっており、高い割合となっていますが、時系列でみると前回調査より減少しています。年齢別にみると若い世代で「あいさつ程度であまり付き合っていない」が多いことから、近所付き合いが希薄になっている様子がうかがえます。行事への参加については、「積極的に参加している」「ときどき参加している」「やむを得ず参加している」を合わせた“参加している”とする人は前回調査では7割半ばに増加しましたが、今回調査では6割半ばに減少しています。また、「参加していない」とする人が前回調査では2割半ばとなりましたが、3割半ばに増加しています。年齢別にみると「参加していない」が若い世代で多いことから、自治会などの強化や地域が一体となったコミュニティのさらなる活性化を図る必要があります。前回マイナスイメージであった喫煙マナーについては、今回調査ではプラスイメージになっています。空き缶・ごみなどの後始末、ペットの飼育マナーなどは、全体的に悪い評価となっていますが、前回調査に比べてイメージは上がっています。また、前回もプラスイメージであったごみの分別・持ち出し方、公共物の使い方、高齢者や障がい者などへの思いやりについては、引き続き良い評価となっています。各マナーについて、引き続き啓発・意識の向上が求められます。また、ボランティア活動においては、参加していない人が多いものの、年齢が高くなるほど複数の活動に参加している方も多くなっています。

4. 羽生市の将来像について

羽生市の将来像については、「福祉施設が充実した福祉都市」が40.4%で最も多く、次いで今回調査から追加された「子育てしやすい安心な都市」(38.7%)が続き、福祉と子育てに重点が置かれたやさしい都市づくりが望まれていることがうかがえます。将来の人口については、「自然のまま」が4割強を占めていますが、市の人口減少傾向がみられる中、「急激な減少は食い止めたほうが良い」割合も約3割、「積極的に取り組むべきだと思う」も2割半ばとなっています。市町村合併については、「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」が40.9%と最も多く、次いで「わからない」(24.5%)が続きます。また、「合併すべきではない」とする人も16.4%となっています。前回調査と比べて「積極的に取り組むべきだと思う」及び「少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う」はともに減少し、「合併するべきではないと思う」及び「わからない」とする割合が増加しています。

5 市の特徴について

食虫植物「ムジナモ」について何らかの情報を“知っている”は94.6%を占め、非常に高い認知度となっています。しかし20～29歳では「知っているが、実物も写真も見ることがない」の割合が他の年代に比べて高く、さらなる情報発信が求められます。また、好きな場所について「利根川」や「羽生水郷公園」などの自然系景観の活用に関する記述が多くみられ、市を代表する景観であることがうかがえます。

全国PRに有効なものとしては「世界キャラクターサミット in 羽生」が43.8%と最も多くなっています。次いで「さいたま水族館」が3割強、「羽生水郷公園」「藍染め」「いがまんじゅう」が2割強

で続いています。また、年齢別・地区別でみてもほとんどすべての層で「世界キャラクターサミット in 羽生」が第1位に挙げられていることから、キャラクターサミットへの市民の期待の高さがうかがえます。観光交流人口を増やすために有効だと思うものについては、施設、イベントなどの提案が多くなっています。既存の施設や場所の活用・活性化はもちろん、新しい施設・イベントの実施、人の活用なども検討材料とすることが求められています。

6 福祉・リサイクル・交通について

高齢化社会への対応については、「生活資金の充実」とする人が最も多く、次いで「高齢者に対する医療制度・保健サービスを充実する」「高齢者が楽しく働ける場を増やす」「生活資金確保のため、就労の機会を増やす」などが続きます。これらは、いずれも将来の生活に対する不安の現れであり、ハード面よりもソフト面での支援が求められています。子育て支援に期待することについては、約半数の人が「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」を挙げており、次いで「子育てしやすい住環境への支援」「保育所・学童保育の充実」が続き、性別・年齢別でみてもおおむねすべての層でこれらが上位を占めることから、働きながら子育てができる環境づくりが期待されていることがうかがえます。また、20～29歳では「妊娠・出産に対する支援」が43.8%と多く挙げられており、若い世代への出産のための支援が求められています。ごみのリサイクルについては、「現在行っている分別回収の徹底」が56.9%で最も多く、次いで「不要なものは買わない、断る」「ごみ集積所の配置や管理の仕方などの見直し」などが多く挙げられ、一方、「関心がない」は1.5%にとどまります。これは、ごみ問題に関心が高いのと同時に、身近な問題として解決に取り組もうとする意識がうかがえ、継続して各取り組みに対する意識啓発・情報発信が求められます。交通については、「鉄道やバスなどの公共交通施設の充実」「歩道の整備」「身近な生活道路の整備」などが多くなっており、市内での移動に関する公共交通施設や道路の充実が期待されています。最終電車については、“満足”とする人が27.4%で、“不満足”とする人が33.5%と不満が上回り、また、年齢別で見ると、若い世代ほど“不満足”が増加する傾向がみられます。

7 通信環境などについて

市のホームページの利用状況については、「毎日見る」「週に1度見る」「月に1度程度見る」を合わせた“見る”が1割程度にとどまっています。また、年齢別で見ると、20～29歳を除くと、高齢になるにつれて減少する傾向がみられますが、「インターネットそのものを利用していない」は高齢になるにつれて増加していることから、ホームページでの情報受信が若い世代を中心に手軽で有効である一方、高齢世代ではインターネットの利用率自体が低い状況にあり、複合的な情報発信が必要であるといえます。電子申請・届出サービスについては、「知っているが利用したことはない」(48.3%)が最も多く、また、「知らない」が43.7%を占めています。認知度が低いとともに、「利用したことがある」も3.6%にとどまっていることから、普及啓発を図るとともに、利用しやすくなるようさらなる改善が求められます。

8 医療・防災・防犯について

健康維持や救急時などにおいて、かかりつけ医や行きつけの総合病院などを決めていることは重要であると認識されています。「かかりつけ・行きつけ」を決めている方は70.4%を占めており、かかりつけ医に対する意識の高さがうかがえます。一方、かかりつけ医は「必要だと思わない」が3.1%となっています。また、年齢別でみると、20～29歳でかかりつけ医は「必要だと思わない」割合が1割を超えていることから、さらなる意識啓発が求められます。医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすために必要なことについては、「適切な運動」「バランスのとれた食生活」「定期的な健診などによる健康管理」が多くなっています。「国民健康保険における一人当たりの医療費」を抑えるよう、今後これらの意識啓発や機会の提供などの充実が求められます。健康診断については、受診している方が7割弱を占めており、また、受診していない方でも、その理由として「普段から医者にかかっている」を挙げている方が最も多く、健康への意識の高さがうかがえます。建築基準法新耐震基準の施行[昭和57年(1982)年]前に建てられた築後30年を経過する家が3割弱あり、地震に対しての安全への関心は75.9%と多く、耐震補強工事への希望も高くなっています。住宅用火災警報器については、「設置されていない」が4割以上を占めています。寝室や台所など複数箇所での設置が有効とされている一方、1か所のみでの設置がまだ多い状況ではありますが、複数箇所設置も増加しており、今後も継続して情報発信をしていくことが重要とされます。災害時の備えについては、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」(47.9%)が最も多く、次いで「避難場所の確認」(44.3%)が挙げられますが、避難場所の認知について尋ねると、23.6%が知らない状況であり、今後周知の徹底を図る必要があります。家庭内部の準備に加え、外部に対しての「ブロック塀などの補強」など複合的な取り組みを啓発していくことが求められます。しかしながら、時系列でみると、いずれの項目もおおむね増加しており、「特に準備していない」が減少していることから、災害時の備えへの意識は高まっていることがうかがえます。防犯への取り組みについては、「センサーライトの設置」や「ドア、窓の二重ロック化」などの取り組みがみられる一方、防犯カメラ・ホームセキュリティー・IT機器などの取り組みは少ない状況にあります。犯罪防止については、防犯灯や街路灯の増設や防犯カメラの設置を望む声が高く、警察への依存度も高くなっていますが、「近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる」も上位項目となっており、意識の向上がうかがえます。

9 選挙について

選挙については、投票率が低い理由、投票率を上げる方法ともに、候補者・議員に対する不満や要望が多く挙げられていますが、投票方法の仕組みに関する意見も多く、今後の検討が求められます。

10 教育・スポーツについて

学校教育については、学力や施設の充実よりも教員の指導力の向上や善悪を判断できる児童生徒の育成、道徳教育の充実を求める声が高く、児童生徒の「心」の育成が重要な課題となっています。また、学校には、「防犯活動など安全のための活動に取り組む」ことが期待されています。スポーツをする頻度については、やっていない方が半数以上を占めます。やっていない理由として、60歳以上では「健康上の理由」が最も多く、それ以外の年代では「仕事や勉強が忙しいから」が最も多くなっています。健康維持のために適度なスポーツは重要であり、健康上適切な範囲でのスポーツ参加向上を図ることが求められます。

11 人権・男女平等観について

基本的人権については、「尊重されていない」「どちらかといえば尊重されていない」とする人が約2割いることから、すべての人が尊重されていると感じられるよう、さらなる人権教育の充実が今後の課題となっています。男女平等観については、“習慣・しきたり・社会通念”、“地域”や“職場”などにおいて、男性の優遇感が根強く残っています。一方、『男は仕事、女は家庭』という考え方については、“思わない”が半数以上を占めており、男女平等観について意識の改善はみられるものの、さらなる向上が課題となっています。

12 産業・商業について

買い物については、前回調査でも市内購入が多かった“食料品”に加え、“衣料品”“家具・家電”は市内購入が過半数を占めています。しかし、そのうち“食料品”については小売店が、“衣料品”“家具・家電”は大型店で購入している方が多く、いずれも個人商店での買い物は少なくなっています。米や野菜などの農産物を購入する際の目安については、「新鮮さなどの品質」「国内産または地元産であること」が上位項目となっています。時系列でみると、前回調査で減少した「値段の安さ」が今回調査では増加しており、品質や産地を意識しつつ、安さも重要視する結果となっています。商業・産業の振興については、「若い世代の台頭や後継者の育成」が最も多くなっており、人材育成が課題となっています。

13 全般的なまちづくりについて

各施策の満足度を加重平均によって点数化すると、「消防・救急の充実」「広報・広聴の充実」「人権施策の推進」「健康づくりの推進」などの項目で比較的评价が得られています。特に力をいれるべき施策については、「高齢者支援の推進」が31.8%で最も多く、次いで「地域医療の充実」(25.1%)、「防災対策の推進」(21.8%)、などとなっており、“健康で希望に満ちたまちづくり”分野の項目が多く挙げられています。また、年齢別にみても、すべての世代で“健康で希望に満ちたまちづくり”分野の項目が多くなっています。全体的に子育て支援や高齢者などの福祉サービスの充実に加え、防災対策や住環境の整備を求める声が多くなっています。

V. 自由記入のまとめ

市政に対するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

調査票の最後に市政に関する意見についての自由記入欄を設けたところ、343人(23.8%)の方から401件の意見が記入されました。

意見を主な内容ごとに分類すると下記の通りとなっており、「生活環境、住環境」「行財政」「政策、まちづくり全般」に関する意見が多くみられました。

分類		件数
1	生活環境、住環境	58
2	都市基盤整備	54
3	安心安全(防災・防犯・救急・医療・福祉)	50
4	農業	7
5	商工観光(産業)	32
6	教育、歴史・文化	13
7	コミュニティ、協働	12
8	行財政	83
9	政策、まちづくり全般	64
10	その他	28
合計		401

1 生活環境、住環境

性別	年齢	自由記述
男性	20～29歳	ごみ捨て場が遠いので、近いところに設置してほしい。
男性	40～49歳	これから公共バスの充実が必要になってくると思う。食料、医療法人社団、生活用品が必要な時、高齢だと困難になる。移動手段を考えてほしい。自転車は危険である。
男性	50～59歳	高齢者世帯の住宅や、その後空き家となった建物の有効活用。
男性	50～59歳	清掃センターより出る熱を利用してキャッセ羽生などに温水プールやお風呂などを建設し、たくさんの方がくるような工夫をすれば良いと思う。
男性	50～59歳	連休が長く続く時のごみ収集についてなんとかしてほしい。道路の犬のフンの処理もお願いします。
男性	60歳以上	町内に子どもの遊び場がほしい。
男性	60歳以上	上新郷農道排水川底が汚い。
男性	60歳以上	夕方になるとあちらこちらで火を燃やしているので、窓を開けたり安心して洗たく物を干すことができない。何か規定をつくってほしい。
男性	60歳以上	建設業をやっている会社は朝早くダンプが何台も通り音も気になり、通学時間帯にはとても危険。
男性	60歳以上	空き家対策。
女性	20～29歳	イオンができて便利になったし、生活は充実しているけど、まちの方だけではなく、村君も活性化してほしい(インター付近など)。“羽生に住んでいます”と自信を持って市外の人に言えるようになってくれたら嬉しい。
女性	20～29歳	家畜の肥料の悪臭がする。観光資源を活かしてほしい。ごみ収集場所が遠い。道が暗い。
女性	20～29歳	小さな子どもから小学校高学年ほどの子どもが、雨の日でも楽しめるような、市民が無料で楽しめる施設ができてほしいです。有料であっても500円ほどなら喜ばれると思います。
女性	20～29歳	市政のことは難しいですが、のんびり過ごせる羽生が好きです。母と父が老後楽しく過ごせるような環境になったら、すてきなと思います。

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	冠水する道路がありますが、それはなくならないのでしょうか。
女性	30～39 歳	バイクの暴走族が通ることがあり、騒音に悩んでいる。取り締まりを厳しくして、静かに暮らせるようにしてほしい。
女性	30～39 歳	住んで 10 年になりますが、悪臭をどうかしてほしい。昼間は農家の人が田畑を燃やし、朝夜は畜産農家の汚物の臭いがあり窓を開けている時間が少ない（ほぼ開けられない）。
女性	40～49 歳	ビニールと紙ごみが一緒に捨てられないのでしょうか。
女性	40～49 歳	犬の登録制の実施。フンの対策として何か手だてを。犬の住民票をつくってきちんと管理してほしい。マナーを守らせるためにきちんと条例などの実行を（取り締まり）してほしい。
女性	40～49 歳	水郷公園近辺ばかりでなく、他の公園も整備してほしい。子どもが自分で遊びに行ける公園がないです。車に乗れない子どもは家か道路で遊ぶしかないので、困ります。
女性	40～49 歳	近隣の人が家庭ごみを畑などで焼却する問題。市政や広報などでもこの問題について、大きく取り上げていただきたいです。
女性	40～49 歳	水がおいしくない。水のおいしいまちは素敵なイメージがあります。
女性	50～59 歳	生活道路が舗装されておらず、じゃり道で通りづらく困っています。
女性	50～59 歳	まちに活気がない、夜の道が暗いので、遅い時間は不安になる。
女性	60 歳以上	私をはじめ近隣の方も高齢になり、下水掃除など重い物の持ち上げ作業が大変なので、市でなんとか考えていただきたいと感じます。
女性	60 歳以上	ごみ問題（高齢に伴い近くでごみが捨てられるようにしてもらいたい）。市報に出ている集収日でない日に車で持っていかなくてはならないようでは困る。
女性	60 歳以上	ごみ処理について、高齢者の仕事になっています（ボランティアになっています）。少しでも小遣いを出すか、ごみを有料にした方が良いと思います。
女性	60 歳以上	自然環境が美しい市内を希望します。
女性	60 歳以上	車に乗れないので生活が不便。
女性	60 歳以上	空き家、空き地の対策。
女性	60 歳以上	三田ヶ谷公民館、農村センターのトイレを 1 か所づつ洋式トイレに直してください。

2 都市基盤整備

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	大雨で冠水する。川の氾濫以外でのハザードマップが知りたい。
男性	30～39 歳	水道水の塩素が強い。
男性	30～39 歳	羽生病院移転が完了しつつある今、北荻島の羽生 I C 前開発に着手すべきである。早期に協議再開し、進展していくことを望む。市職員の努力に敬意を表します。
男性	40～49 歳	歩道と街灯を整備してください。駅前通りと市役所周辺をもっと明るくしてください。
男性	50～59 歳	住宅用地を増やす。
男性	50～59 歳	南羽生駅の北口をお願いします。
男性	50～59 歳	羽生 I C 付近の整備。
男性	50～59 歳	道路に電柱があちこちはみ出しているところが多いため、整理してもらいたい。
男性	50～59 歳	街灯がやっと LED になったとか。市役所前は水が出るとすぐ水びたしになり、前の道は使えなくなるので冠水対策をしてほしい。
男性	50～59 歳	循環バスの回数を増やすと利用者も増えるのではないかと。バスを待つ時間が長い。遅れてくる。
男性	50～59 歳	古い水道管の入れ替え。道路整備。
男性	60 歳以上	「世界キャラクターサミット in 羽生」は多くの人々が市に来訪して良いと思うが、道路の整備（「止まれライン」が消えているなど）に予算をかけてほしい。
男性	60 歳以上	公共交通機関を充実させてほしい。
男性	60 歳以上	公共施設及び道の駅などの拡大などに力を入れてほしい。市外からの客も大勢利用しています。
男性	60 歳以上	市内の調整区域の幹線道路の側を市条例第 5 条第 1 項 1 号地区に指定し、上下水道を完備する。
男性	60 歳以上	交通方法の充実を希望いたします。イオンモール羽生・市内各地間のシャトル便、深夜タクシーの営業。
男性	60 歳以上	市・県・道の横断歩道及び中央分離の白線が消えていて危険なので引きなおしてほしい。
女性	20～29 歳	道路（自転車が通るところ）が整備されていないところがまだたくさんあるため、少しずつで良いので整備するようにしてもらいたいです。

性別	年齢	自由記述
女性	20～29 歳	南羽生駅を利用していますが、改札が1個のため駅前の道が大変混雑して困ります。また、終電も早いため不便です。
女性	20～29 歳	バスがあると助かります。
女性	20～29 歳	道路がきれいに整備されて良かった。
女性	20～29 歳	南羽生駅にエスカレーターをつけてください。
女性	20～29 歳	バスが増えれば良いなと思います。
女性	30～39 歳	駅周辺の道路が狭い。また、夜になると駅周辺は真っ暗。
女性	30～39 歳	小学校周辺の交差点などには必ず歩道を確保してほしい。特に井泉小学校前は危険。歩道を歩いているのに、クラクションを鳴らされたり、右折車を避けようと歩道を車がスピード出して避けていく。
女性	40～49 歳	通学路の整備をしてほしいです。生活排水の上のブロックのヒビ、縁石が低いので、見直してもらいたいです。ダンプ、大型トラックが多く通り、かなりスピードを出しています。大型車は通行禁止にしてほしい（県道60号）。
女性	40～49 歳	南羽生駅は反対側にも改札口をつくってほしいです。
女性	40～49 歳	南中学校、羽生南小学校の道路の冠水をなくすよう考えてほしい。夕立程度の雨で冠水してしまうと、災害級の雨が降った時には避難できません、心配です。
女性	40～49 歳	電車の本数を増やしてほしい。
女性	50～59 歳	大雨の時の道路の冠水によって動きがとれなくなってしまうので、そういう道路を減らしてほしい。また冠水時の駐車場の確保。キヤッセ羽生の有効利用。
女性	50～59 歳	下水道の整備を進めてほしい。合併浄化槽は管理するのも費用がかかり大変です。
女性	60 歳以上	バスでまちに行っても、私は歩行が辛いので降りてからが大変です。もっと家の近くで乗り降りができたら良いなと思います。
女性	60 歳以上	バスが通っていれば高齢者が家にこもっていることもなくなるのにと常に思います。
女性	60 歳以上	中川北側の道路は路上駐車車が並び、子ども達は右側通行できず、左側通行を余儀なくされている。車の出入りやすれ違いの際は特に危険なので警察の取り締まりの強化をお願いしたい。
女性	60 歳以上	コミュニティバスに乗りたい時に自由に乗れるようになったら良いです。いつもお客さんは乗っていないようにみえます。
女性	60 歳以上	上水道の整備をしてほしいです。早く本管などの整備・交換を。特に羽生市の水道水はボイラーが壊れるのが早いです。老朽化しているようです。よろしくをお願いします。
女性	60 歳以上	都心への交通網を充実してほしい。
女性	60 歳以上	農用地区域に指定されている土地（農振法）を農業以外の用途に変更できるようお願いしたい。農振法も家や道路に囲まれた狭い土地などには適用外とすることも必要だと思います。

3 安心安全(防災・防犯・救急・医療・福祉)

性別	年齢	自由記述
男性	20～29 歳	新郷駐在所は活動しているのかどうか。
男性	30～39 歳	小児医療施設の充実（24時間体制）。
男性	30～39 歳	最近空き家や廃墟が身の回りで増えてきていると感じます。美化、防犯のためにも解体などを進めてほしい。
男性	40～49 歳	保育園の充実、働くママへの負担軽減、配慮。
男性	40～49 歳	子どもが安心して通学できる環境、道路の整備、信号の設置をお願いします。
男性	40～49 歳	医療、福祉の充実を継続してお願いします。
男性	40～49 歳	子育て日本一のまちを目指すくらいがんばってもらいたい。
男性	50～59 歳	羽生病院の移転に十分な協力をお願いしたい。
男性	50～59 歳	高齢者世帯への見守り、援助の充実。
男性	60 歳以上	人口減少に入り少子高齢化の中で高齢者が安心安全に暮らせるまちづくりを図り、一人暮らし高齢者の暮らしの充実を願う。
男性	60 歳以上	夜間通学路街灯が暗い。
男性	60 歳以上	防犯灯の増設やパトロール強化などによる安心できるまちづくり。
男性	60 歳以上	小中学校の道徳教育を充実させる。犯罪の防止に尽力する。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	市広報の拡声器による放送の声にエコーがかかり、声がだぶって聞き取りにくい。間をあけて放送すると聞き取りやすくなるので口調を考えて放送願いたい。
男性	60歳以上	今まで生活保護給付金をもらっている人を見直してもらいたい。もう少し福祉に力を入れてもらいたい。本当に支援してもらいたい人が、なかなか支援してもらえない。
男性	60歳以上	道路に街灯が少ない。暗いところが多い。
男性	60歳以上	これから高齢者時代、安心して生活ができるようお願いします。
女性	20～29歳	夜道が暗いのが怖い。自分の子ども達が将来一人で学校から自宅に帰ってくるまでが不安です。街灯を増やし、警察パトロールを強化してほしい。
女性	20～29歳	小学校のスクールバスを検討してほしい。スクールバスがあれば安心・安全に登下校ができる。夏の暑い時には熱中症対策にもなるし、冬で暗くなるのが早い時期は防犯や性犯罪からも守れる。先生方も保護者との面会が増え、幼児虐待なども未然に防げるであろう。
女性	20～29歳	大きな災害が起きた時、迅速かつ適切な対応ができる羽生市であるために、市民の意識向上や市政との関わりを大切にしていきたい。今までよりさらに安心安全で住みやすい羽生市であり続けることを願っております。また高齢化に対し、思いやりのある羽生市であってほしいと思います。
女性	30～39歳	市内のパトロールを。畑に泥棒が入ったり、自転車を盗まれたりして不安です。
女性	30～39歳	雨の日もびのびと遊べる児童館がほしいです。今はトレーニング室を借りて（市民体育館の）子どもにトランポリンや縄跳び練習させていますが、子どもがいきいきできる環境がもっとほしいです。雨の日の道路の冠水も日々の悩みです。
女性	30～39歳	高齢化にあたり、福祉を充実させてほしいです。
女性	30～39歳	とにかく道が暗いです。もっと細かく灯りをつけてほしい。公園がなく、子どもが遊べない。
女性	40～49歳	高齢ドライバーの危険運転について。車がないと不便なのは分かりますが。
女性	40～49歳	駅の西より122号までの間、街灯が少ないと思う。また、駅の西の治安も心配。タバコやごみのポイ捨てが多い。
女性	40～49歳	幼児・高齢者・障がい者など、社会的弱者の方々に住み良いまちづくりを望みます。
女性	40～49歳	障がい者と認定されない障がいがある人も、障がい者の作業所に入れるようにしてほしい。働く時間など相談に応じてほしい。一生この体で生きていかななくてはならないのだから。
女性	50～59歳	最終電車のあと、パトロールをしていただくと、市民は安心します。本町通りに街灯を増やしてほしい。
女性	50～59歳	低所得世帯への福祉の充実を推進してほしい。働きたくても高年齢者への仕事場が少ない。
女性	50～59歳	充実した子育てができるまちになってほしい。人口が少ないまちならではのよさを活かして、困難な生活や問題のある人達に手を差し伸べてほしい。
女性	60歳以上	安価で入所できる高齢者施設をつくってほしい。
女性	60歳以上	角、踏切にカーブミラーをつけてほしい。
女性	60歳以上	これから全国的に高齢化社会になります。私もその一人です。羽生市に高齢者向けの施設を要請します。
女性	60歳以上	防犯カメラをつけてほしい。
女性	60歳以上	子ども達がスポーツをする場（クラブ）などが少なく感じる。大型医療機械が少ない。
女性	60歳以上	いろいろな面で充実しています。とくに役所は親切で助かります。私自身これから高齢になりますので、老人の生活面で何でも相談ができることを望みます。いつもありがとうございます。感謝しています。
女性	60歳以上	羽生は災害が少なく、安心安全で近所との交流もあり、本当に住みやすいまちです。

4 農業

性別	年齢	自由記述
男性	20～29 歳	田畑とすべき土地がアパートとなったが、交通の便において不利で入居率が低いと聞いています。「農業カッコイイ」くらいのイメージ戦略や広く人材を受け入れる土壌づくりなど、後継者不足に歯止めをかけるべきだと思います。都会にできないことをやる。誇りを持ってやれば、それが美しい。
男性	40～49 歳	村君地区にある汚泥処理センターで以前配布されていた肥料（だんびくん）について。機械の故障との理由で1年以上も停止となっていますが、なぜ長期化しているのか理由を公開する必要がありますと考えます。
男性	50～59 歳	農地の購入などの自由化。食農の推進。
男性	60 歳以上	兼業農家であったが、農地の対応（現在民間に作付依頼）に困っている。農業行政を強力に進めてもらいたい。
女性	30～39 歳	羽生市は農業が盛んなので、J Aとの連携など観光の振興として直売所を大きくするなど、田舎ならではのものに力を注いでも良いと思います。
女性	40～49 歳	農産物のPR（無農薬米、野菜づくりへの促進）。
-	-	農地にアパートを建てるのではなく、農業に興味のある方や農業をしている方に貸す、または買ってもらい、田園風景をなくさないでほしいと思います。

5 商工観光(産業)

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	イベントなどは羽生市のお店を出し、利益が出るようにするべき。
男性	30～39 歳	大型書店を西松屋の隣あたりにつくってほしい。駅までいくバスを増やしてほしい。
男性	30～39 歳	ごみ処理場に温泉施設を併設。市民無料施設の充実。羽生名物のアピール。
男性	40～49 歳	静かで住みやすいですが、市内の商業に活気がありません。市外から市内に買い物にくる人もいるので、大型店舗を市中心につくることを希望します。
男性	40～49 歳	地域商品券を販売する場合は市内に住んでいる方が買い占めすることなく、幅広く購入できるようにすべきだと思います。
男性	50～59 歳	観光客が多くこれるよう水郷公園、さいたま水族館、キャッセ羽生などの利用推進。キャンプ場や温泉などの設置。
男性	60 歳以上	観光交流 100 万人。利根川や用水を利用したキャンプ場、夏は水遊びができるような施設。
男性	60 歳以上	ふるさと納税に体験型のお礼。家庭菜園の坪貸権。サイクリング無料。カヌー体験。グライダー体験。水族館無料。
男性	60 歳以上	飲食店の誘致。外食できる店（居酒屋など）が少ないように思います。
男性	60 歳以上	キャッセ羽生の活性化。
男性	60 歳以上	「世界キャラクターサミット in 羽生」は市長の方針で観光交流人口 100 万人を目指し、過去 6 回毎年実施されておりますが、羽生市をPRするためには是非今後も実施してください。
男性	60 歳以上	市の方針として観光振興に力を入れていますが、今後いつ頃までにどれくらいの流入観光客を予測しているのか。組み合わせをいろいろTRYしてみるのも方法だとは思ったりするのですが。
男性	60 歳以上	スポット的なイベントの開催に終わらず、日々集客できるもの（観光も含めて）、商店街の活用（リニューアル）も考慮して活気あるまちづくりを検討してほしい。イオンに他県からの来客があるのだから活かしてほしい。
男性	60 歳以上	魅力ある郷土、豊かな自然や潤いと安らぎを与えてくれる貴重な緑と水辺環境を保全していきます。人にやさしい郷土、地域の特色に目を向けた、芸術文化活動の推進、文化財や伝統文化の保護と継承を図る、小中高生を組み入れていく。利根川の水流を利用して、何かスポーツの祭典を行い、広く情報発信し、観光交流で地域の活性化が図れば良いと思います。
男性	60 歳以上	市のPRをうまくやってほしい。観光などにも資源開発してほしい。
男性	60 歳以上	羽生市には市民参加型のイベントが少ない。他県からも観光しながら見にこられる伝統的なイベントを計画したらどうでしょうか。
女性	20～29 歳	コンビニや飲食店が少なく、利用しにくい。
女性	20～29 歳	ドラマや映画などのロケを誘致してください。市民に協力をしてもらい、羽生市の施設や土地を使うことで、きれいな羽生になると思う。みんな自分の育った場所がテレビに出れば自慢できるし、連れていきたいくなるからです。

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	産業が少ないので雇用があまりないように思います。商業施設の誘致は必要です。雇用問題、住民人口増加、観光客の増加や、住民のニーズなど多くの部分が改善されるのではないのでしょうか。そして、起業家への支援。
女性	30～39 歳	7月に開催される夏祭りは、混雑してあっという間に終わる印象を受ける。市民全体で楽しめる夏祭りになると良いと思う。
女性	40～49 歳	ゆるキャラは羽生市を知っていただく良い機会となりました。そこで何か羽生ならではのお土産を、と思うのですが、これといって喜ばれるものがなく、困っています。ムジナもんのクッキーでは、味は羽生ならではというわけではないので。広島のリモンケーキのような、羽生ならではのお菓子がほしいです。
女性	40～49 歳	「世界キャラクターサミット in 羽生」に代わるものを考えた方が良のでは。同じ日に他どころでゆるキャラのイベントをやっているとPRにならないのでは。
女性	40～49 歳	市民プラザのイルミネーションはいらぬ気がします。
女性	50～59 歳	道の駅にある建物をレストランにしたら良いと思う。利根川、富士山、浅間山、男体山、筑波山と眺めも良く、夏は熊谷の花火大会も見られる。高齢者の交通マナーについて指導してほしい（歩行者、自転車）。
女性	50～59 歳	羽生にはインターがあるのだから、もっと観光できる施設をつくり人口を集められるようにしたら良いと思う。
男性	50～59 歳	工業、商業の誘致にもっと積極的になってほしい。
女性	60 歳以上	「菊まつり」をまた大天白へ。三田ヶ谷では、電車や歩きの人は見にいきたてくも車でないと行けません。大天白なら近所の高齢者の方々が散歩しながらいことができます。
女性	60 歳以上	羽生水郷公園周辺の自然の利用。
女性	60 歳以上	まちの中に飲食をする場所、人の流れが多く、昼も夜も食事できる場所があると良いと思います。

6 教育、歴史・文化

性別	年齢	自由記述
男性	40～49 歳	365 日市民が平等に使用できる図書館を広く清潔に建て直してほしい。
男性	50～59 歳	小中学校の長期休業日が、近隣の市町より短く、子ども達がかわいそうである。授業時数より内容の充実が大切ではないか。
男性	60 歳以上	学校でいじめなどない明るい希望のもてる教育環境づくり。
男性	60 歳以上	市長さんの教育（子ども達を）を中核とした方針はすばらしいです。これからの市を背負っていくのは子ども達です。ありがとうございます。
女性	20～29 歳	スポーツジムにいきたいがもっと充実した施設がほしい。市民プールなど。図書館の開館している時間が短い。
女性	30～39 歳	児童書初め展、硬筆展で市内校での平均の賞の割り振りを変えてほしい。他の市ではすでに全体を通しての審査が行われているのに羽生市は各校で県にいける枠が割り振られ、平均に受賞している形になっている。
女性	30～39 歳	羽生市は学力が低いと聞きます。基礎的なことが定着してないのか、具体的にどう対策するのが良いか考えてほしいです。ただ学習時間を増やすだけでなく、内容の充実を考えてほしいです。
女性	40～49 歳	市立図書館にある自習室（学習室）を、勉強ブースと図書館資料を読むスペースを分けていただけるとありがたい。
女性	40～49 歳	子どもが安心して遊べる環境づくりをしてほしい。
女性	40～49 歳	学校教育に理解を示していただき、環境、設備などの充実、ありがたく思います。今後も未来を担う子ども達のことを第一に考えてください。
女性	60 歳以上	もう少し文化の香りのするまちになってほしい。

7 コミュニティ、協働

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	遠距離通勤者が多いので、限られた時間で市政や地域コミュニティに参加できるか考えてほしい。
男性	40～49 歳	誰もが普通に挨拶を交わせる、人と人が普通に言葉を交わせるまちづくりを。そのためには啓発活動が必要です。
男性	60 歳以上	隣近所の住民との積極的な関係改善を図る。
男性	60 歳以上	各地区へ一人ずつ民生委員を置いてください。
男性	60 歳以上	市民が極めて保守的。市のリーダーシップを望む。
女性	20～29 歳	昔から住む住人の方々は少し排他的のような気がします。それが、近所付き合いがうまくいかない要因の一つなのではないかと考えます。
女性	30～39 歳	P T A 活動、スポ少などを通して、市民運動会、カーリング参加、講習など、さまざまなものに参加をしています。地域の活動などもありますが、さまざまなものが重複して同じような活動をしているように思います。一つの団体、学校で役員として毎年毎年同じことをしなければなりません。まとめることはできないのでしょうか。
女性	40～49 歳	障がい児、障がい者、高齢者、健常者が共に活動できる総合コミュニティと、産業活性のための作業の場が必要だと思います。ただ交流するのではなく共に物をつくり売る。ネットの活用を積極的に活用していきたい。
女性	60 歳以上	市民全員が参加してのあいさつ（声掛け）運動の実施。

8 行財政

性別	年齢	自由記述
男性	20～29 歳	改めて考えてみると市の取り組みについて知らないことが多かった。もう少し目につきやすい形で取り組みなどをアピールできたら良いと思う。
男性	20～29 歳	無駄な資金は使わないよう努力してください。
男性	20～29 歳	市役所の職員の元気がなく、暗い雰囲気が良いと思いません。
男性	40～49 歳	市役所の臨時職員の採用に不公平を感じます。
男性	40～49 歳	限られた財政の中で予算を一つ一つ吟味し、有効に活用してもらいたい。
男性	40～49 歳	他市と交流した方が良いと思います。
男性	50～59 歳	このアンケート結果を市民生活に必ず反映してほしい。
男性	50～59 歳	市役所の職員さんにお世話になってありがとうございます。これからもよろしくお願いします。感謝しています。ありがとうございます。
男性	50～59 歳	魅力のあるまちにするための発想力や創造力の豊かな職員を望みます。羽生市という会社の社員の一人として、自分の仕事に責任を持てる人を雇用していただきたいです。
男性	50～59 歳	市役所の土曜日運営（午前中だけでも）。
男性	60 歳以上	議員定数も削減しては、何の仕事をしているのか見えない。議会に出席した日数によって費用を弁償などしてはいかがですか。この調査はとても良い。ごくろうさまです。
男性	60 歳以上	税金が他市と比べ高い。
男性	60 歳以上	マイナンバー制度スタートしますが、市政（各機関との横のつながり）を充実させ、効率向上を図ってほしい。
男性	60 歳以上	年齢によって不満、希望は違うと思う。個々の意見はそれぞれだと思う。
男性	50～59 歳	市長さんはじめ関係者の皆さん、これからの発展のため、よろしくお願いします。
男性	60 歳以上	職員の教育指導を実施してほしい。前向きな市政を望みます。
男性	60 歳以上	羽生市の広報は大変読みやすく、写真や文章の配置がすばらしい。担当者の方々が、勉強をしているのですね。今後がんばってください。広報が楽しみです。
男性	60 歳以上	もう少し東京 23 区の事業、福祉教育などを見にいった方が良いと思います。
男性	60 歳以上	財政の立て直しに不要と思われる設備、道路などを新たににつくらないでほしい。多少のサービスの低下は必要だと思う。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	羽生IC前空き地の利用急ぐべき(強い指導すべき)。荒地(草地)地主への指導強化。
男性	60歳以上	守りの市政に見える。攻めの市政を改革する姿勢が感じられない。
男性	60歳以上	健全財政に努め、あまり高望みをしないで着実な市政運営をお願いします。
女性	20～29歳	「広報はにゅう」が新しくなって大変良いです。自分の住んでいるところの情報が分かりやすいと、人に伝える時も楽です。市民のためにこれからもよろしくお願いします。
女性	20～29歳	市の広報紙「広報はにゅう」を元の形に戻してほしい。前の用紙の方が読みやすかった。
女性	20～29歳	借金をどうにかしてください。商店街の活気がないように思います。
女性	20～29歳	住民税が高いです。他の市の人と比較しても高く感じます。
女性	30～39歳	少しでも生活が楽になるように環境を整えてください。
女性	40～49歳	働いている人達が、仕事を休まずに利用できるように、月に一回で良いので、市役所の全窓口が利用できるようにしてほしい。もしくは18時までにしてほしい。
女性	40～49歳	市役所の人達の昼食休憩は、お客様の見えるところでの飲食はやめて、決まったところでしてほしい。
女性	40～49歳	市役所の職員は対応の仕方などについて、研修などをした方が良いと思います。
女性	50～59歳	市議会、議員の人数を減らすべきだと思う。「これから」を考える議員や、女性の議員を増やしてほしい。
女性	50～59歳	以前市役所で、私が困っているのに気づいているのに声をかけてもらえなかったことがある。もっと声をかけて教えてもらいたかった。
女性	50～59歳	無料の法律相談は特に役立っています。
女性	50～59歳	市職員の異動時の引継ぎをしっかりとやってもらいたいです。
女性	50～59歳	イベントの企画に目玉がない。財政を豊かにし、もっといろいろなところに使ってほしい。住民税を安くしてほしい。
女性	60歳以上	財政の健全化。
女性	60歳以上	市全体の無駄遣いをなくしてください。節約すれば市はもっと豊かになると思います。
女性	60歳以上	「広報はにゅう」について、もう少し内容を精選しページ数を減らして高齢者でも分かりやすくしてはどうでしょうか。
女性	60歳以上	市役所職員が皆パソコンに向かい、何の仕事をしているのか分からない。
女性	60歳以上	税金を無駄に使わないでほしい。
女性	60歳以上	税金を安くしてほしい。いじめのない市に。
女性	60歳以上	「広報はにゅう」でいろいろな情報を知り便利ですが、カラーで立派過ぎると思います。経費がかかりませんか。
女性	60歳以上	委員の報酬が高額。見直すべきだと思います。
女性	60歳以上	職員は市民に寄り添った対応を。

9 政策、まちづくり全般

性別	年齢	自由記述
男性	20～29歳	若者が市外へ出ていかないようなまちづくり。未成年のみならず、市民全体の道徳性の向上となるような活動。市政というより、市議会議員の若年層を増やす。
男性	40～49歳	自然環境を活用し、活気あるまちづくりにいろいろ知恵を絞ってほしい。
男性	40～49歳	アンケートを役立ててください。(実施しただけでなく、改善に役立てる)。
男性	40～49歳	羽生市に住んで良かったと思えるような市にしてもらいたいし、していかなければと考える。
男性	40～49歳	市内でも貧困問題で困っている人が多数いると思います。今一番やらなければいけないことは底辺の人達を救うことではないでしょうか。人間として人として、一番大事なことのように思います。
男性	50～59歳	変化のあるまちへ。
男性	50～59歳	人口増加対策に力を入れてほしい。子育て世代に有効な施策、少子化対策を希望します。
男性	60歳以上	人口減少・少子化に対しての施策として、子育て世代への仕事・金銭で全面支援すること(他市町村参考より当人のニーズが重要)。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	市長選においての公約は必ず実行してください。
男性	60歳以上	活気あるまちにしてください。
男性	60歳以上	女性議員の参加。
男性	60歳以上	今後の市の発展を考えるとしたら、羽生市、行田市、加須市との広域合併を考えずには難しいのではないかと感じました。
男性	60歳以上	工場をつくり、人口を増やし、活発なまちづくりをしたいと人が集まれば、市税が増えているような事業ができると考える。
男性	60歳以上	このような機会をできるだけ多くの方に与えていくことが、より良い羽生市づくりに結びつくと思います。私自身アンケートを通じ、勉強させられた一面もありました。
男性	60歳以上	アンケートは分析上有効活用を願う。費用との比較。情報開示できるものは広報などで市民に分析告知する。
男性	60歳以上	若者が定住できる施策を。
男性	60歳以上	地域別の公聴会をもっと多くして、市政の常況報告を聞きたい。
男性	60歳以上	人口が増大するには工場など雇用が増えることです。野球場の使用について子ども達（小中学生）が借りる時は無償にしてほしい。
男性	60歳以上	一人でも多くの市民が市の事業に参加することで、意識向上になり数多くの施策が周知され円滑に行えるのだと思う。
男性	60歳以上	羽生市も高齢化が進むので、高齢者福祉の充実と共に、若者が住み続けることのできるよう、雇用、教育、医療の充実を。
女性	20～29歳	羽生が大好きです。羽生市民が住み続けたくなるまちづくりをお願いします。
女性	30～39歳	社会的に弱い立場の方々を守る市政をお願いします。
女性	30～39歳	このアンケートが無駄にならないよう、活気ある安心安全な羽生市になればと願っています。
女性	40～49歳	まだまだ閉鎖感のある「市」だと思います。活気がない。次世代を想う人のためにも、「羽生に住みたい、きたい」と思うような「市」をつくってほしいと思います。
女性	40～49歳	今まで以上に住みやすく魅力あるまちになるよう努めてもらいたい。
女性	50～59歳	地味な羽生市なので合併は無理でしょう。
女性	50～59歳	羽生市の人口増加に努めてほしい。商店街を活性化してほしい。
女性	50～59歳	今後もう少し配布物などに目を通していきたいと思います。
女性	50～59歳	市民一人ひとりが豊かな暮らしをできるようにサポートしていただきたいです。
女性	50～59歳	清掃工場を建て替え、ごみ処理の充実化と共に発熱を利用した温水プールを建てて地域住民の健康づくりに役立ててほしい。市議会議員の高齢化を防ぎ若い人達の政治、市政への参加を望みます。
女性	50～59歳	羽生市は近隣の市町村と交流をもった方が良くと思う。加須市、行田市、久喜市、まわりの市が合併していく中で残されている感がある。
女性	50～59歳	この数年、羽生市は明るくなってきたように思います。キャラクターサミットなどに関する意見はさまざまあるとは思いますが、子ども達がこの土地に残って住むことを望めるような羽生市であることを望みます。
女性	60歳以上	羽生市は大きい災害や事件もなく住みやすいまちであると思いますが、これから先災害がないとは言えない環境になってきていますので、何かの時、しっかりとした対応ができるまちになってほしいです。
女性	60歳以上	議員選挙のたびに女性候補者が出てくることに期待しているのですが、毎回がっかりしております。女性が立候補しづらい風土があるのでしょうか。
女性	60歳以上	羽生市に住んで35年以上経ちますが、垢抜けない雰囲気のみちだなと感じています。高齢者向けの施設ばかり増えることに違和感も感じます。
女性	60歳以上	羽生結弦を登用し、15～20年後オリンピック選手を。農業、商業、工業のミックス産業モデル都市を。
女性	60歳以上	若者が働く意欲をもてるような会社の誘致をしてください。働く場があつて収入があれば結婚をして家庭を築くことができるのではないのでしょうか。家庭が落ち着けば出産、育児、人口も増えてくるのではないかと思います。

10 その他

性別	年齢	自由記述
男性	20～29 歳	がんばれ羽生。
男性	40～49 歳	しっかりとお願いしたい。
男性	50～59 歳	身近に感じていることが改善されていくと良いと感じます。
男性	60 歳以上	がんばれ羽生。
男性	60 歳以上	羽生に生まれ羽生で育ち羽生で死ぬ、こんないいことはありません。
女性	30～39 歳	すごく良いわけでもないけど、なんか快適な羽生市。なんかやっぱり大好きです。ずっと住みたいと思ってますのでよろしくです。
女性	40～49 歳	高齢者には平らで過ごしやすいところだと思う。良いところだと思います。
女性	60 歳以上	なかなか問題山積だと思いますが、従来の考え方にとらわれず、柔軟な発想で乗り切ってください。応援しております。
女性	60 歳以上	自身の健康を守るのに日々を生活するのみです。羽生市の発展をお祈り致します。

資料・調査票

羽生市市民意識調査

アンケートご協力のお願い

市民の皆様には、常日ごろより市政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この「羽生市市民意識調査」は、市民の皆様から市政についてのご意見やご要望をお伺いし、これからのまちづくりに役立てていくことを目的としています。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの20歳以上80歳未満の方の中から2,500人を無作為で抽出しましたところ、あなた様に回答をお願いすることになりました。この調査は無記名で行い、回答はすべて統計的に処理し、他の目的には使用いたしません。お答えいただいた皆様にご迷惑をおかけすることはございませんので、お考えのままご記入ください。

大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をおくみとりいただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成28年1月

羽生市長 **河田 晃明**

◎ご記入にあたってのお願い

1. 必ず、あて名のご本人がお答えください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
3. お答えは、最初から1問ずつ、全部の質問にお答えください。
4. お答えは、該当する番号を○でお囲みください。
5. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を具体的に
ご記入ください。

※ この調査票にご記入いただきましたら、誠に恐縮ですが同封の返信用封筒で1月22日（金）までにご返送ください。

なお、住所・氏名は、お書きにならないで結構です。また、この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

羽生市役所 秘書広報課
羽生市東6丁目15番地
TEL(561)1121 (内線203)
Fax(562)3500

※各設問について、指定個数以内で選び、該当する番号に○をつけてください。

◆◆◆現在の羽生市の住み心地について◆◆◆

問1：あなたにとって、現在の羽生市の住み心地はいかがですか。 **【1つ選び○】**

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 住み良い (問1-aへ) | 3. どちらとも言えない |
| 2. まあまあ住み良い (問1-aへ) | 4. 住みにくい (問1-bへ) |

問1-a：問1で住み良い(1あるいは2)を選んだ方にお伺いします。住み良いと思われる理由は何ですか。 **【2つ以内で選び○】**

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 自然環境が良い | 7. 人間関係が良い |
| 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っている | 8. 永年住みなれ、愛着がある |
| 3. 文化ホールや図書館などの公共施設が充実している | 9. 商売や事業に便利である |
| 4. 交通の便が良い | 10. 学校の関係 |
| 5. 買い物の便が良い | 11. その他 具体的な内容 |
| 6. 子どもの教育環境が良い | () |

問1-b：問1で住みにくい(4)を選んだ方にお伺いします。住みにくいと思われる理由は何ですか。 **【2つ以内で選び○】**

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が良くない | 6. 子どもの教育環境が良くない |
| 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない | 7. 人間関係が良くない |
| 3. 公園などの公共施設が不十分である | 8. 公害(騒音・振動・悪臭)などがある |
| 4. 交通の便が悪い | 9. 商売や事業に不利である |
| 5. 買い物が不便である | 10. その他 具体的な内容 |
| | () |

問2：あなたは、現在の場所に住み続けたいとお考えですか。 **【1つ選び○】**

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 現在の場所に、永く住みたい | 4. できれば転居したい(市内の他の場所へ) |
| 2. 現在の場所に、当分住みたい | 5. できれば転居したい(市外へ) |
| 3. わからない | |

問3：今後、住み続けるにあたって必要なものは何ですか。 【3つ以内で選び〇】

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 新規住宅地の整備 | 6. 物品販売や飲食など商業施設の充実 | 11. 保育園等子育て支援の施設の充実 |
| 2. 幹線道路の整備 | 7. 遊園地等のアミューズメント施設の充実 | 12. 学校等の教育施設の充実 |
| 3. 生活道路の整備 | 8. 工場の誘致、就労の場の充実 | 13. 図書館・郷土資料館等の文化施設の充実 |
| 4. 公園・緑地等広場の整備 | 9. 福祉施設の充実 | 14. 自然環境の保全 |
| 5. 上下水道の整備 | 10. 医療施設の充実 | 15. その他 具体的な内容
〔 〕 |

◆◆◆市の取り組み等について◆◆◆

問4：あなたは、市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。 【1つ選び〇】

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 必ず読む | 4. まったく読まない |
| 2. ときどき読む | 5. 届いていない |
| 3. あまり読まない | |

問5：あなたは、市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。 【1つ選び〇】

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 必ず読む | 4. まったく読まない |
| 2. ときどき読む | 5. 届いていない |
| 3. あまり読まない | |

問6：羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。 【1つ選び〇】

- | | | |
|-------------|----------------------|---------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 3. 全く聞いたことがない |
|-------------|----------------------|---------------|

問7：あなたは、市の計画づくりに市民参加の機会がある場合、参加してみたいですか。 【1つ選び〇】

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 興味があるので、是非参加したい | 3. 興味はないので、参加しない |
| 2. 都合がつけば参加したい | 4. その他 具体的な内容
〔 〕 |

問8：あなたは、市政や市役所の職員について、どのような印象をお持ちですか。

【項目ごとに1つ選び〇】

(1) 市政への信頼度	1. 非常に信頼できる 2. 信頼できる 3. どちらとも言えない	4. やや信頼できない 5. 信頼できない
(2) 市政の進展度	1. 非常に進んでいる 2. 進んでいる 3. どちらとも言えない	4. やや遅れている 5. 遅れている
(3) 窓口対応の親切さ	1. 非常に親切である 2. 親切である 3. どちらとも言えない	4. やや不親切である 5. 不親切である
(4) 事務処理の 正確さ・速さ	1. 非常に正確で速い 2. 正確で速い 3. どちらとも言えない	4. やや不正確で遅い 5. 不正確で遅い
(5) 市役所の活気・ 明るさ	1. 非常に活気と明るさがある 2. 活気と明るさがある 3. どちらとも言えない	4. やや活気がなく暗い 5. 活気がなく暗い

◆◆◆コミュニティについて◆◆◆

問9：あなたとご近所の方との付き合いはどうか。

【1つ選び〇】

1. 良く付き合っている	3. あいさつ程度であまり付き合っていない
2. 普通程度に付き合っている	4. 付き合っていない

問10：自治会などの行う会合や行事に参加していますか。

【1つ選び〇】

1. 積極的に参加している	3. やむを得ず参加している
2. ときどき参加している	4. 参加していない

問 11：あなたは、市民モラルについてどのように感じていますか。【項目ごとに1つ選び○】

	悪い	どちらかといえは悪い	どちらかといえは良い	良い
(1) 公衆の場での喫煙マナー	1	2	3	4
(2) 空き缶やごみなどの後始末	1	2	3	4
(3) 犬や猫などペットの飼育マナー	1	2	3	4
(4) ごみの分別・持ち出し方	1	2	3	4
(5) 公共物の使い方	1	2	3	4
(6) 高齢者や障がい者等への思いやり	1	2	3	4
(7) その他 具体的な内容 []	1	2	3	4

問 12：あなたは、現在どのようなボランティア活動に参加していますか。

【該当するものすべてを選び○】

1. 地域社会 (自治会活動、交通安全、非行防止・犯罪防止)	6. 国際交流 (留学生との交流・支援、通訳等)
2. 福祉活動 (高齢者・障がい者支援、子育ての支援等)	7. 災害時の支援 (被災者支援、救援物資の供給等)
3. 環境保全 (公害、エネルギー、リサイクル等)	8. 保健・医療 (食生活、健康増進、病院ボランティア等)
4. 文化活動 (書道・絵画・音楽・手芸等の指導等)	9. その他 具体的な内容 []
5. スポーツ (各種スポーツの指導等)	10. 特に参加していない (問 12-a へ)

問 12-a：問 12 で特に参加していない(10)を選んだ方にお伺いします。

ボランティア活動に参加していない理由は何ですか。

【1つ選び○】

1. 時間的余裕がないため	4. 興味があるボランティア活動がないため
2. 金銭的余裕がないため	5. 身近に活動できる場所がないため
3. 精神的余裕がないため	6. その他 具体的な内容 []

◆◆◆羽生市の将来像について◆◆◆

問 13：あなたは、将来羽生市がどのような都市になったら良いとお考えですか。

【2つ以内で選び○】

1. 水と緑あふれる田園都市	5. 静かな住宅都市
2. 福祉施設が充実した福祉都市	6. 工業団地等のある活気に満ちた工業都市
3. 教育・文化の文教都市	7. 子育てしやすい安心な都市
4. 活気ある商業都市	8. その他 ()

問 14：現在、羽生市の人口は55,746人（平成27年10月1日現在）ですが、あなたは羽生市の将来の人口について、どうなったら良いとお考えですか。 【1つ選び○】

1. 積極的に人口を増やすよう図ったほうが良い
2. 自然のままが良い
3. 急激な減少は食い止めたほうが良い

問 15：あなたは市町村合併についてどのように思いますか。

【1つ選び○】

1. 積極的に取り組むべきだと思う	3. 合併すべきではないと思う
2. 少なくとも合併の是非について検討することが望ましいと思う	4. わからない

◆◆◆羽生市の特徴等について◆◆◆

問 16：あなたは、食虫植物「ムジナモ」を知っていますか、また見たことはありますか。

【1つ選び○】

1. 知っていて、実物を見たことがある	4. 聞いたことも見たこともない
2. 知っていて、写真等で見たことがある	5. その他 具体的な内容
3. 知っているが、実物も写真も見ることがない	()

問 17：羽生市の中で好きな場所や景色について記入してください。

【自由記入】

場 所：
好きな理由：

問 18：下表に記す地場産品、施設、イベントについて、羽生市を全国にPRするために有効だと思うものはどれですか。 【3つ以内で選び〇】

1. いがまんじゅう	9. コスモスフェスティバル	17. 利根川
2. 彩のかがやき	10. 商工・農業まつり	18. 羽生水郷公園
3. 地ビール	11. 桜まつり	19. さいたま水族館
4. 愛情（藍城）弁当などのご当地グルメ	12. 羽生夏まつり	20. 宝蔵寺沼ムジナモ自生地
5. ムジナもん等のキャラクター	13. 菊まつり	21. キヤッセ羽生
6. 世界キャラクターサミット in 羽生	14. フロアカーリング	22. 田舎教師
7. 藍染め	15. ふるさとの詩	23. 大型商業施設
8. 藤（大天白公園）	16. 藍のまち羽生さわやかマラソン大会	24. 永明寺古墳

問 19：市では、観光交流人口 100 万人を目指して施策を実施していますが、上記（問 18）に記載されている他に、羽生市の観光交流人口を増やすために有効だと思うイベント、場所、施設等があれば下欄にご記入ください。 【自由記入】

--	--	--

◆◆◆福祉・リサイクル・交通について◆◆◆

問 20：今後、高齢化がますます進むことが予想されますが、幸せで生きがいのある老後を送るために、あなたは何が大切だとお考えですか。 【2つ以内で選び〇】

1. 生活資金の充実 （公的年金、社会保険の充実）	8. 近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる
2. 生活資金確保のため、就労の機会を増やす	9. 高齢者の地域活動への参加を促進する
3. 高齢者に対する医療制度、保健サービスを充実する	10. 歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める
4. 生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	11. 在宅福祉サービスを充実させる
5. 老人クラブの活動を支援する	12. 市民ボランティアの育成に努める
6. 高齢者が楽しく働ける場を増やす	13. その他 具体的な内容
7. 介護予防や寝たきり予防のための支援を行う	[

問 21：あなたが、市の子育て支援に期待することは何ですか。

【3つ以内で選び〇】

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 子育てしやすい住環境への支援 | 7. 子どもの活動拠点施設の拡充 |
| 2. 地域における子育て支援の充実 | 8. 妊娠・出産に対する支援 |
| 3. 子どもの教育環境の充実 | 9. 母子の健康に関する支援 |
| 4. 仕事と家庭を両立できる社会環境づくり | 10. 子育て支援ネットワークの拡充 |
| 5. 保育所・学童保育の充実 | 11. その他 具体的な内容 |
| 6. 子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進 | () |

問 22：最近、ごみ問題への関心が高まってきていますが、その課題の一つとして家庭ごみの減量が挙げられます。家庭のごみを減らしたり、リサイクル（再利用・再資源）をすすめてい

くうえで、どのようなことが必要だとお考えですか。次の中から3つお選びください。

【3つ以内で選び〇】

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. ごみ集積所の配置や管理の仕方などの見直し | 7. 不要なものは買わない、断る |
| 2. 缶、ビン、ペットボトル、古紙類など現在行っている分別収集の徹底 | 8. 生ごみ処理機器（機械式コンポスター等）の積極的な活用 |
| 3. 地域やPTAなどで行っている資源ごみ回収への参加 | 9. 家庭ごみの有料化 |
| 4. 廃プラスチックなど資源品目の拡充 | 10. 関心がない |
| 5. 物が壊れても、可能な限り修理して長く使うようにする | 11. その他 具体的な内容 |
| 6. できるだけエコマーク商品を使用する | () |

問 23：羽生市の交通についてこれから必要だと思うものは何ですか。

【3つ以内で選び〇】

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 近隣市町を結ぶ幹線道路の整備 | 6. 歩道の整備
(安全な歩道幅の確保、段差の解消) |
| 2. 地域間を結ぶ幹線道路の整備 | 7. 自転車道の整備 |
| 3. 身近な生活道路の整備 | 8. その他 具体的な内容 |
| 4. 鉄道やバスなどの公共交通施設の充実 | () |
| 5. 駅周辺や中心市街地の駐車場の整備 | |

問 24：最終電車時刻の満足度について伺います。

【1つ選び〇】

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 満足している | 4. やや不満足である |
| 2. まあまあ満足している | 5. 不満足である |
| 3. 普通である | |

◆◆◆通信環境等について◆◆◆

問 25：あなたは、羽生市のホームページをご覧になりますか。 【1つ選び〇】

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 毎日見る | 4. あまり見ない |
| 2. 週に1度程度見る | 5. 全く見ない |
| 3. 月に1度程度見る | 6. インターネットそのものを利用していない |

問 26：羽生市の電子申請・届出サービスについてご存じですか。 【1つ選び〇】

- | | | |
|--------------|---------------------|---------|
| 1. 利用したことがある | 2. 知っているが、利用したことはない | 3. 知らない |
|--------------|---------------------|---------|

◆◆◆医療・防災・防犯について◆◆◆

問 27：あなたは、かかりつけ医または診療所（医院）・病院を決めていますか。 【1つ選び〇】

- | | |
|------------------------------|--|
| 1. かかりつけ医（ホームドクター・診療所）を決めている | 3. かかりつけ医（ホームドクター・診療所）は必要なので決めたいと思っている |
| 2. 行きつけの総合病院等を決めている | 4. 必要だと思わない |

問 28：市の国民健康保険における一人当たりの医療費は、年々増加しています。そこで、医療費の増加を抑え、健康でいきいきと暮らすためには、何が大切だと思いますか。

【3つ以内で選び〇】

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 定期的な健診などによる健康管理 | 6. 禁煙 |
| 2. バランスのとれた食生活 | 7. 飲酒を控える |
| 3. 適度な運動 | 8. 健康講座・健康相談への参加や情報収集 |
| 4. 適切な睡眠・休息 | 9. その他 具体的な内容 |
| 5. ストレス解消 | [] |

問 29：あなたは、毎年、健康診断等を受診していますか。 【1つ選び〇】

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1. 受診している | 2. 受診していない（問 29-aへ） |
|-----------|---------------------|

問 29-a：問 29 で（2）を選んだ方にお伺いします。健康診断等を受診していない理由は
何ですか 【該当するものすべてを選び〇】

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 忙しい | 4. 健康なので受診する必要がない |
| 2. 機会がない | 5. その他 具体的な内容 |
| 3. 普段から医者にかかっている | [] |

問 30：近年、日本各地で大規模な地震が発生し、大きな被害が出ています。被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要とされています。そこで、あなたのお住まいの住宅についてお伺いします。 **【項目ごとに1つ選び〇】**

(1) お住まいの家が建てられた時期はいつですか。	1. 昭和56年(1981年)以前 2. 昭和57年(1982年)以降 3. わからない	
(2) お住まいの家が地震に対してどの程度安全か知りたいですか。	1. はい 2. いいえ	
(3) お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。	持ち家の方	1. 耐震補強工事をする 2. 建て替える 3. 何もしない
	借家の方	1. 所有者に耐震補強工事を求める 2. 住み替える 3. 何もしない

問 30-a：建物の耐震化以外に被害を最小限に抑えるために有効な対策は何だと思えますか。

【自由記入】

--	--	--

問 31：あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。 **【該当するものすべてを選び〇】**

1. 寝室に設置されている	4. 左記以外の場所に設置されている
2. 階段に設置されている	5. 設置されていない
3. 台所に設置されている	

問 32：あなたは、震災・水害時の避難所をご存じですか。 **【1つ選び〇】**

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 33：あなたの家では、震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。

【該当するものすべてを選び〇】

1. 避難所の確認	6. ブロック塀などの補強
2. 家族との連絡方法の確認	7. 家具などの転倒防止
3. 携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備	8. 防災訓練に参加
4. 非常用食料の備蓄	9. 浴槽での水の溜め置き (初期消火や断水時のトイレ等の水確保のため)
5. 非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備	10. 特に準備していない

問 34：あなたが現在行っている防犯対策は何ですか。 【該当するものすべてを選び○】

1. ドア、窓の二重ロック化	6. 防犯ブザー等の設置
2. 防犯ガラス、防犯フィルムの施工	7. 外出時の隣近所への声かけ
3. 防犯カメラの設置	8. 犬等のペットを飼う
4. センサーライトの設置	9. GPS 等を活用した IT 機器の使用
5. ホームセキュリティー（警備会社に委託）	10. その他 具体的な内容 〔 〕

問 35：あなたの身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。 【3つ以内で選び○】

1. 防犯灯や街路灯を増設する	6. 近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる
2. 道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する	7. 犯罪情報を提供する
3. 市街地などに防犯カメラを取り付ける	8. 警察のパトロールを多くする
4. 市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む	9. その他 具体的な内容 〔 〕
5. 地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする	

◆◆◆選挙について◆◆◆

問 36：最近、選挙の投票率の低い状態が続いています。あなたは、その理由は何だと思いますか。 【2つ以内で選び○】

1. 有権者の政治への無関心	7. 若い人の政治への無関心
2. 有権者の政治への不満や不信の現れ	8. 時間や場所など投票に制約が多いため
3. 支持できる候補者・政党がないため	9. その他 具体的な内容 〔 〕
4. 投票しても政治は良くなると思わないため	
5. 政治的に争点のない選挙が多く、有権者の関心が低いため	10. わからない
6. 候補者・政党のPR 不足	

問 37：選挙の投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。

【2つ以内で選び〇】

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 市内のどの投票所でも投票できるようにする | 5. 候補者に公約を守らせるような仕組みを考える |
| 2. 投票への啓発活動をより積極的に進める | 6. 自宅での投票や郵便投票ができるようにする |
| 3. 学校で行う、政治や選挙についての授業を充実させる | 7. わからない |
| 4. 選挙運動をもっと自由にし、選挙に関する関心や参加を高める | 8. その他 具体的な内容
〔 〕 |

◆◆◆教育・スポーツについて◆◆◆

問 38：あなたは、羽生市の学校教育をさらに行き届いたものにするためには、特に何に力を注ぐべきだと思われますか。

【2つ以内で選び〇】

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 教員の指導力の向上 | 8. 教育相談の充実 |
| 2. 社会体験・自然体験の充実 | 9. 道徳教育の充実 |
| 3. 基礎的・基本的な学習の定着 | 10. 部活動等の充実 |
| 4. 善悪を判断できる児童生徒の育成 | 11. 学校施設・設備の充実 |
| 5. 考える力を育成する学習の充実 | 12. 学校ボランティアの充実 |
| 6. 耐える力、がんばりぬく力の育成 | 13. その他 具体的な内容
〔 〕 |
| 7. 基礎的な生活習慣の定着 | |

問 39：あなたは、市内の学校との連携についてどのようなことを望みますか。

【2つ以内で選び〇】

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 学校行事に地域の住民を招待し、交流を深める | 5. 防犯活動など安全のための活動に取り組む |
| 2. 学校施設を地域の住民に開放する | 6. 地域住民と生徒が常時交流できる場を設定する |
| 3. 地域の伝統文化を継承する活動へ協力・参加する | 7. 学校と地域住民とのネットワークを構築する |
| 4. 地域との共同イベントを開催する | 8. その他 具体的な内容
〔 〕 |

問 40：あなたは、どれ位の頻度でスポーツを行っていますか。

【1つ選び〇】

1. 週に5回以上	4. 月に1回～3回程度
2. 週に2回～4回	5. やっていない／月に1回未満 (問 40-aへ)
3. 週に1回	

問 40-a：問 40 で (5) を選んだ方にお伺いします。スポーツをやっていない理由は
何ですか

【2つ以内で選び〇】

1. 仕事や勉強が忙しいから	4. 適当な相手、指導者、仲間がないため
2. 身近に適当な場所や施設がないから	5. その他 具体的な内容
3. 健康上の理由	()

◇◆◆人権・男女平等について◆◆◇

問 41：「人権」とは、誰もが生まれながらにして持っている権利であり、幸せに生きるためになくしてはならないものです。あなたは、今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。

【1つ選び〇】

1. 尊重されている	4. 尊重されていない
2. どちらかといえば尊重されている	5. わからない
3. どちらかといえば尊重されていない	

問 42：あなたのまわりの各場面において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

【項目ごとに1つ選び〇】

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない
(1) 家庭の中で	1	2	3	4	5	6
(2) 地域の中で	1	2	3	4	5	6
(3) 教育の中で	1	2	3	4	5	6
(4) 職場の中で	1	2	3	4	5	6
(5) 慣習・しきたり・社会通念などで	1	2	3	4	5	6

問 43：あなたは、『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。

【1つ選び〇】

1. その通りだと思う	4. そう思わない
2. どちらかといえばそう思う	5. わからない
3. どちらかといえばそう思わない	

◆◆◆商業・産業について◆◆◆

問 44：あなたが、次の商品を主にどこの商店で購入していますか。【項目ごとに1つ選び〇】

	市内の			市外の		
	個人商店	小売店 (小型スーパーを含む)	大型店	個人商店	小売店 (小型スーパーを含む)	大型店
(1) 食料品	1	2	3	4	5	6
(2) 衣料品	1	2	3	4	5	6
(3) 家具・家電	1	2	3	4	5	6
(4) 趣味の用品	1	2	3	4	5	6
(5) その他	1	2	3	4	5	6

問 45：あなたが、米や野菜などの農産物を購入するに当たって、目安にしていることはどのようなことですか。【2つ以内で選び〇】

1. ブランドや評判、おいしさなど	5. 新鮮さなどの品質
2. 無農薬や有機栽培など、安全への配慮の観点から	6. その他 具体的な内容
3. 国内産または地元産であること)
4. 値段の安さ	

問 46：あなたは市の商業や産業の振興について何が重要だとお考えですか。

【2つ以内で選び〇】

1. 新しい産業資源の発掘	5. 商店街の整備
2. 歴史や伝統を活かした施設づくり	6. 若い世代の台頭や後継者の育成
3. 農産物の加工開発や新しい農業経営の研究	7. 催し物やイベントの開催
4. 企業の誘致	8. その他 具体的な内容
)

◆◆◆お住まいの地域の全般的なまちづくりについて◆◆◆

問 47：市政に対し、以下の各項目についてどう感じていますか。

【項目ごとに1つ選び〇】

	満足	満足 まあまあ	普通	不満 やや	不満	わからない
市民との協働によるまちづくり						
(1) 市民協働の推進について	1	2	3	4	5	6
(2) 人権施策の推進について	1	2	3	4	5	6
(3) 男女共同参画の推進について	1	2	3	4	5	6
(4) 都市交流・国際交流の推進について	1	2	3	4	5	6
安全で安心なまちづくり						
(5) 危機管理の充実について	1	2	3	4	5	6
(6) 防災対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(7) 消防・救急の充実について	1	2	3	4	5	6
(8) 防犯対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(9) 交通安全対策の推進について	1	2	3	4	5	6
(10) 消費者行政の推進について	1	2	3	4	5	6
健康で希望に満ちたまちづくり						
(11) 地域福祉の推進について	1	2	3	4	5	6
(12) 健康づくりの推進について	1	2	3	4	5	6
(13) 地域医療の充実について	1	2	3	4	5	6
(14) 子育て支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(15) 障がい者支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(16) 高齢者支援の推進について	1	2	3	4	5	6
(17) 社会保障の充実について	1	2	3	4	5	6
次代を担う個性豊かなまちづくり						
(18) 幼児・家庭教育の充実について	1	2	3	4	5	6
(19) 義務教育の充実について	1	2	3	4	5	6
(20) 高等教育機関等との連携について	1	2	3	4	5	6
(21) 生涯学習の推進について	1	2	3	4	5	6
(22) 文化の継承・振興について	1	2	3	4	5	6
(23) 生涯スポーツの振興について	1	2	3	4	5	6
活力に満ちたまちづくり						
(24) 農業の振興について	1	2	3	4	5	6
(25) 商業の振興について	1	2	3	4	5	6
(26) 工業の振興について	1	2	3	4	5	6
(27) 観光の振興について	1	2	3	4	5	6
(28) 勤労者支援・雇用の促進について	1	2	3	4	5	6

	満足	満足 まあまあ	普通	不満足 やや	不満足	わからない
快適で住みやすいまちづくり						
(29) 市街地の整備について	1	2	3	4	5	6
(30) 道路の整備について	1	2	3	4	5	6
(31) 上水道の整備について	1	2	3	4	5	6
(32) 下水道の整備について	1	2	3	4	5	6
(33) 公園・緑地の整備について	1	2	3	4	5	6
(34) 公共交通の利便性の向上について	1	2	3	4	5	6
(35) ごみ処理の適正化について	1	2	3	4	5	6
(36) 環境保全の推進について	1	2	3	4	5	6
行政経営の改革						
(37) 広報・広聴の充実について	1	2	3	4	5	6
(38) 情報化の推進について	1	2	3	4	5	6
(39) 情報の公開と適正な運用について	1	2	3	4	5	6
(40) 行政改革の推進について	1	2	3	4	5	6
(41) 人事管理について	1	2	3	4	5	6
(42) 健全な財政運営について	1	2	3	4	5	6

問 48：あなたは、これからの市政に対して、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。

【5つ以内で選び○】

1. 市民協働の推進	16. 高齢者支援の推進	31. 上水道の整備
2. 人権施策の推進	17. 社会保障の充実	32. 下水道の整備
3. 男女共同参画の推進	18. 幼児・家庭教育の充実	33. 公園・緑地の整備
4. 都市交流・国際交流の推進	19. 義務教育の充実	34. 公共交通の利便性の向上
5. 危機管理の充実	20. 高等教育機関等との連携	35. ごみ処理の適正化
6. 防災対策の推進	21. 生涯学習の推進	36. 環境保全の推進
7. 消防・救急の充実	22. 文化の継承・振興	37. 広報・広聴の充実
8. 防犯対策の推進	23. 生涯スポーツの振興	38. 情報化の推進
9. 交通安全対策の推進	24. 農業の振興	39. 情報の公開と適正な運用
10. 消費者行政の推進	25. 商業の振興	40. 行政改革の推進
11. 地域福祉の推進	26. 工業の振興	41. 人事管理
12. 健康づくりの推進	27. 観光の振興	42. 健全な財政運営
13. 地域医療の充実	28. 勤労者支援・雇用の促進	
14. 子育て支援の推進	29. 市街地の整備	
15. 障がい者支援の推進	30. 道路の整備	

◆◆◆あなたご自身について◆◆◆

あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに1つ選び〇】

(1) あなたの性別は	1. 男性	2. 女性	
(2) あなたの年齢は (H27. 12. 1 現在)	1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳	4. 50～59 歳 5. 60 歳以上	
(3) あなたの職業は	1. 農業 2. 商工業 3. 自営業 4. 会社員 5. 公務員	6. パート・アルバイト 7. 学生 8. 無職 9. その他	
(4) あなたは羽生市に 何年お住みですか	1. 5年未満 2. 5年以上～9年未満	3. 10年以上～19年未満 4. 20年以上	
(5) あなたの住んで いる地域は	1. 羽生 2. 新郷 3. 須影	4. 岩瀬 5. 川俣 6. 井泉	7. 手子林 8. 三田ヶ谷 9. 村君

◆◆◆市政に関するご意見◆◆◆

市政に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

なお、まことに恐縮ですが1月22日(金)までにこの調査用紙を返信用封筒に入れて返送して下さるようお願いいたします。



羽生市キャラクター
ムジナもん

